

長岡京市第三期環境基本計画策定のためのアンケート調査
結果報告書

令和 2(2020)年 12 月
長岡京市

目次

調査について

結果の概要

1. 市民アンケートの概要……………3
2. 団体アンケートの概要……………19
3. 事業者アンケートの概要……………21

市民アンケートの結果

1. 回答者および回答者世帯について……………29
2. 「環境」に関わること全般について……………32
 - 2.1. 環境について大きく変わったと感じること(問1)……………32
 - 2.2. 現在の生活の「身近な環境」について(問2)……………36
 - 2.3. 環境問題や環境保全への関心(問3)……………47
 - 2.4. 環境保全、温暖化対策等に関する用語の認知度(問4)……………48
 - 2.5. 長岡京市の環境の取り組みについて(問5)……………50
3. 「脱炭素型社会づくり」について……………68
 - 3.1. 気候変動の影響ではないかと強く感じる事(問6)……………68
 - 3.2. 排出削減目標『実質ゼロ』の認知度(問7)……………70
 - 3.3. 行政が最優先で取り組むべき適応策(問8)……………71
 - 3.4. 家電・家庭用品等の購入について(問9)……………72
 - 3.5. 住まいの断熱性能を上げるための工事などについて(問10)……………82
 - 3.6. 電気自動車について(問11)……………83
 - 3.7. カーシェアリングについて(問12)……………91
 - 3.8. 自動車について(問13)……………97
 - 3.9. 太陽光発電設備について(問14)……………109
 - 3.10. 電気・ガスの利用について(問15)……………115
 - 3.11. エアコン・冷蔵庫の使用年数(問16)……………118
 - 3.12. 温暖化防止のための市全体として最も重要な取り組み(問17)……………120
4. 「資源循環型社会づくり」について……………123
 - 4.1. 資源・水の循環のための市全体として最も重要な取り組み(問18)……………123
 - 4.2. プラスチックごみ発生抑制のための市全体として最も重要な取り組み(問19)……………125
 - 4.3. ごみ減量・リサイクルのための行動(問20)……………126
5. 「環境共生のまちづくり」について……………131
 - 5.1. 西山の自然環境保全のために協力できそうなこと(問21)……………131
 - 5.2. 自然環境や生物多様性の保全のための市全体として最も重要な取り組み(問22)……………134
6. 「快適な都市環境づくり」について……………137
 - 6.1. 快適な都市環境づくりのための市全体として最も重要な取り組み(問23)……………137

7. 環境の取り組みへの参画と協働について	139
7.1. よりよい環境づくりのために実行しやすいこと(問 24)	139
7.2. よりよい環境づくりのため市内の事業所に期待すること(問 25)	144
7.3. 環境のために、我々の日々の暮らしや社会、経済のあり方を変えていくことについて(問 26)	145
8. 本アンケートについて(問 27)	149

団体アンケートの結果

1. 回答団体について	153
2. 回答団体の活動について	155
2.1. 活動分野(問 1)	155
2.2. 活動形態(問 2)	155
2.3. 活動上の課題、今後活動したいこと(問 3)	156
2.4. 課題に対応するため行政に望む支援(問 4)	159
2.5. 情報発信(問 5)	160
2.6. 他の活動団体等との連携(問 6)	161
2.7. 校区ごとの「環境への取り組みを見える化」について(問 7)	162
2.8. 環境活動を行うなかで感じること(問 8)	163
2.9. ヒアリング調査の可否(問 9)	163

事業者アンケートの結果

1. 回答事業者について	165
2. 回答事業所における環境保全活動について(問 1)	167
3. 環境に関する経営や管理手法に関わることについて	174
3.1. 電気の調達のコスト(問 2)	174
3.2. 地域密着型電力事業者からの購入意向(問 3)	174
3.3. 適応策の検討状況(問 4)	175
3.4. 「2050年ゼロカーボンシティ」を目指すために市内事業者が取り組むべきこと(問 5)	175
3.5. 「チャレンジ・ゼロ宣言」の参加状況、参加意向(問 6)	176
3.6. 環境ポリシー、環境マネジメントシステム、社内制度等について(問 7)	177
3.7. 長岡京市の環境をよりよくしていくため市内の事業者が取り組むべきこと(問 8)	179
3.8. 環境への取り組みを進める上で最大の課題(問 9)	179
3.9. 国、府、市などの支援策として最も必要なこと(問 10)	180
4. 高効率機器や社用車のEV化に関わることについて	180
4.1. 高効率機器への買い替えや社用車のEV化に対する補助金制度について(問 11)	180
4.2. 電気自動車について(問 12)	181
5. ごみ減量に関する取り組みについて	183
5.1. 拠点回収場所での古紙回収について(問 13)	183
5.2. ごみ減量の取り組みについて(問 14)	184
5.3. ごみ削減にあたっての課題、行政への要望(問 15)	184
6. 長岡京市の環境政策や、地域と事業者との関わりについて	185

6.1. 長岡京市の環境に関する計画や方針の認知度(問 16)	185
6.2. CSR の観点からみた取り組み(問 17)	186
6.3. 校区ごとの「環境への取り組みを見える化」について(問 18)	186
7. 環境問題に関する懸念事項、検討事項、提案など(問 19)	187
8. ヒアリング調査の可否(問 20)	187

参考資料

1. アンケート調査票	189
1.1. 市民アンケート	189
1.2. 団体アンケート	202
1.3. 事業者アンケート	206
2. 市民アンケートの集計結果一覧	218
3. 団体アンケートの集計結果一覧	229
4. 事業者アンケートの集計結果一覧	231

調査について

■ 調査の目的

長岡京市では、平成 25(2013)年に策定した「長岡京市第二期環境基本計画」(以下、「第二期計画」と言う。)に基づき、環境施策を進めているところです。

第二期計画の期間内には、平成 23(2011)年の東日本大震災後のエネルギー政策の転換や、平成 28(2016)年のパリ協定発効など、環境を取り巻く動向が目まぐるしく変化しました。第二期計画の策定時と比べて、現在の市民の環境に対する意識・ニーズも大きく変化しているものと考えられます。よって、第二期計画本来の終期である令和 4(2022)年度を待たず、1 年前倒して「長岡京市第三期環境基本計画」(以下「第三期計画」という。)を策定することになりました。

本調査は、環境に対する市民の現在の意識・ニーズを知り、第三期計画で効果的な施策展開を図るための基礎資料とすることを目的に、長岡京市在住の市民、市内の市民活動団体や事業者を対象にアンケートを実施したものです。

■ 調査方法

郵送による送付・回収

■ 調査期間

令和 2(2020)年 9 月 15 日(火)～同年 9 月 30 日(水)

■ 調査対象

市民アンケート:

令和 2(2020)年 8 月 1 日現在の長岡京市住民基本台帳から無作為抽出した
16 歳以上の市民 2,000 名

団体アンケート:

長岡京市を活動拠点とし、環境に関する活動を行う団体 34 件

事業者アンケート:

業種ごとに無作為抽出した、長岡京市に事業所を持つ事業者 70 件

■ 配布数および回答数

市民アンケート: 送付数 2,000 件 回収数 992 件 回収率 49.6%

団体アンケート: 送付数 34 件 回収数 23 件 回収率 67.6%

事業者アンケート: 送付数 70 件 回収数 22 件 回収率 31.4%

【調査結果の表記について】

- ・ グラフや表に書かれている「n=」に続く数字は、その設問の回答数です。
- ・ グラフや表に「SA」と書かれている場合はその設問が単一回答、「MA」と書かれている場合は複数回答であることを意味します。
- ・ 百分率(%)については、それぞれの調査の回答数(n)を基数として算出しています。小数第2位を四捨五入しているため、単一回答の数字の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・ 自由記述の回答は、原文の内容をふまえ要約したものを記載しています。1つの設問に複数の意見が記述されている回答もあるため、件数の合計が回答数より多くなる場合があります。

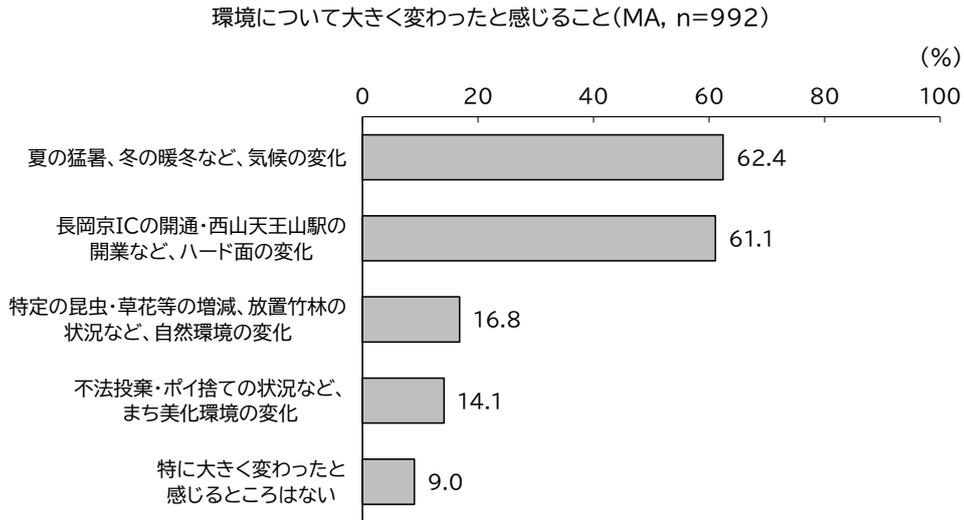
結果の概要

1. 市民アンケートの概要

◎ 「環境」に関わること全般について

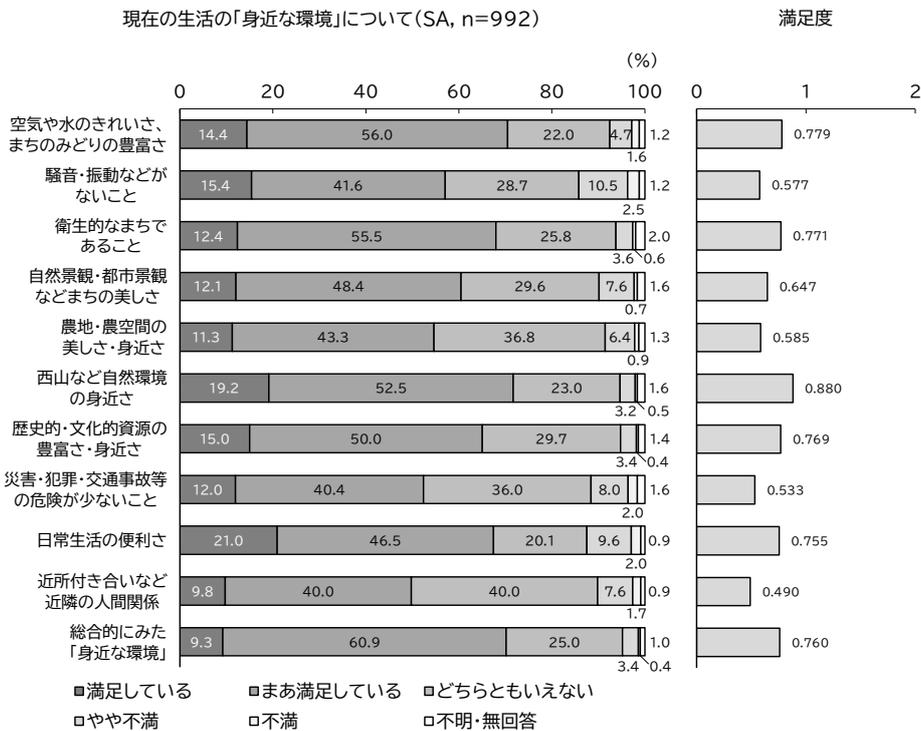
【環境について大きく変わったと感じること】

ここ最近の長岡京市の環境について大きく変わったと感じることについて、「夏の猛暑、冬の暖冬など、気候の変化」「長岡京 IC の開通・西山天王山駅の開業など、ハード面の変化」が多くなっています。



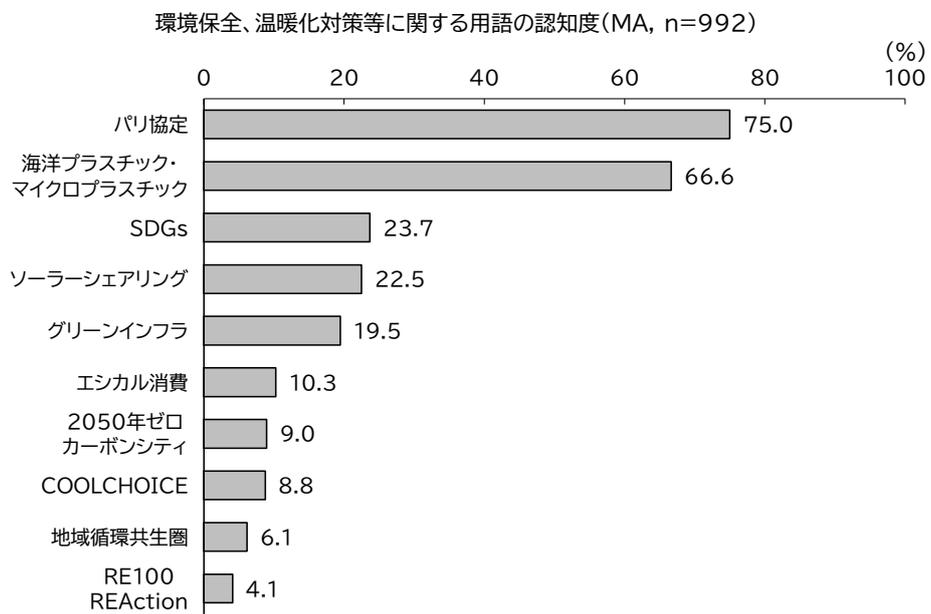
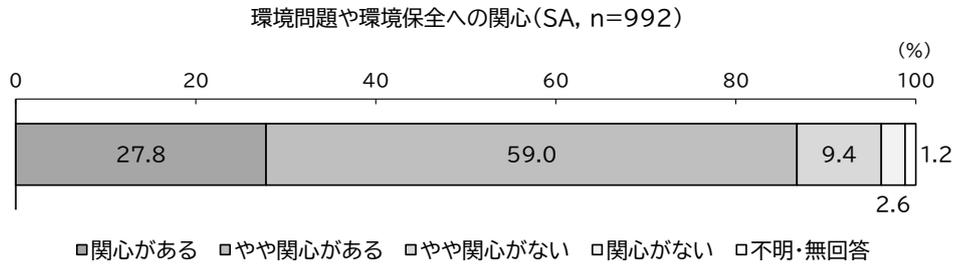
【身近な環境の満足度】

現在の生活の「身近な環境」について、「西山など自然環境の身近さ」「空気や水のきれいさ、まちのみどりの豊富さ」「衛生的なまちであること」の満足度が高くなっています。



【環境問題や環境保全への関心・用語の認知度】

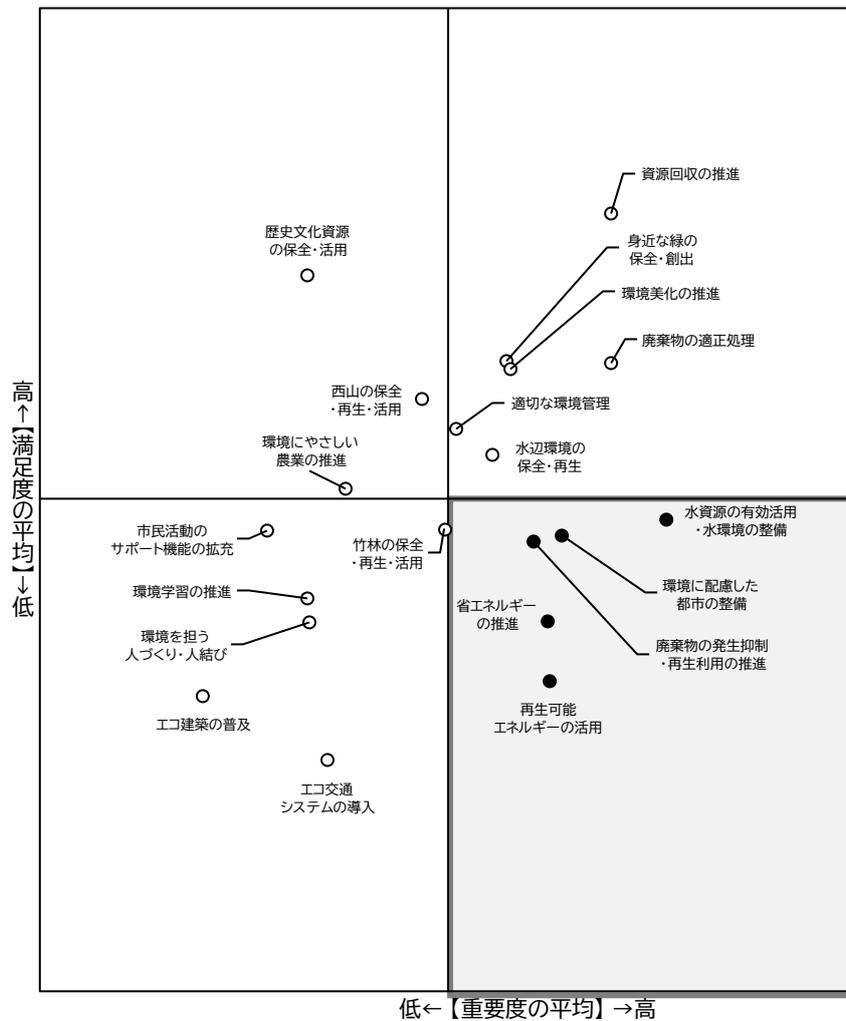
およそ 9 割の市民が、環境問題や環境保全について関心を持っています。環境保全、温暖化対策等に関する用語について、「パリ協定」「海洋プラスチック・マイクロプラスチック」の認知度が高くなっています。



【市の環境への取り組みについて】

市の環境への取り組みについて、「再生可能エネルギーの活用」「省エネルギーの推進」「廃棄物の発生抑制・再生利用の推進」「水資源の有効活用・水環境の整備」「環境に配慮した都市の整備」は、現在の満足度が低く、今後の重要度が高い「ニーズの高い取り組み」となっています。

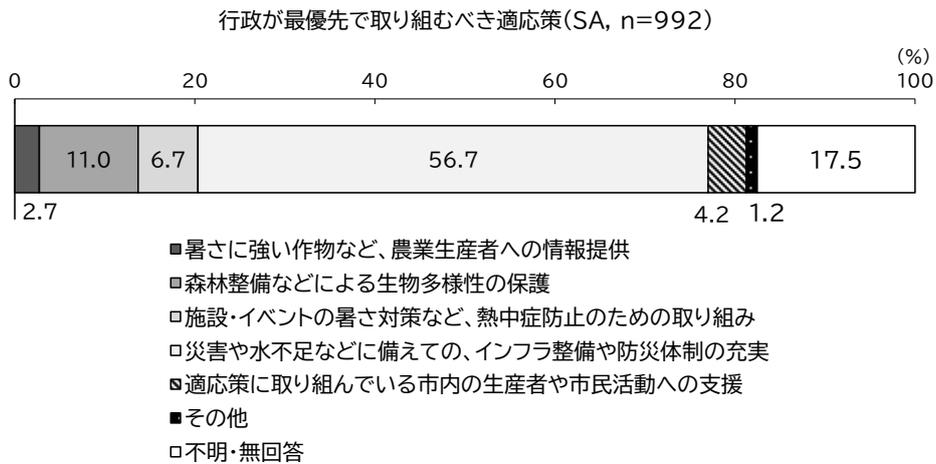
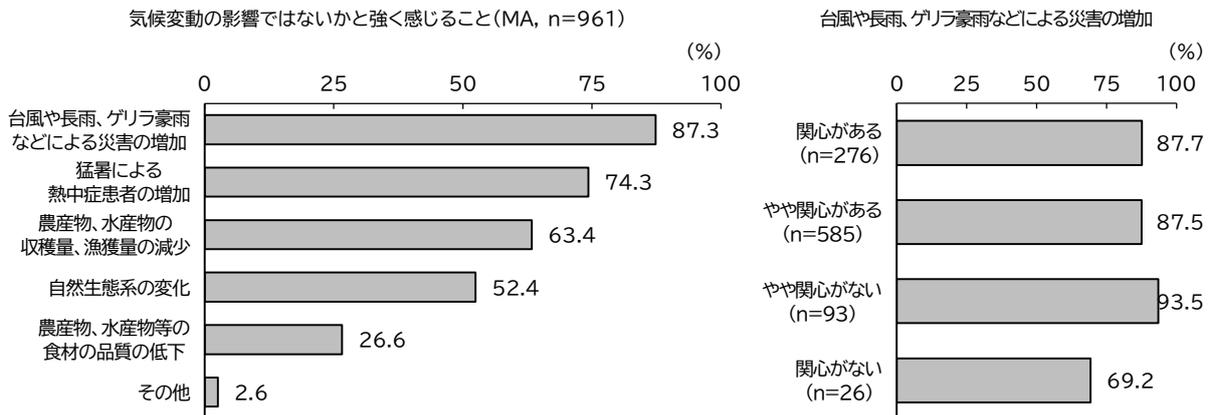
長岡京市の環境の取り組みについての「現在の満足度」と「今後の重要度」



◎ 「脱炭素型社会づくり」について

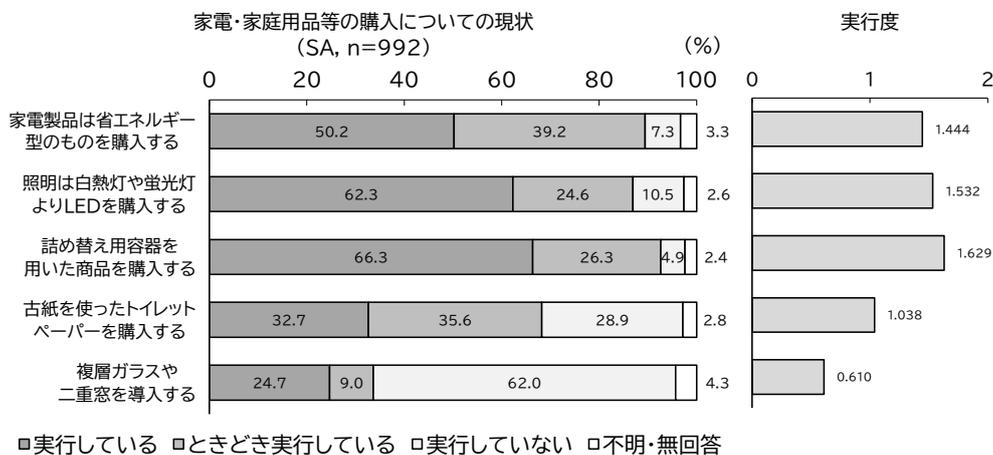
【気候変動の影響と適応策】

気候変動の影響ではないかと強く感じることについて、「台風や長雨、ゲリラ豪雨などによる災害の増加」が、環境への関心の有無を問わず多くなっています。行政に求められる適応策は、「災害や水不足などに備えての、インフラ整備や防災体制の充実」が最も多くなっています。



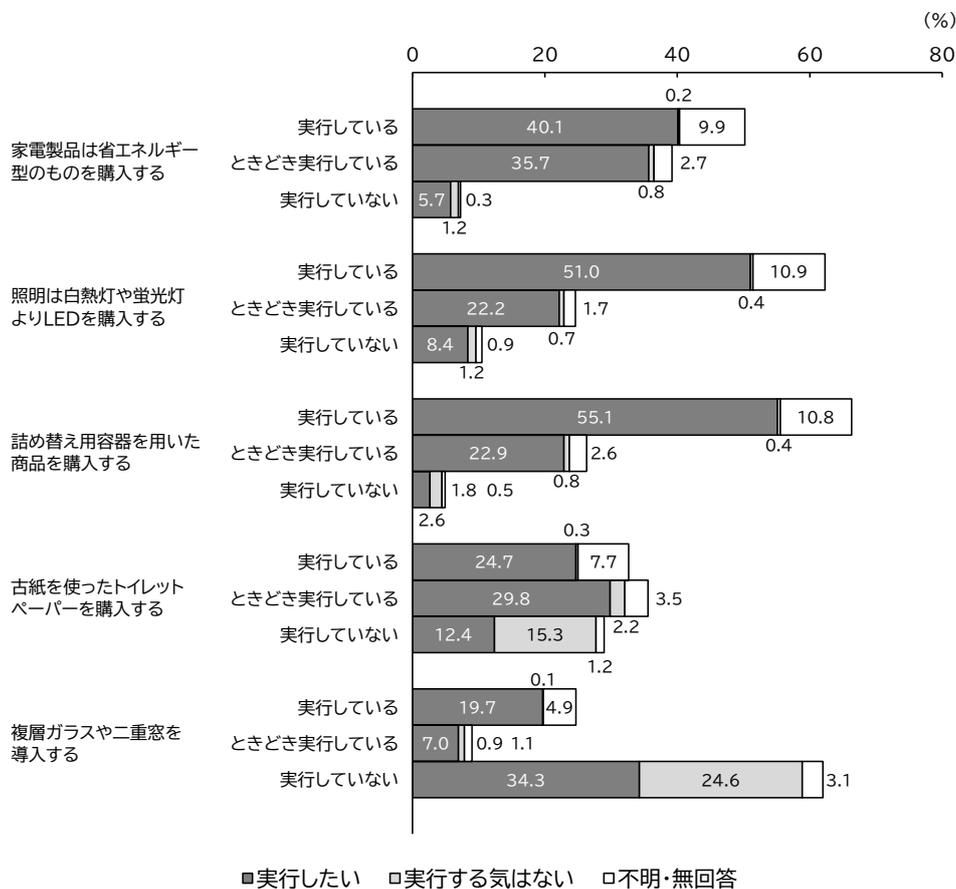
【家電・家庭用品等の購入時の環境への配慮】

日常生活での家電・家庭用品等の購入時について、「詰め替え用容器を用いた商品を購入する」「照明は白熱灯や蛍光灯よりLEDを購入する」「家電製品は省エネルギー型のもを購入する」の執行度が高くなっています。



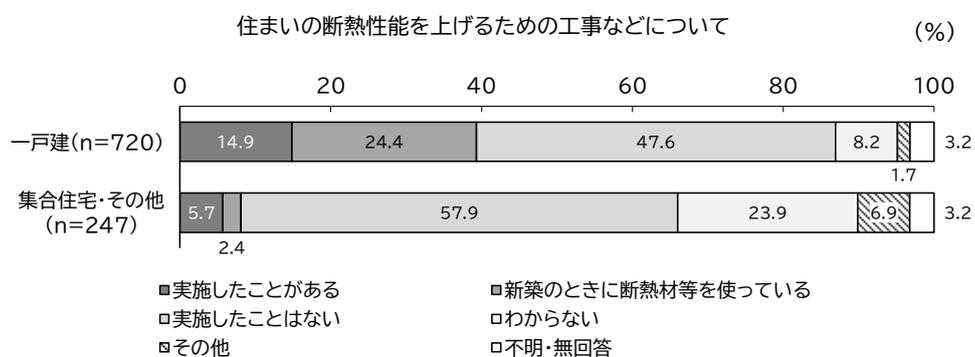
「複層ガラスや二重窓を導入する」は、現状で「実行している」が少なく、実行度も低くなっていますが、今後は「実行したい」が多くなっています。

家電・家庭用品等の購入についての現状と今後 (SA, n=992)



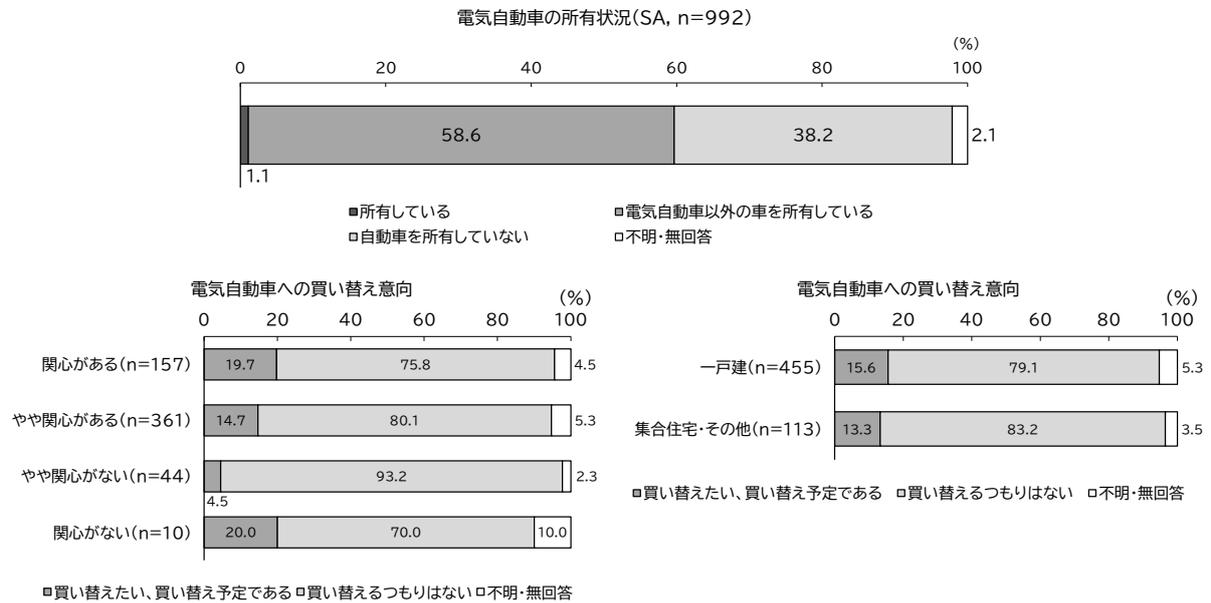
【住まいの断熱性能について】

住まいの断熱性能を上げるためのリフォーム工事などについて、一戸建のおよそ4割が「実施したことがある」「新築の時に断熱材を使っている」となっています。

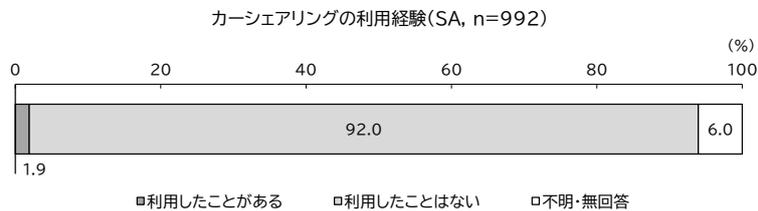


【自動車について】

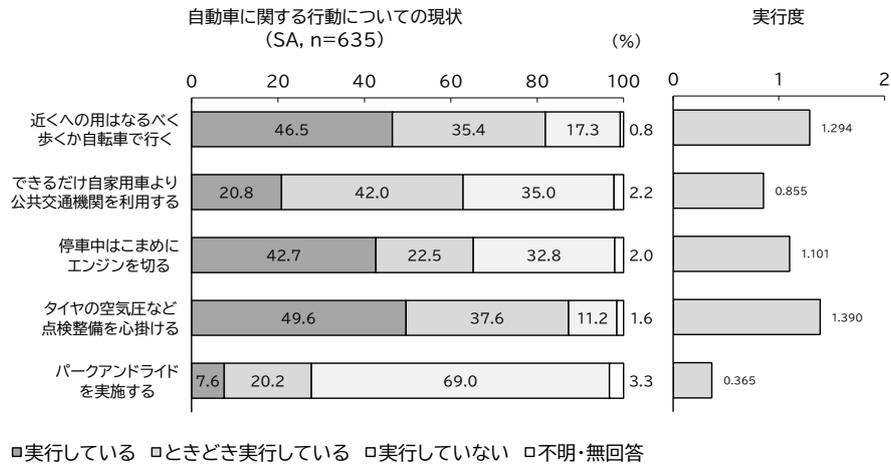
電気自動車を「所有している」は1%程度となっていますが、今後の買い替えの意向をみると、環境への関心の有無や住宅の種類等を問わず、およそ2割が「買い替えたい、買い替え予定である」となっています。



カーシェアリングを「利用したことがある」は2%程度となっていますが、今後の利用の意向をみると、神足小学校区や長岡第十小学校区では「利用してみたい」が2割以上、長法寺小学校区では1割以下と、地域によって差がみられます。

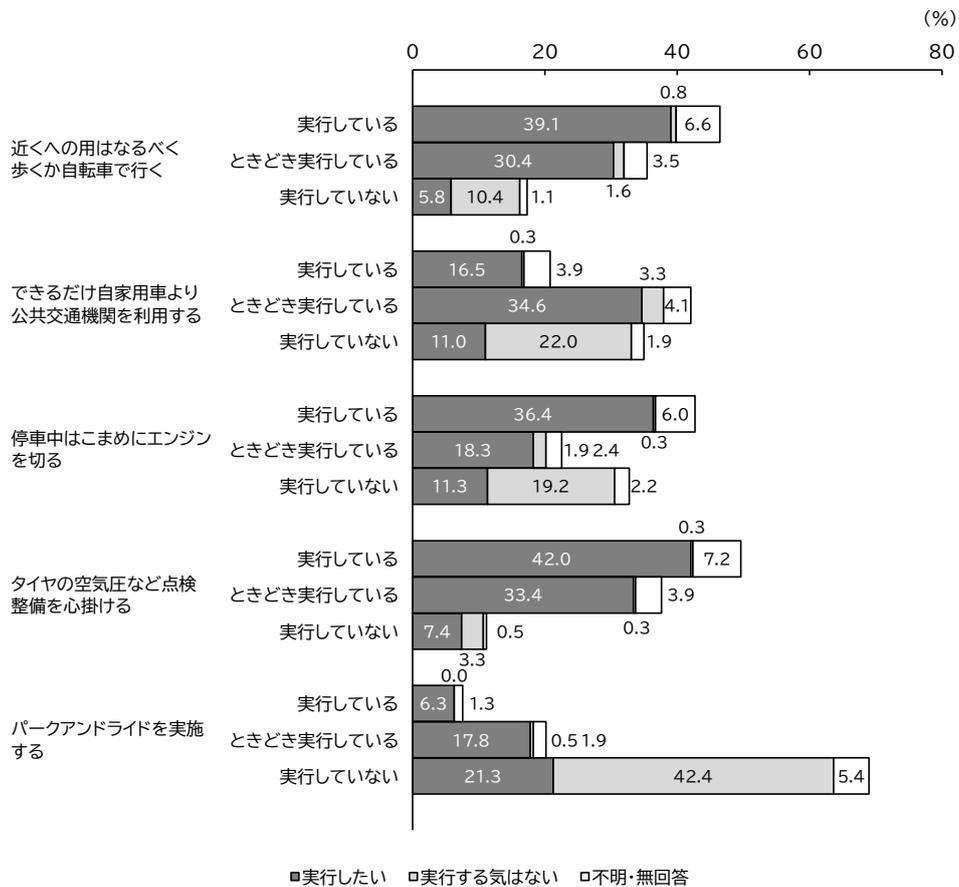


自動車に関する行動について、「タイヤの空気圧など点検整備を心掛ける」「近くへの用はなるべく歩くか自転車で行く」の実行度が高くなっています。



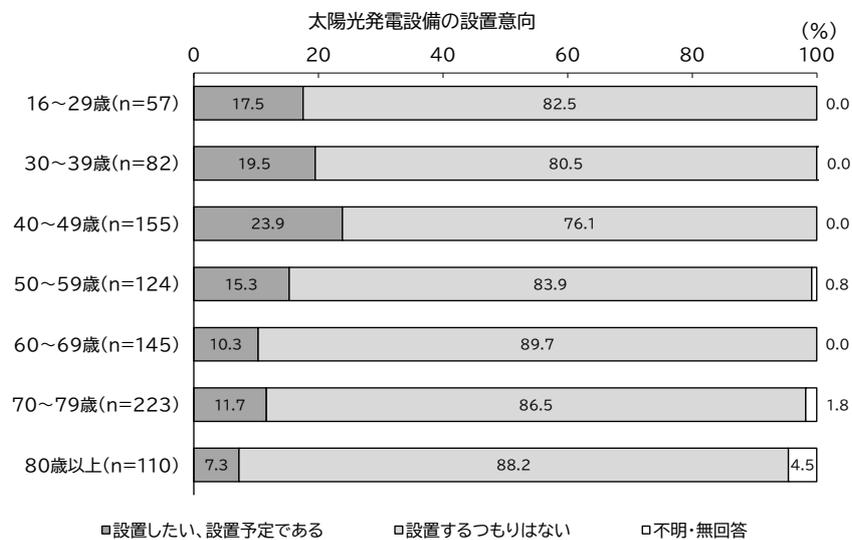
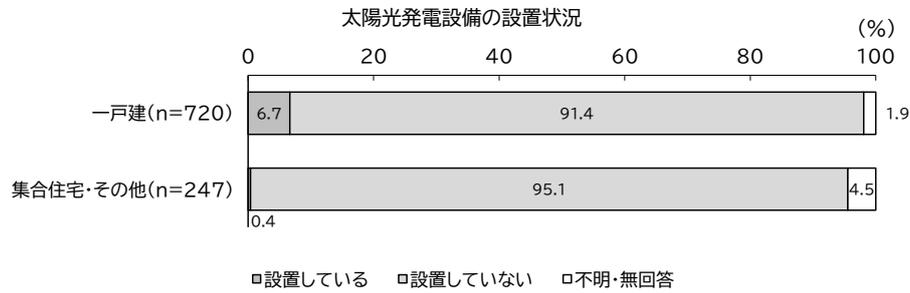
「パークアンドライドを実施する」は、現状で「実行している」が少なく、実行度も低くなっていますが、今後は「実行したい」が多くなっています。

自動車に関する行動についての現状と今後 (SA, n=635)



【太陽光発電について】

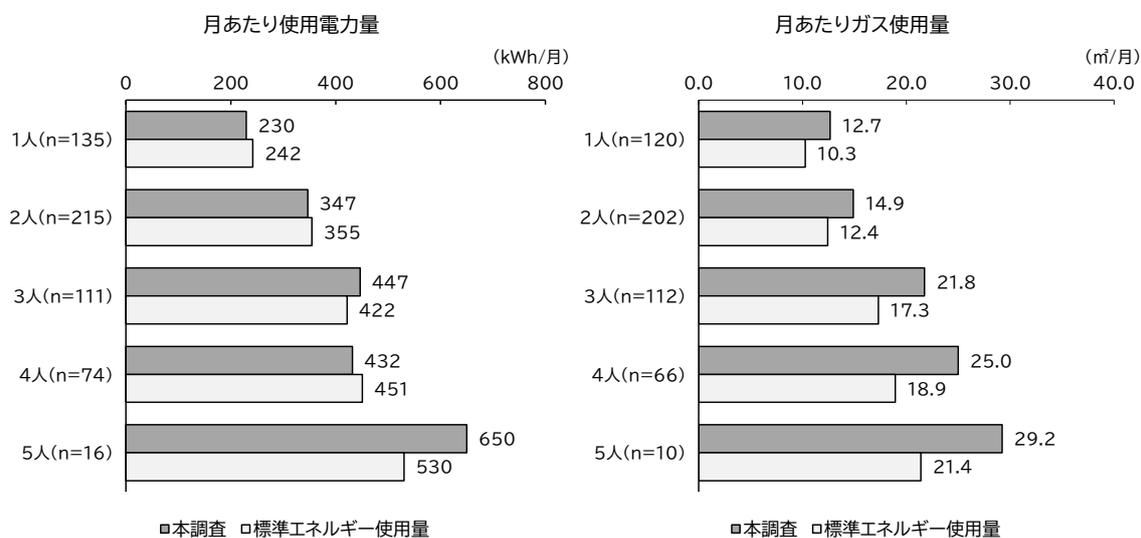
一戸建て太陽光発電設備を「設置している」はおよそ 7%となっています。今後の設置の意向をみると、若年層の「設置したい、設置意向である」が多く、40～49 歳をピークに、年代が高くなるほど少なくなっています。



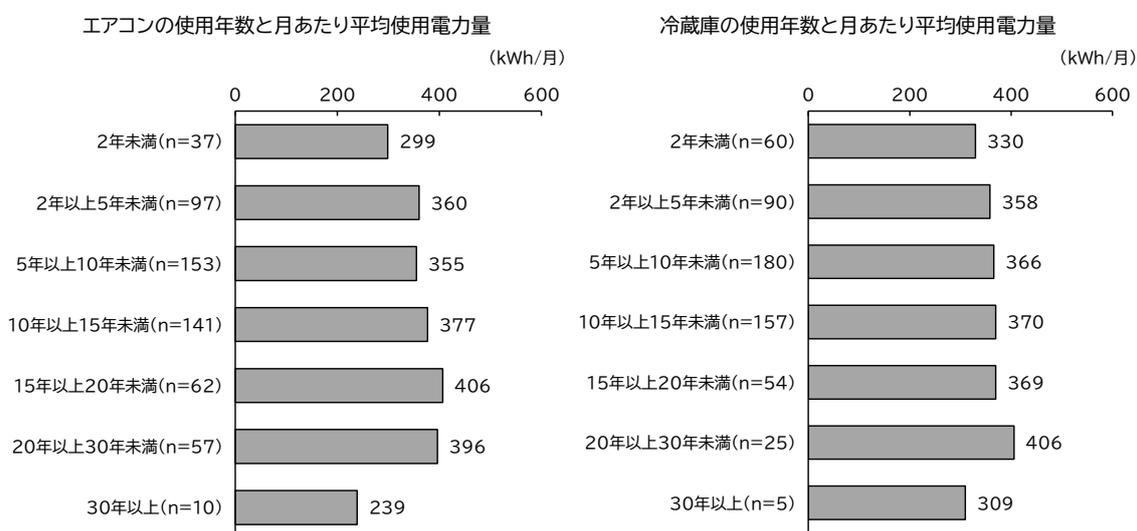
長岡京市域の余剰電力を買い取って、その電気を市域の住宅や公共施設(学校など)に販売する「地域密着型の電力事業者」が現れた場合の売電の意向について、太陽光発電設備を設置しているうちおよそ 8 割が、現在と同程度、あるいは現在より高い価格なら売電したいとなっています。

【家庭のエネルギー使用量】

7～9月の1か月あたりの使用電力量、ガス使用量について、京都府南部の標準的なエネルギー使用量と比較すると、電力は標準と同程度、ガスは標準より多くなっています。



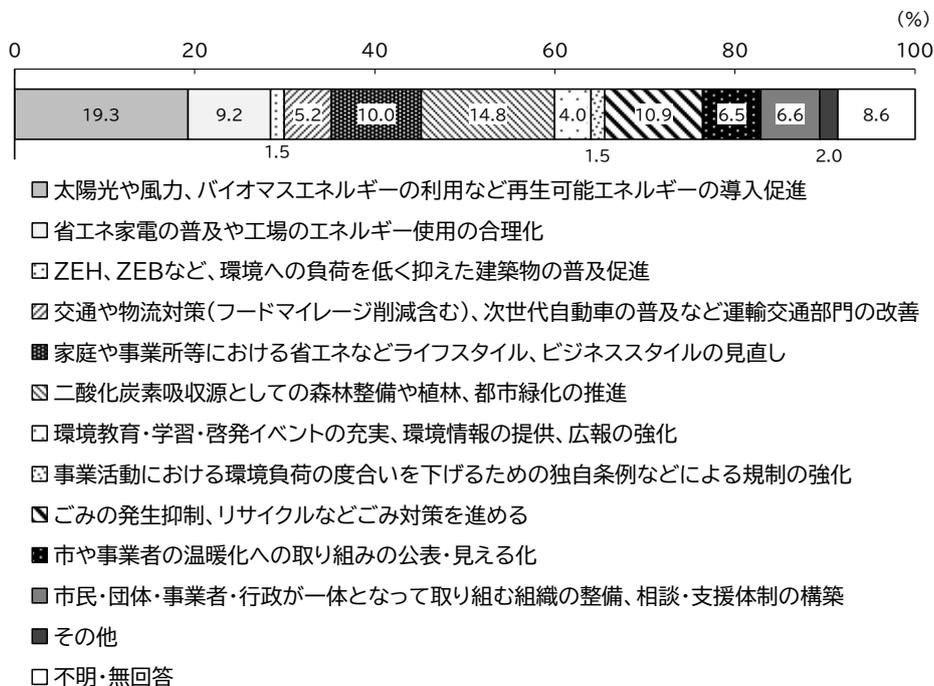
エアコン・冷蔵庫の使用年数について、1か月あたりの使用電力量の関係をみると、「30年以上」を除いて、新しいエアコン・冷蔵庫の使用年数が短いほど、使用電力量が少なくなっています。



【温暖化防止のための市全体として最も重要な取り組み】

温暖化防止のための市全体として最も重要な取り組みについて、「太陽光や風力、バイオマスエネルギーの利用など再生可能エネルギーの導入促進」「二酸化炭素吸収源としての森林整備や植林、都市緑化の推進」が多くなっています。

温暖化防止のための市全体として最も重要な取り組み(SA, n=992)



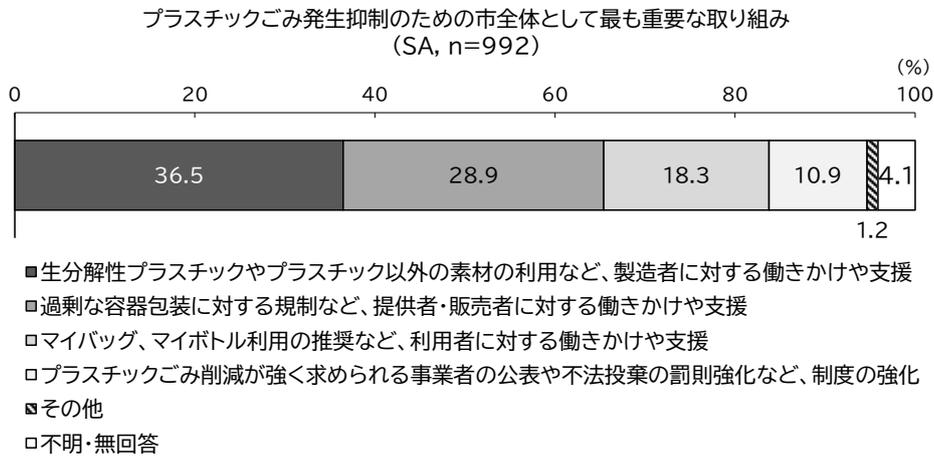
◎ 「資源循環型社会づくり」について

【資源・水の循環のための市全体として最も重要な取り組み】

資源や水を適正に循環させ、環境への負担を減らしていくために市全体として最も重要な取り組みについて、「地下水の水質保全」「適正なりサイクルの促進」が多くなっています。

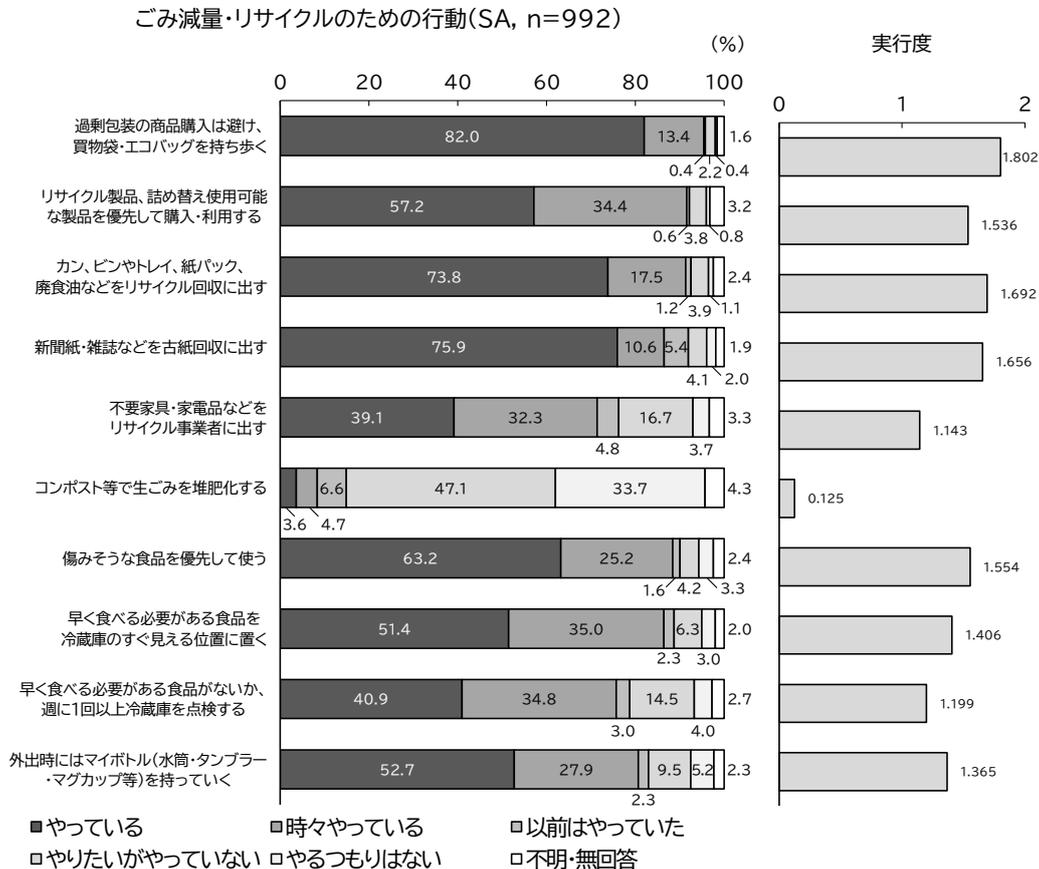
【プラスチックごみ発生抑制のための市全体として最も重要な取り組み】

プラスチックごみの発生を抑制するために市全体として最も重要な取り組みについて、「生分解性プラスチックやプラスチック以外の素材の利用など、製造者に対する働きかけや支援」「過剰な容器包装に対する規制など、提供者・販売者に対する働きかけや支援」が多くなっています。



【ごみ減量・リサイクルのための行動】

「過剰包装の商品購入は避け、買物袋・エコバッグを持ち歩く」「カン、ビンやトレイ、紙パック、廃食油などをリサイクル回収に出す」「新聞紙・雑誌などを古紙回収に出す」の実行度が高く、「コンポスト等で生ごみを堆肥化する」の実行度が低くなっています。

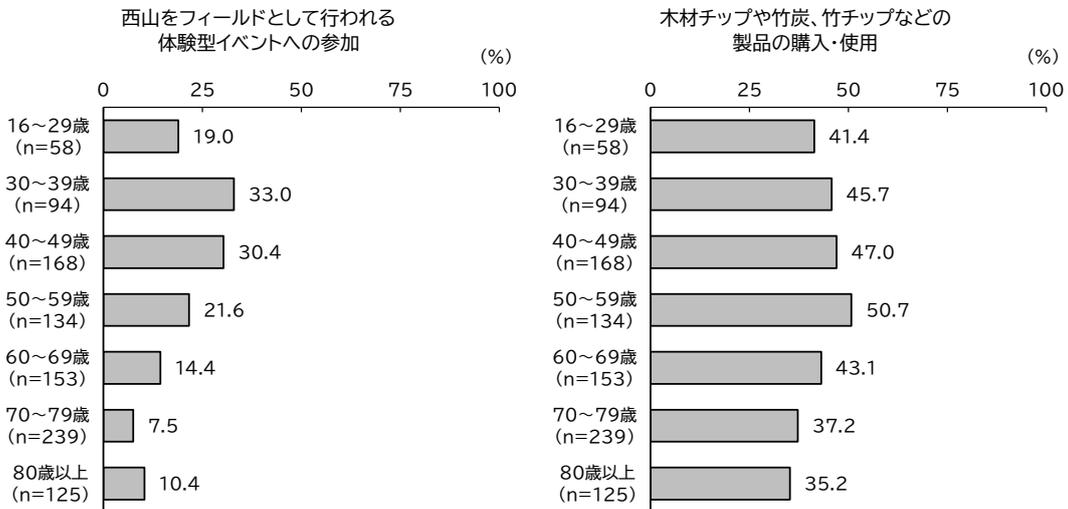
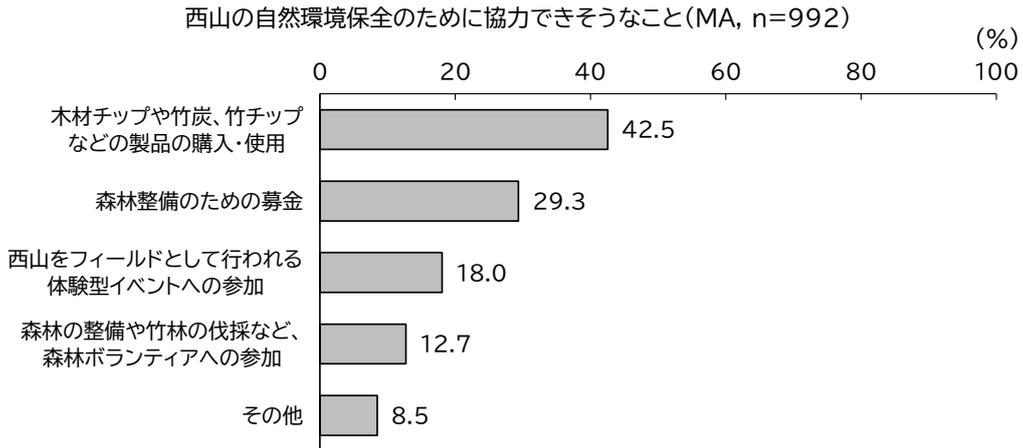


◎ 「環境共生のまちづくり」について

【西山の自然環境保全のために協力できそうなこと】

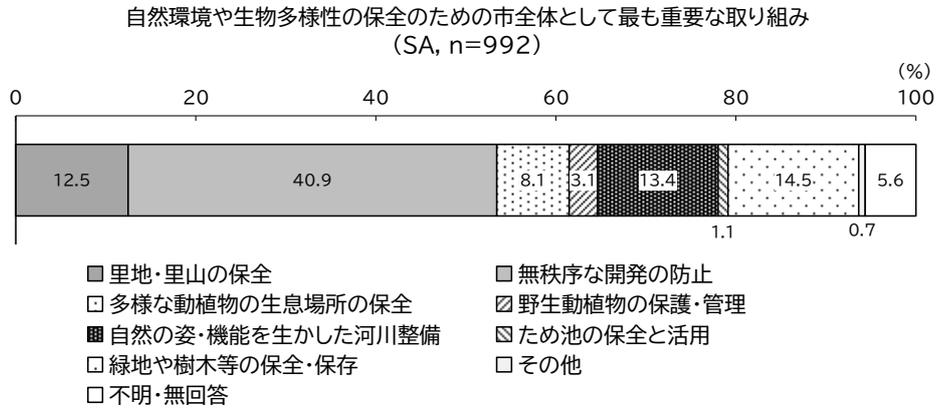
西山の自然環境保全に関わる取り組みの中で協力できそうなことについて、「木材チップや竹炭、竹チップなどの製品の購入・使用」「森林整備のための募金」が多くなっています。

若年層では「西山をフィールドとして行われる体験型イベントへの参加」が、中高年層では「木材チップや竹炭、竹チップなどの製品の購入・使用」が多くなっています。



【自然環境や生物多様性の保全のための市全体として最も重要な取り組み】

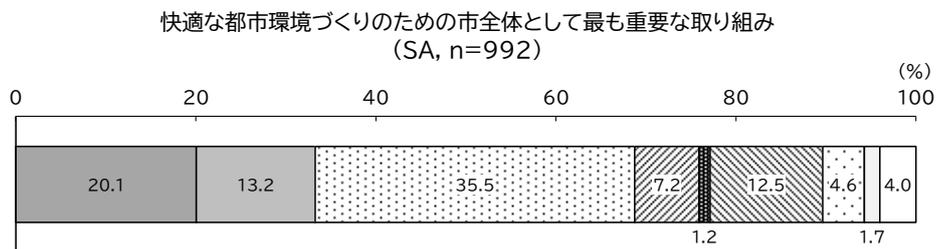
自然環境や生物多様性の保全のための市全体として最も重要な取り組みとして、「無秩序な開発の防止」が最も多くなっています。



◎ 「快適な都市環境づくり」について

【快適な都市環境づくりのための市全体として最も重要な取り組み】

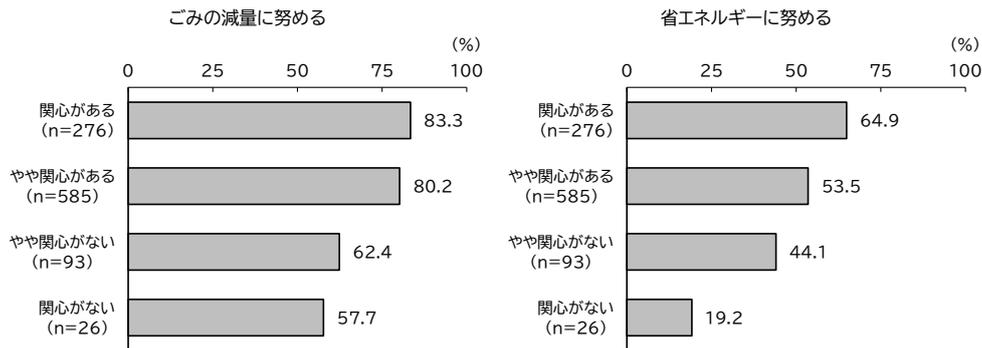
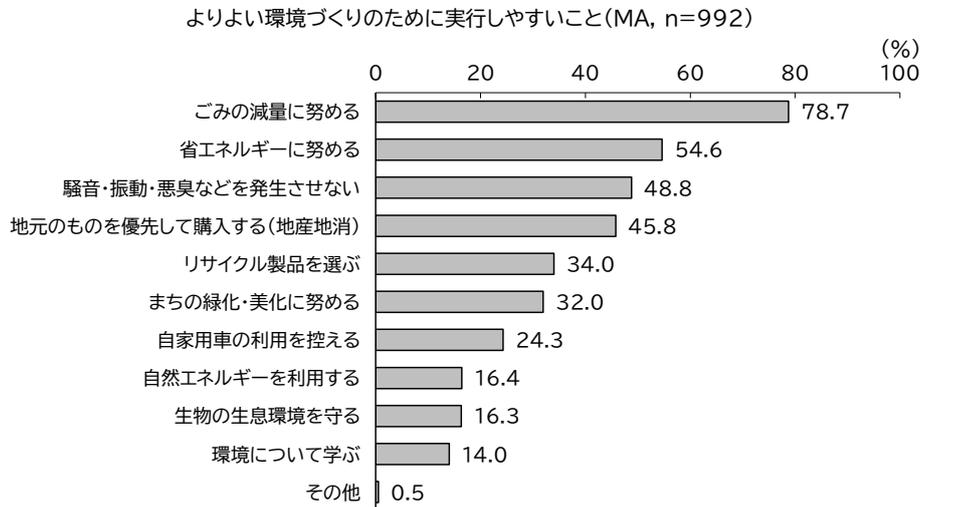
快適な都市環境づくりのために市全体として最も重要な取り組みとして、「歩道の整備、電線の地中化など、歩きやすいまちづくり」が最も多くなっています。



◎ 環境の取り組みへの参画と協働について

【よりよい環境づくりのために実行しやすいこと】

よりよい環境づくりのために実行しやすいことについて、「ごみの減量に努める」「省エネルギーに努める」が多くなっていますが、環境への関心の有無によって差があります。

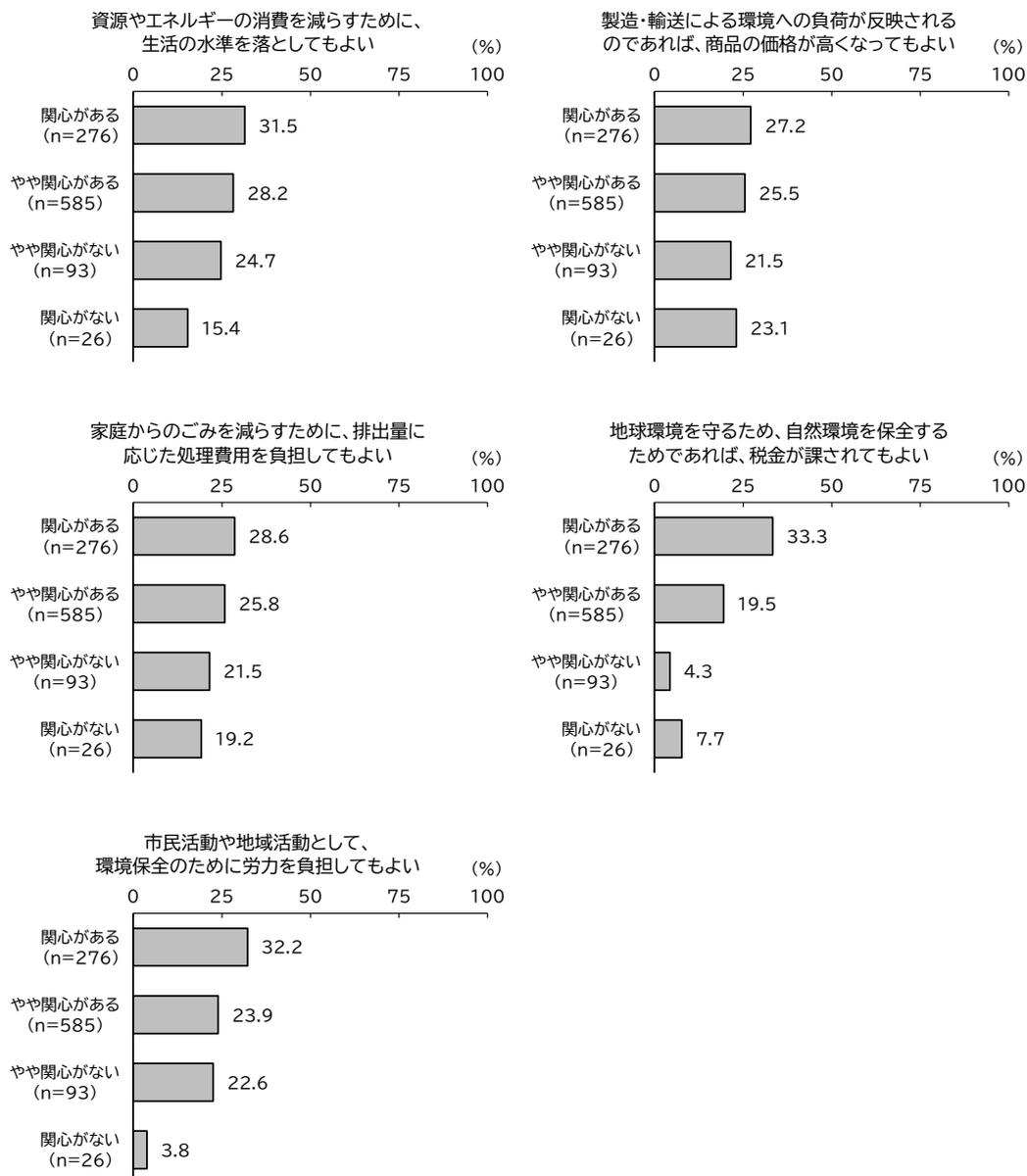


【よりよい環境づくりのために市内の事業所に期待すること】

よりよい環境づくりのために市内の事業所に期待することとして、「地球温暖化対策の率先した取り組み」が最も多くなっています。

【環境のために、我々の日々の暮らしや社会、経済のあり方を変えていくことについて】

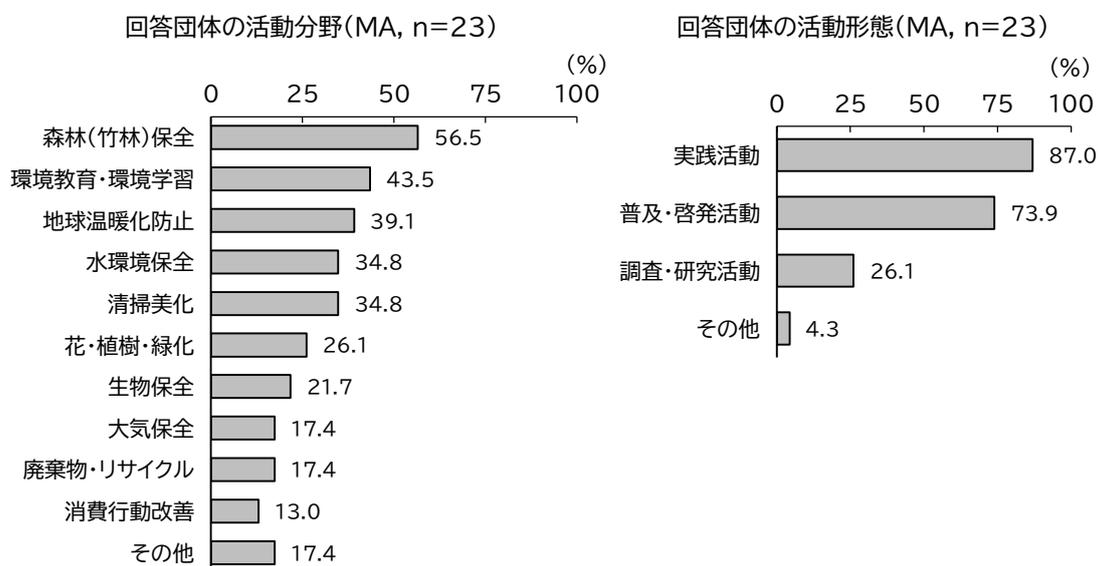
環境のために、我々の日々の暮らしや社会、経済のあり方を変えていくことについて、環境への関心の有無によって差がみられます。



2. 団体アンケートの概要

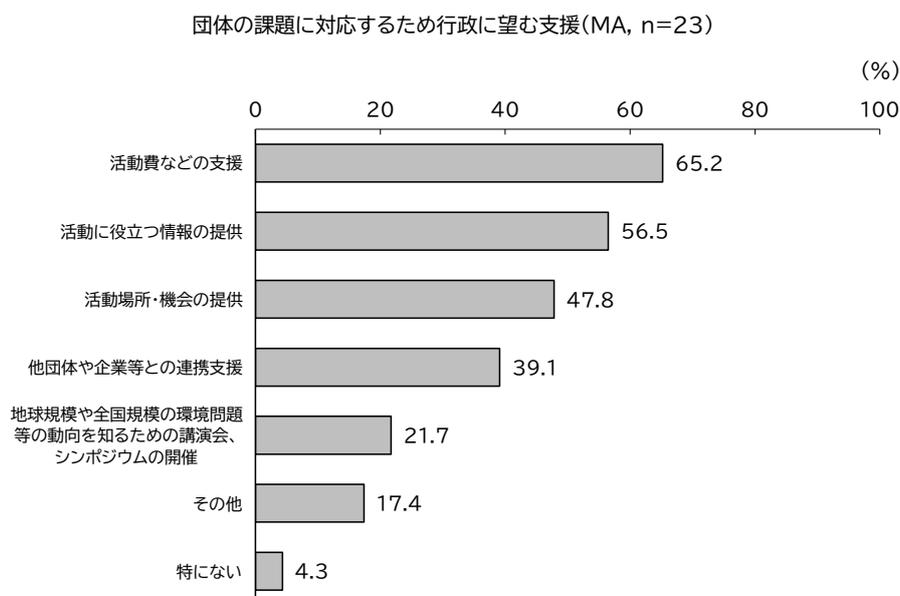
【活動分野・活動形態】

活動分野について、「森林(竹林)保全」が最も多くなっています。活動形態について、「実践活動」「普及・啓発活動」が多くなっています。



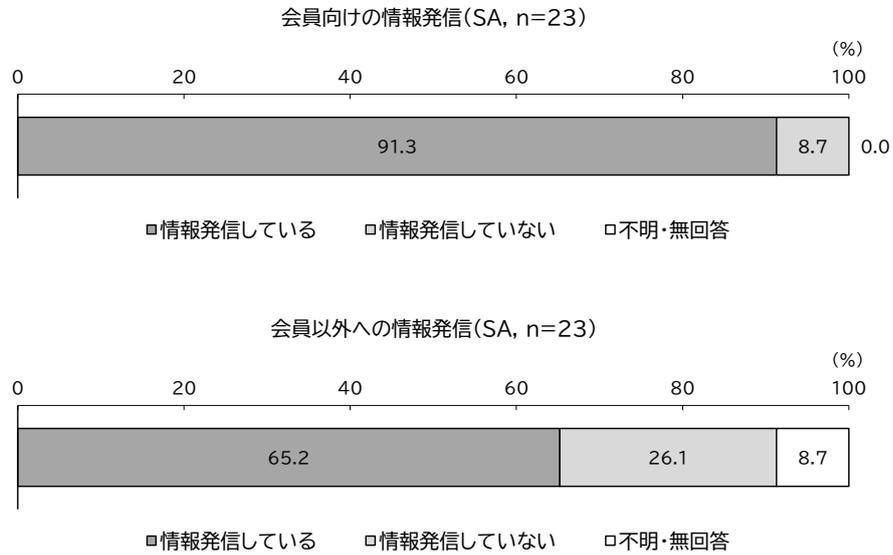
【行政に望む支援】

団体が抱える課題に対応するため行政に望む支援として、「活動費などの支援」が最も多くなっています。

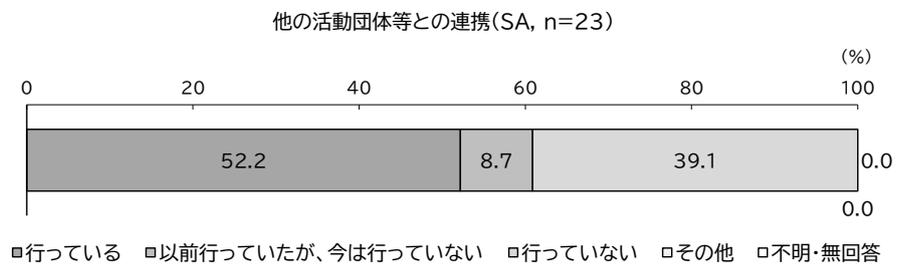


【情報発信・他団体との連携】

情報発信について、会員向けに「情報発信している」がおよそ 9 割、会員以外に「情報発信している」がおよそ 7 割となっています。



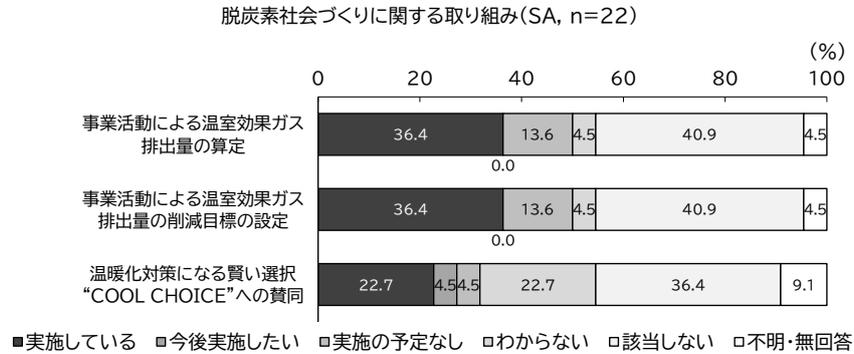
他の活動団体等との連携について、「行っている」「以前行っていたが、今は行っていない」がおよそ 6 割となっています。連携分野について、「情報交換」「共同イベント等」が多くなっています。



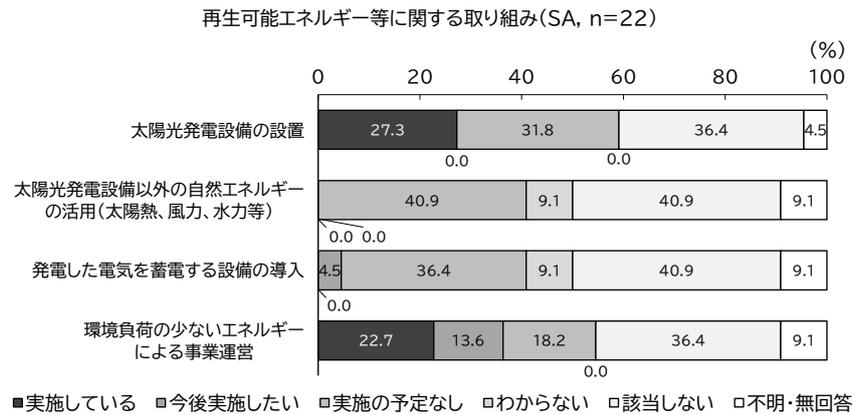
3. 事業者アンケートの概要

◎ 事業所での環境保全活動

脱炭素社会づくりに関する取り組みについて、「温暖化対策になる賢い選択“COOL CHOICE”への賛同」の「実施している」が少なくなっています。

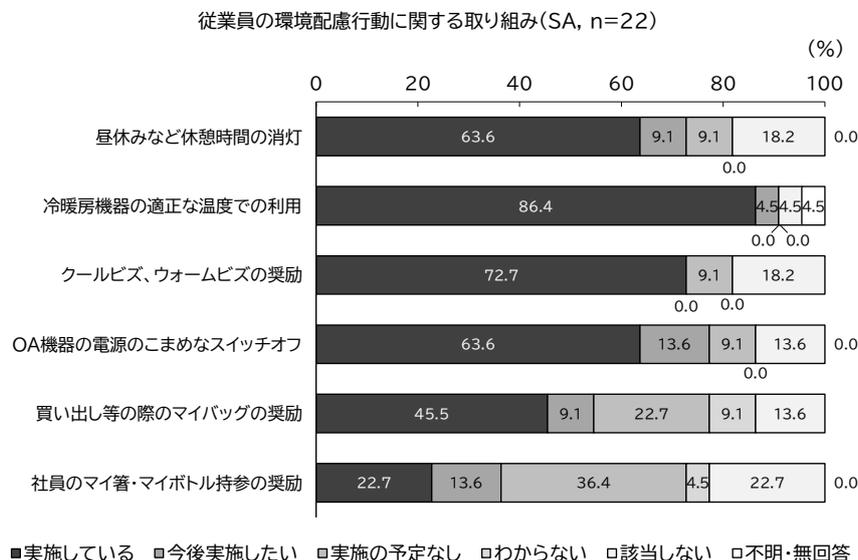


再生可能エネルギー等に関する取り組みについて、「環境負荷の少ないエネルギーによる事業運営」の「今後実施したい」が多くなっています。

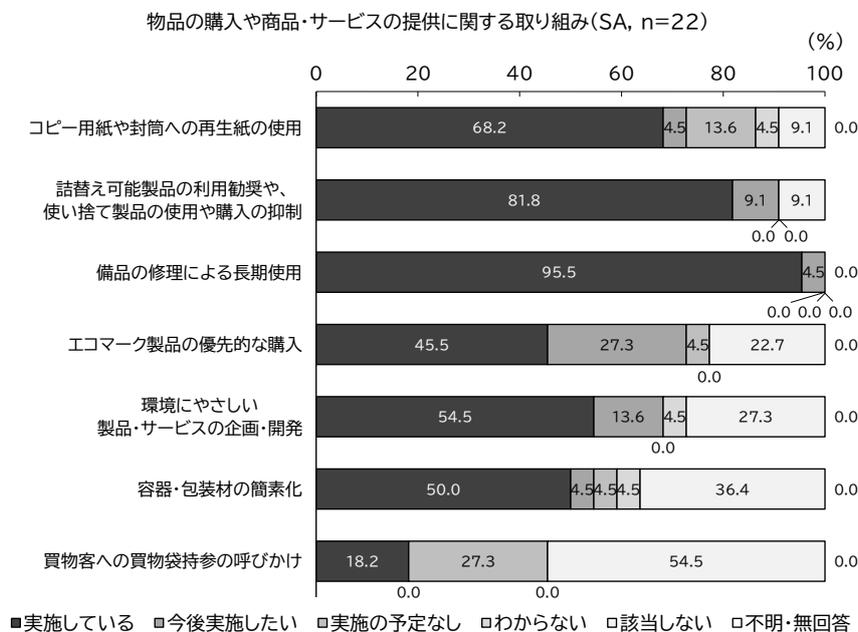


省エネルギーに関する取り組みについて、いずれの設問も「実施している」が50%を下回っていますが、「今後実施したい」については、1割前後に留まっています。

従業員の環境配慮行動に関する取り組みについて、「冷暖房機器の適正な温度での利用」の「実施している」が多くなっています。「買い出し等の際のマイバッグの奨励」「社員のマイ箸・マイボトル持参の奨励」の「実施している」が少なく、「実施の予定なし」が多くなっています。

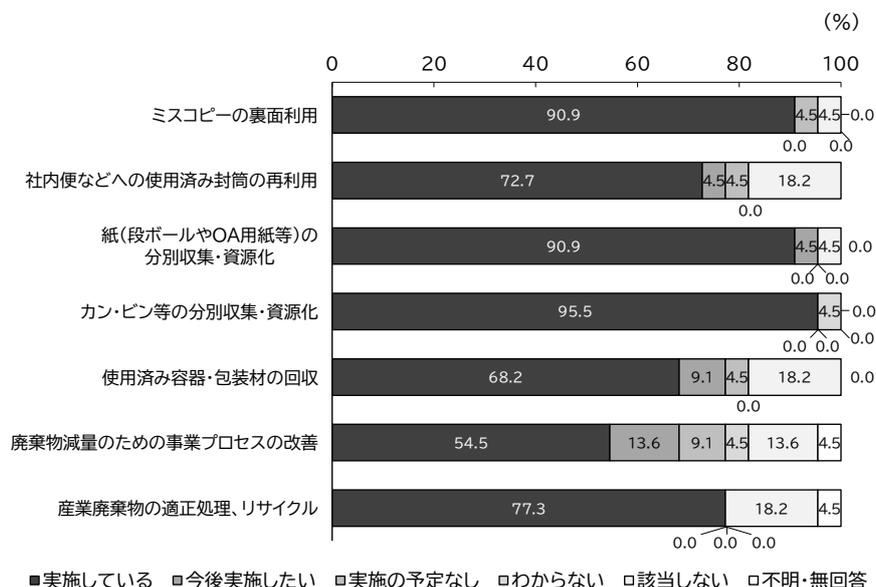


物品の購入や商品・サービスの提供に関する取り組みについて「備品の修理による長期利用」の「実施している」が多くなっています。「エコマーク製品の優先的な購入」の「今後実施したい」が多くなっています。



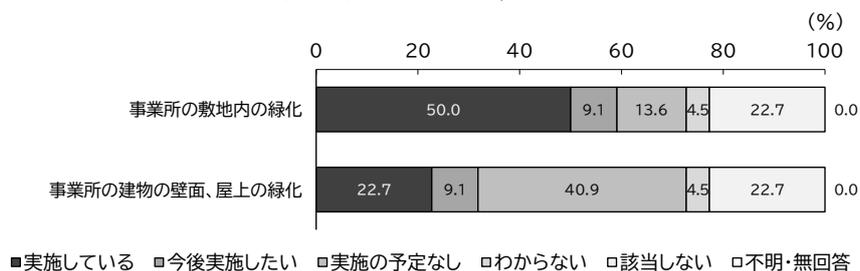
廃棄物の減量・リサイクルに関する取り組みについて、「廃棄物減量のための事業プロセスの改善」の「実施している」が少なく、「今後実施したい」が多くなっています。

廃棄物の減量・リサイクルに関する取り組み(SA, n=22)



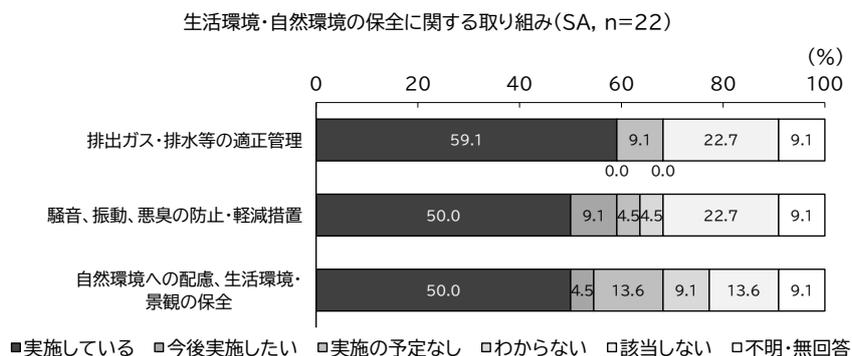
緑化に関する取り組みについて、「事業所の敷地内の緑化」の「実施している」が多くなっています。「事業所の建物の壁面、屋上の緑化」の「実施の予定なし」が多くなっています。

緑化に関する取り組み(SA, n=22)



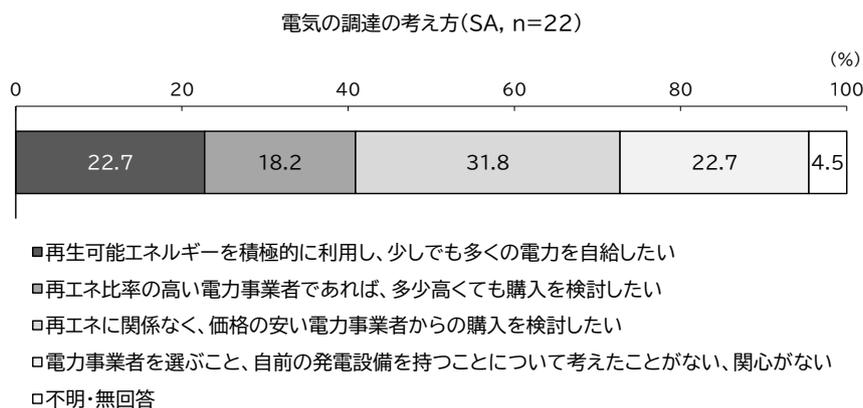
水に関する取り組みについて、「透水性舗装や浸透ますの設置など、雨水の地下浸透の工夫」の「実施している」が少なくなっています。いずれの取り組みも「実施の予定なし」が多くなっています。

生活環境・自然環境の保全に関する取り組みについて、いずれの設問も「実施している」が 50%以上となっています。



◎ 環境に関する経営・管理手法

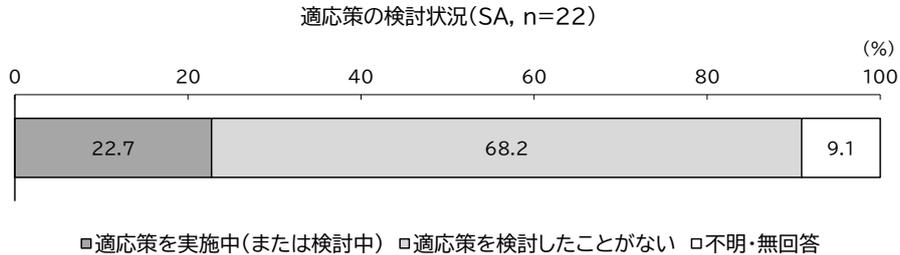
電気の調達の方針について、およそ 2 割が「再生可能エネルギーを積極的に利用し、少しでも多くの電力を自給したい」、およそ 2 割が「再エネ比率の高い電力事業者であれば、多少高くても購入を検討したい」、およそ 3 割が「再エネに関係なく、価格の安い電力事業者からの購入を検討したい」、およそ 2 割が「電力事業者を選ぶこと、自前の発電設備を持つことについて考えたことがない、関心がない」となっています。



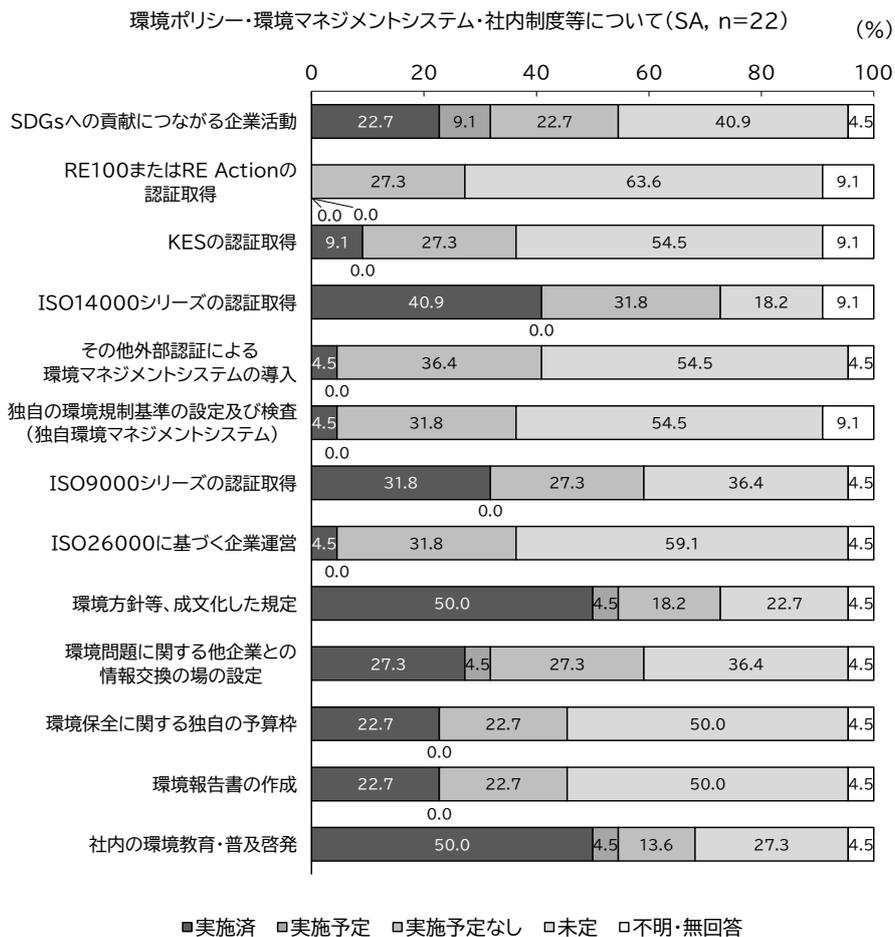
長岡京市内に地域密着型の電力事業者が現れたと仮定した場合、およそ 1 割が「これまでより多少高くても、購入したい」または「価格がこれまでと同程度なら、購入してもよい」、およそ 4 割が「これまでより安く売ってもらえるなら購入してもよい」となっています。およそ 4 割は「これまでの契約先から変えるつもりはない」となっています。

気候変動への適応策について、「適応策を実施中(または検討中)」がおよそ2割となっています。

具体的には、気温上昇による熱中症リスクやエネルギー使用量の増加、災害の発生などに備えた適応策を実施、検討しています。

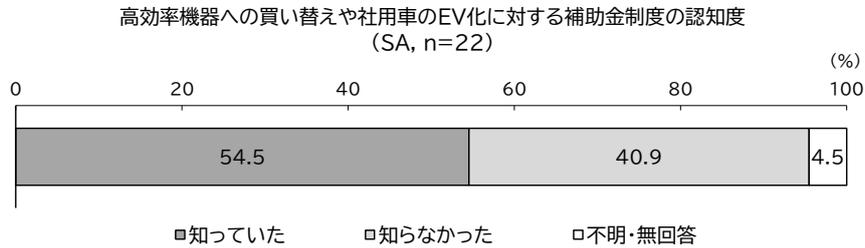


環境ポリシー・環境マネジメントシステム・社内制度等についての取り組みとして、「環境方針等、成文化した規定」「社内の環境教育・普及啓発」の「実施済」が多くなっています。「SDGs への貢献につながる企業活動」の「実施予定」が多くなっています。「その他外部認証による環境マネジメントシステムの導入」「ISO14000 シリーズの認証取得」「独自の環境規制基準の設定及び検査(独自環境マネジメントシステム)」「ISO26000 に基づく企業運営」の「実施予定なし」が多くなっています。

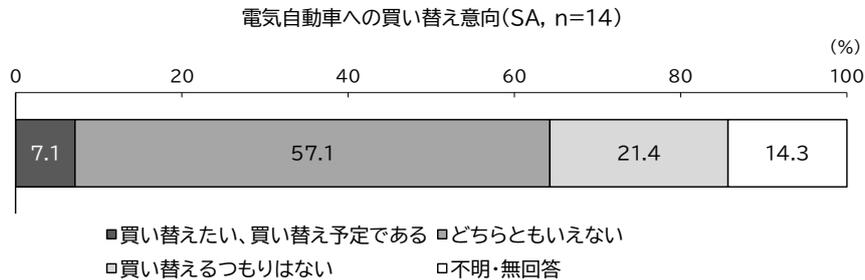
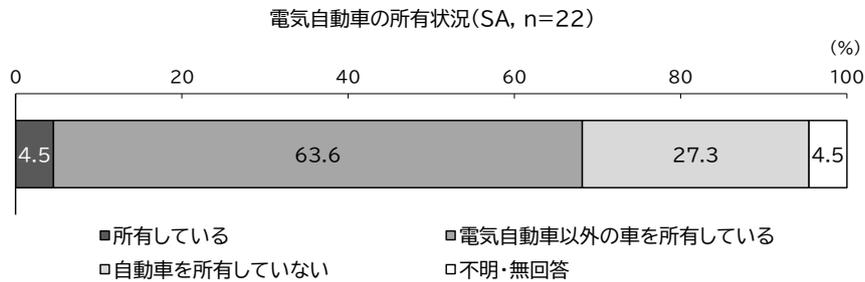


◎ 高効率機器の導入や社用車のEV化について

半数以上の事業所で、高効率機器への買い替えや社用車のEV化に対する補助金制度について、およそ5割が「知っていた」となっています。



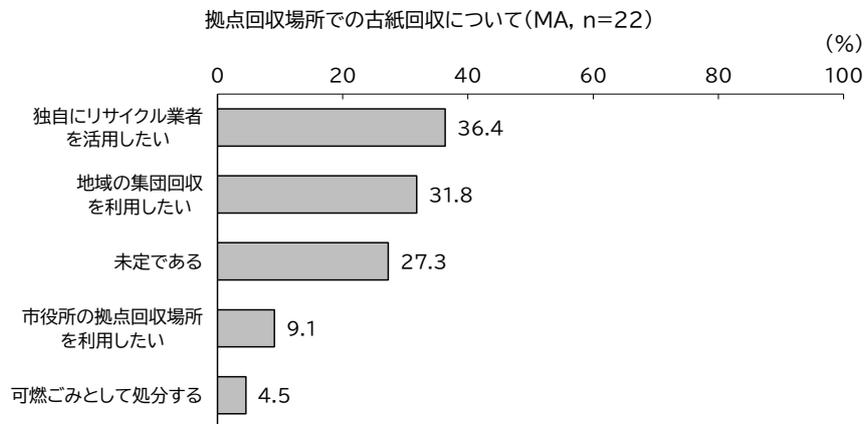
社用車として電気自動車を「所有している」はおよそ5%、今後の買い替えについて「買い替えた、買い替え予定である」はおよそ7%となっています。



電気自動車を導入する際の課題について、「事業所内での充電設備の設置」「外出時の充電ステーションの有無」「購入時の価格が高いこと」「維持管理を含めた総コストの見積り」が多くなっています。

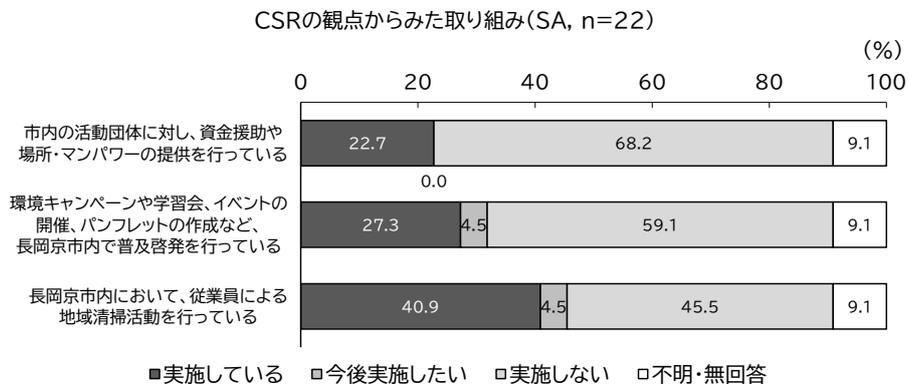
◎ ごみ減量に関する取り組み

古紙回収について、「独自にリサイクル業者を活用したい」が最も多くなっています。



◎ 長岡京市の環境政策や、地域と事業者との関わり

CSR の観点からみた取り組みについて、「長岡京市内において、従業員による地域清掃活動を行っている」の「実施している」が多くなっています。「市内の活動団体に対し、資金援助や場所・マンパワーの提供を行っている」の「実施しない」が多くなっています。

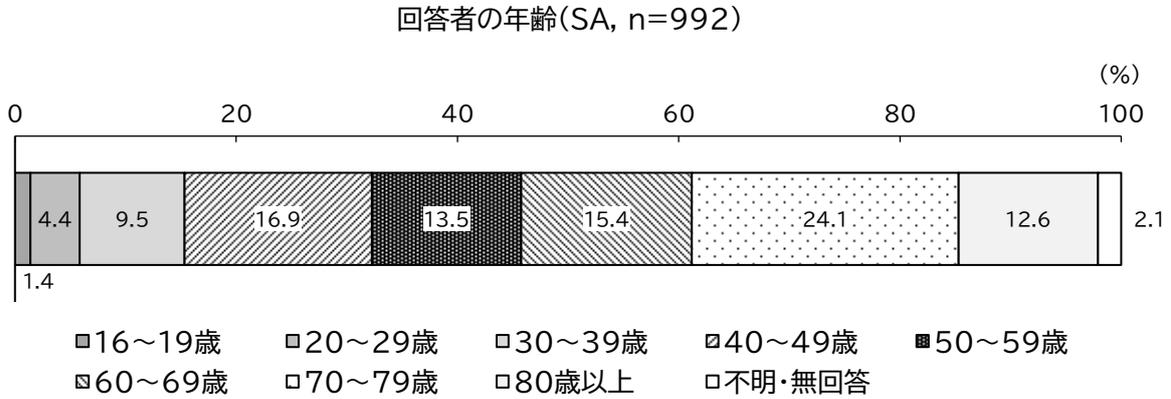


市民アンケートの結果

1. 回答者および回答者世帯について

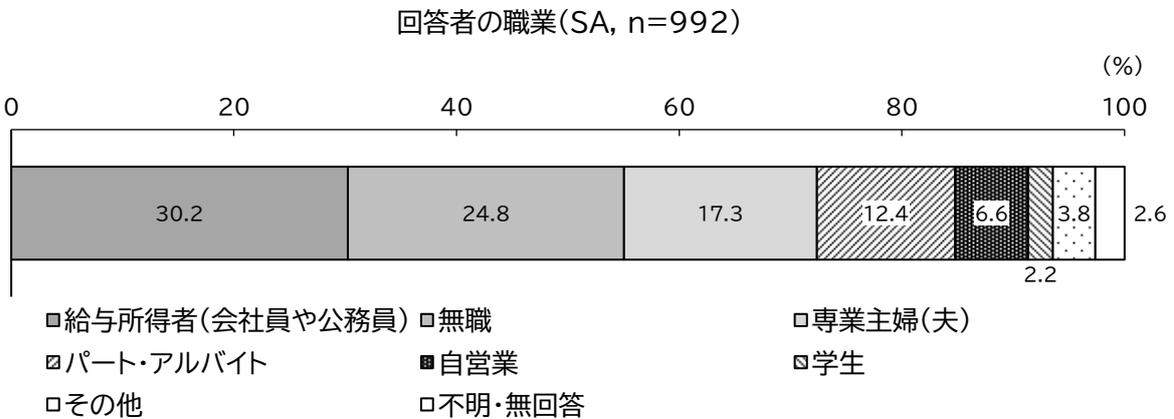
【年齢】

回答者の年齢について、最も多いのは「70～79歳」で24.1%、次いで「40～49歳」が16.9%、「60～69歳」が15.4%となっています。



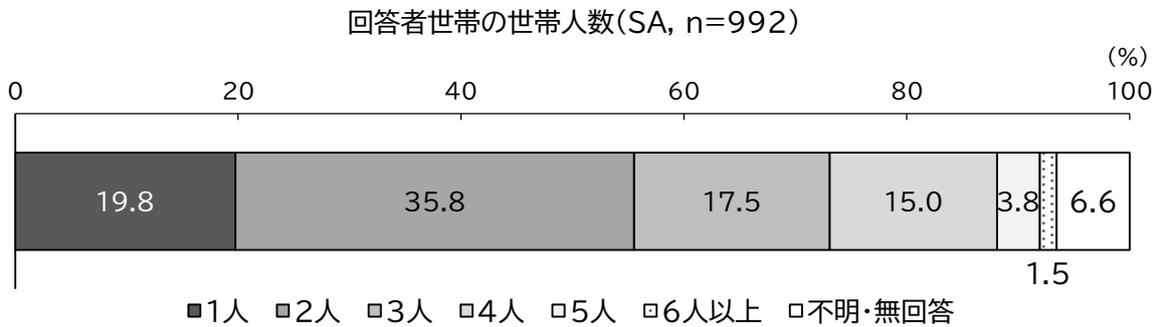
【職業】

回答者の職業について、最も多いのは「給与所得者(会社員や公務員)」で30.2%、次いで「無職」が24.8%、「専業主婦(夫)」が17.3%となっています。

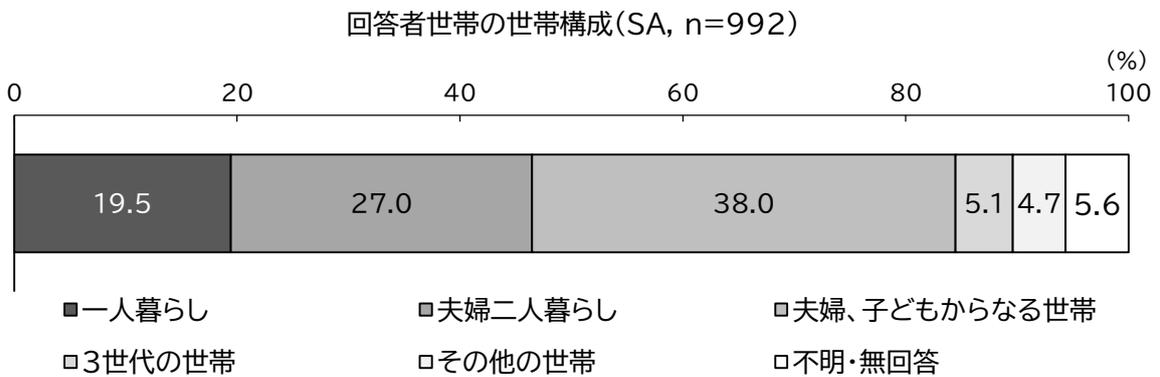


【世帯人数・世帯構成】

回答者世帯の世帯人数について、最も多いのは「2人」で35.8%、次いで「1人」が19.8%、「3人」が17.5%となっています。



世帯構成について、最も多いのは「夫婦、子どもからなる世帯」で38.0%、次いで「夫婦二人暮らし」が27.0%、「一人暮らし」が19.5%となっています。

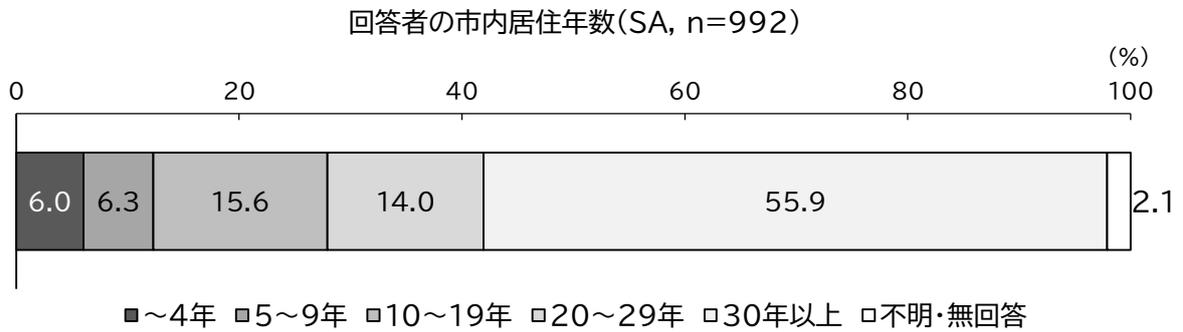


【居住地域】

回答者の居住地域を小学校区別で見ると、最も多いのは「長岡第五小学校区」で17.1%、次いで「長岡第四小学校区」が10.9%、「長岡第九小学校区」が10.6%となっています。

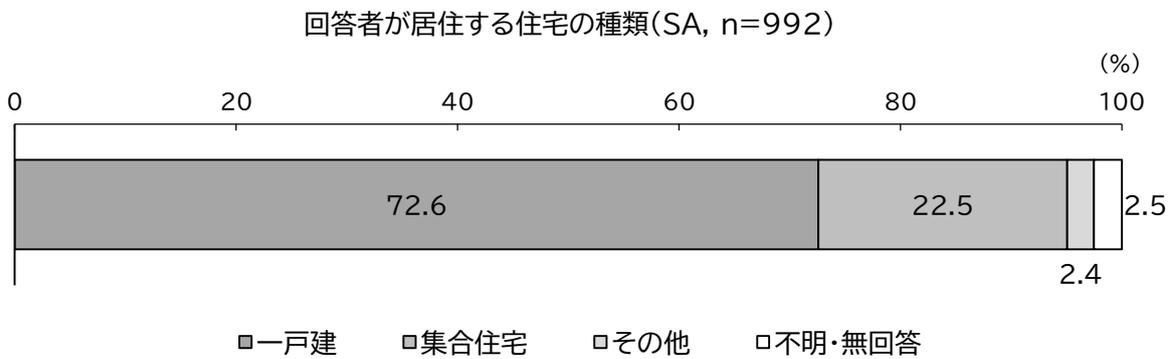
【居住年数】

回答者の長岡京市内での居住年数について、最も多いのは「30年以上」で 55.9%、次いで「10～19年」が 15.6%、「20～29年」が 14.0%となっています。



【住宅の種類】

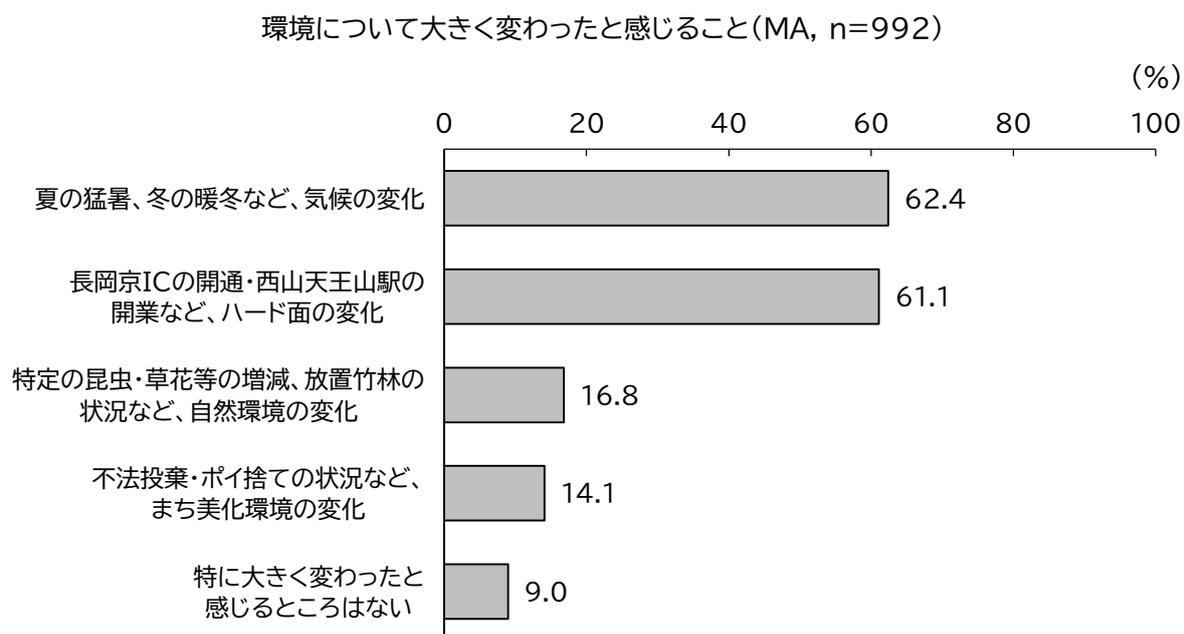
回答者が暮らす住宅の種類について、「一戸建」が 72.6%、「集合住宅」が 22.5%となっています。



2. 「環境」に関わること全般について

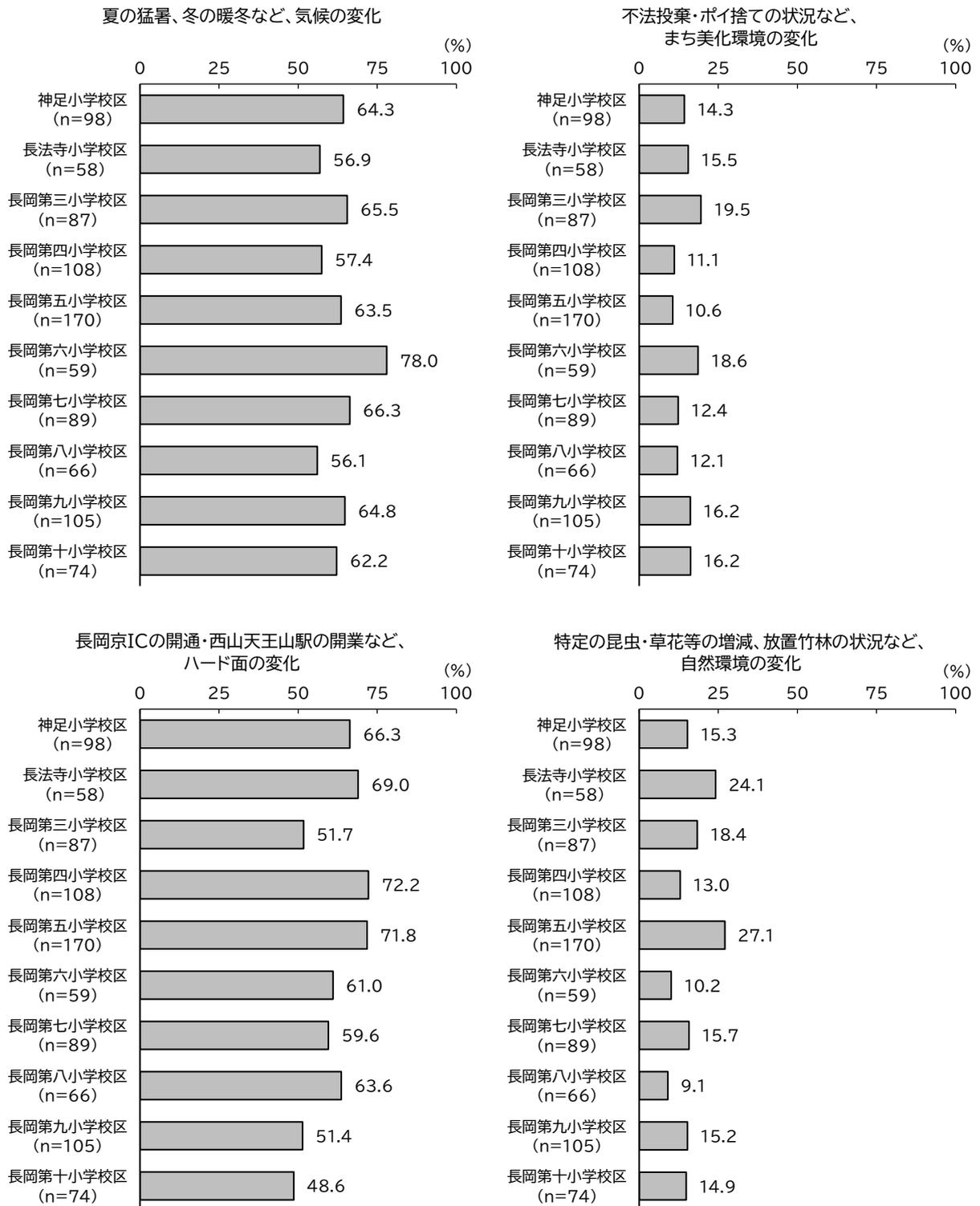
2.1. 環境について大きく変わったと感じること(問1)

ここ最近の長岡京市の環境について大きく変わったと感じることについて、最も多いのは「夏の猛暑、冬の暖冬など、気候の変化」で62.4%、次いで「長岡京 IC の開通・西山天王山駅の開業など、ハード面の変化」が61.1%、「特定の昆虫・草花等の増減、放置竹林の状況など、自然環境の変化」が16.8%となっています。

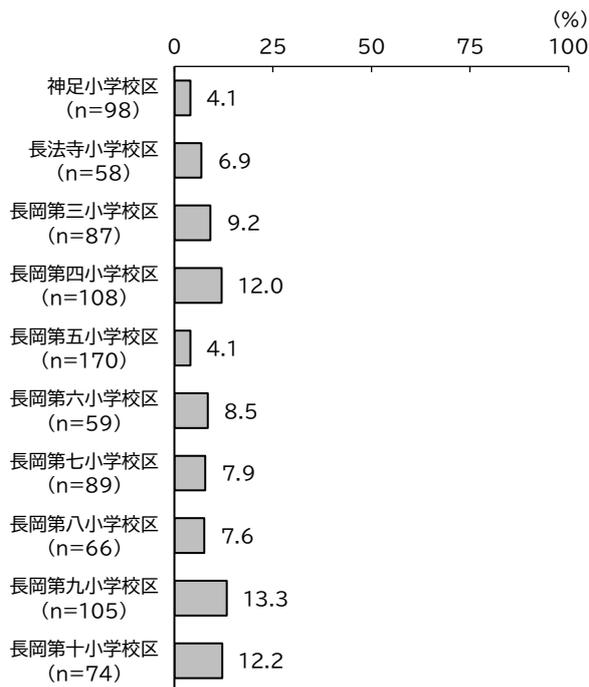


【居住地域との関係】

地域別にみると、「神足小学校区」「長法寺小学校区」「長岡第四小学校区」「長岡第五小学校区」「長岡第八小学校区」では「長岡京 IC の開通・西山天王山駅の開業など、ハード面の変化」が最も多くなっています。「長岡第五小学校区」では「特定の昆虫・草花等の増減、放置竹林の状況など、自然環境の変化」が多くなっています。



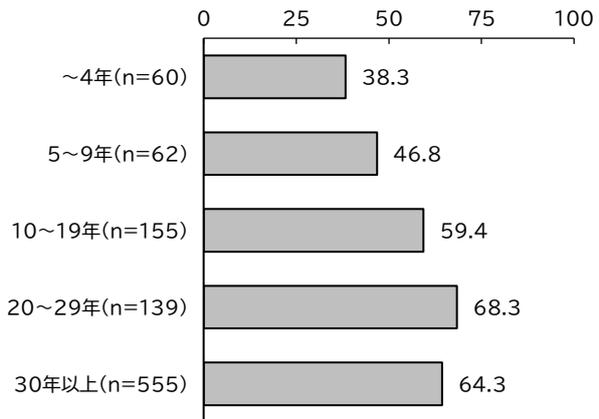
特に大きく変わったと感じるところはない



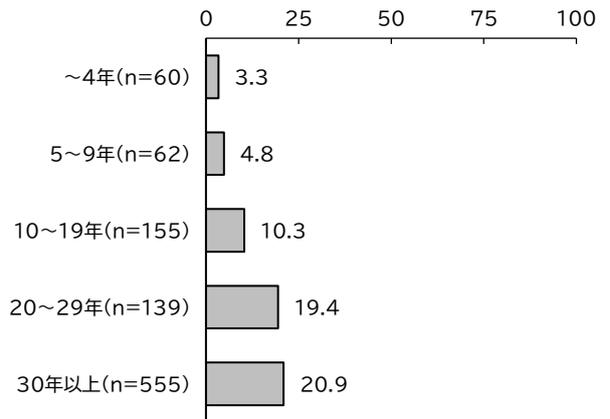
【居住年数との関係】

居住地域別にみると、「～4年」では「夏の猛暑、冬の暖冬など、気候の変化」と「長岡京 IC の開通・西山天王山駅の開業など、ハード面の変化」が同率で、「10～19年」「20～29年」では「長岡京 IC の開通・西山天王山駅の開業など、ハード面の変化」が最も多くなっています。また、居住年数が長いほど、変わったと感じることが多く挙げられています。

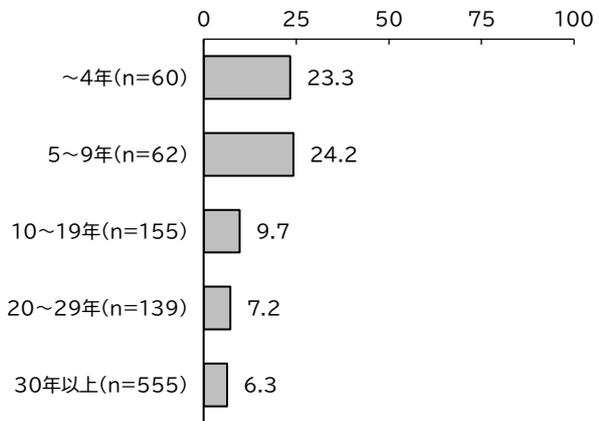
長岡京ICの開通・西山天王山駅の開業など、ハード面の変化 (%)



特定の昆虫・草花等の増減、放置竹林の状況など、自然環境の変化 (%)



特に大きく変わったと感じるところはない (%)



2.2. 現在の生活の「身近な環境」について(問 2)

現在の生活の「身近な環境」について、「満足している」が最も多いのは「日常生活の便利さ」で 21.0%、次いで「西山など自然環境の身近さ」が 19.2%、「騒音・振動などがないこと」が 15.4%となっています。

「まあ満足している」が最も多いのは「空気や水のきれいさ、まちのみどりの豊富さ」で 56.0%、次いで「衛生的なまちであること」が 55.5%、「西山など自然環境の身近さ」が 52.5%となっています。

「どちらともいえない」が最も多いのは「近所付き合いなど近隣の人間関係」で 40.0%、次いで「農地・農空間の美しさ・身近さ」が 36.8%、「災害・犯罪・交通事故等の危険が少ないこと」が 36.0%となっています。

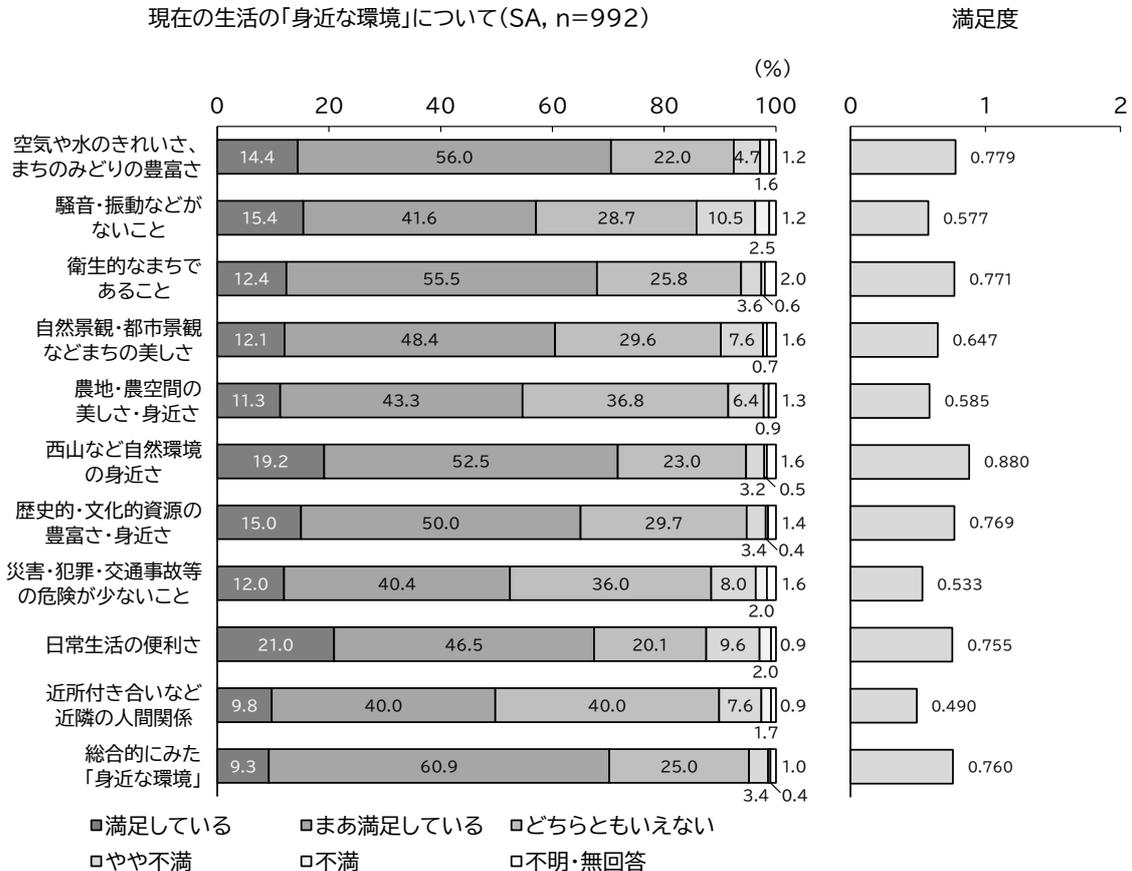
「やや不満」が最も多いのは「騒音・振動などがないこと」で 10.5%、次いで「日常生活の便利さ」が 9.6%、「災害・犯罪・交通事故等の危険が少ないこと」が 8.0%となっています。

「不満」が最も多いのは「騒音・振動などがないこと」で 2.5%、次いで「災害・犯罪・交通事故等の危険が少ないこと」「日常生活の便利さ」が 2.0%となっています。

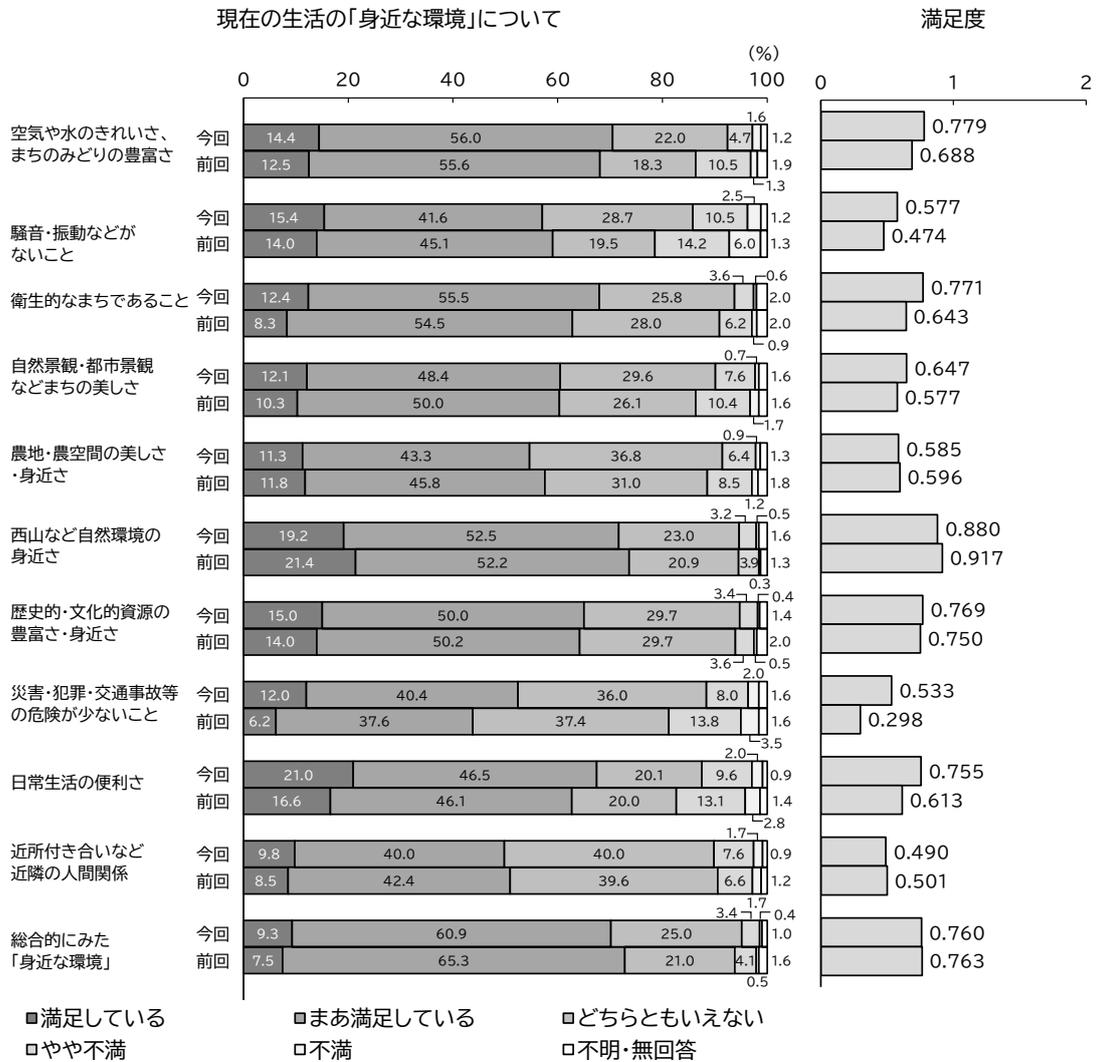
「総合的にみた「身近な環境」」について、「満足している」が 9.3%、「まあ満足している」が 60.9%、「どちらともいえない」が 25.0%、「やや不満」が 3.4%、「不満」が 0.4%となっています。

「満足している」を 2 点、「まあ満足している」を 1 点、「どちらともいえない」を 0 点、「やや不満」を-1 点、「不満」を-2 点としたときの平均点(「不明・無回答」を除く)を「満足度」とすると、満足度が最も高いのは「西山など自然環境の身近さ」で 0.880 点、次いで「空気や水のきれいさ、まちのみどりの豊富さ」が 0.779 点、「衛生的なまちであること」が 0.771 点となっています。

「総合的にみた「身近な環境」」の満足度は 0.760 点となっています。

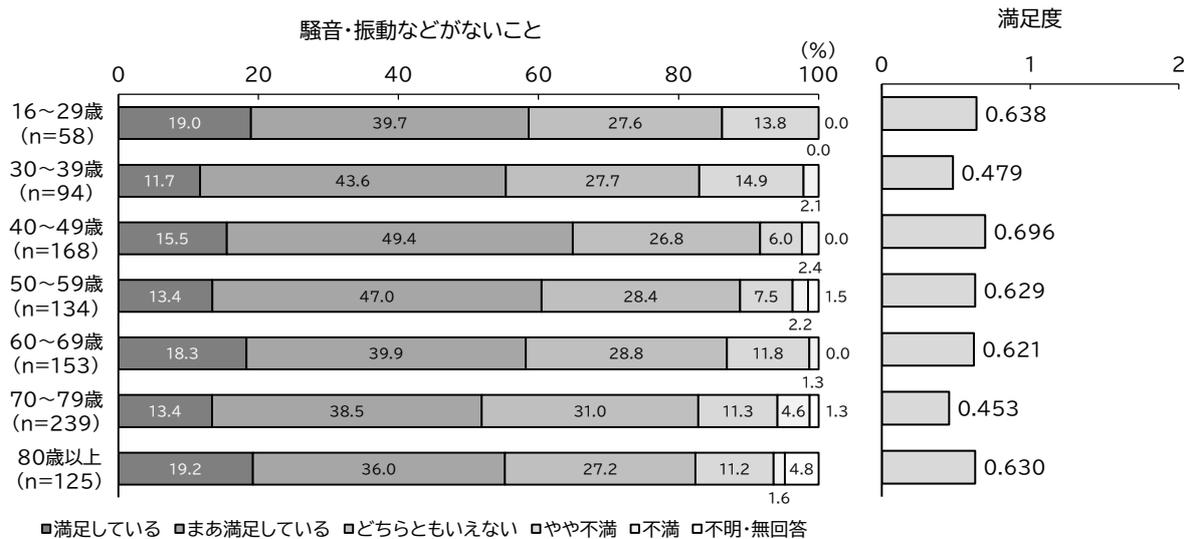
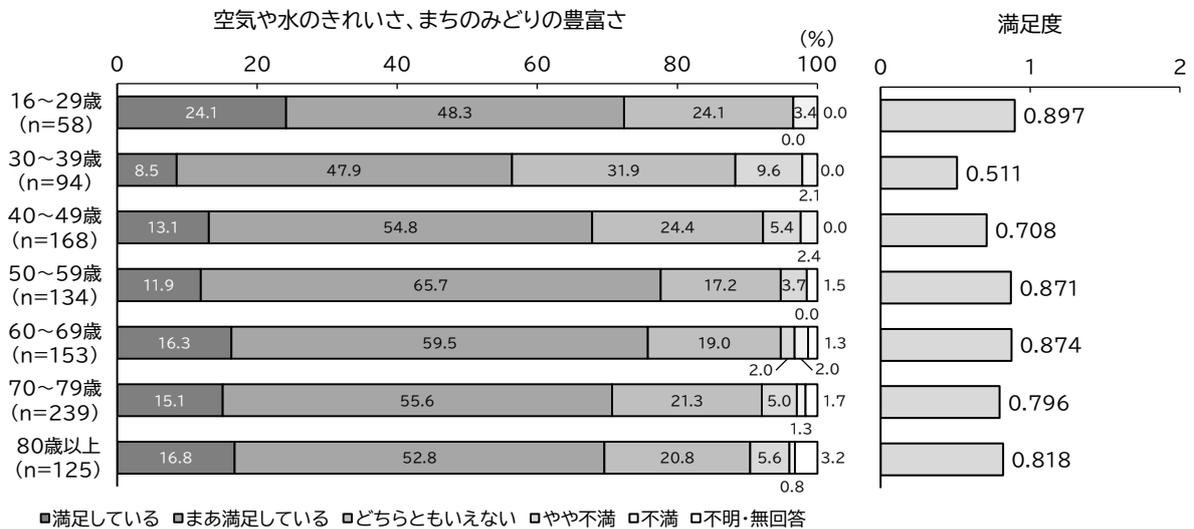


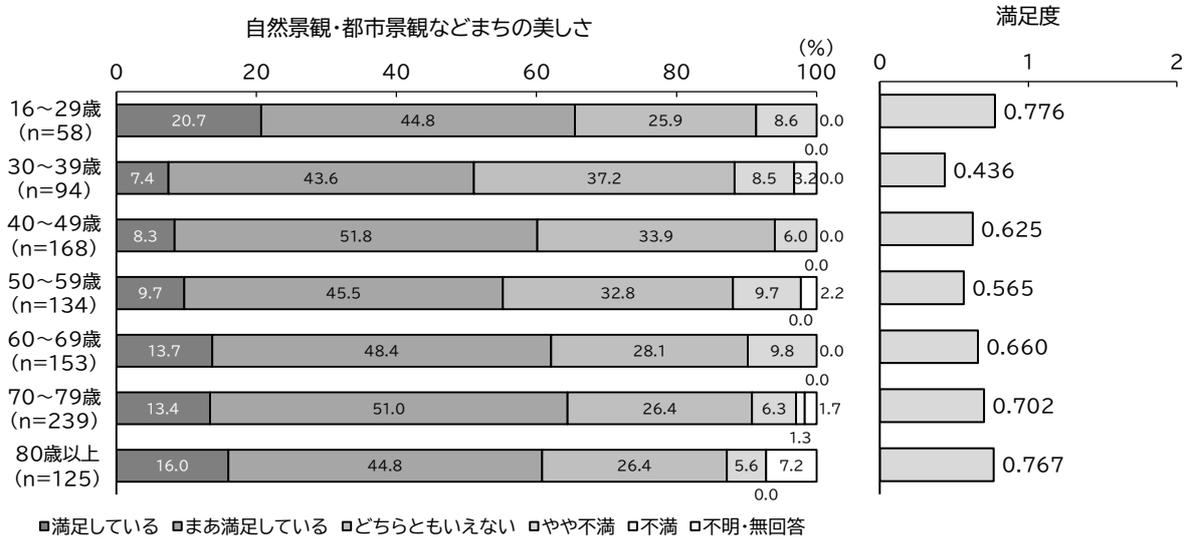
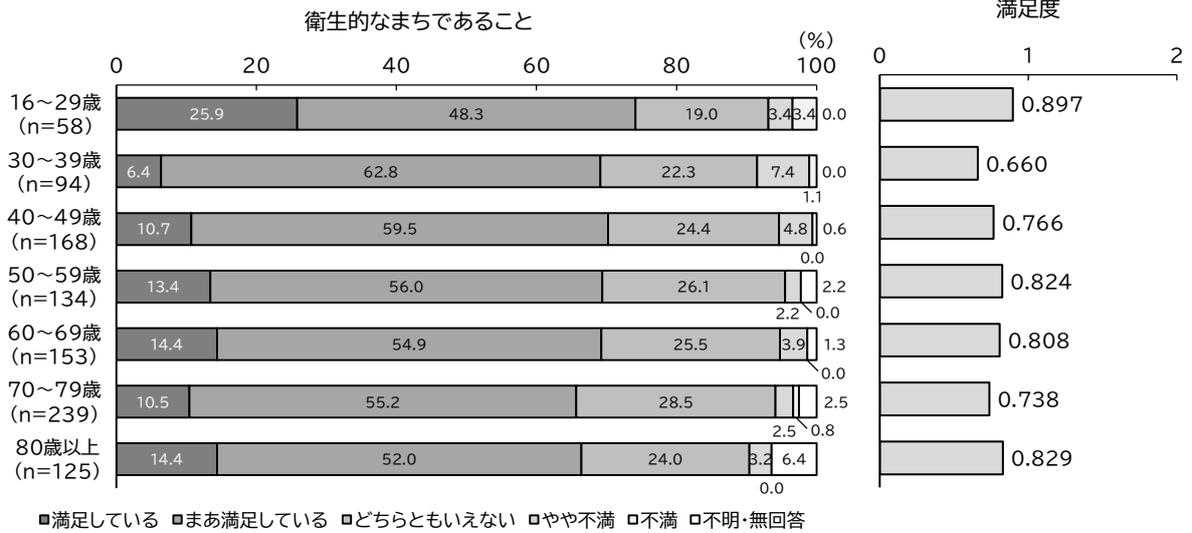
平成 23(2011)年度に実施した、第二期計画策定のための市民アンケート(以下、「前回アンケート」)の結果と比較すると、「空気や水のきれいさ、まちのみどりの豊富さ」「騒音・振動などがないこと」「衛生的なまちであること」「災害・犯罪・交通事故等の危険が少ないこと」「日常生活の便利さ」で満足度が高くなっています。

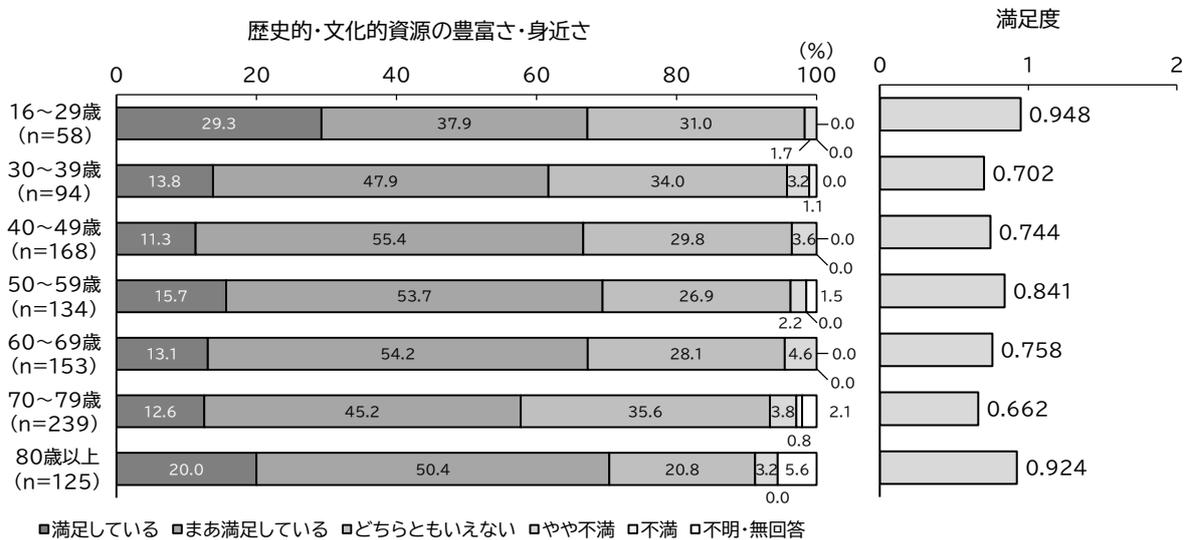
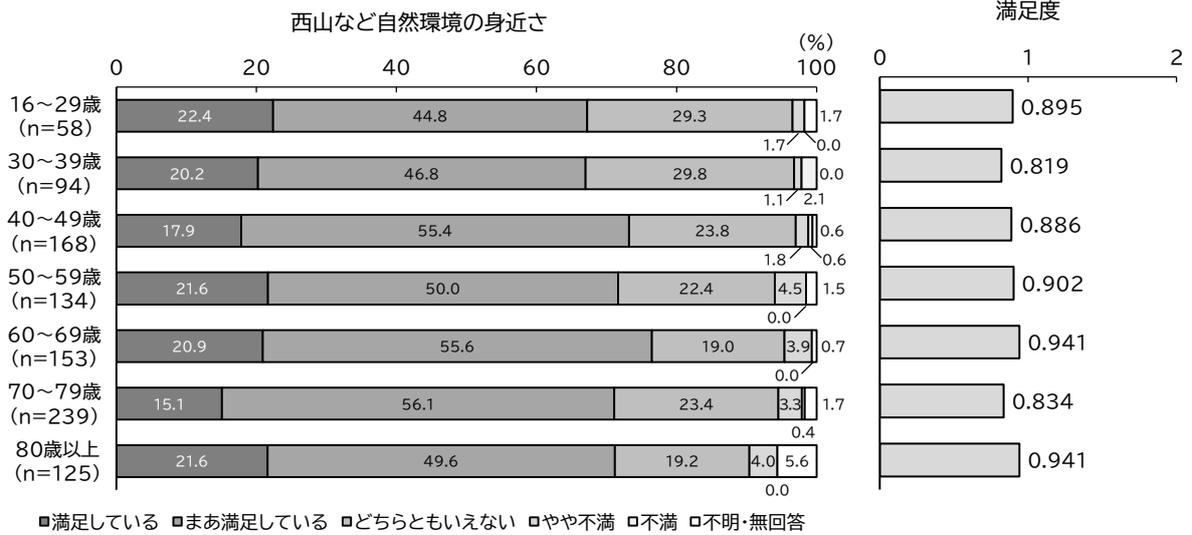


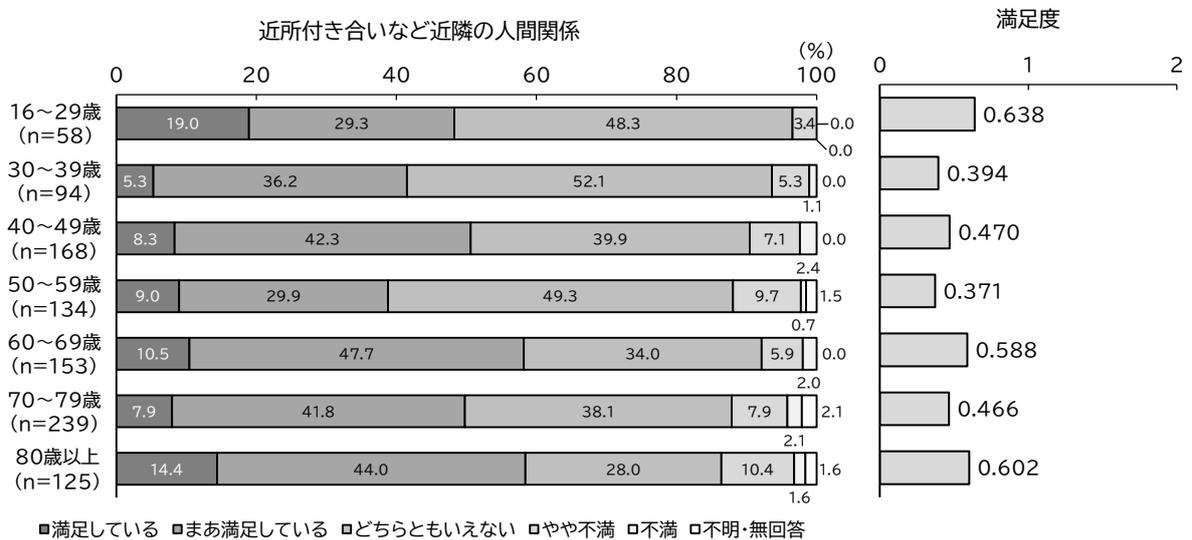
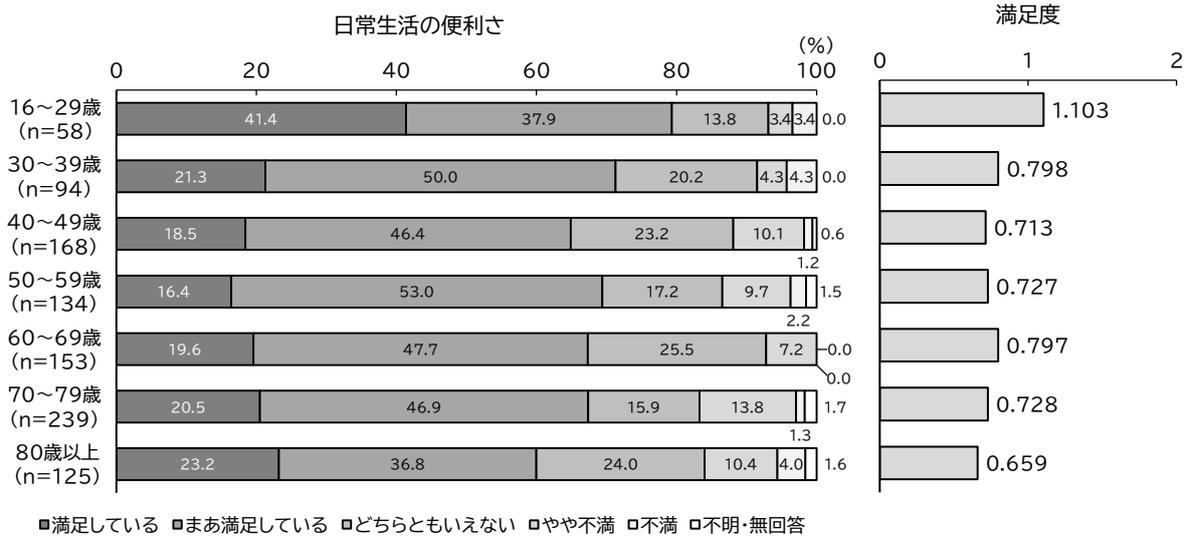
【年齢との関係】

年齢別で満足度について、「16～29 歳」では「日常生活の便利さ」「総合的にみた「身近な環境」」が多く、「30～39 歳」では「空気や水のきれいさ、まちのみどりの豊富さ」「自然景観・都市景観などまちの美しさ」が少なく、「80 歳以上」では「歴史的・文化的資源の豊富さ・身近さ」が多くなっています。



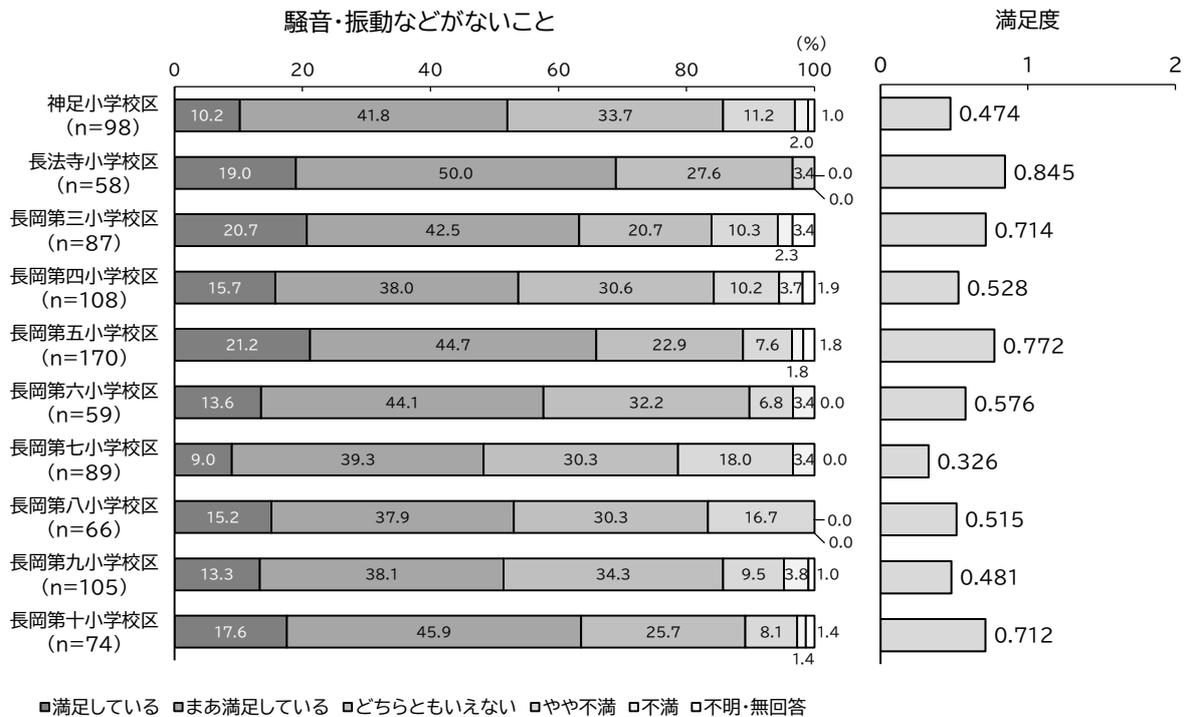
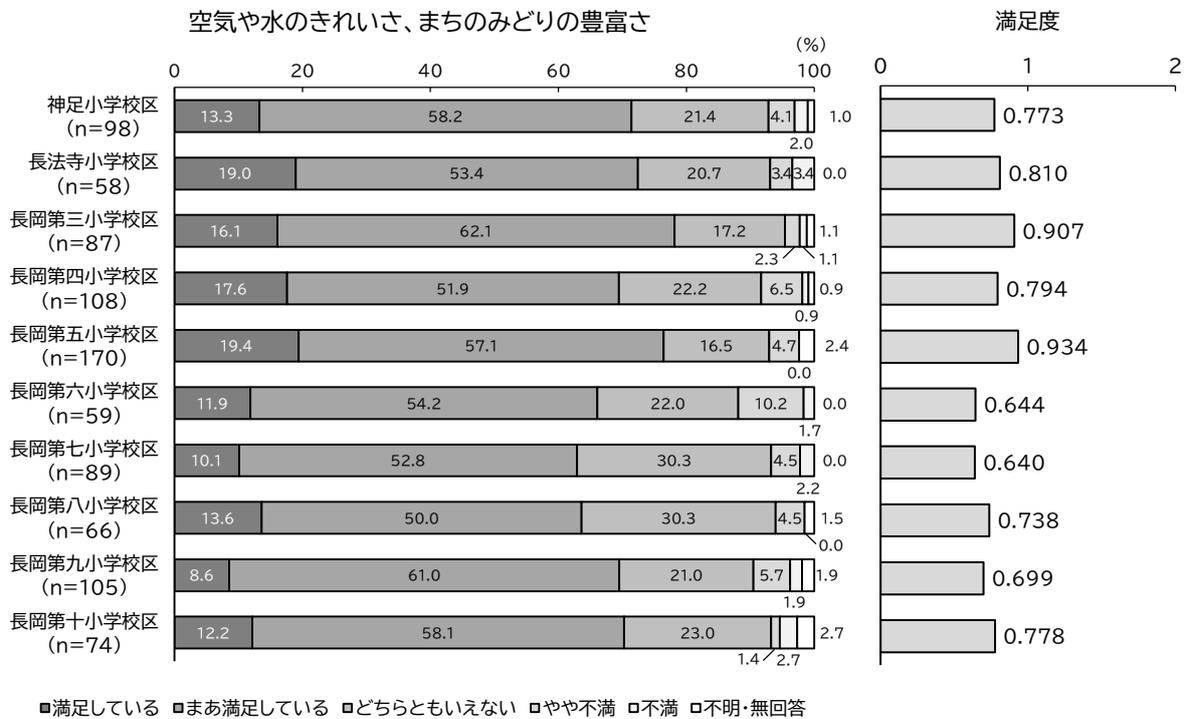


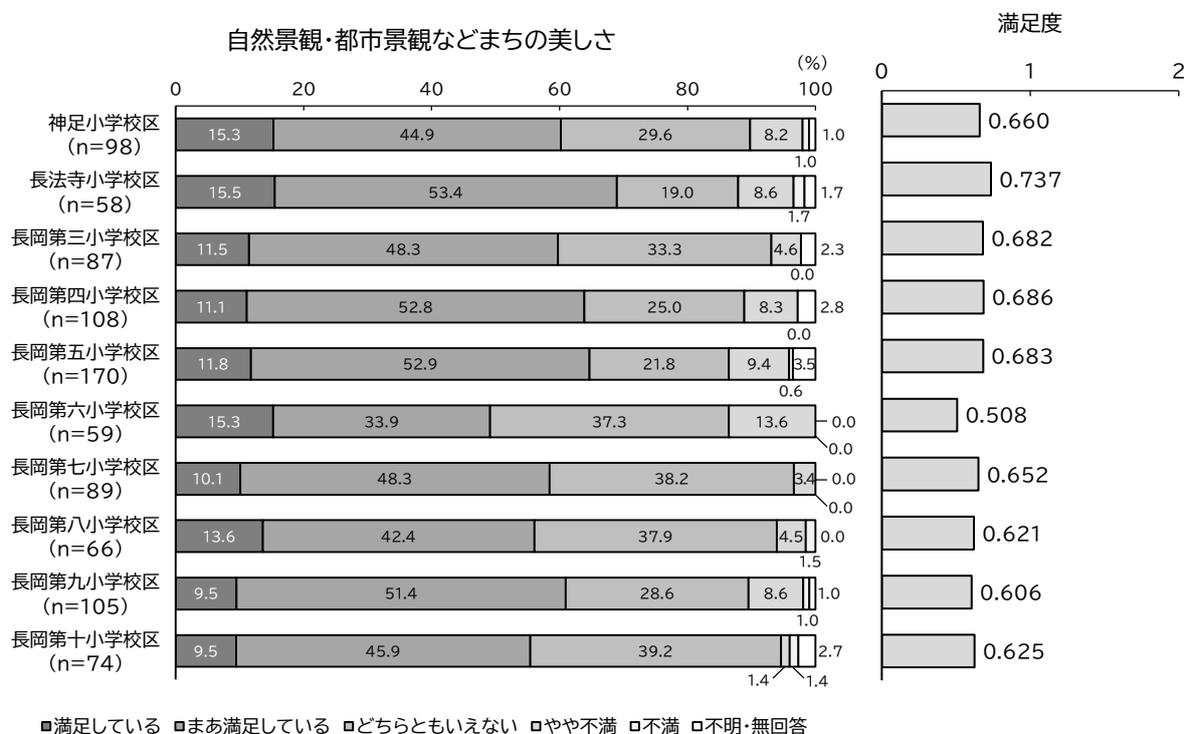
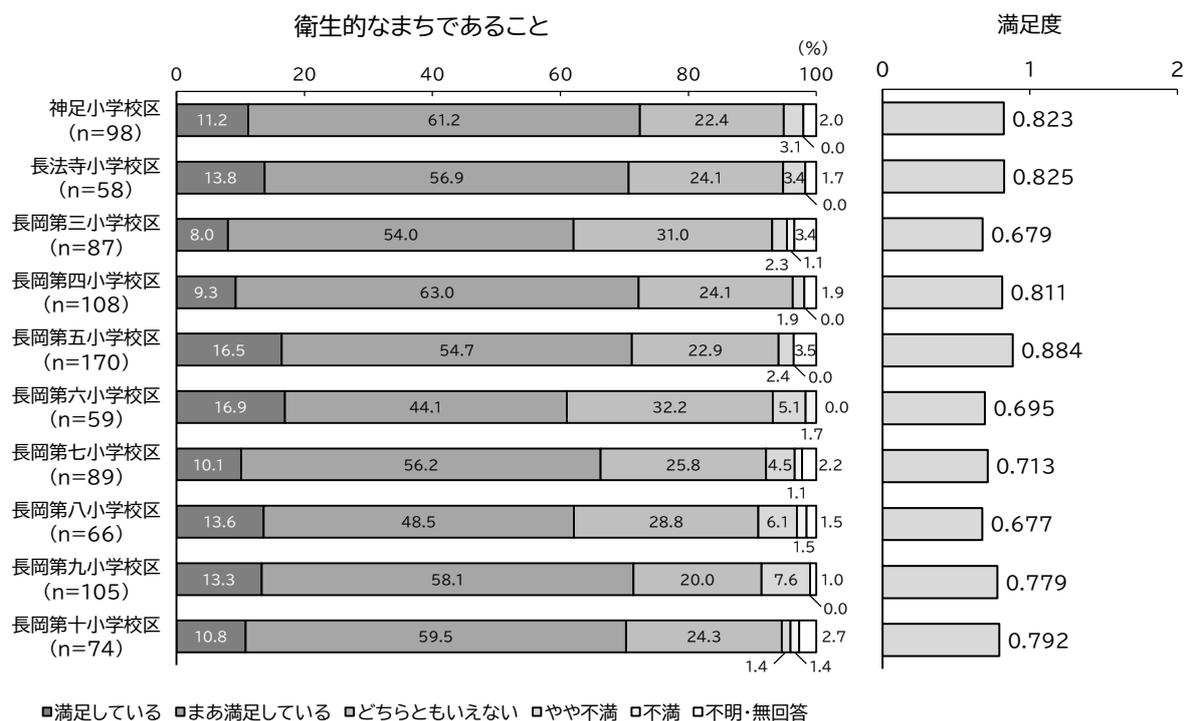


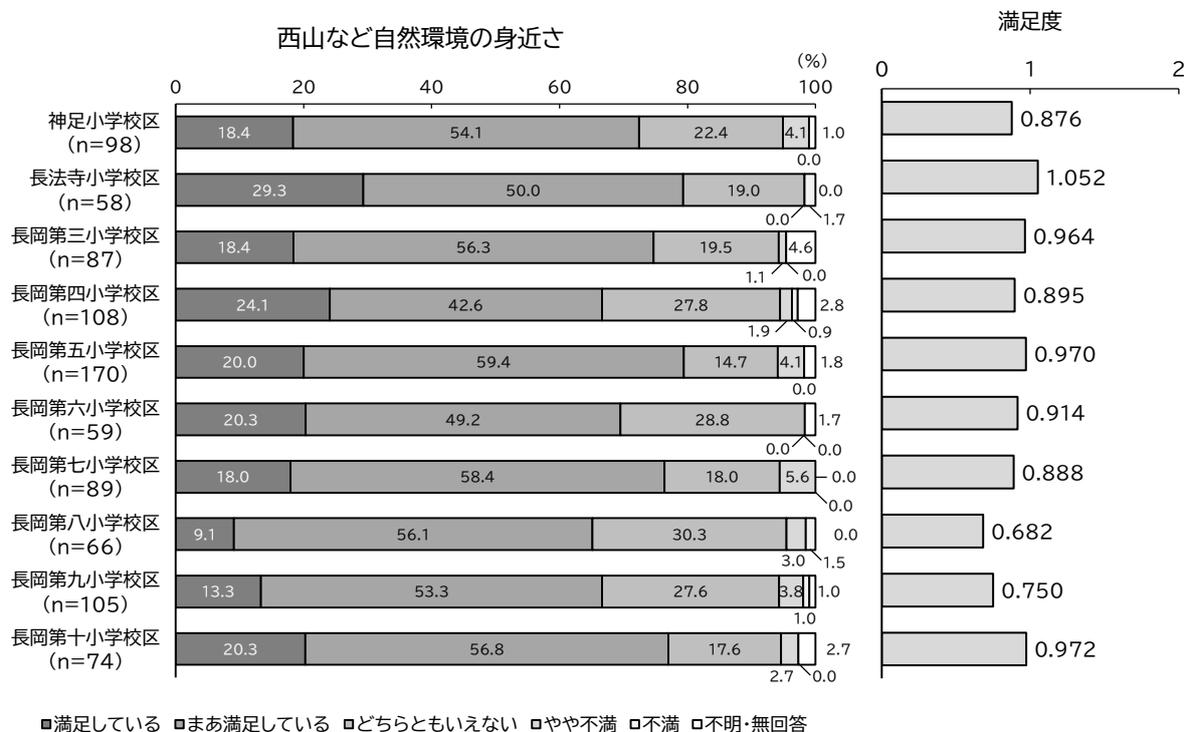
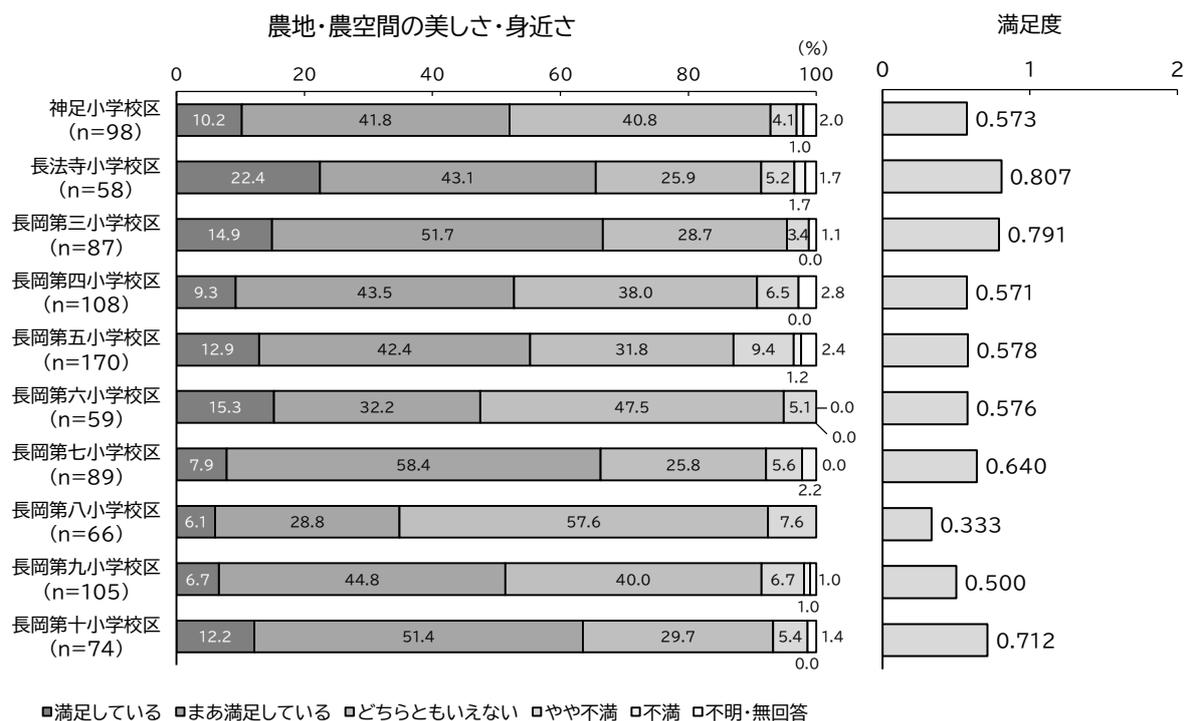


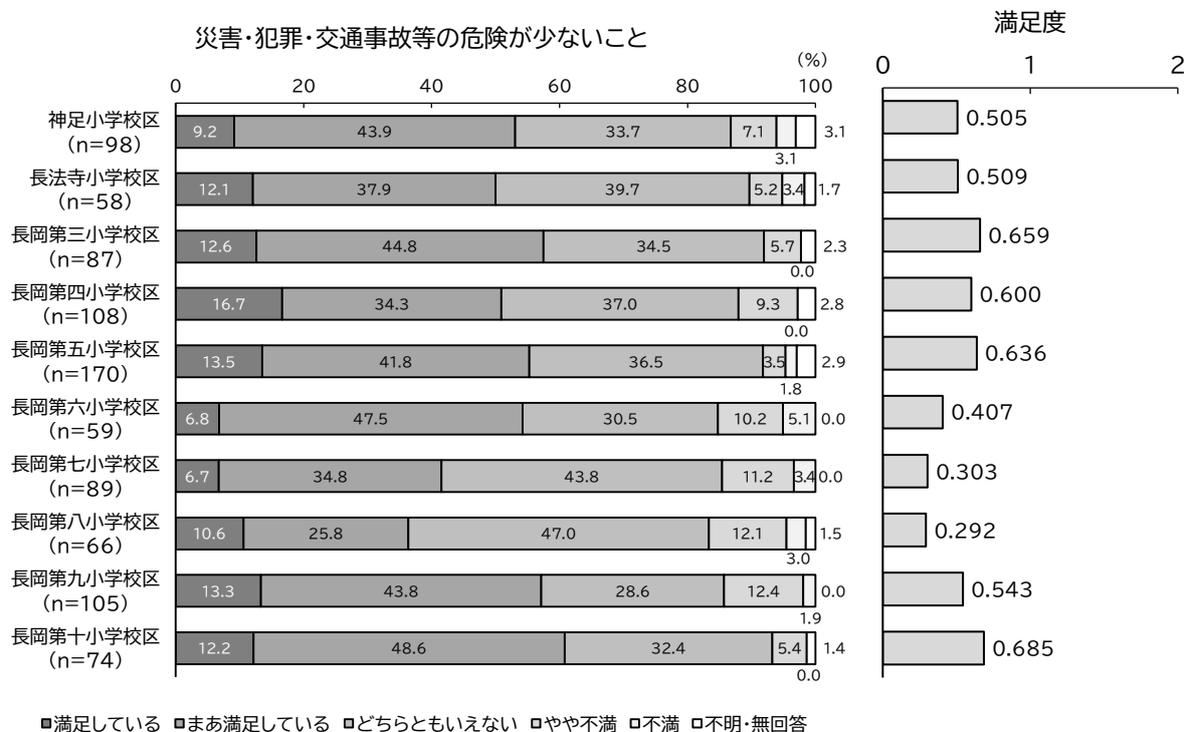
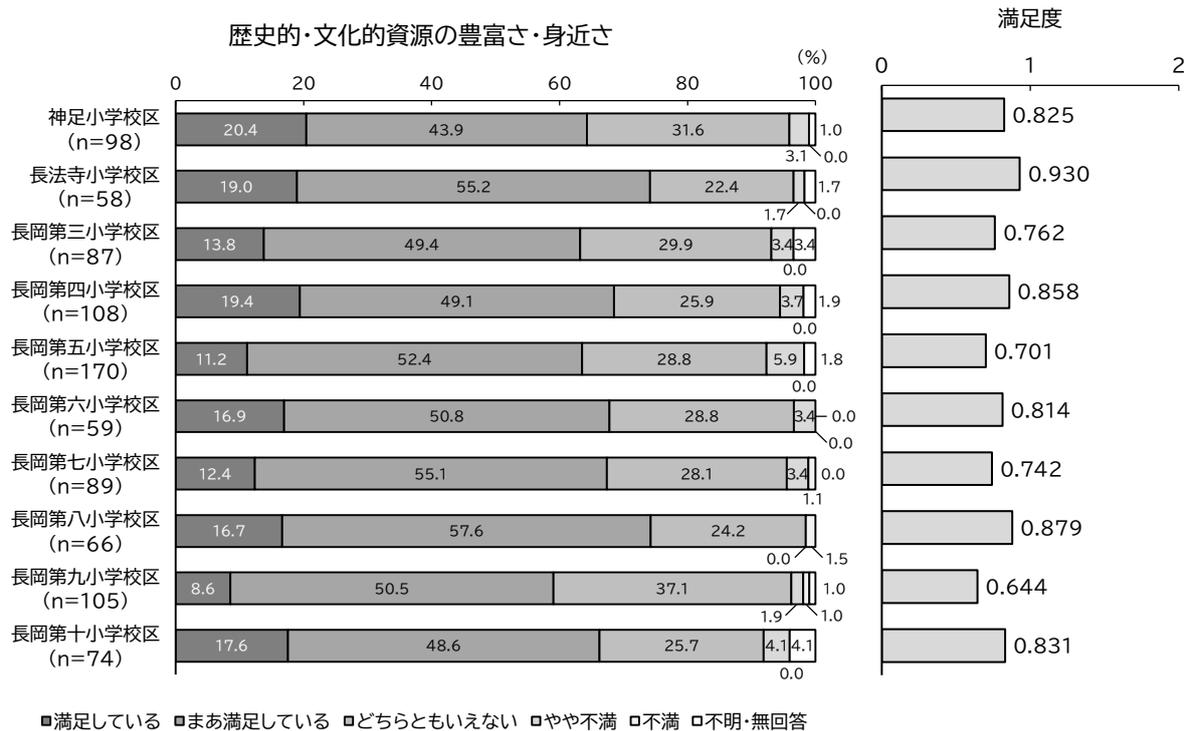
【居住地域との関係】

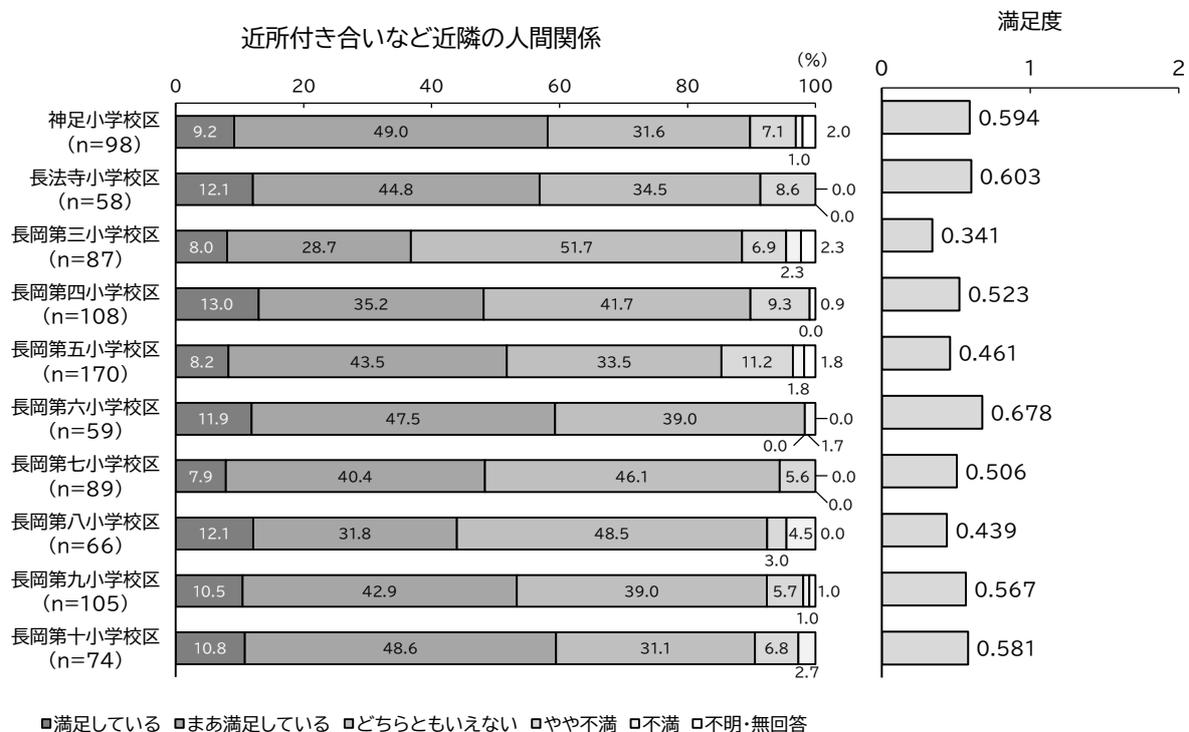
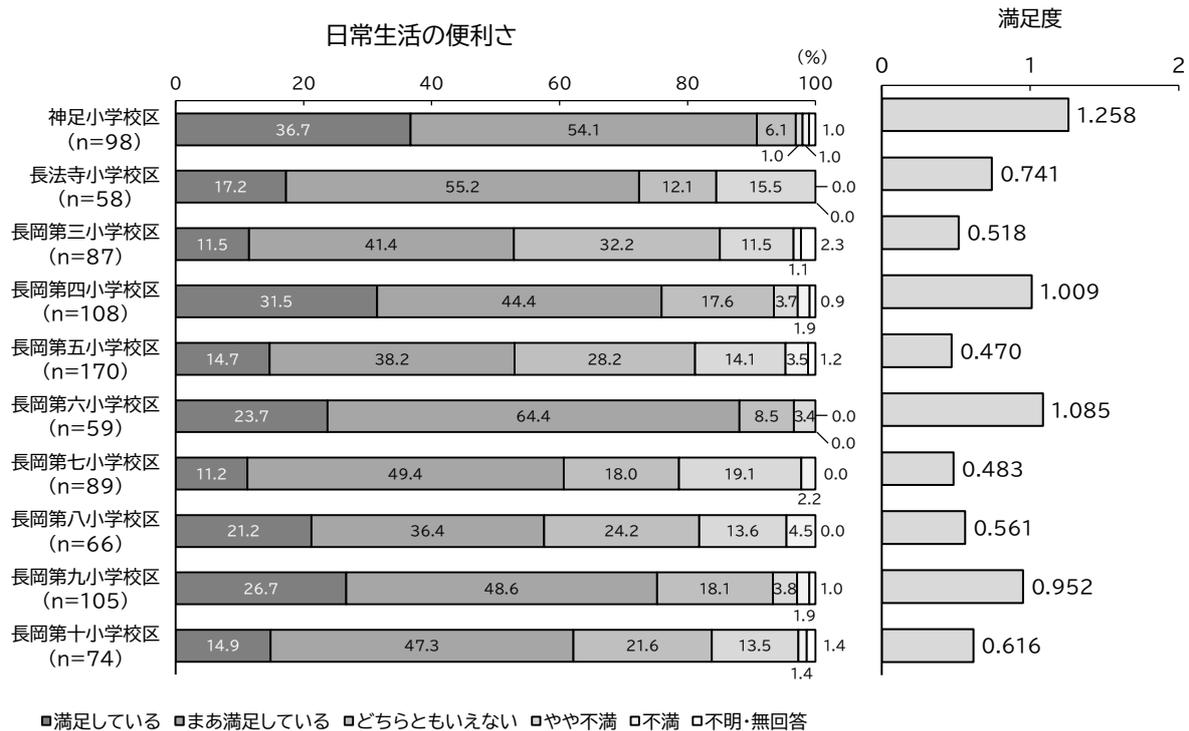
居住地域別で満足度について、「日常生活の便利さ」は地区によって大きな差が生じており、「神足小学校区」「長岡第四小学校区」「長岡第六小学校区」「長岡第九小学校区」で多く、「長岡第三小学校区」「長岡第五小学校区」「長岡第七小学校区」で少なくなっています。

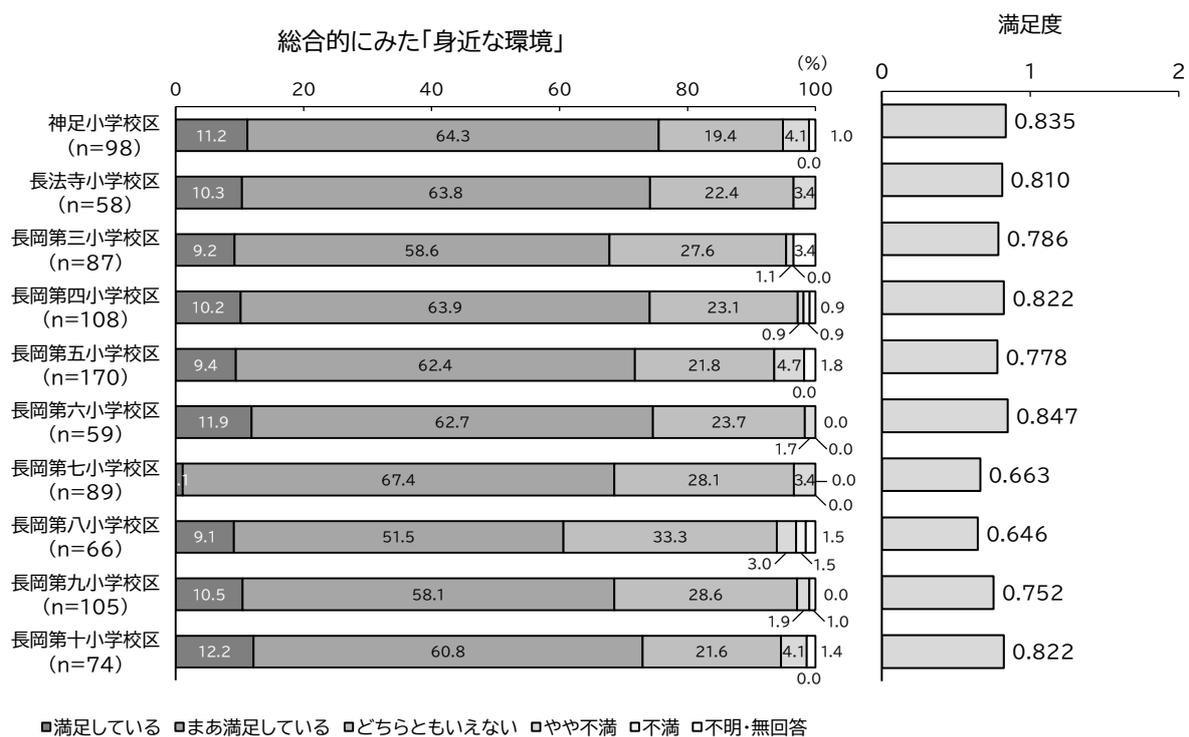












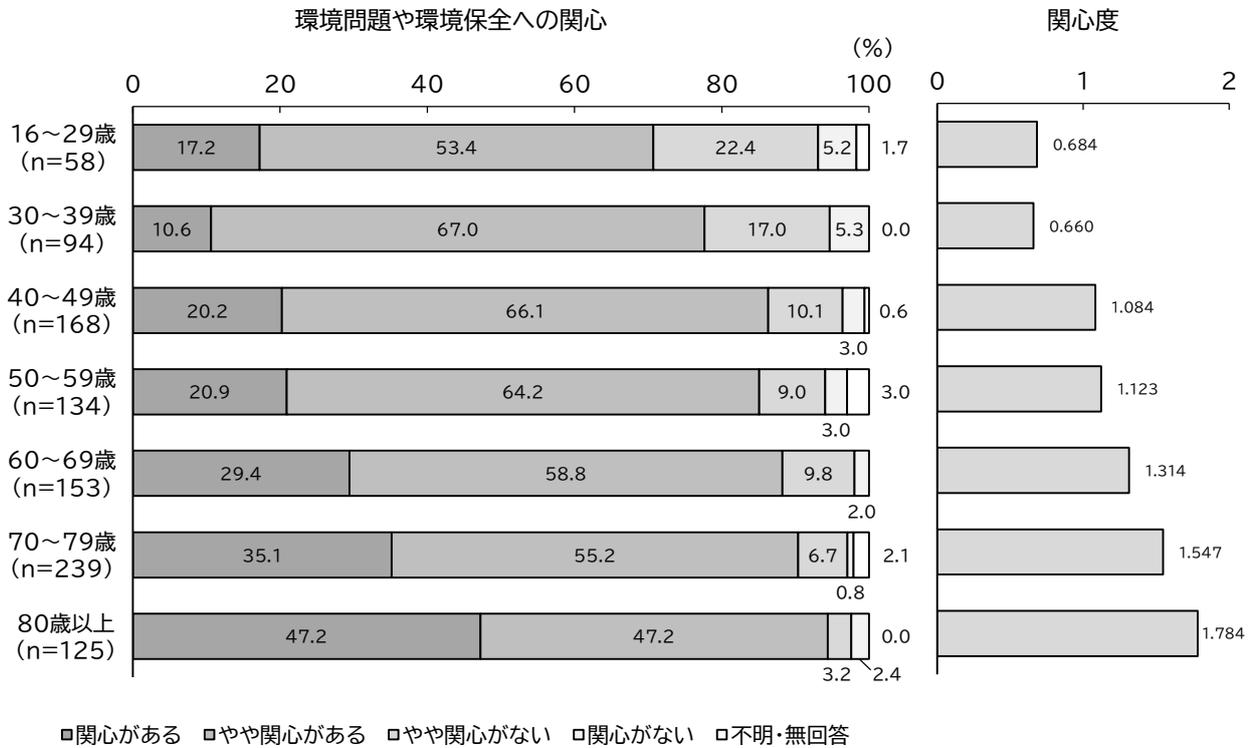
2.3. 環境問題や環境保全への関心(問3)

環境問題や環境保全への関心について、「関心がある」が27.8%、「やや関心がある」が59.0%、「やや関心がない」が9.4%、「関心がない」が2.6%となっています。

「関心がある」を3点、「やや関心がある」を1点、「やや関心がない」を-1点、「関心がない」を-3点としたときの平均点(「不明・無回答」を除く)を「関心度」とすると、関心度は1.267点となっています。

【年齢との関係】

年代別にみると、80歳以上では「関心がある」と「やや関心がある」が同率で、他の年代では「やや関心がある」が最も多くなっています。関心度について、年代が高くなるほど関心度が高くなっています。

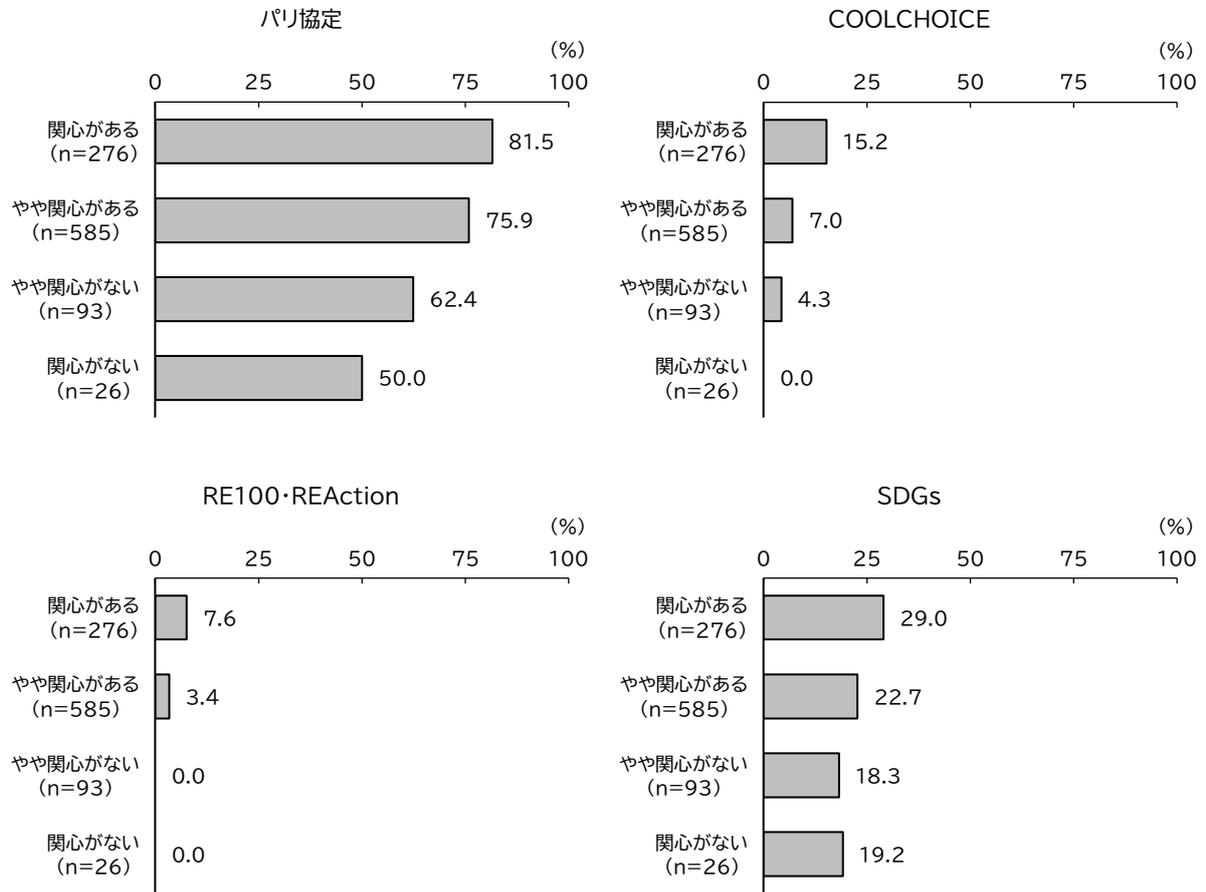


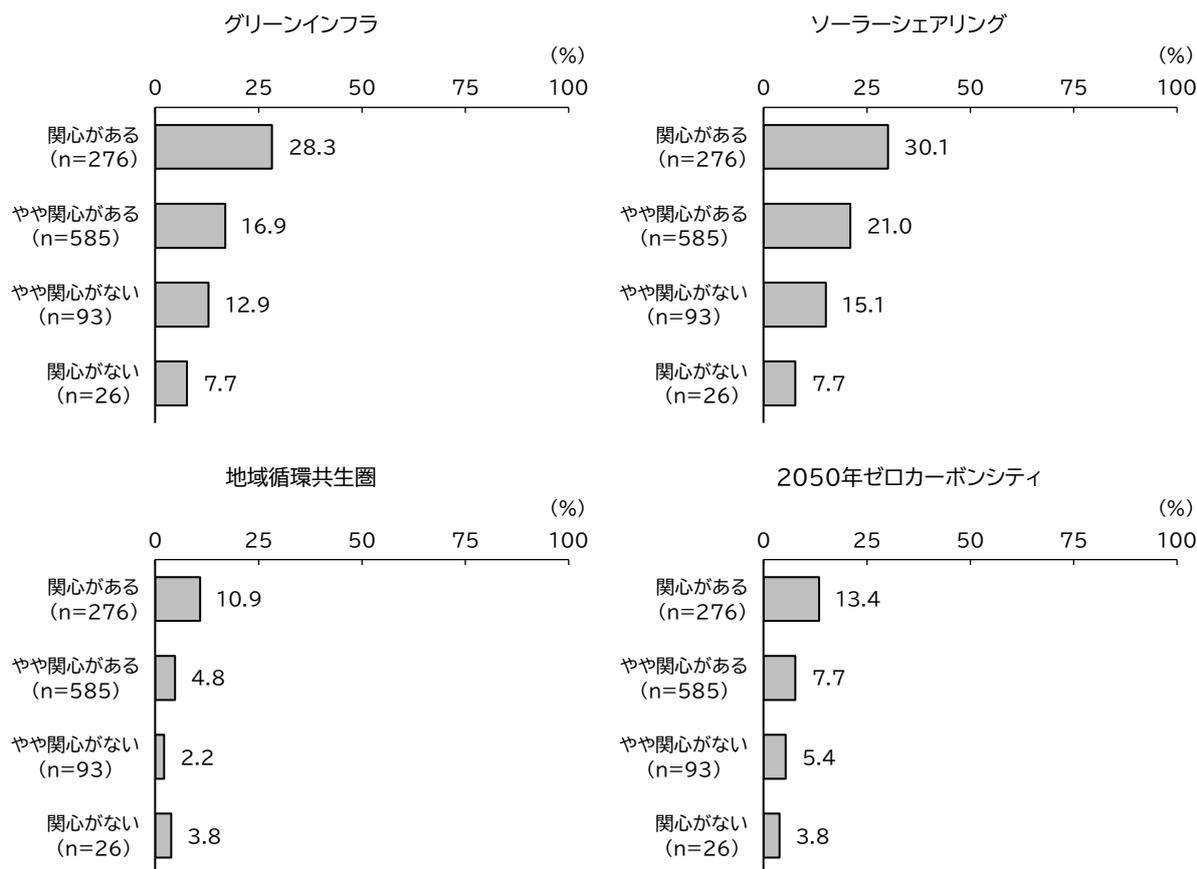
2.4. 環境保全、温暖化対策等に関する用語の認知度(問 4)

環境保全、温暖化対策等に関する用語の認知度について、最も多いのは「パリ協定」で75.0%、次いで「海洋プラスチック・マイクロプラスチック」が66.6%、「SDGs」が23.7%となっています。

【環境問題や環境保全への関心との関係】

環境問題や環境保全への関心(問 3)別にみると、いずれにおいても「パリ協定」が最も多くなっています。また、「エシカル消費」を除くすべての項目で、関心が高いほど認知度が高くなっています。





2.5. 長岡京市の環境の取り組みについて(問 5)

◎ 現在の満足度

長岡京市の環境の取り組みの現在の満足度について、「満足している」が最も多いのは「資源回収の推進」で 8.1%、次いで「廃棄物の適正処理」が 5.3%、「身近な緑の保全・創出」が 4.9%となっています。

「まあ満足している」が最も多いのは「資源回収の推進」で 41.9%、次いで「歴史文化資源の保全・活用」が 35.9%、「廃棄物の適正処理」が 31.1%となっています。

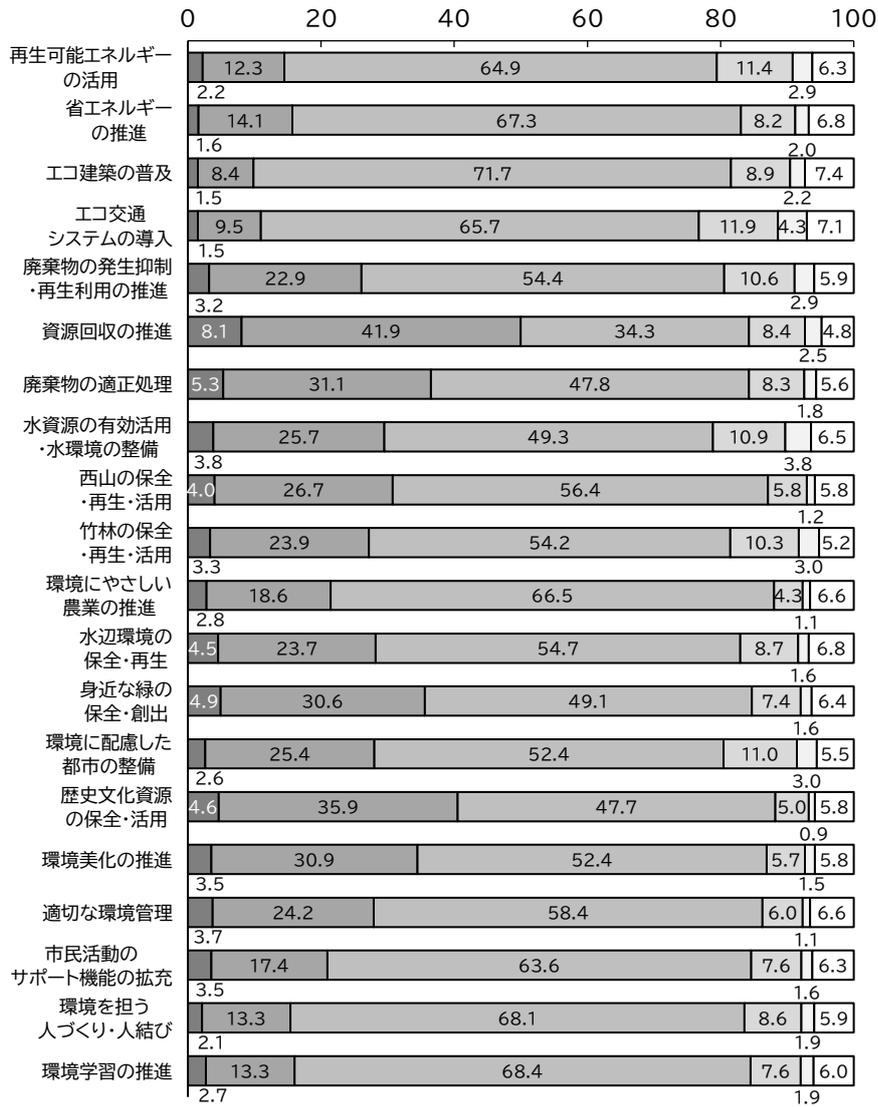
「どちらともいえない」が最も多いのは「エコ建築の普及」で 71.7%、次いで「環境学習の推進」が 68.4%、「環境を担う人づくり・人結び」が 68.1%となっています。

「やや不満である」が最も多いのは「エコ交通システムの導入」で 11.9%、次いで「再生可能エネルギーの活用」が 11.4%、「環境に配慮した都市の整備」が 11.0%となっています。

「不満である」が最も多いのは「エコ交通システムの導入」で 4.3%、次いで「水資源の有効活用・水環境の整備」が 3.8%、「竹林の保全・再生・活用」が 3.0%となっています。

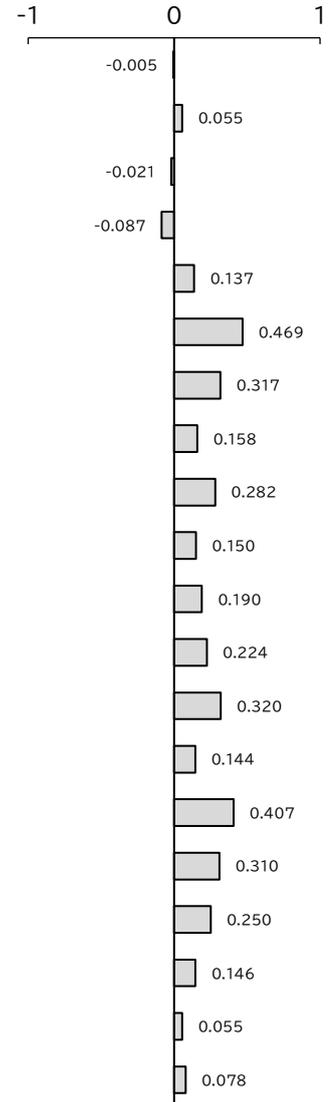
「満足している」を 2 点、「まあ満足している」を 1 点、「どちらともいえない」を 0 点、「やや不満」を -1 点、「不満」を -2 点としたときの平均点(「不明・無回答」を除く)を「満足度」とすると、満足度が最も高いのは「資源回収の推進」で 0.469 点、次いで「歴史文化資源の保全・活用」が 0.407 点、「身近な緑の保全・創出」が 0.320 点となっています。

長岡京市の環境の取り組みについての現在の満足度
(SA, n=992)



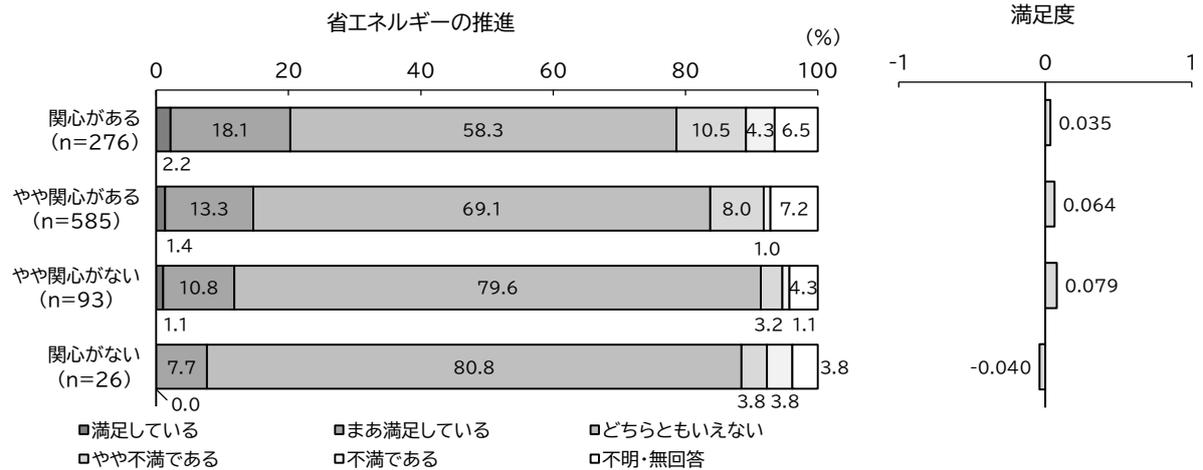
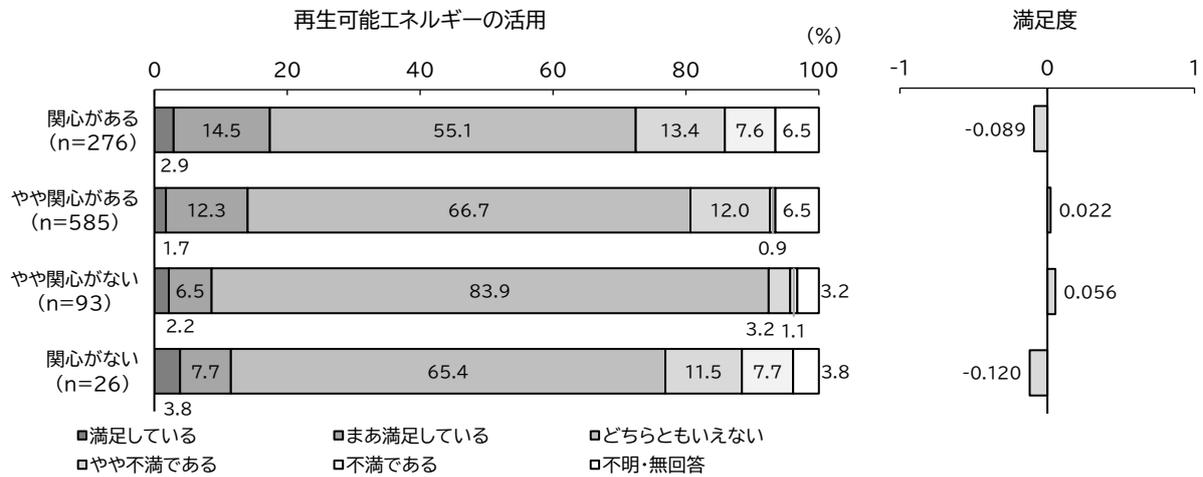
- 満足している □まあ満足している □どちらともいえない
- やや不満である □不満である □不明・無回答

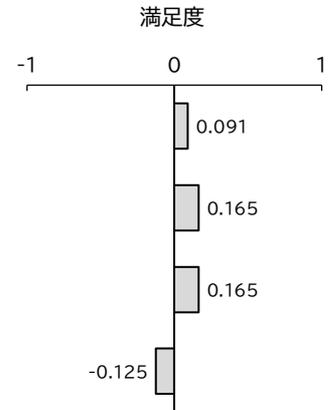
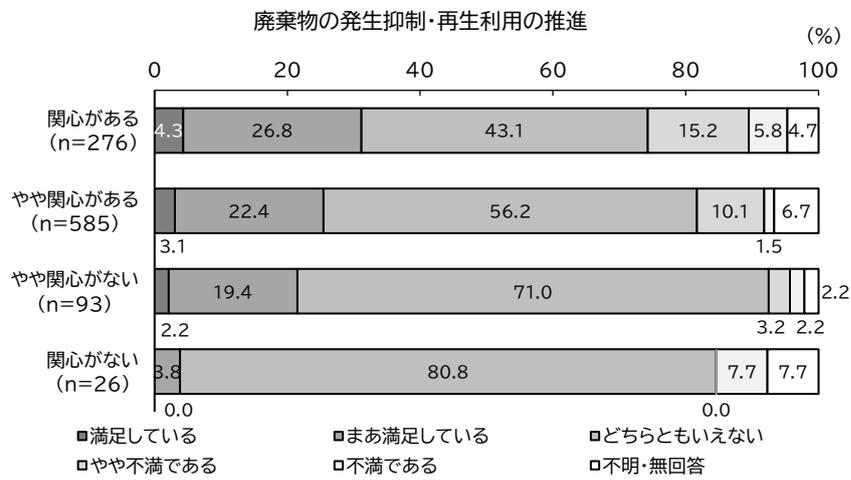
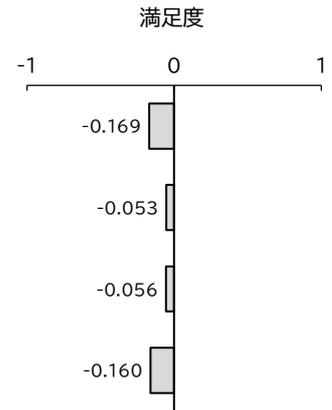
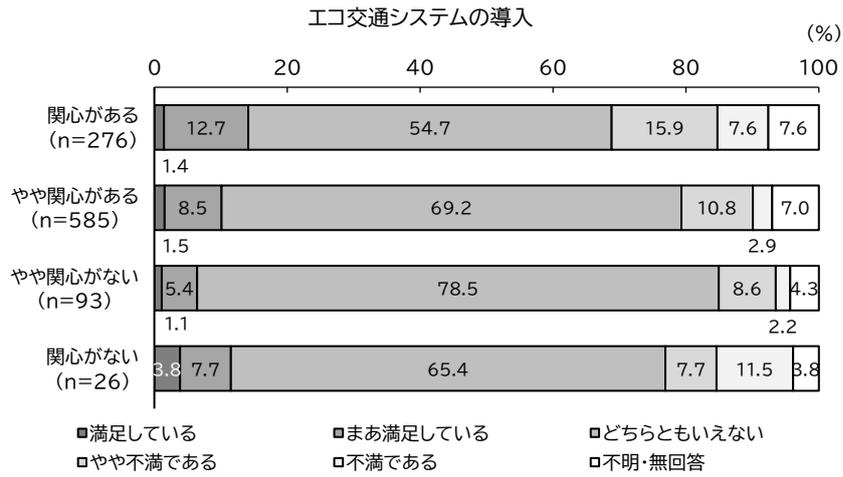
満足度

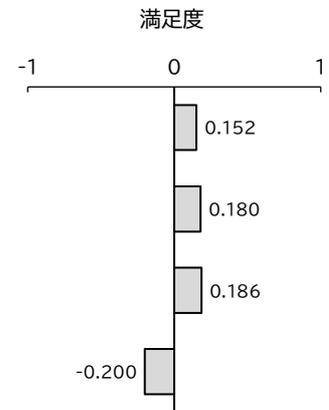
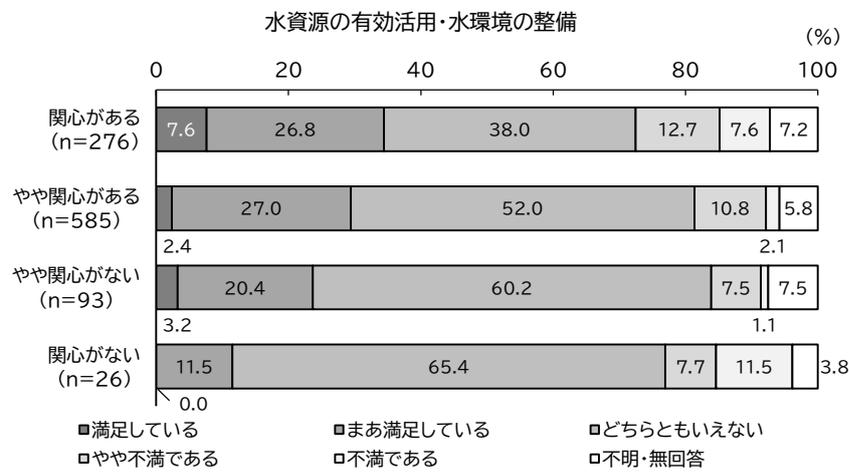
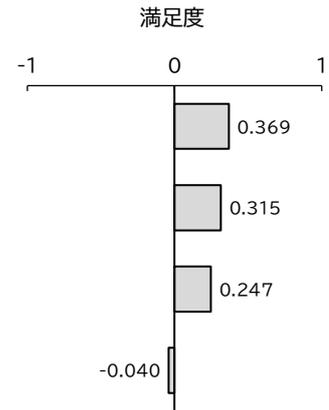
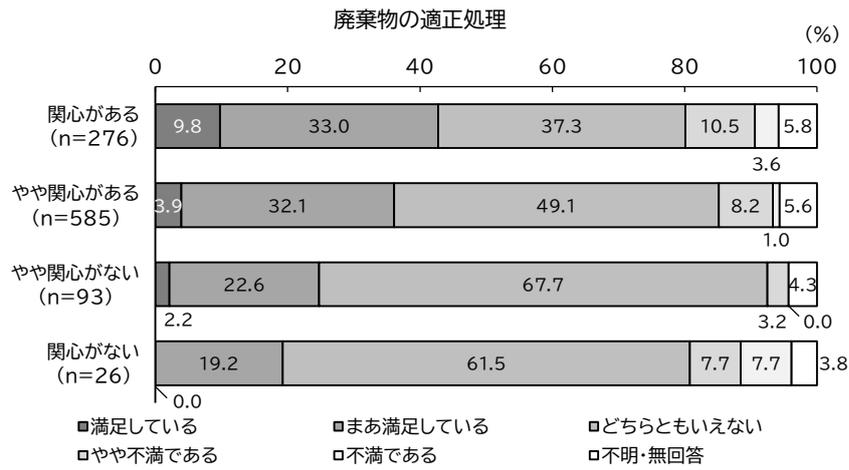


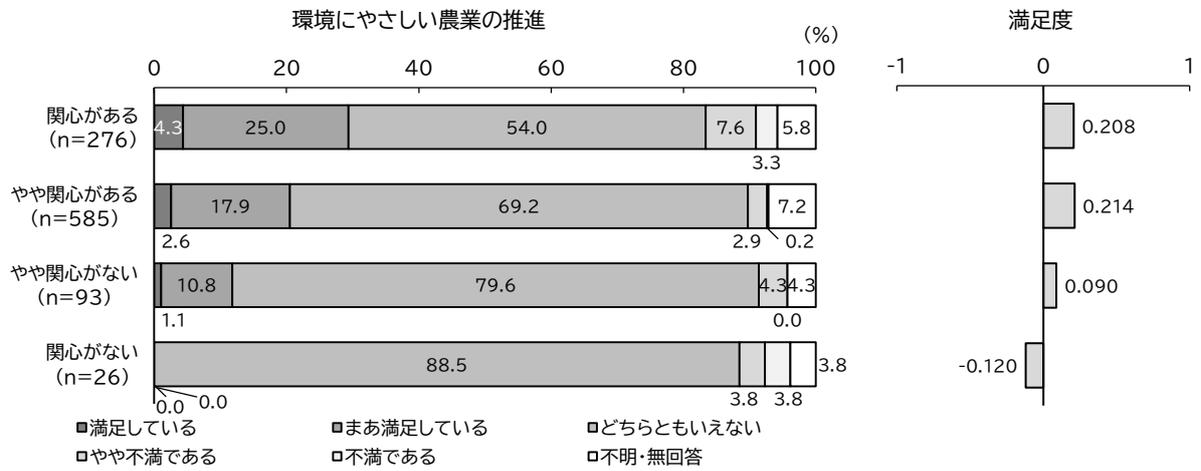
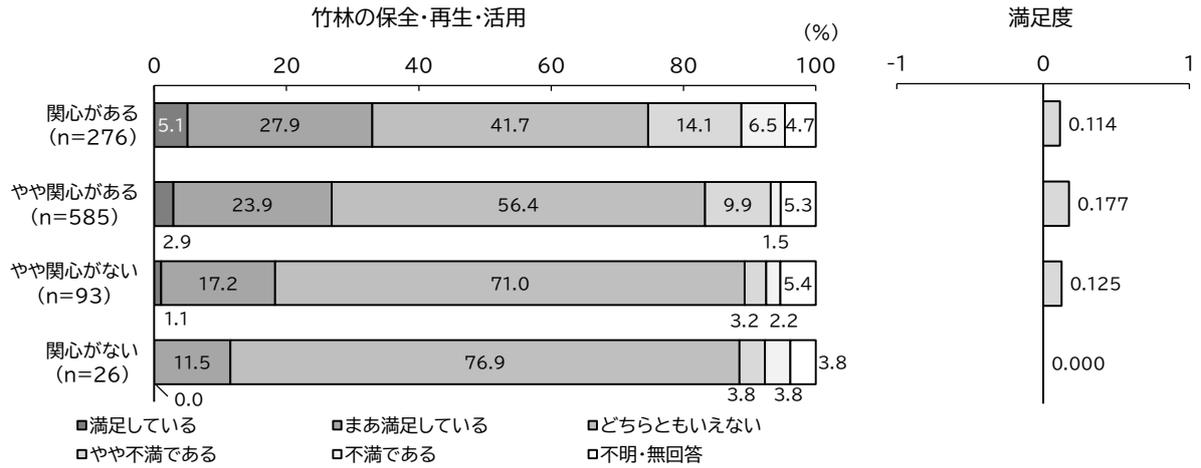
【環境問題や環境保全への関心との関係】

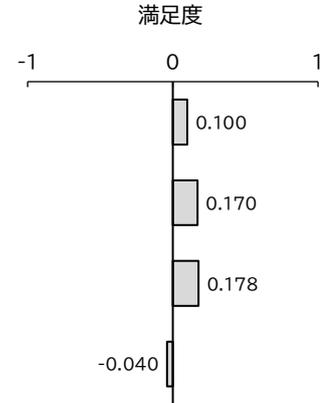
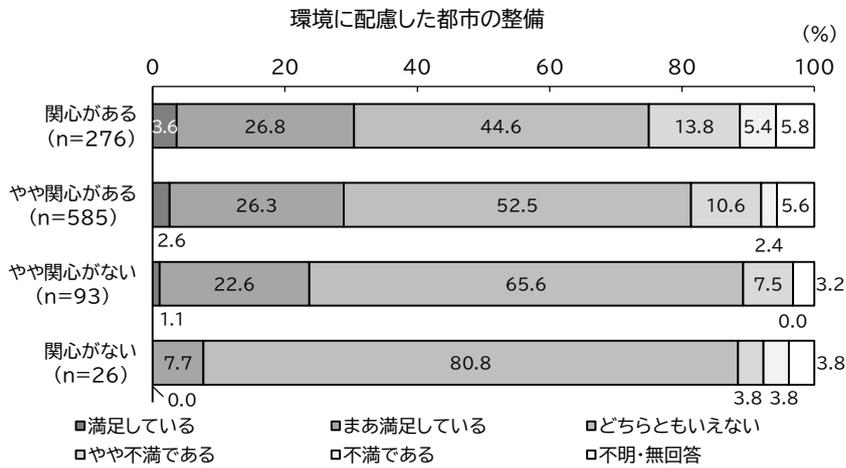
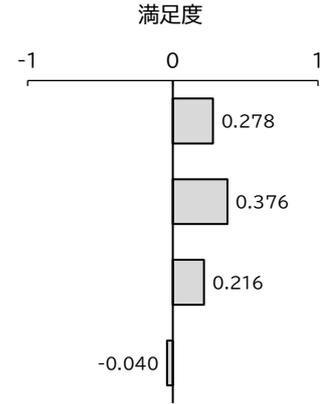
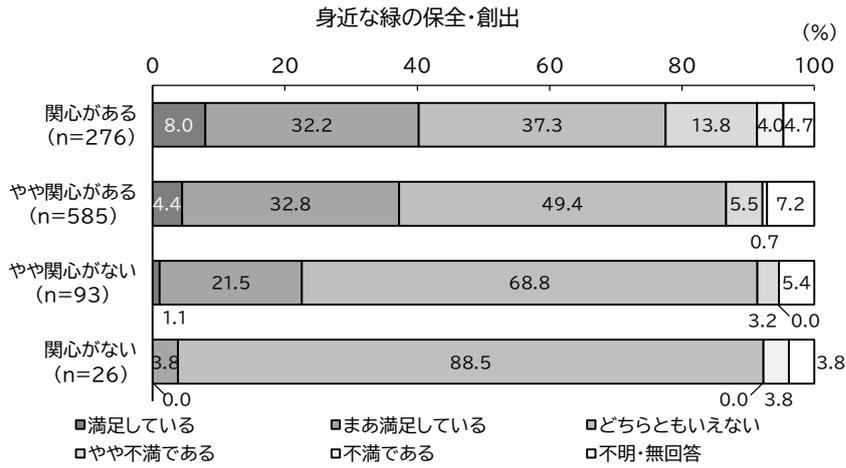
環境問題や環境保全への関心(問 3)別みると、「資源回収の推進」「廃棄物の適正処理」「環境にやさしい農業の推進」「水辺環境の保全・再生」「身近な緑の保全・創出」「歴史文化資源の保全・活用」「環境美化の推進」「適切な環境管理」で、関心が高いほど満足度が高くなっています。

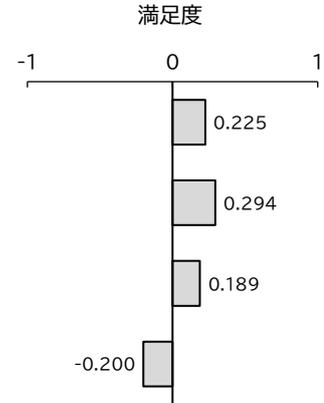
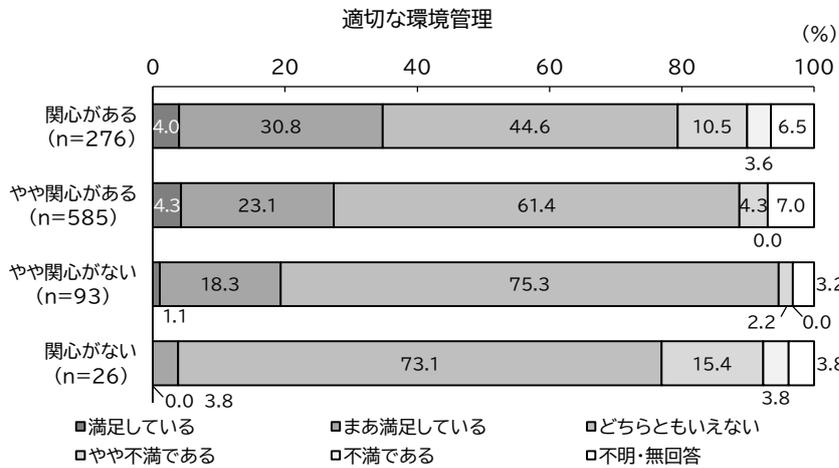
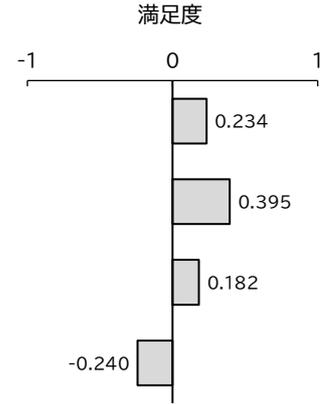
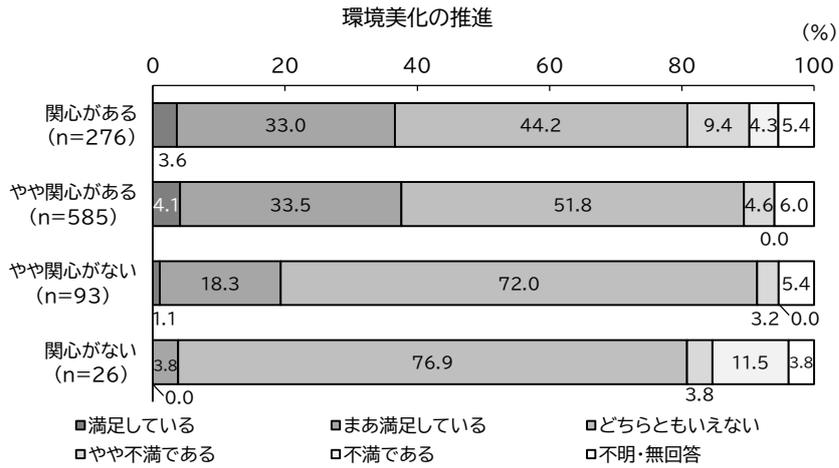


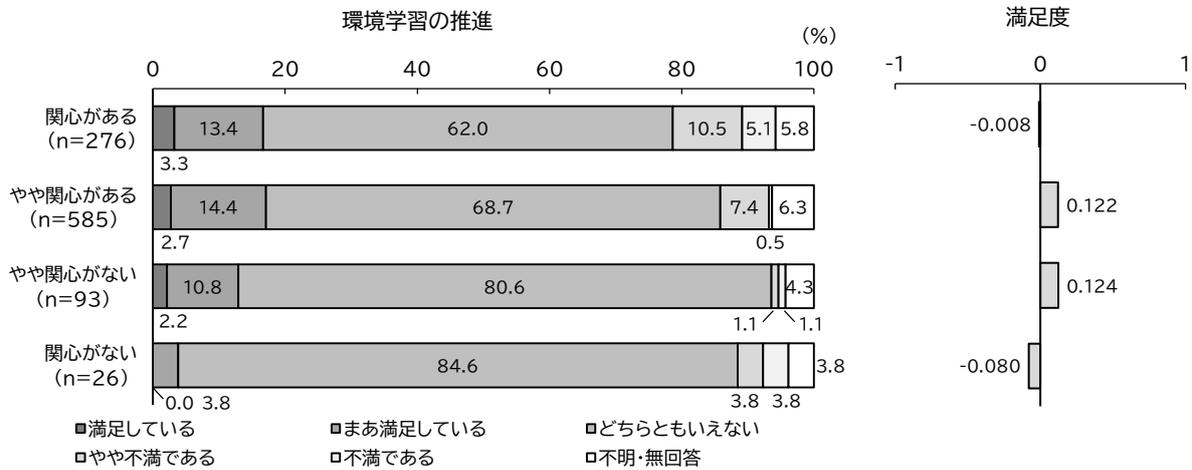
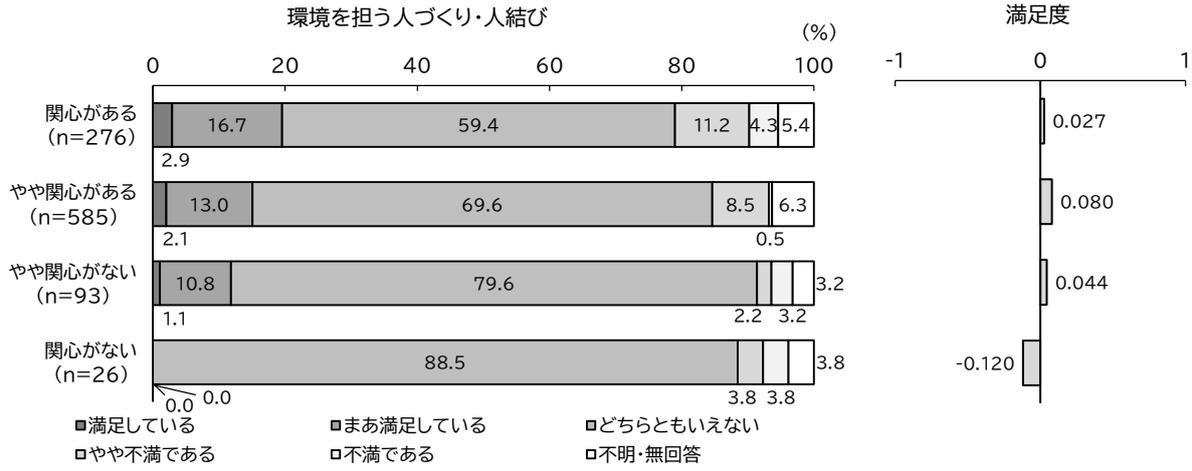












◎ 今後の重要度

長岡京市の環境の取り組みについての今後の重要度について、「重要である」が最も多いのは「水資源の有効活用・水環境の整備」で 47.3%、次いで「資源回収の推進」「廃棄物の適正処理」が 43.3%となっています。

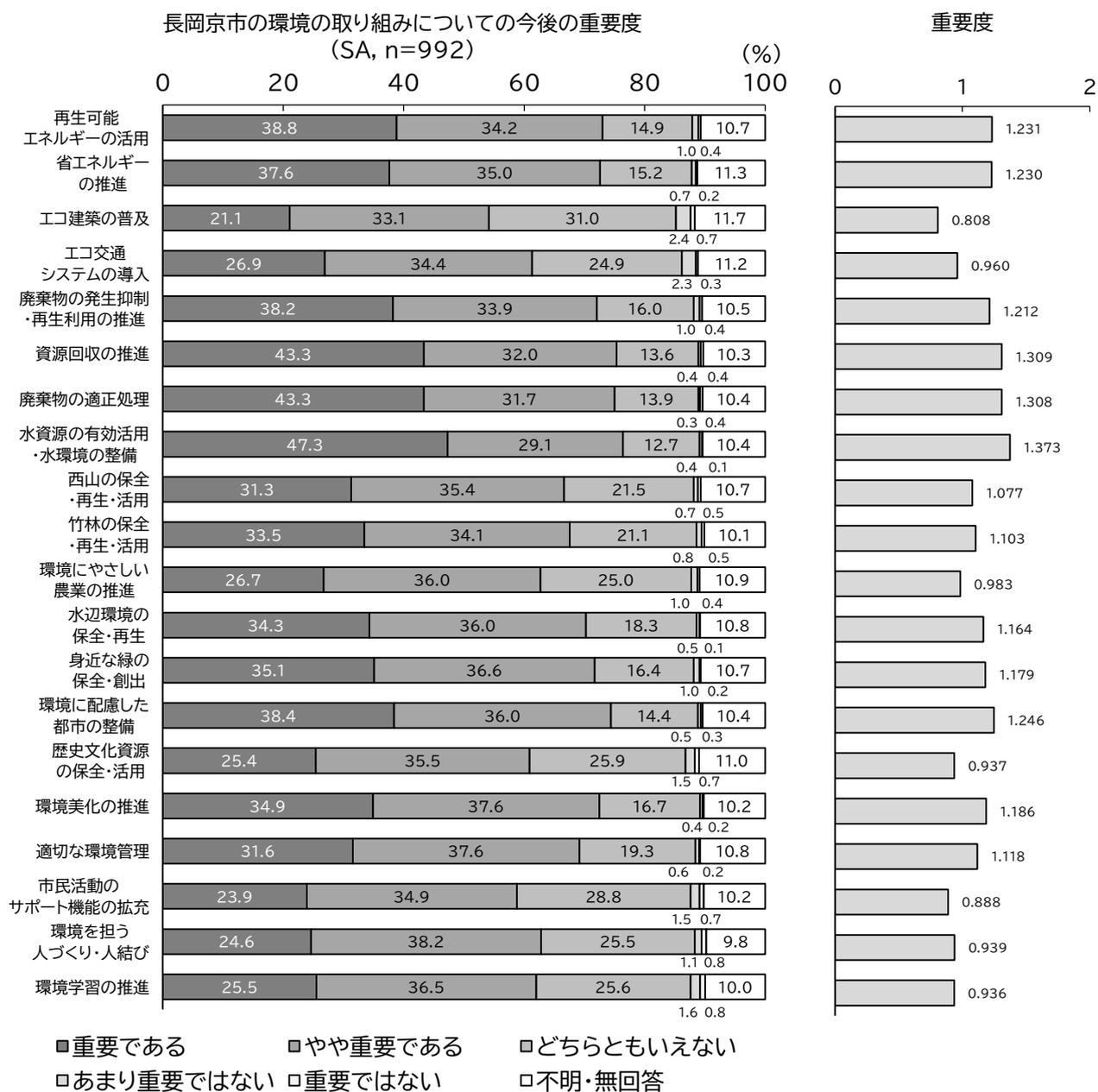
「やや重要である」が最も多いのは「環境を担う人づくり・人結び」で 38.2%、次いで「環境美化の推進」「適切な環境管理」が 37.6%となっています。

「どちらともいえない」が最も多いのは「エコ建築の普及」で 31.0%、次いで「市民活動のサポート機能の拡充」が 28.8%、「歴史文化資源の保全・活用」が 25.9%となっています。

「あまり重要ではない」が最も多いのは「エコ建築の普及」で 2.4%、次いで「エコ交通システムの導入」が 2.3%、「環境学習の推進」が 1.6%となっています。

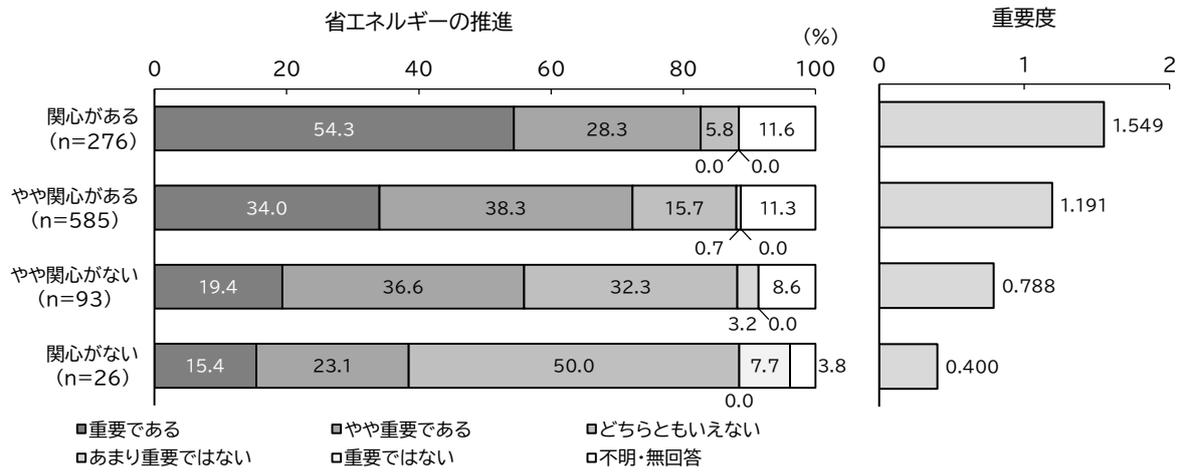
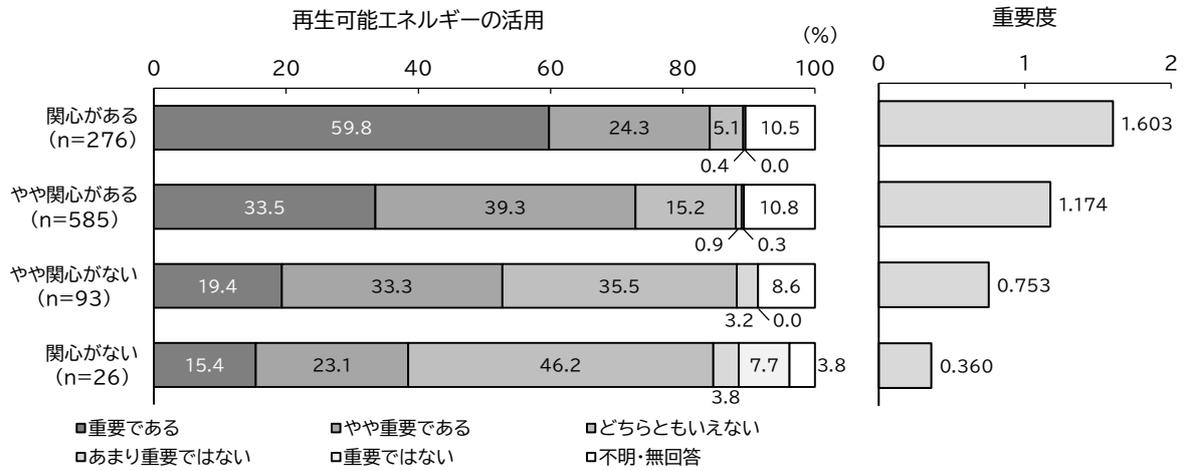
「重要ではない」が最も多いのは「環境を担う人づくり・人結び」「環境学習の推進」で 0.8%、次いで「エコ建築の普及」が 0.7%となっています。

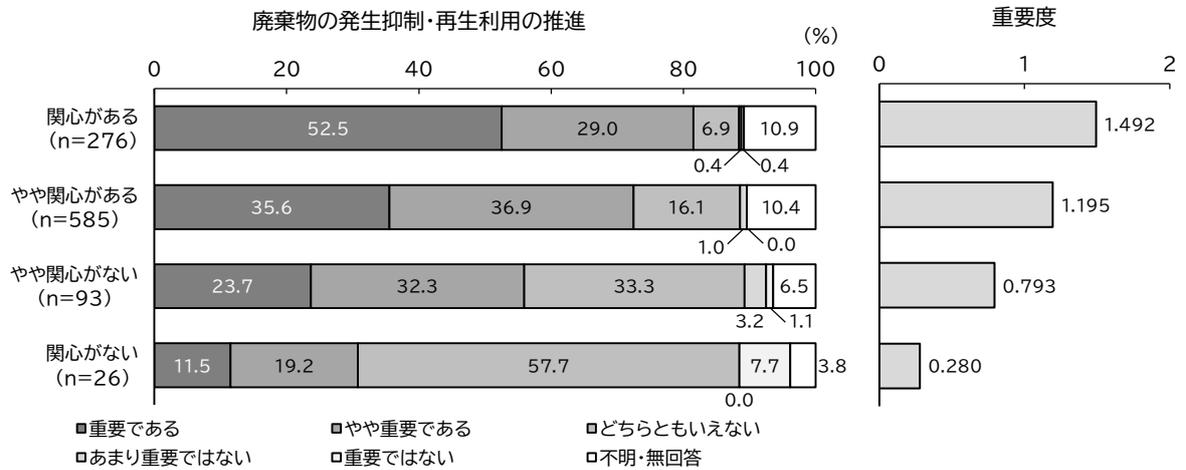
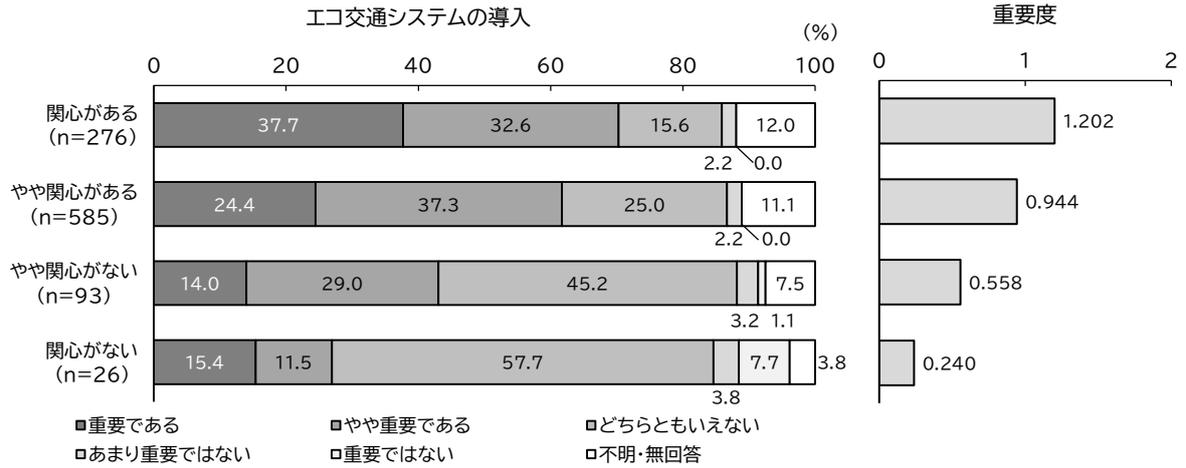
「重要である」を2点、「やや重要である」を1点、「どちらともいえない」を0点、「あまり重要ではない」を-1点、「重要ではない」を-2点としたときの平均点(「不明・無回答」を除く)を「重要度」とすると、重要度が最も高いのは「水資源の有効活用・水環境の整備」で1.373点、次いで「資源回収の推進」が1.309点、「廃棄物の適正処理」が1.308点となっています。

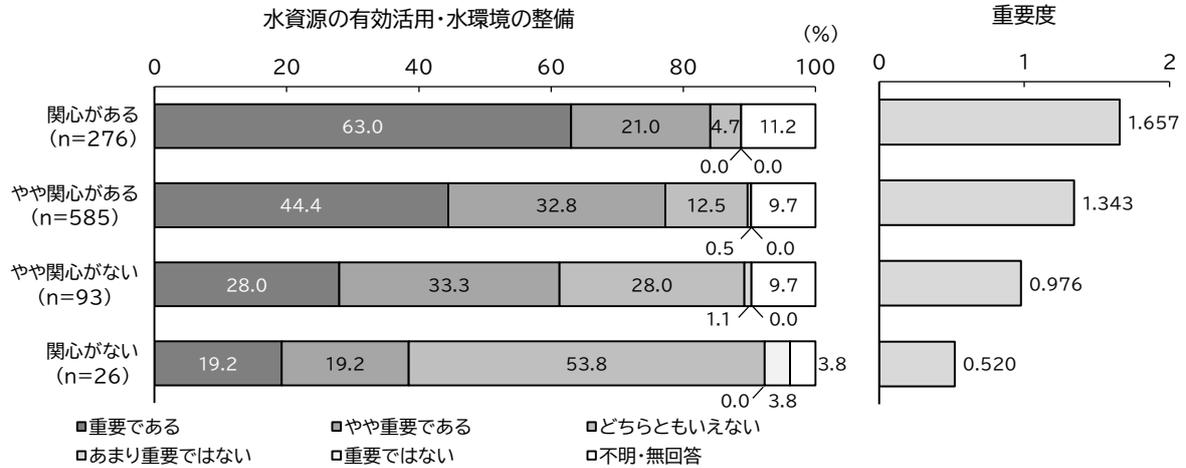
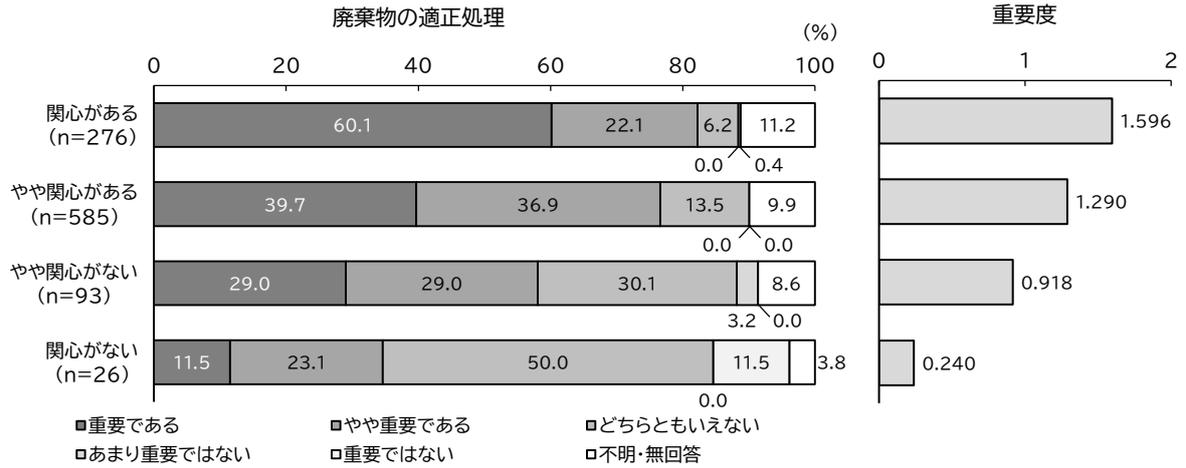


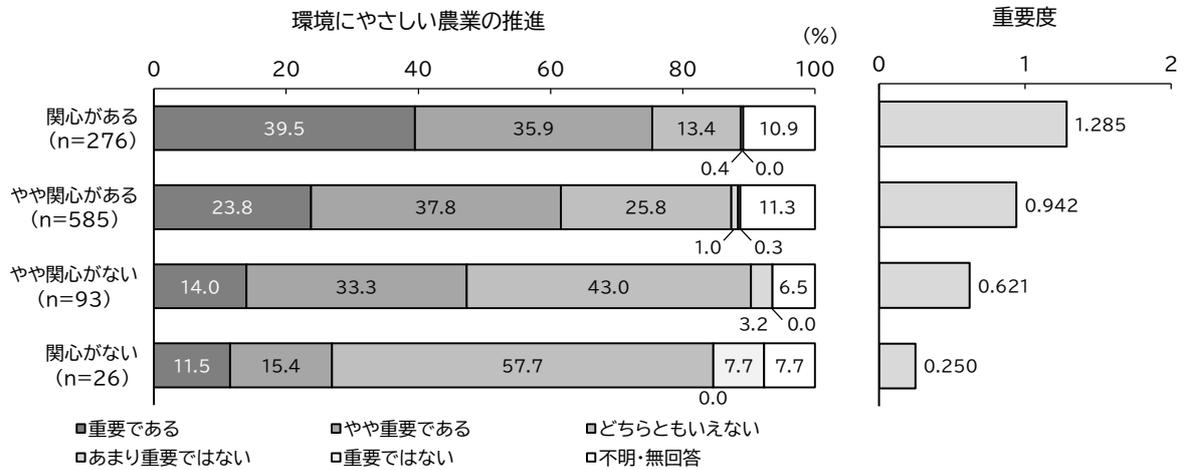
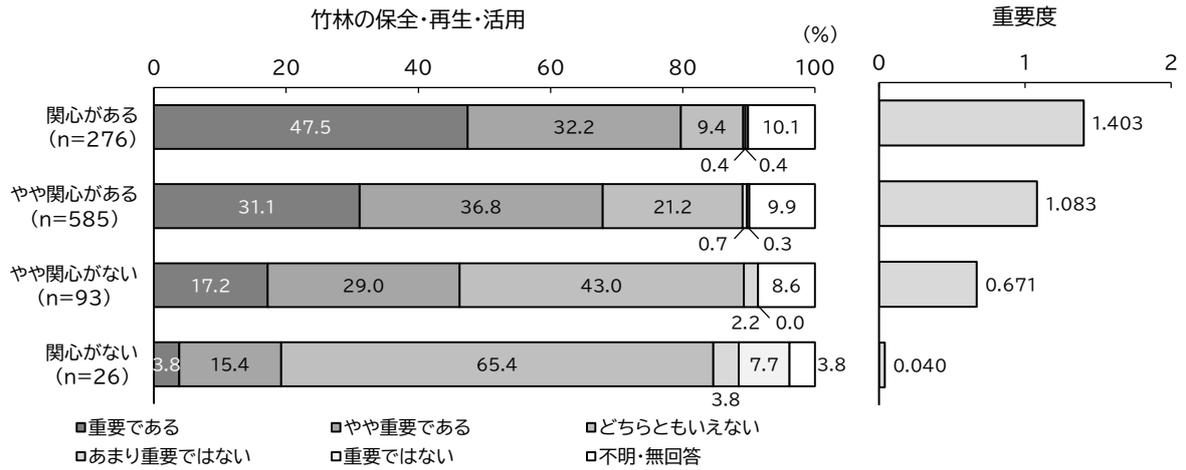
【環境問題や環境保全への関心との関係】

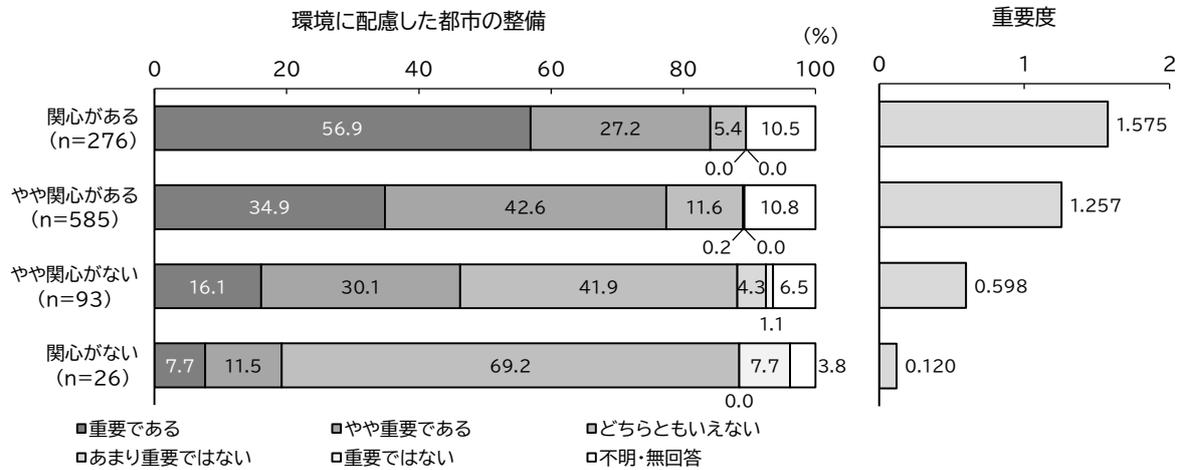
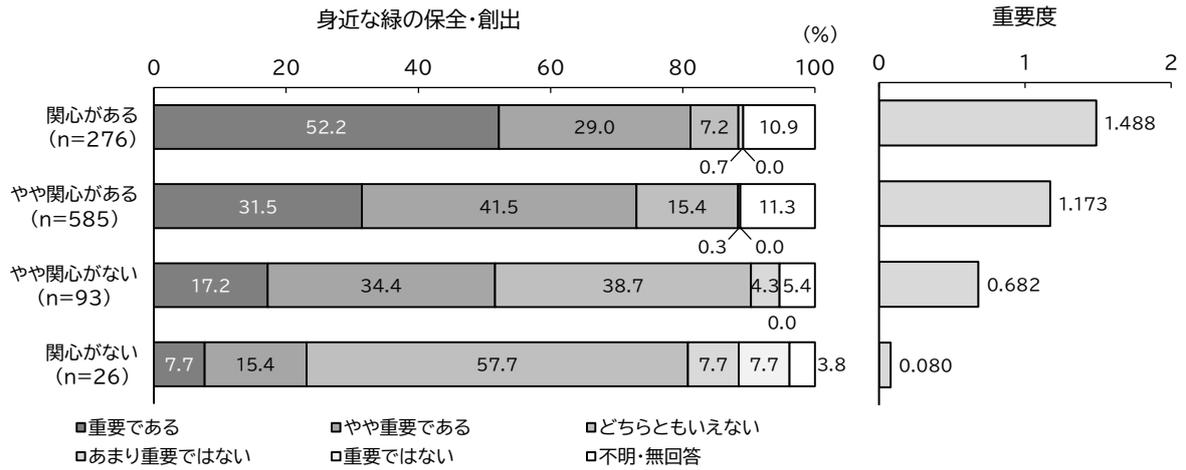
環境問題や環境保全への関心(問3)別にみると、すべての項目で、関心が高いほど重要度が高くなっています。

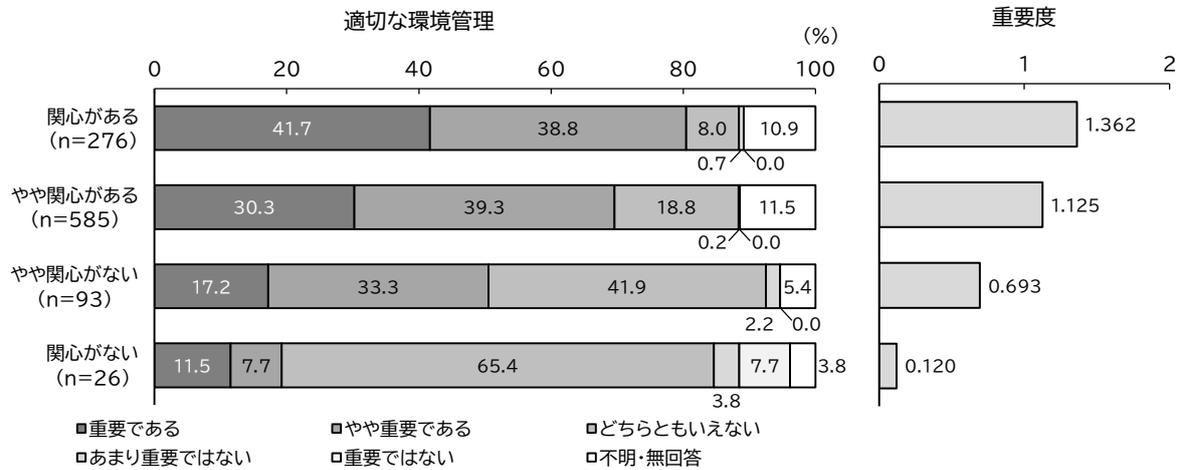
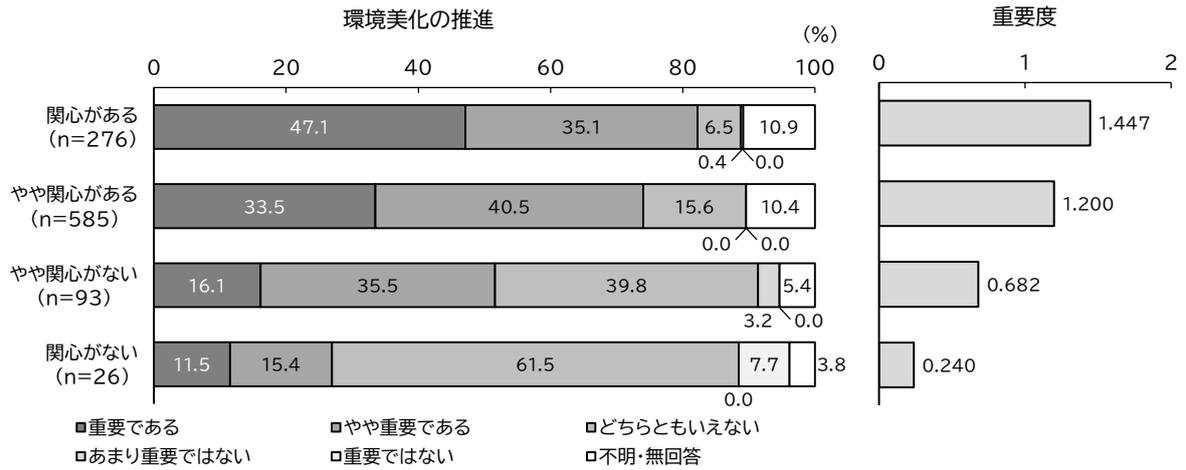


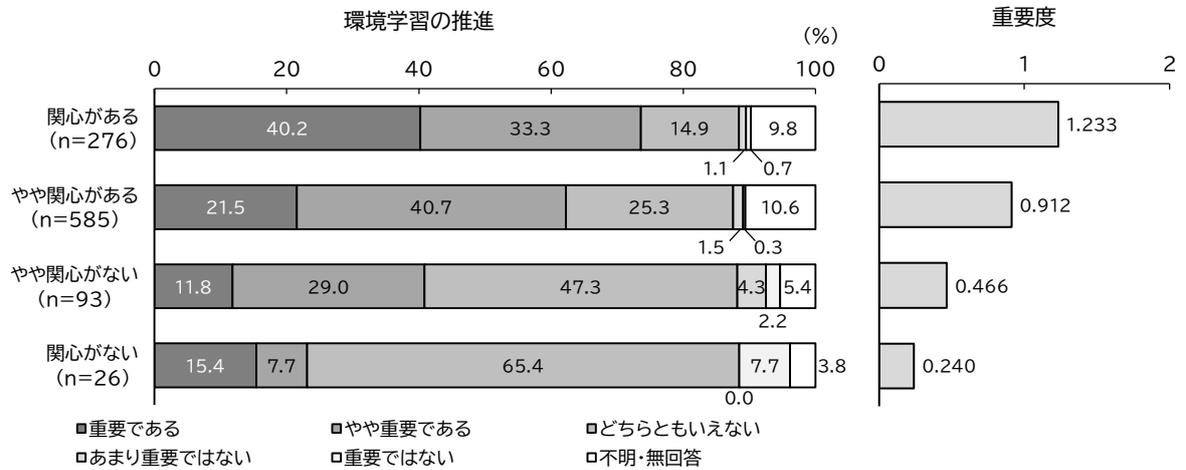
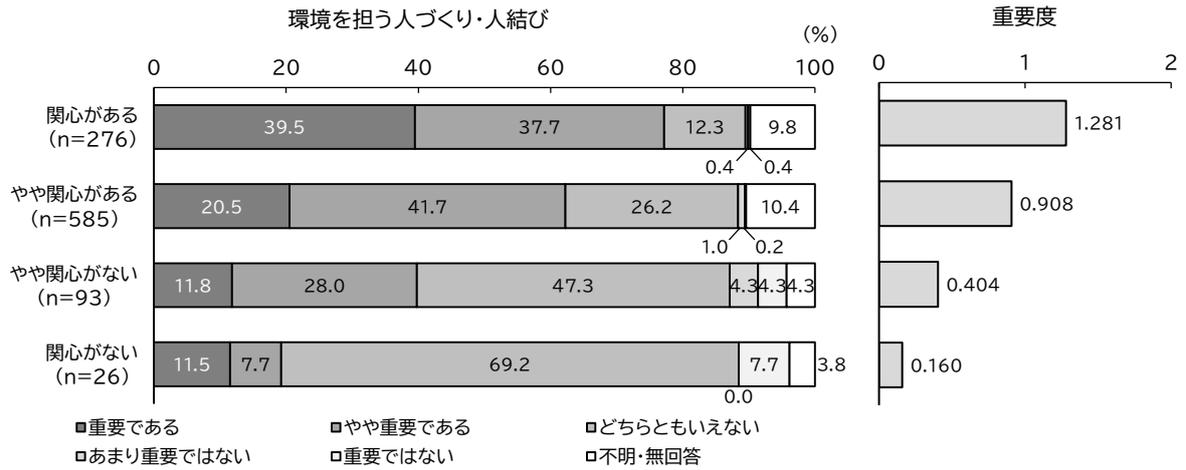








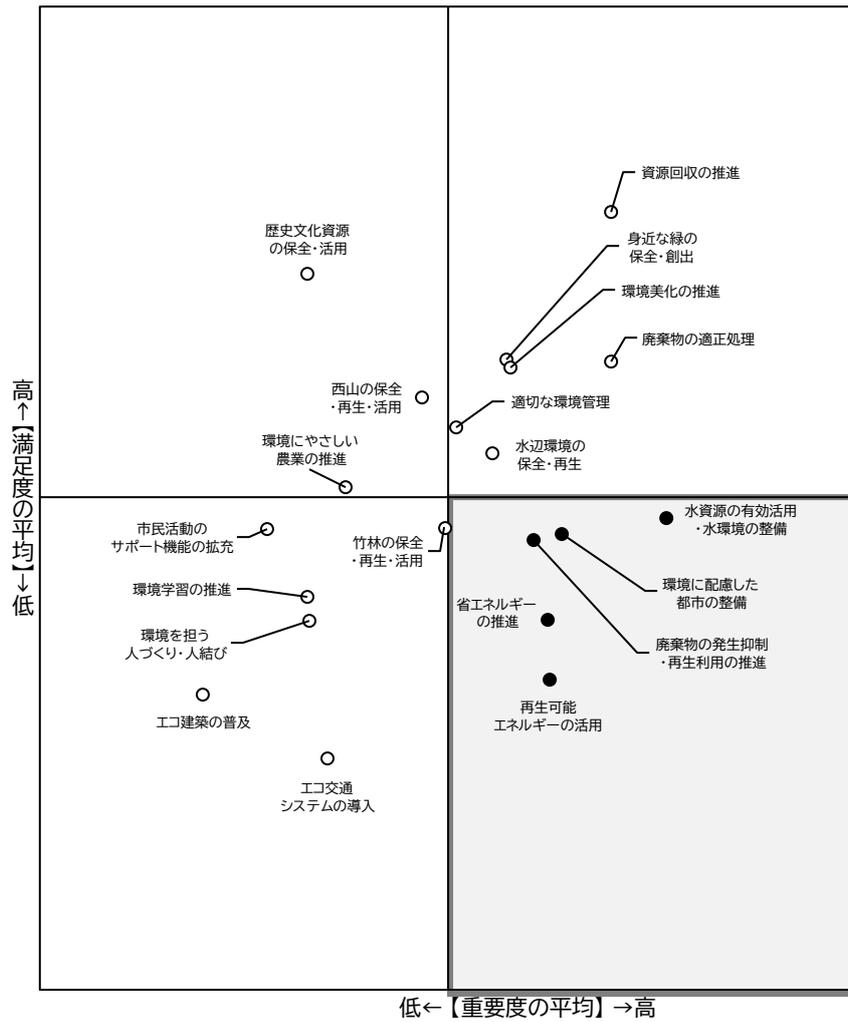




◎ 「現在の満足度」と「今後の重要度」の関係

「現在の満足度」を縦軸、「今後の重要度」を横軸とし、全項目の満足度と重要度の平均値を原点とした平面にそれぞれを配置した場合、「再生可能エネルギーの活用」「省エネルギーの推進」「廃棄物の発生抑制・再生利用の推進」「水資源の有効活用・水環境の整備」「環境に配慮した都市の整備」の5項目は、原点より右下に位置します。これらは、全体的に現在の満足度は低い、今後の重要度は高い「ニーズの高い取り組み」であるとみなすことができます。

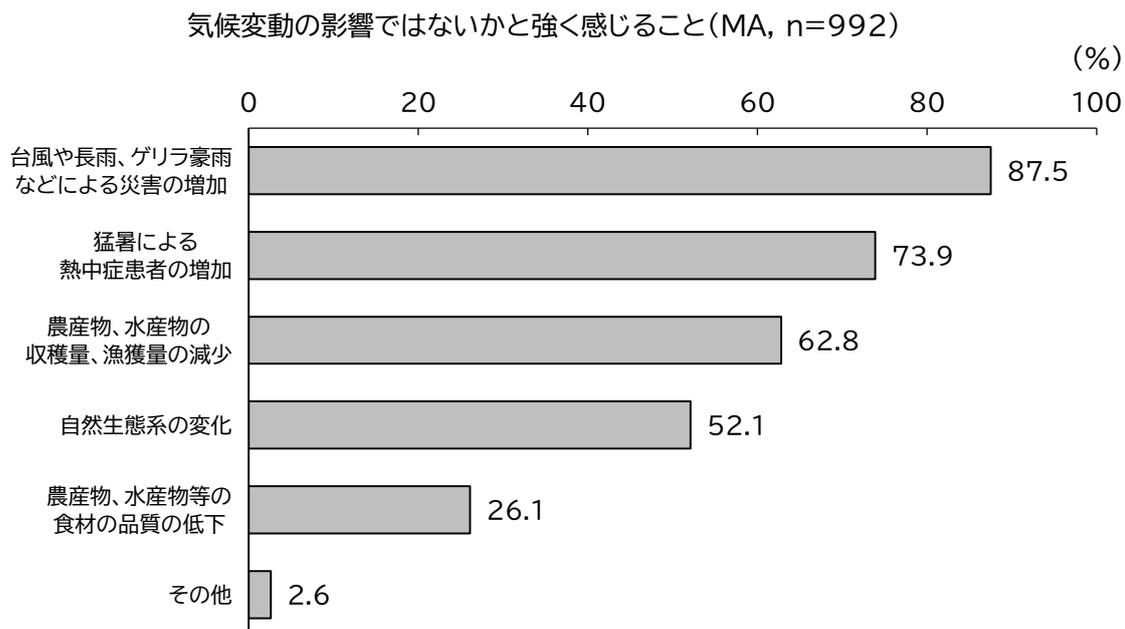
長岡京市の環境の取り組みについての「現在の満足度」と「今後の重要度」



3. 「脱炭素型社会づくり」について

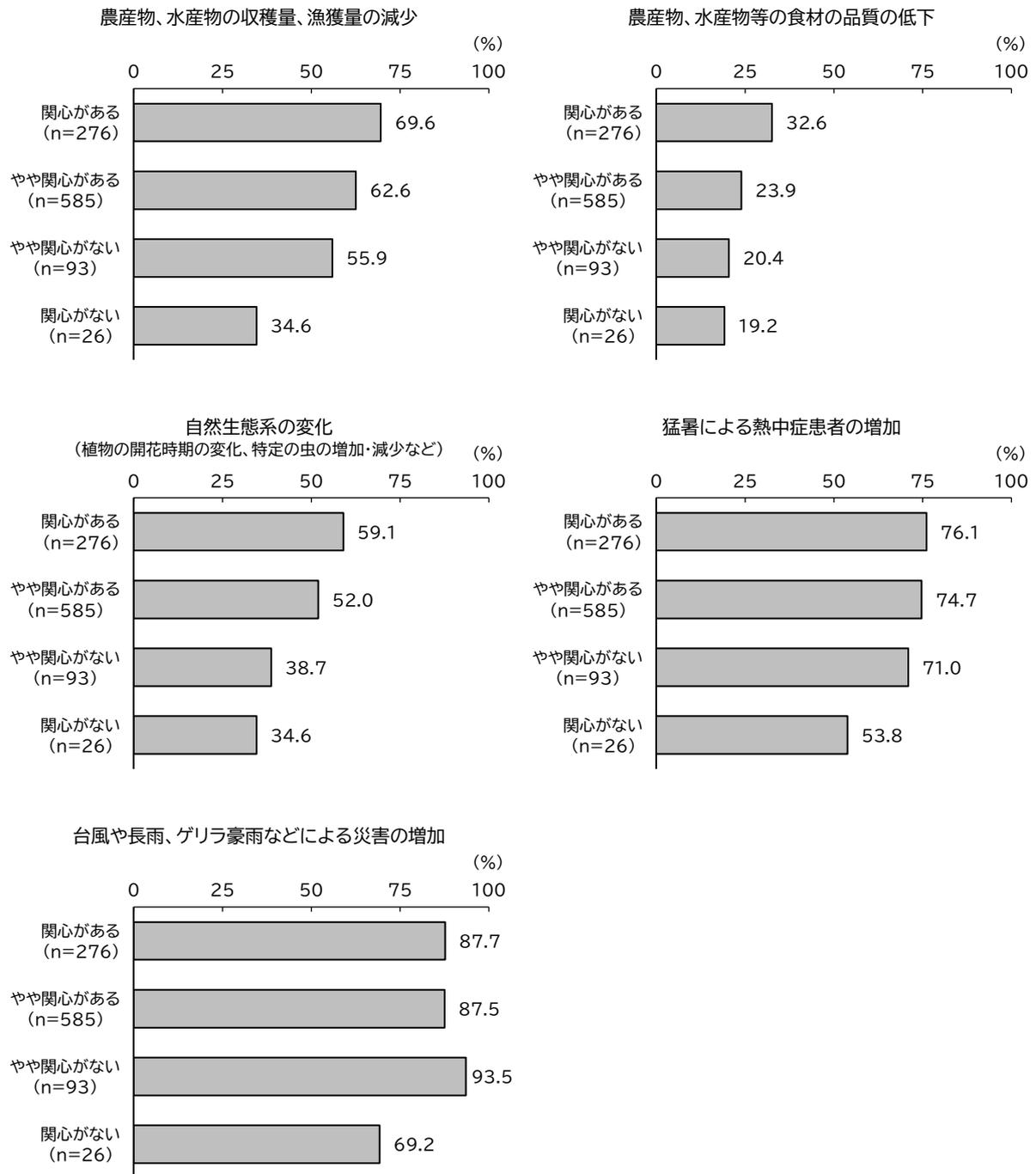
3.1. 気候変動の影響ではないかと強く感じること(問 6)

気候変動の影響ではないかと強く感じることについて、最も多いのは「台風や長雨、ゲリラ豪雨などによる災害の増加」で 87.5%、次いで「猛暑による熱中症患者の増加」が 73.9%、「農産物、水産物の収穫量、漁獲量の減少」が 62.8%となっています。



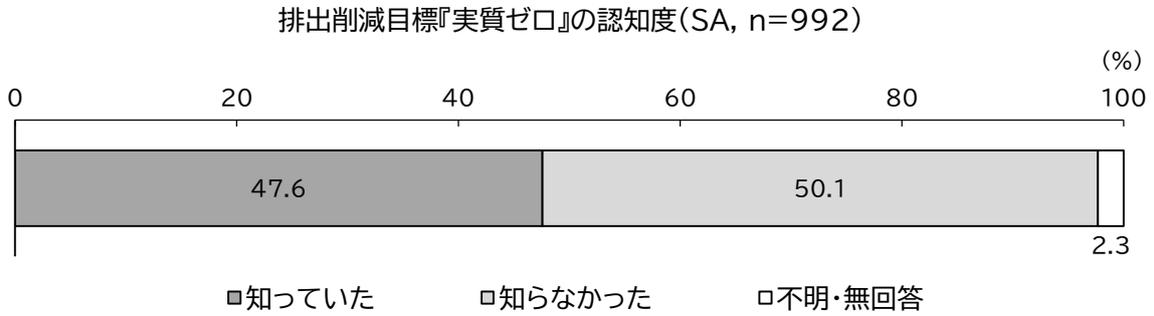
【環境問題や環境保全への関心との関係】

環境問題や環境保全への関心(問 3)別にみると、「台風や長雨、ゲリラ豪雨などによる災害の増加」を除くすべての項目で、関心が高いほど割合が高くなっています。



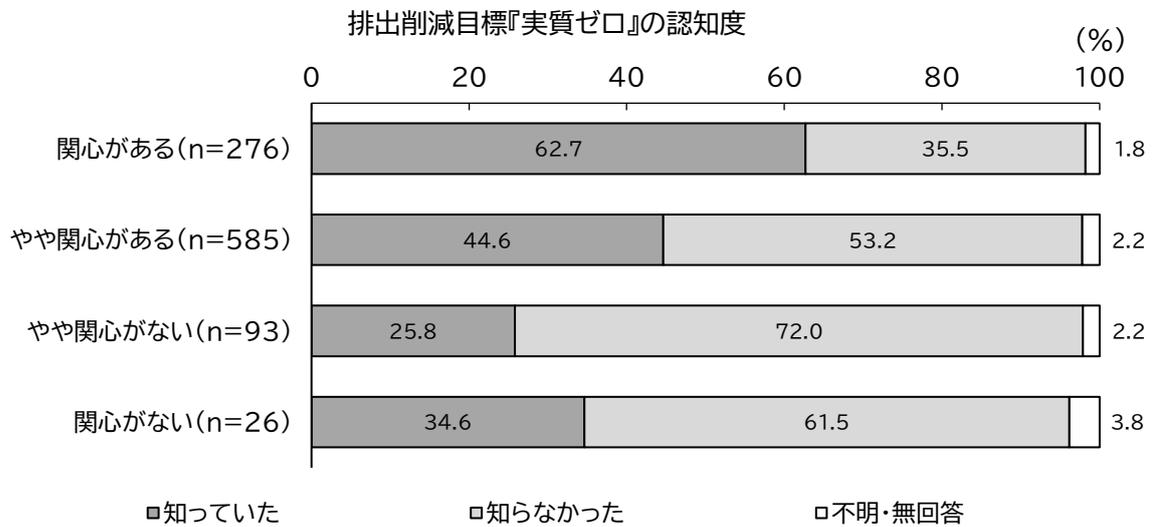
3.2. 排出削減目標『実質ゼロ』の認知度(問 7)

排出削減目標『実質ゼロ』の認知度について、「知っていた」が47.6%、「知らなかった」が50.1%となっています。



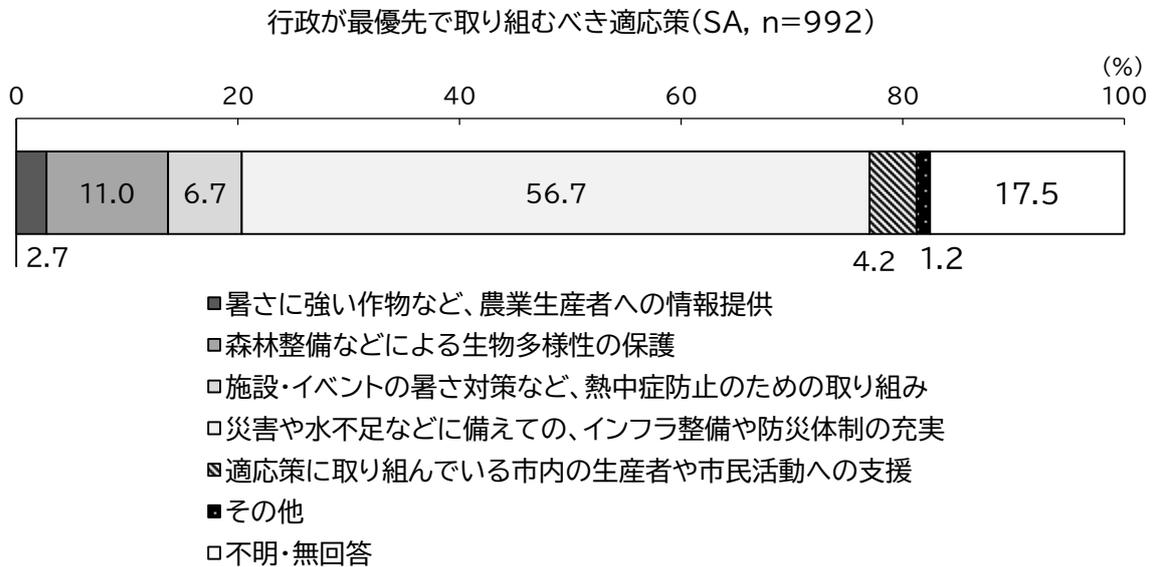
【環境問題や環境保全への関心との関係】

環境問題や環境保全への関心(問 3)別にみると、関心が高いほど認知度が高くなっています。



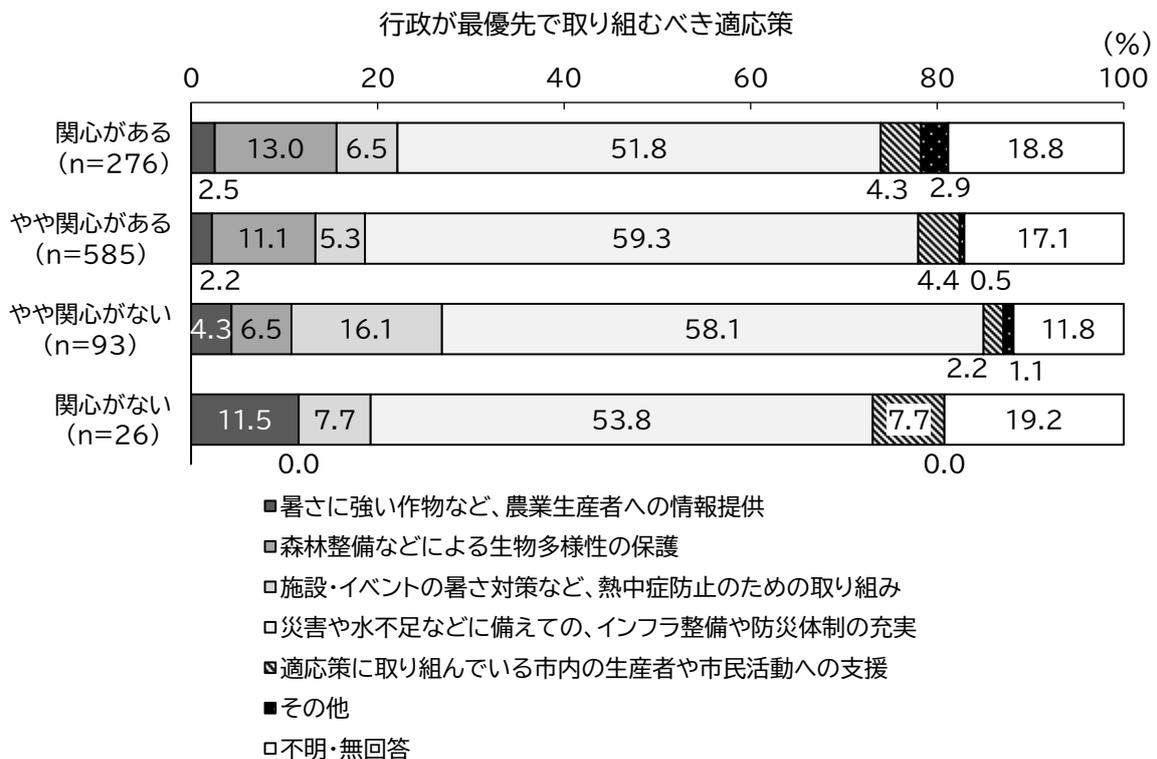
3.3. 行政が最優先で取り組むべき適応策(問 8)

行政が最優先で取り組むべき適応策について、最も多いのは「災害や水不足などに備えての、インフラ整備や防災体制の充実」で 56.7%、次いで「森林整備などによる生物多様性の保護」が 11.0%、「施設・イベントの暑さ対策など、熱中症防止のための取り組み」が 6.7%となっています。



【環境問題や環境保全への関心との関係】

環境問題や環境保全への関心(問 3)別にみると、関心が高いほど「森林整備などによる生物多様性の保護」が多く、「暑さに強い作物など、農業生産者への情報提供」「施設・イベントの暑さ対策など、熱中症防止のための取り組み」が少なくなっています。



3.4. 家電・家庭用品等の購入について(問 9)

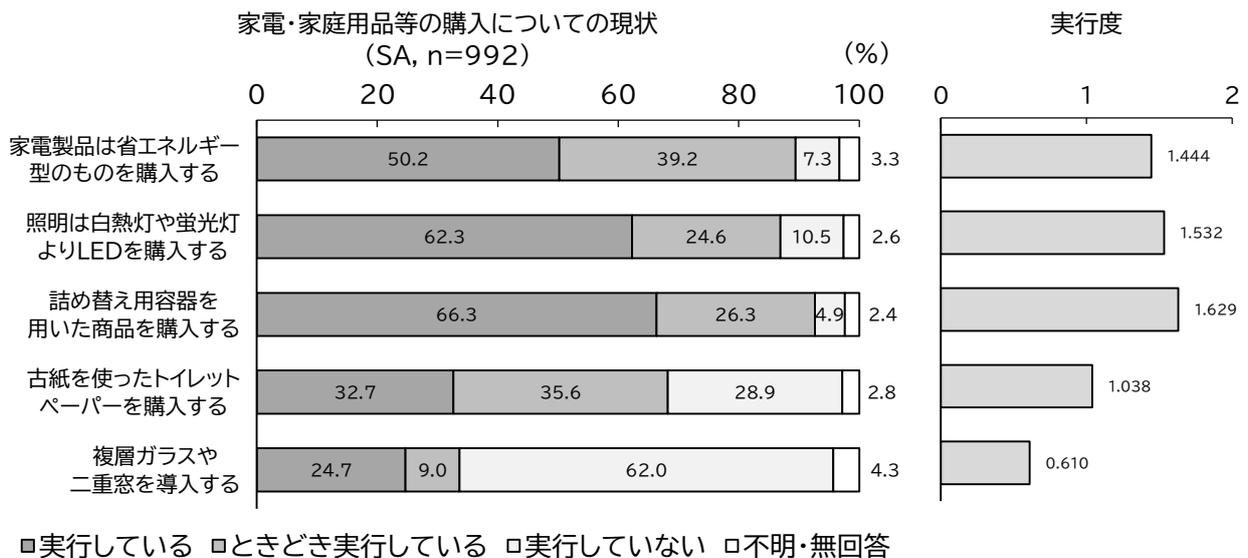
◎ 現状の実行状況

家電・家庭用品等の購入について、現状で「実行している」が最も多いのは「詰め替え用容器を用いた商品を購入する」で 66.3%、次いで「照明は白熱灯や蛍光灯より LED を購入する」が 62.3%、「家電製品は省エネルギー型のもを購入する」が 50.2%となっています。

「ときどき実行している」が最も多いのは「家電製品は省エネルギー型のもを購入する」で 39.2%、次いで「古紙を使ったトイレトーパーを購入する」が 35.6%、「詰め替え用容器を用いた商品を購入する」が 26.3%となっています。

「実行していない」が最も多いのは「複層ガラスや二重窓を導入する」で 62.0%、次いで「古紙を使ったトイレトーパーを購入する」が 28.9%、「照明は白熱灯や蛍光灯より LED を購入する」が 10.5%となっています。

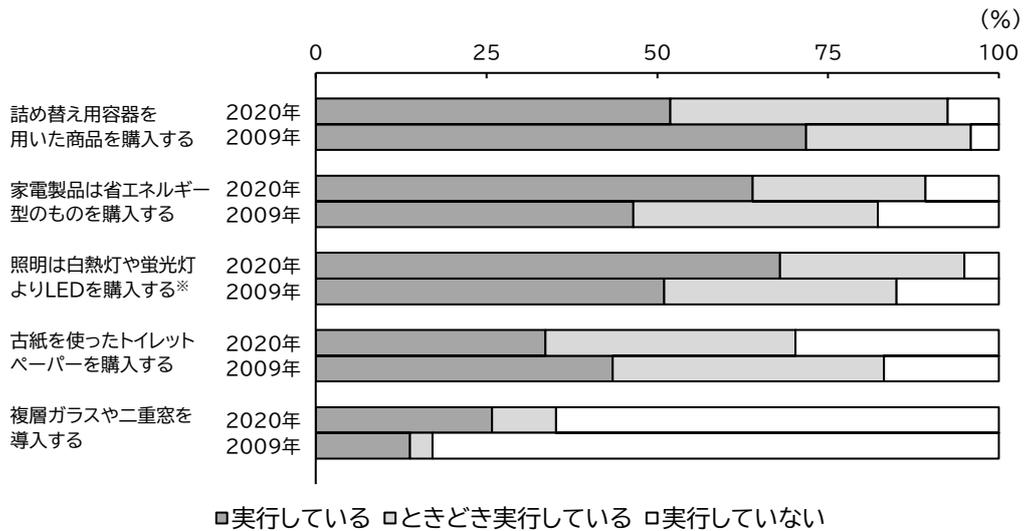
「実行している」を 2 点、「ときどき実行している」を 1 点、「実行していない」を 0 点としたときの平均点(「不明・無回答」を除く)を「実行度」とすると、実行度が最も高いのは「詰め替え用容器を用いた商品を購入する」で 1.629 点、次いで「照明は白熱灯や蛍光灯より LED を購入する」が 1.532 点、「家電製品は省エネルギー型のもを購入する」が 1.444 点となっています。



平成 21(2009)年度に実施した、長岡京市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)策定のためのアンケート(以下、「温対アンケート」と比較すると、「家電製品は省エネルギー型のもを購入する」「照明は白熱灯や蛍光灯より LED を購入する」「複層ガラスや二重窓を導入する」で実行度が高く、「古紙を使ったトイレトーパーを購入する」で低くなっています。

なお、温対アンケートの結果については、報告書のグラフより読み取った推計値を使用しています。このため、結果の精度について注意が必要です。

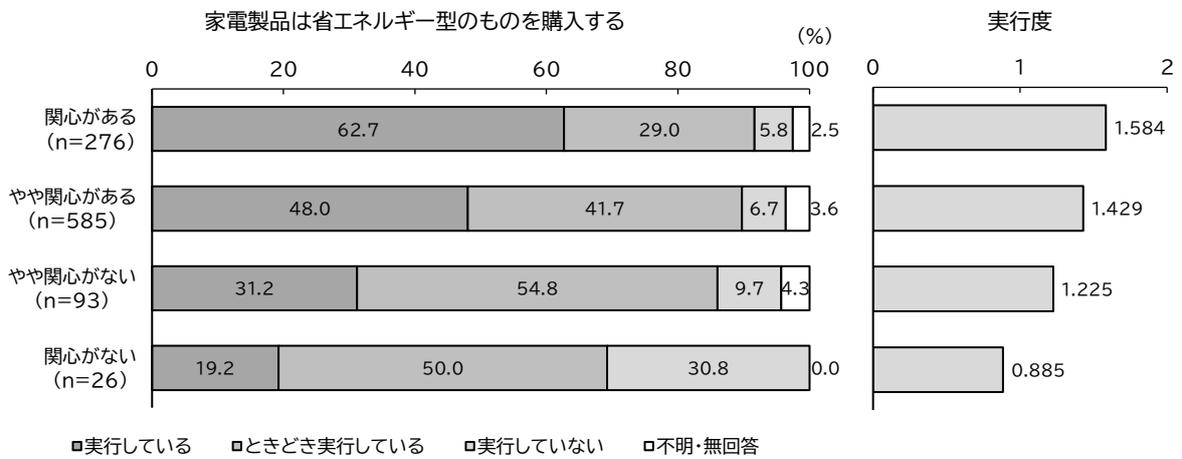
家電・家庭用品等の購入についての現状

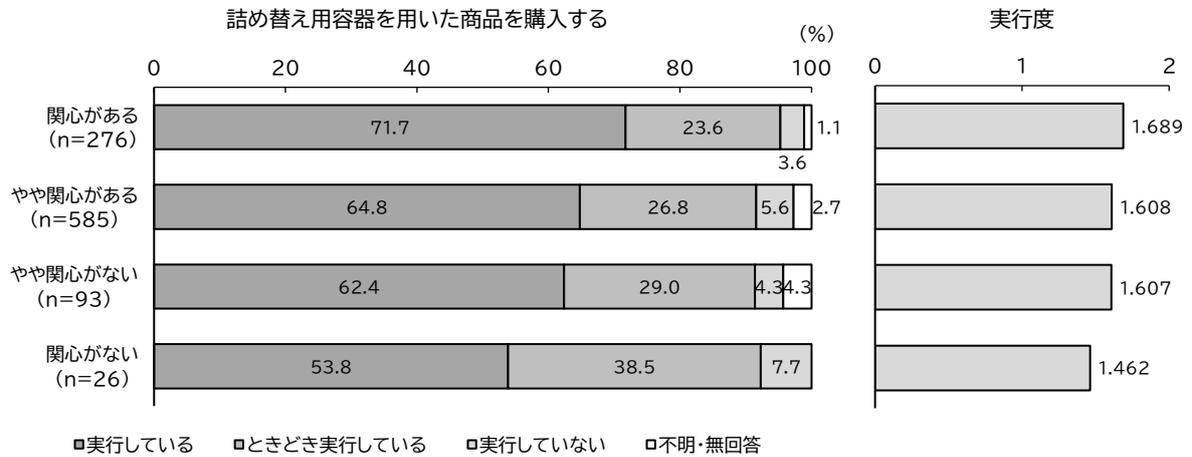
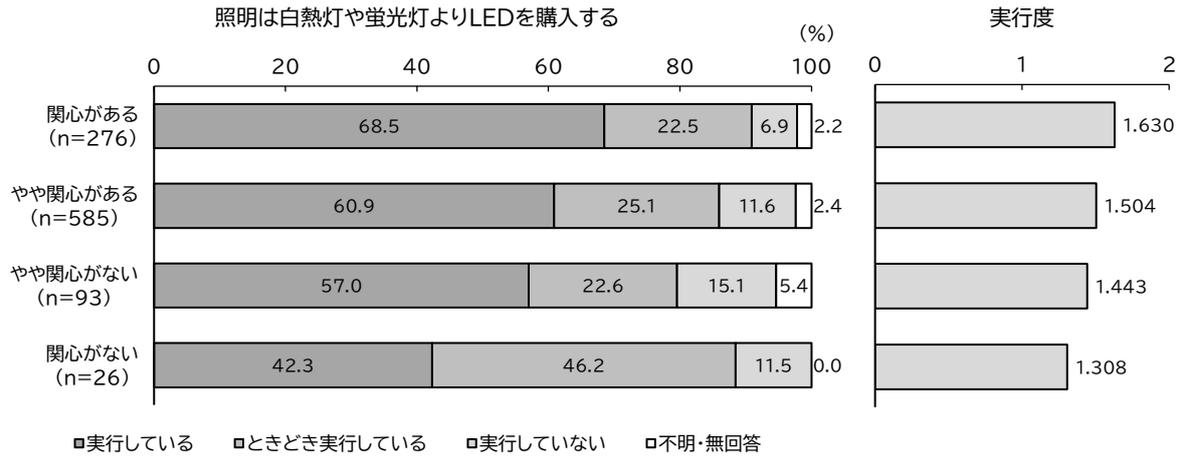


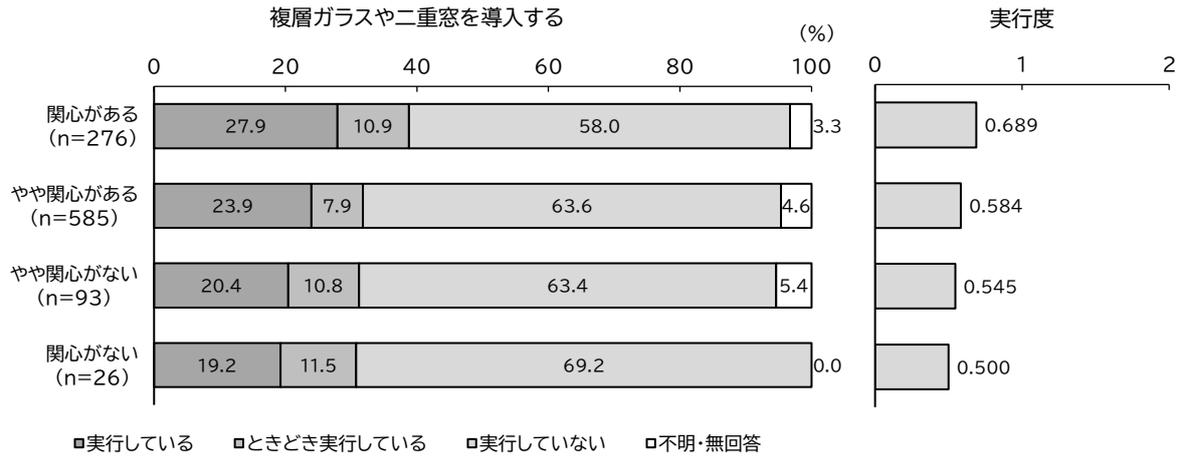
2020年:本調査 2009年:温対アンケート
 ※ 2009年は「照明は白熱灯より蛍光灯を購入する」

【環境問題や環境保全への関心との関係】

環境問題や環境保全への関心(問 3)別にみると、すべての項目で関心が高いほど実行度が高くなっています。

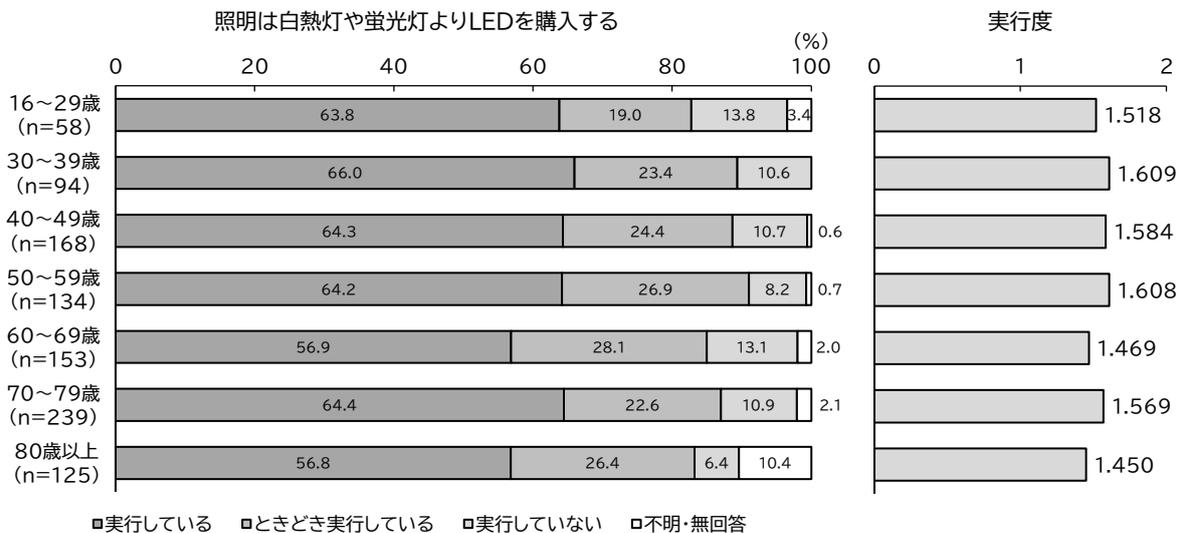
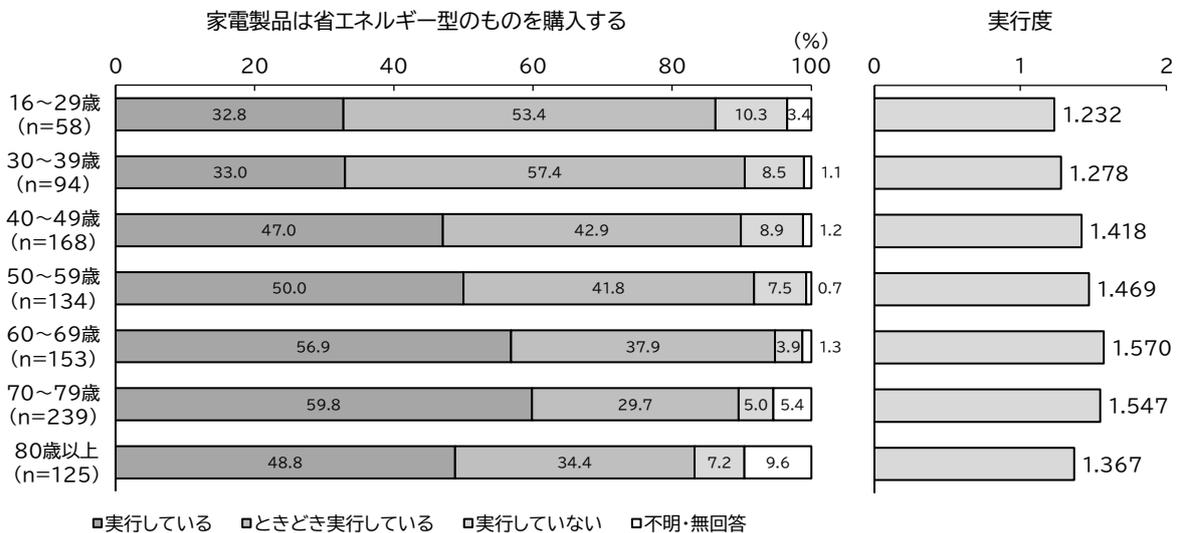


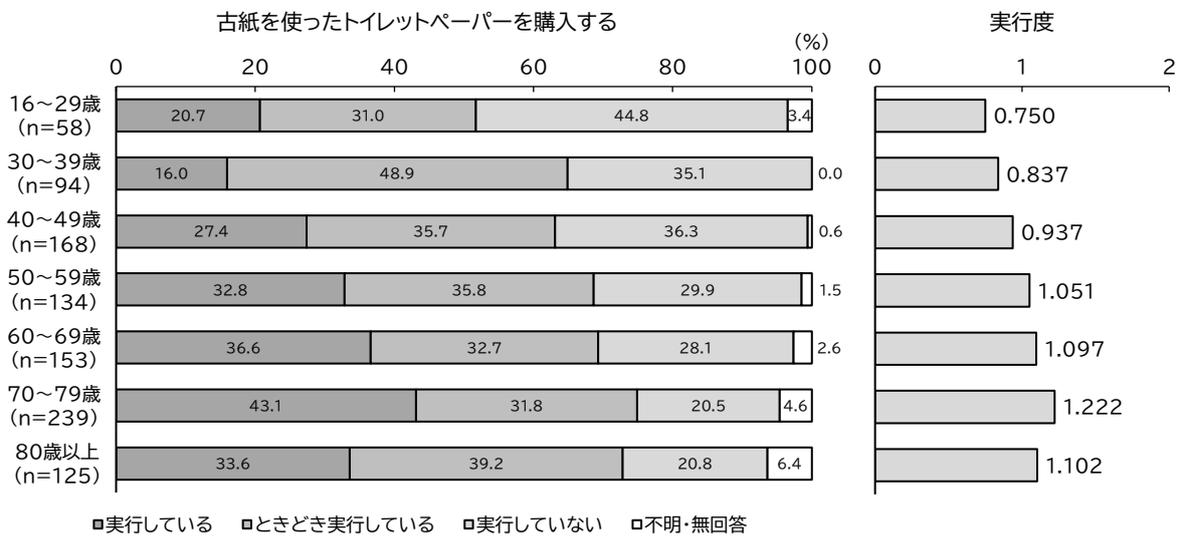
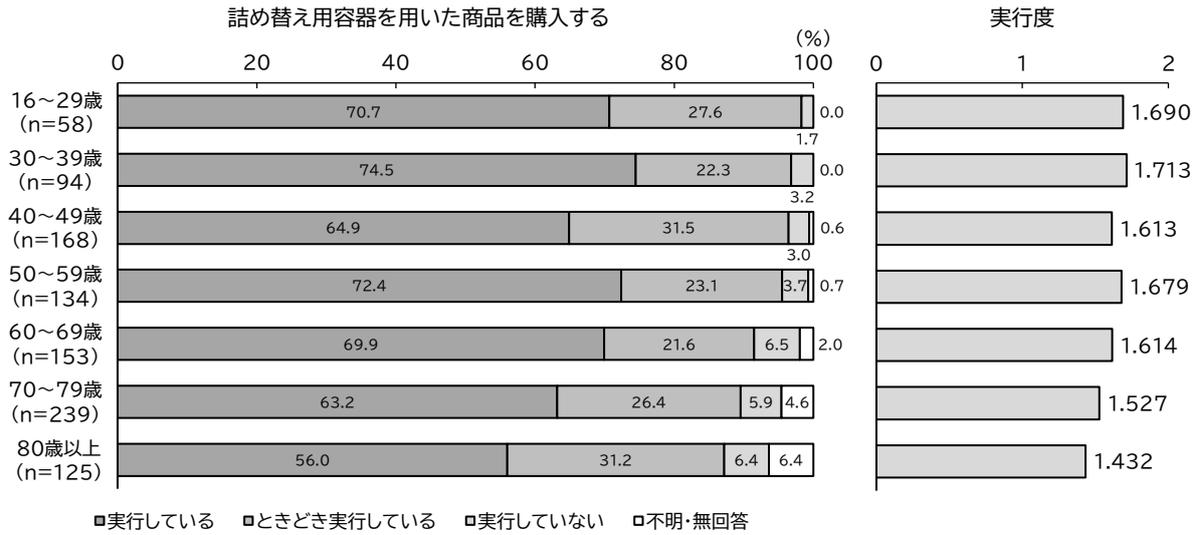




【年齢との関係】

年齢別にみると、「家電製品は省エネルギー型のもを購入する」「古紙を使ったトイレトーパーを購入する」は年齢が高いほど実行度が高くなっていますが、「80歳以上」になると低くなっています。「複層ガラスや二重窓を導入する」は「40～49歳」で高くなっています。

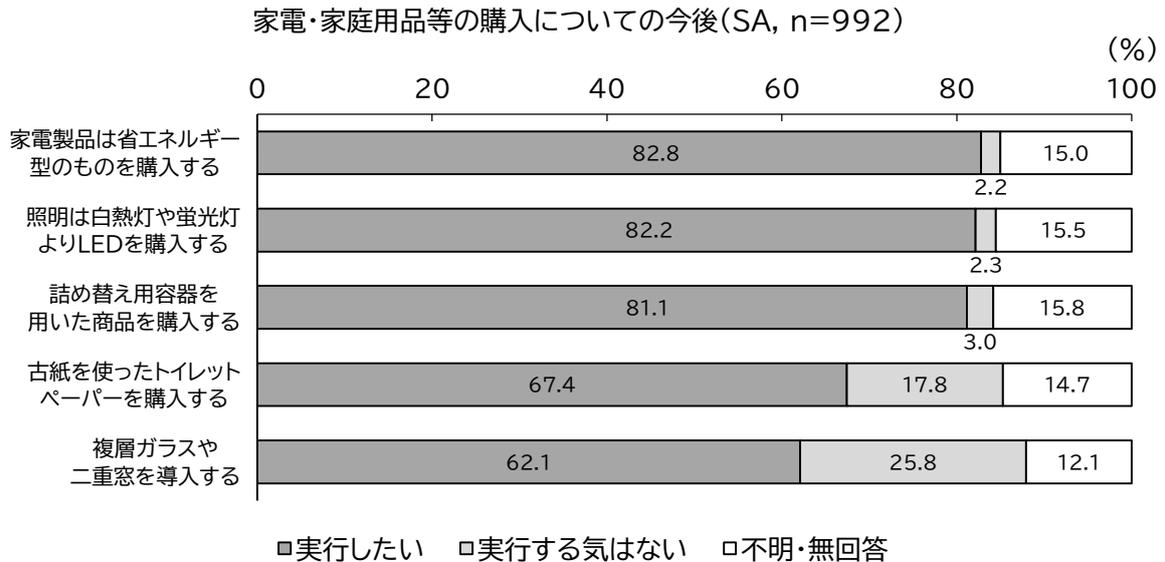




◎ 今後の実行意向

家電・家庭用品等の購入について、今後は「実行したい」が最も多いのは「家電製品は省エネルギー型のものを購入する」で 82.8%、次いで「照明は白熱灯や蛍光灯より LED を購入する」が 82.2%、「詰め替え用容器を用いた商品を購入する」が 81.1%となっています。

「実行する気はない」が最も多いのは「複層ガラスや二重窓を導入する」で 25.8%、次いで「古紙を使ったトイレトペーパーを購入する」が 17.8%、「詰め替え用容器を用いた商品を購入する」が 3.0%と続いています。

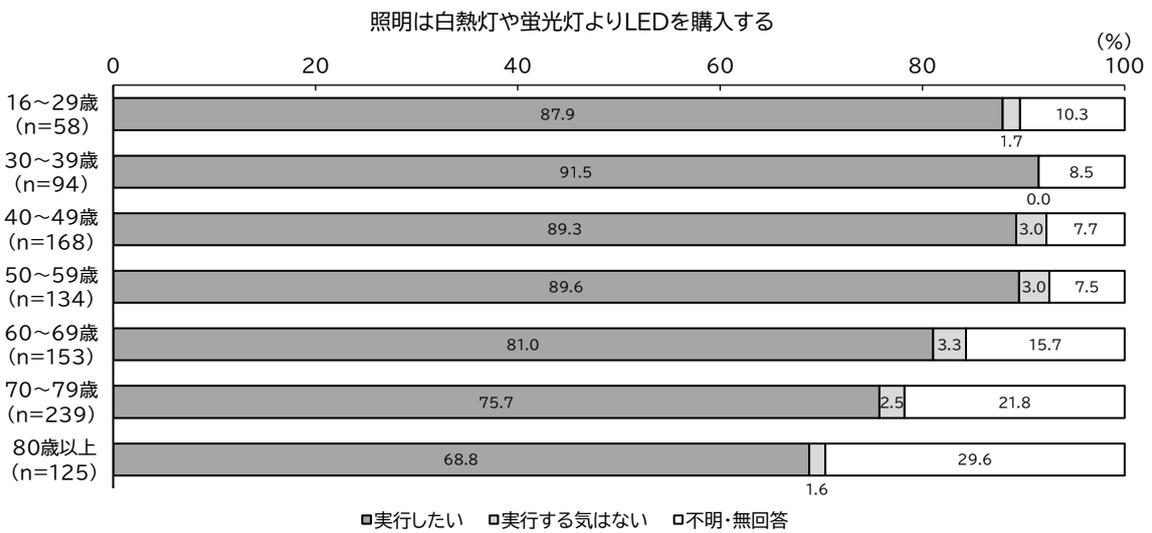
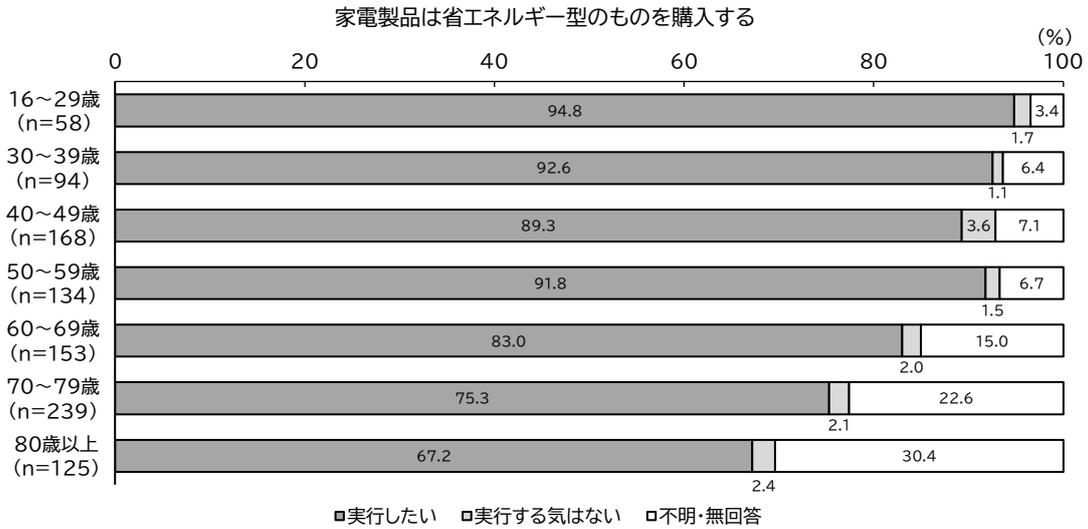


平成 21(2009)年度の温対アンケートと比較すると、「複層ガラスや二重窓を導入する」で実行の意向が高く、「古紙を使ったトイレトペーパーを購入する」で低くなっています。

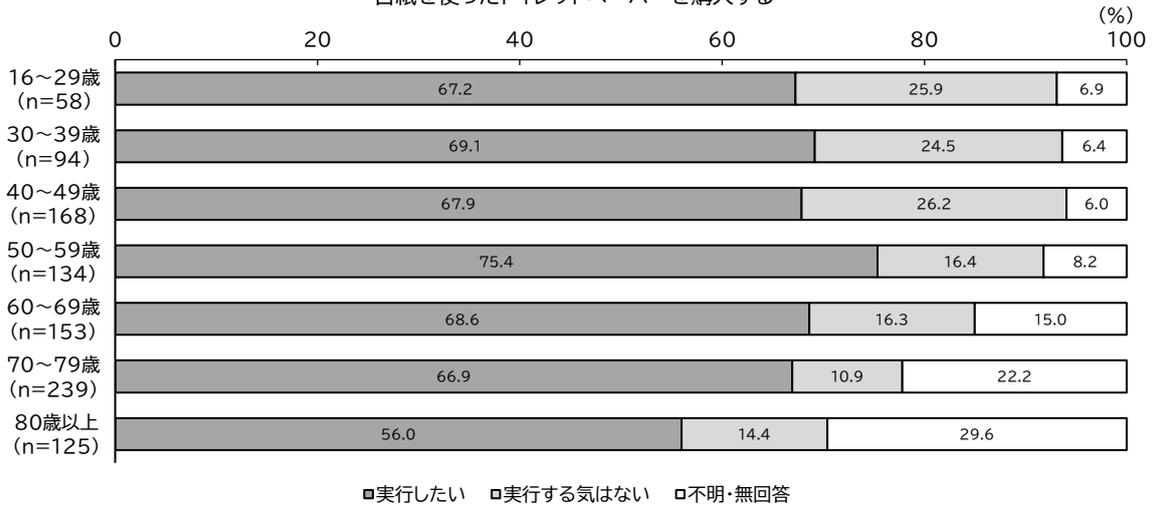
なお、温対アンケートの結果については、報告書のグラフより読み取った推計値を使用しています。このため、結果の精度について注意が必要です。

【年齢との関係】

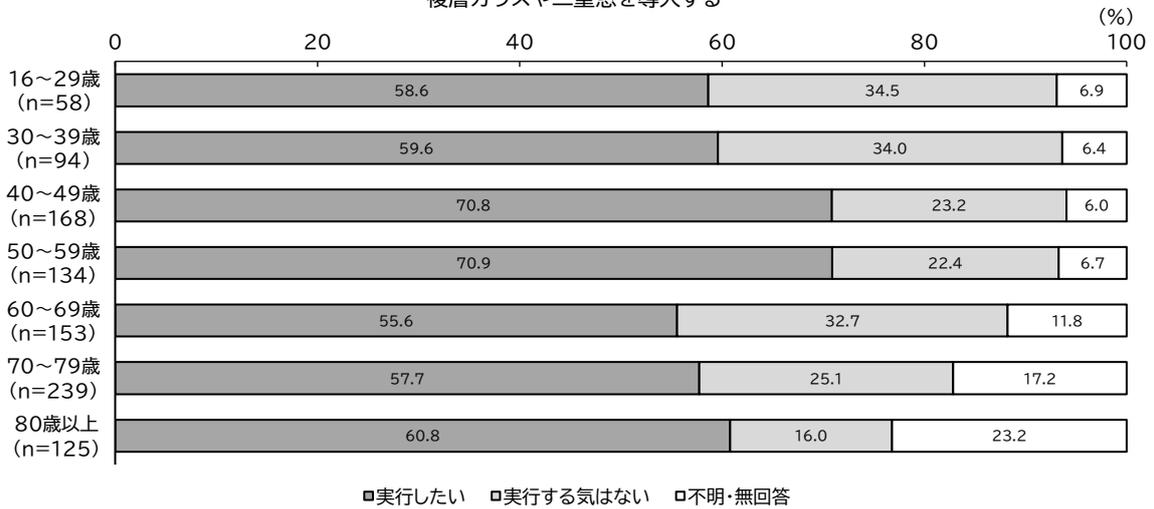
年齢別にみると、「不明・無回答」を除くとすべての項目で年齢による差はみられません。



古紙を使ったトイレトーパーを購入する



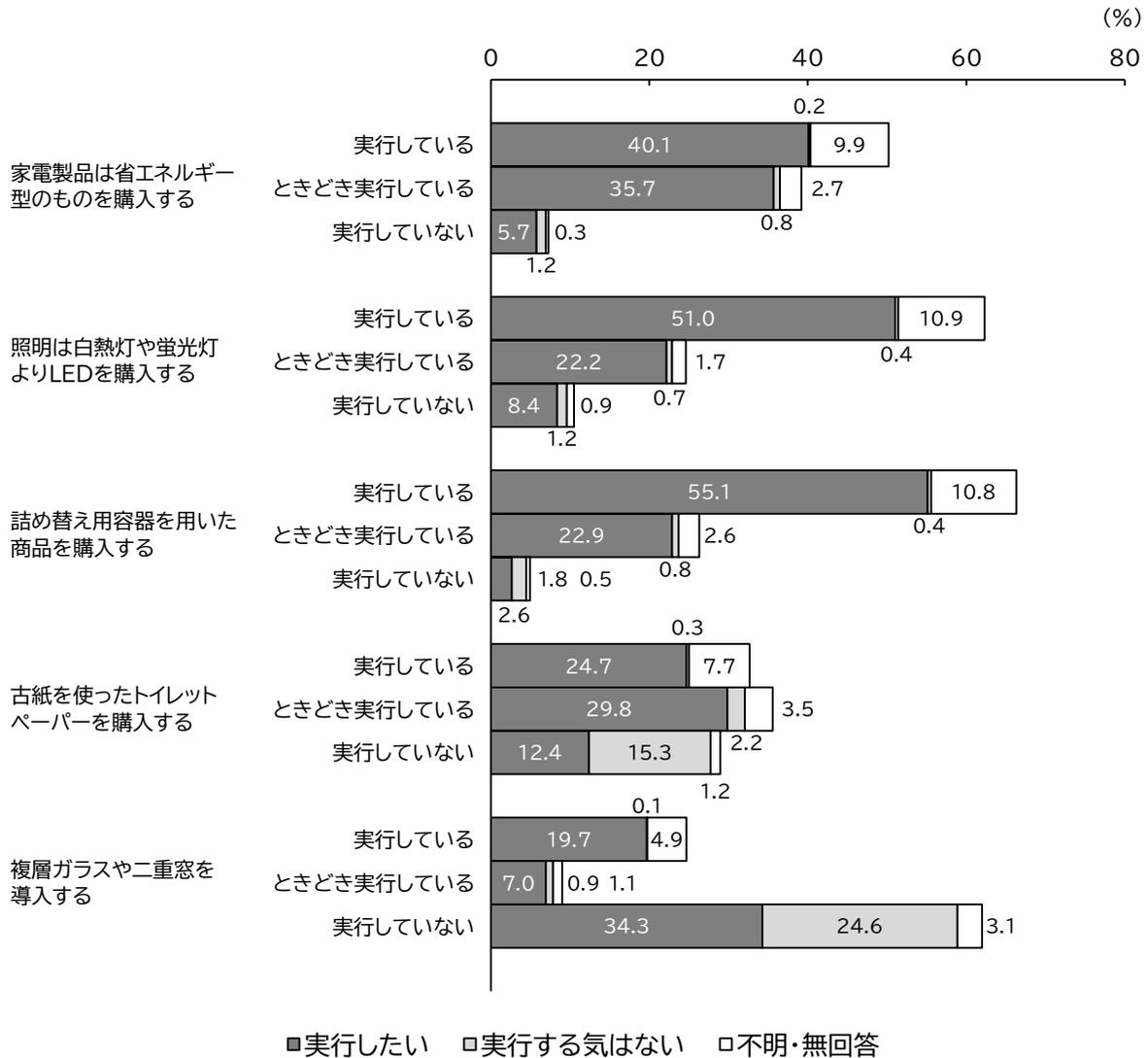
複層ガラスや二重窓を導入する



◎ 「現状の実行状況」と「今後の実行意向」の関係

現状は「実行していない」が、今後は「実行したい」と回答している割合について、最も多いのは「複層ガラスや二重窓を導入する」で34.3%、次いで「古紙を使ったトイレトーパーを購入する」が12.4%、「照明は白熱灯や蛍光灯よりLEDを購入する」が8.4%と続いています。

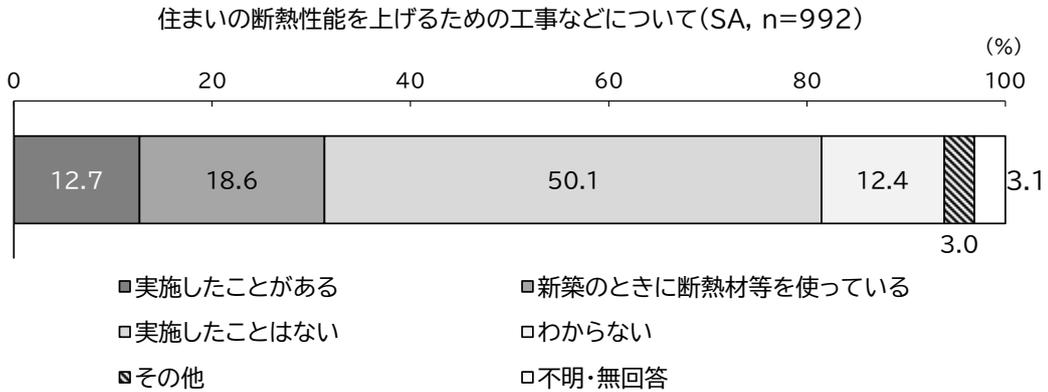
家電・家庭用品等の購入についての現状と今後(SA, n=992)



3.5. 住まいの断熱性能を上げるための工事などについて(問10)

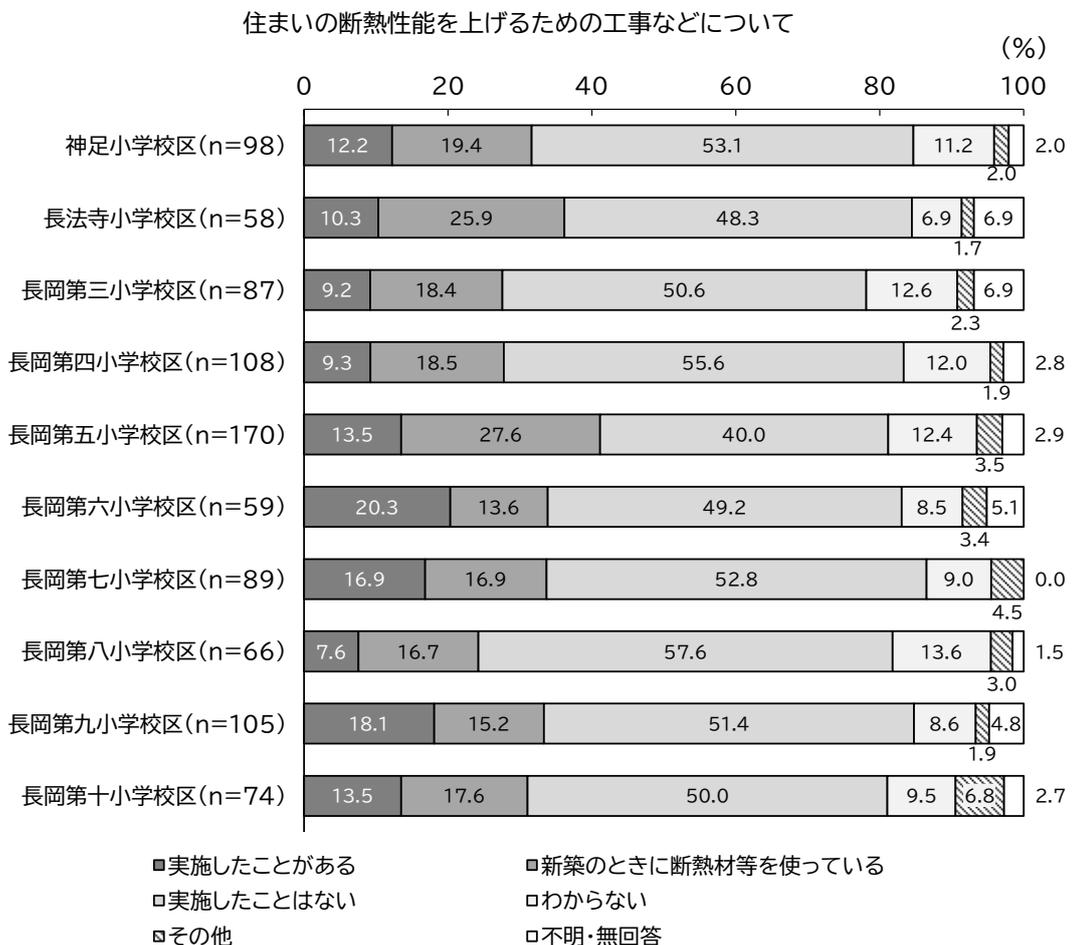
住まいの断熱性能を上げるためのリフォーム工事などについて、「実施したことがある」が12.7%、「新築のときに断熱材等を使っている」が18.6%、「実施したことはない」が50.1%となっています。

「新築のときに断熱材等を使っている」と「実施したことがある」を合わせると、31.3%で住まいの断熱性能を上げるための工事などが実施されています。



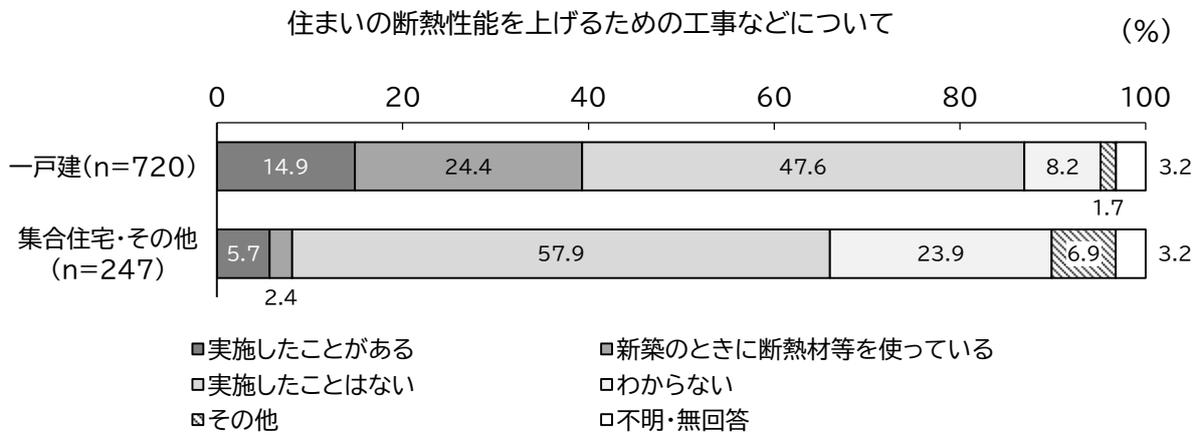
【居住地域との関係】

居住地域別にみると、「長岡第五小学校区」で「実施したことがある」と「新築のときに断熱材等を使っている」を合わせた回答が多くなっています。



【住宅の種類との関係】

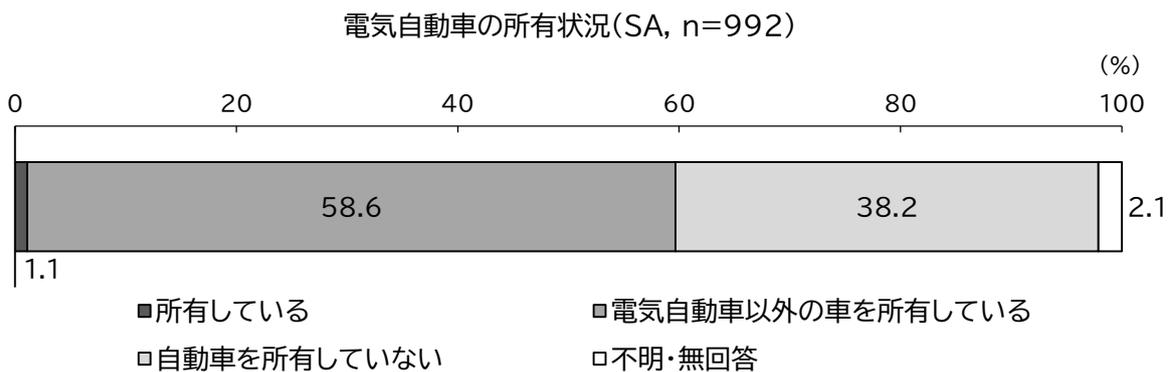
住宅の種類別にみると、「一戸建」の「実施したことがある」「新築のときに断熱材等を使っている」が多くなっています。



3.6. 電気自動車について(問 11)

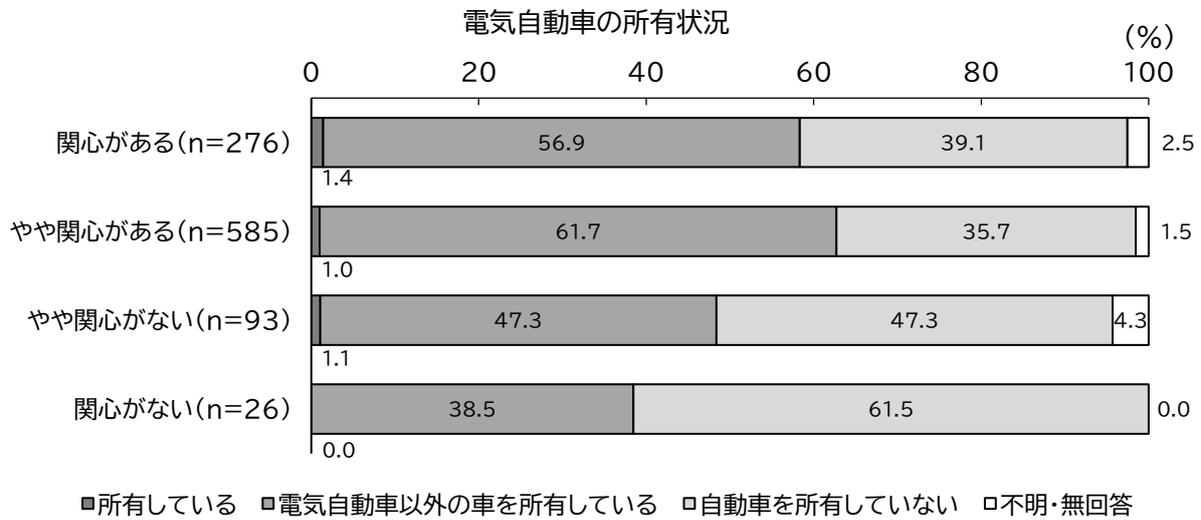
◎ 所有状況

電気自動車の所有状況について、「所有している」が 1.1%、「電気自動車以外の車を所有している」が 58.6%、「自動車を所有していない」が 38.2%となっています。



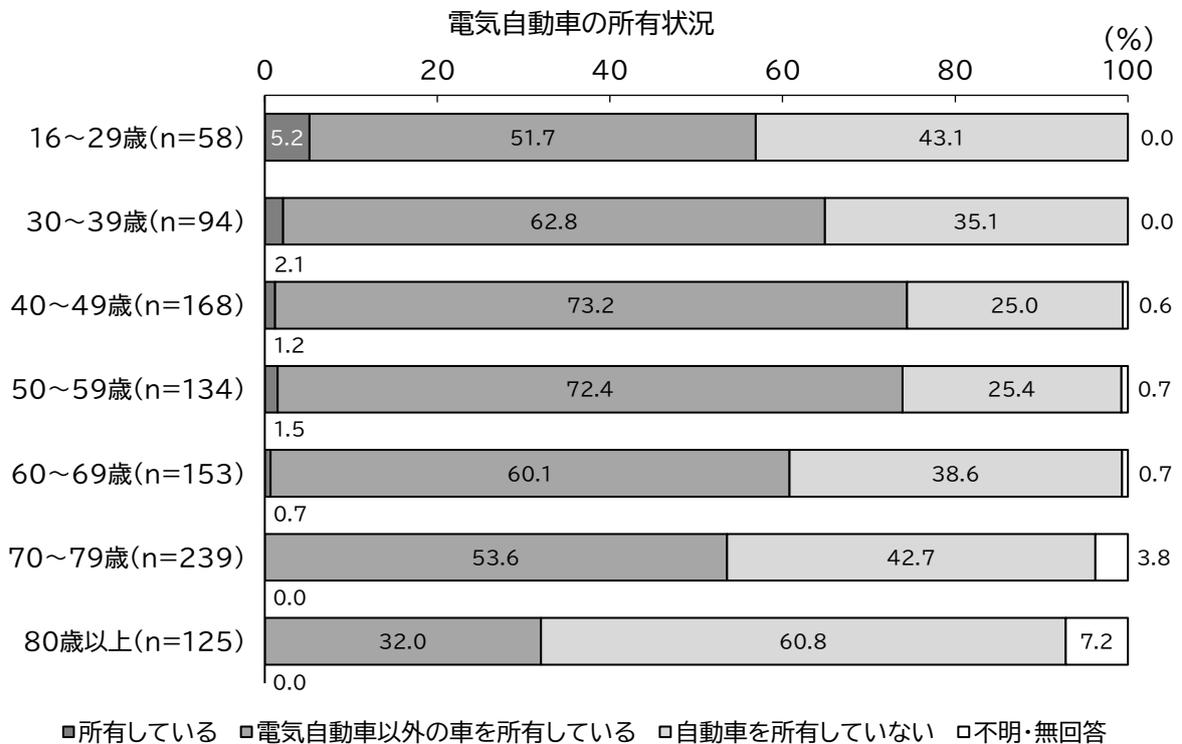
【環境問題や環境保全への関心との関係】

環境問題や環境保全への関心(問 3)別にみると、「所有している」割合について、関心による差はみられません。



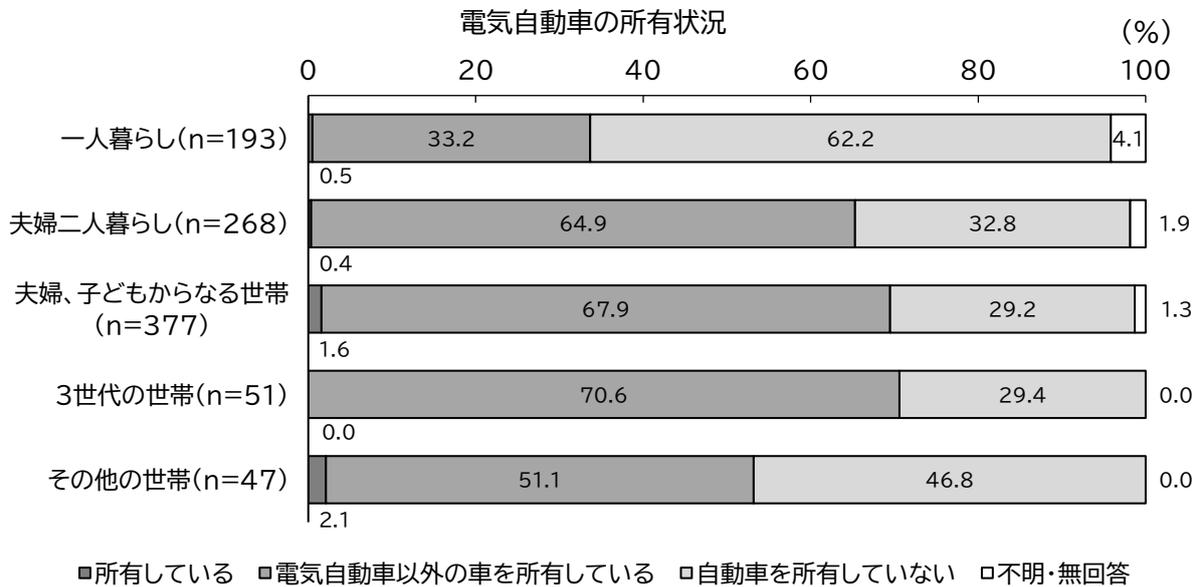
【年齢との関係】

年齢別にみると、「所有している」割合について、年齢による差はみられません。



【世帯構成との関係】

世帯構成別にみると、「所有している」割合について、世帯構成による差はみられません。

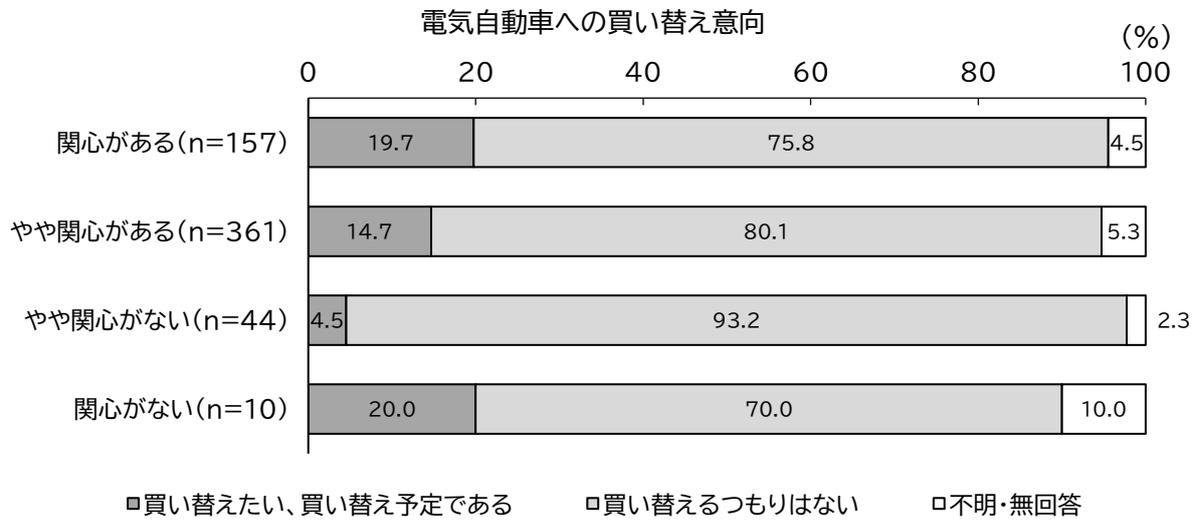


◎ 買い替えの意向

「所有状況」で「電気自動車以外の車を所有している」と回答した人の、買い替えの意向について、「買いたい、買い替え予定である」が15.3%、「買い替えるつもりはない」が79.7%となっています。

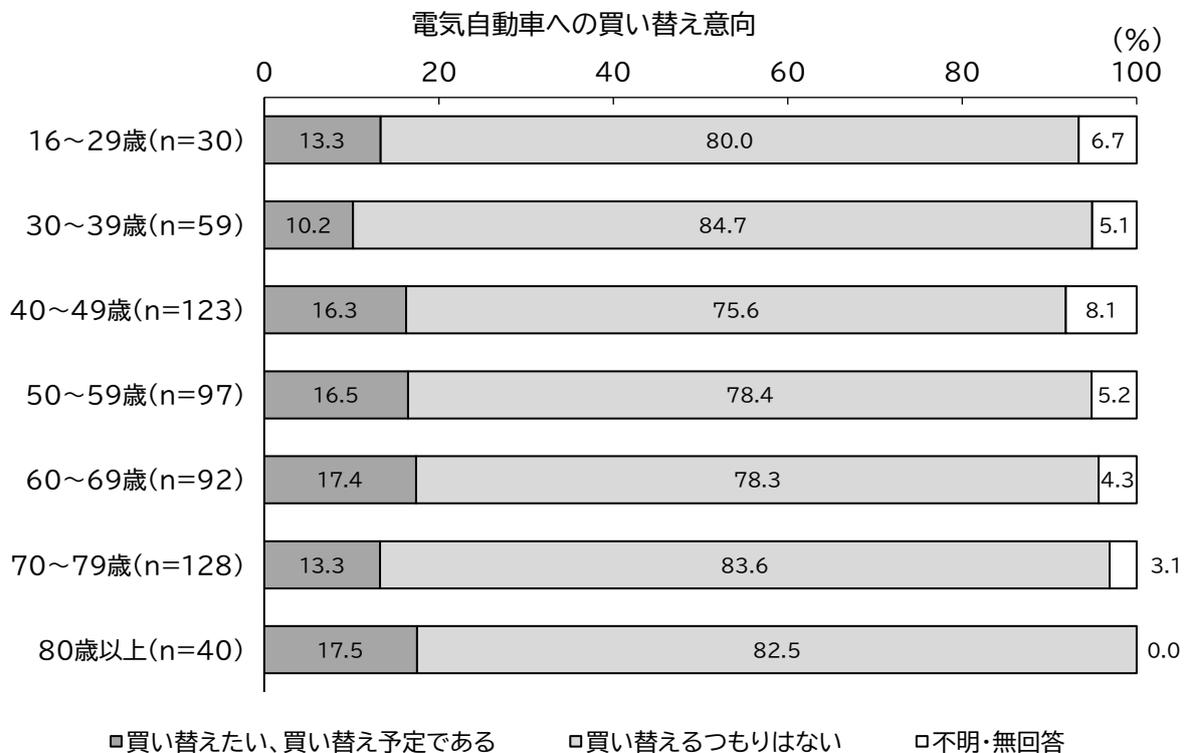
【環境問題や環境保全への関心との関係】

環境問題や環境保全への関心(問 3)別にみると、「買い替えたい、買い替え予定である」割合について、関心による差はみられません。



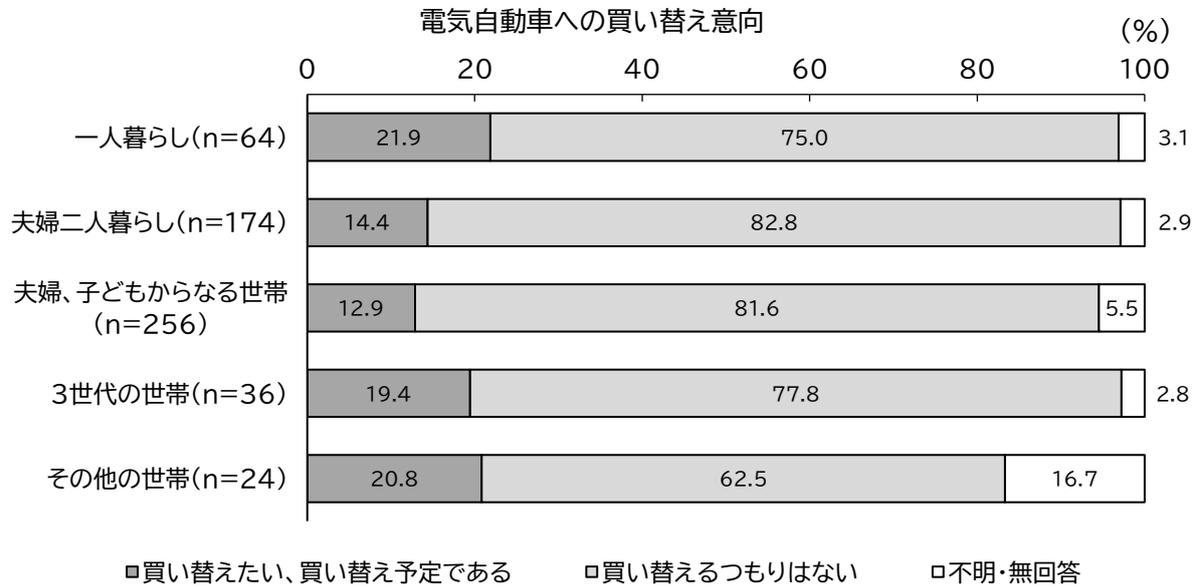
【年齢との関係】

年齢別にみると、「買い替えたい、買い替え予定である」割合について、年齢による差はみられません。



【世帯構成との関係】

世帯構成別にみると、「買い替えたい、買い替え予定である」割合について、世帯構成による差はみられません。

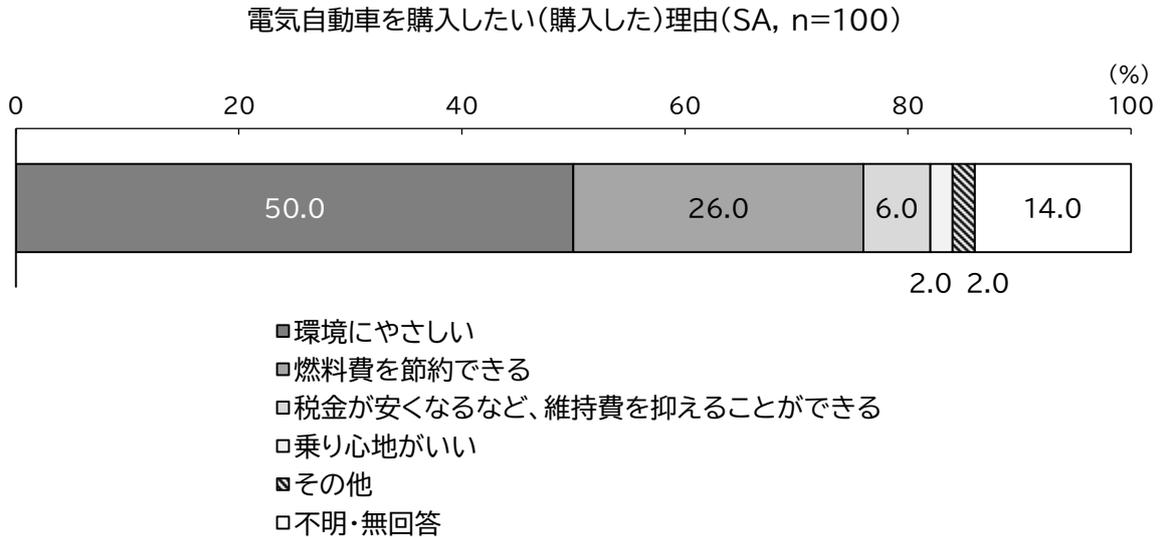


【住宅の種類との関係】

住宅の種類別にみると、「買い替えたい、買い替え予定である」割合について、住宅の種類による差はみられません。

◎ 購入したい(購入した)理由

「所有状況」で「所有している」、または「買い替えの意向」で「買い替えたい、買い替え予定である」と回答した人の、電気自動車を購入したい(購入した)理由について、最も多いのは「環境にやさしい」で50.0%、次いで「燃料費を節約できる」が26.0%、「税金が安くなるなど、維持費を抑えることができる」が6.0%となっています。

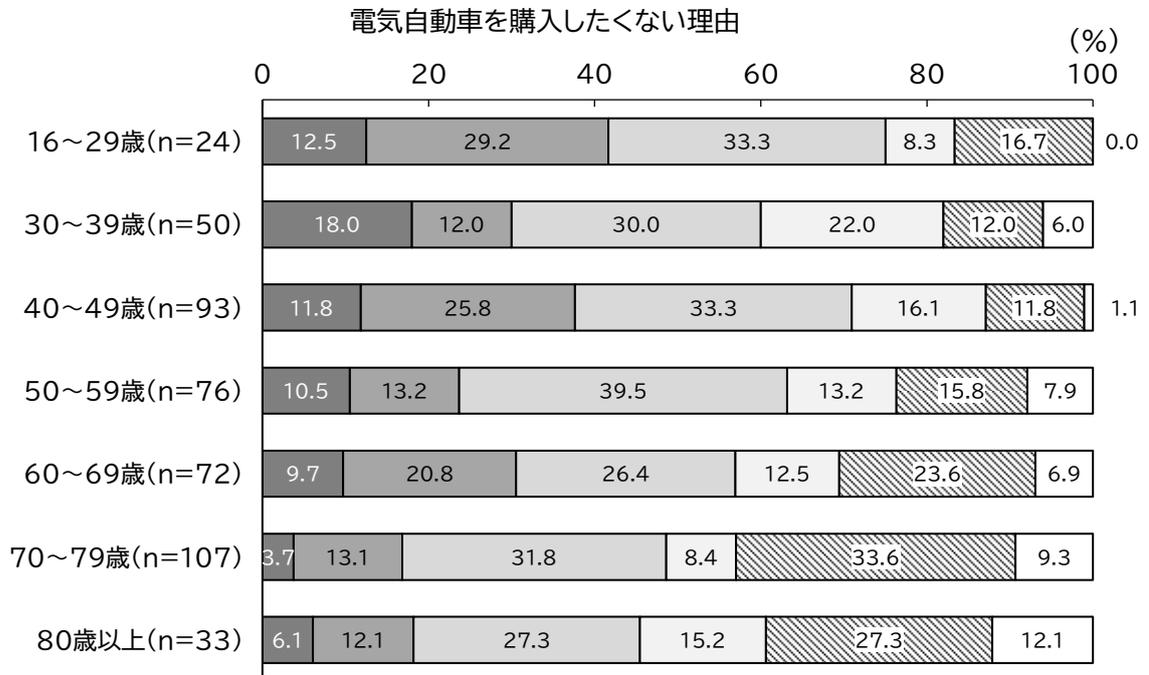


◎ 購入したくない理由

「買い替えの意向」で「買い替えるつもりはない」と回答した人の、電気自動車を購入したくない理由について、最も多いのは「購入価格が高い」で32.0%、次いで「外出時に充電できるか不安」が17.7%、「維持費(バッテリー交換など)を考えると割高になりそう」が13.4%となっています。

【年齢との関係】

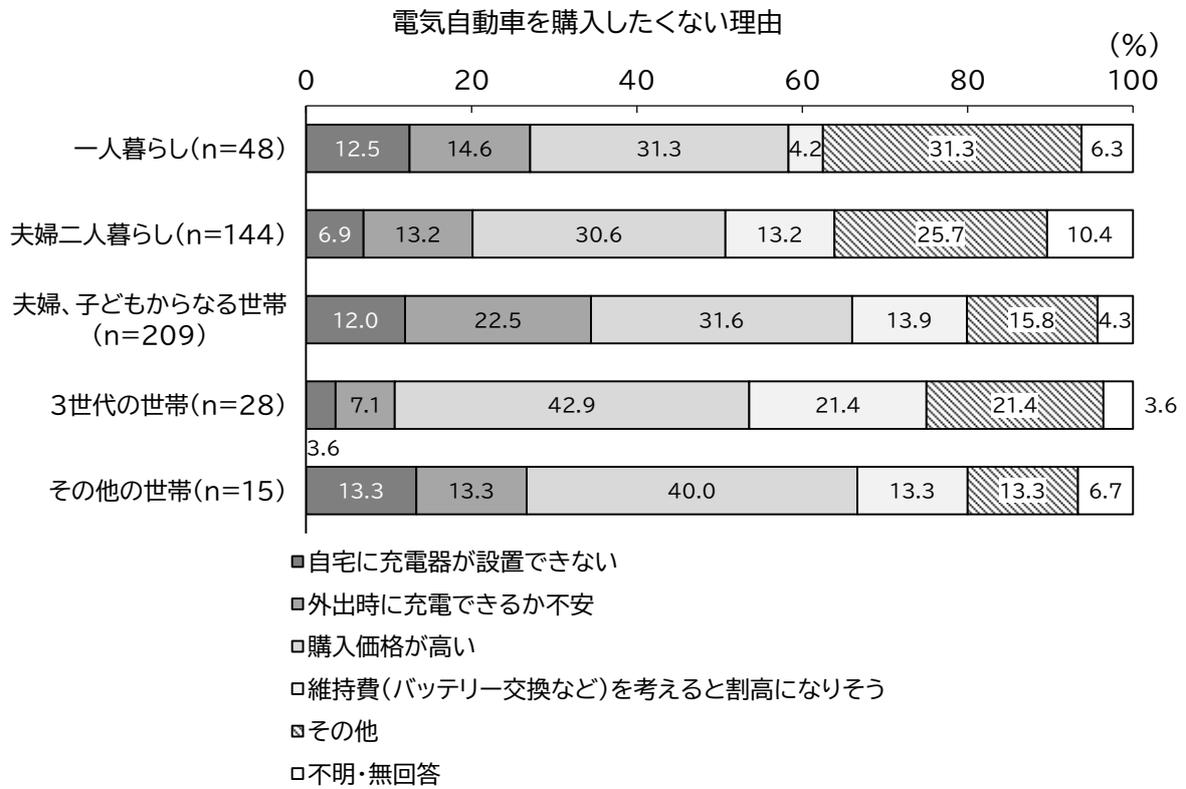
年齢別にみると、「60～69 歳」より下の年代では「購入価格が高い」が、「70～79 歳」より上の年代では「その他」が最も多くなっています。「70～79 歳」より上の年代の「その他」について、高齢のため自動車の買い替え自体を考えていない、免許を返納した、返納を考えているという意見が多数を占めています。



- 自宅に充電器が設置できない
- 外出時に充電できるか不安
- 購入価格が高い
- 維持費(バッテリー交換など)を考えると割高になりそう
- その他
- 不明・無回答

【世帯構成との関係】

世帯構成別にみると、いずれの世帯構成においても「購入価格が高い」が最も多くなっています。世帯構成による差はみられません。



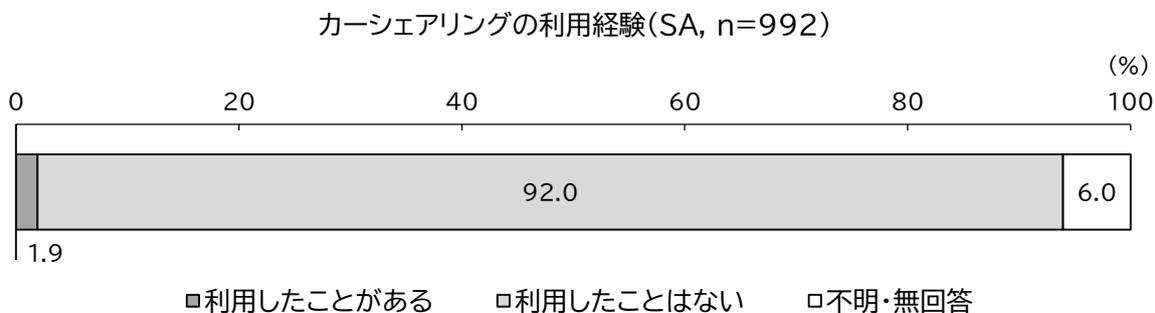
【住宅の種類との関係】

住宅の種類別にみると、「一戸建」では「購入価格が高い」が、「集合住宅・その他」では「自宅に充電器が設置できない」が最も多くなっています。

3.7. カーシェアリングについて(問 12)

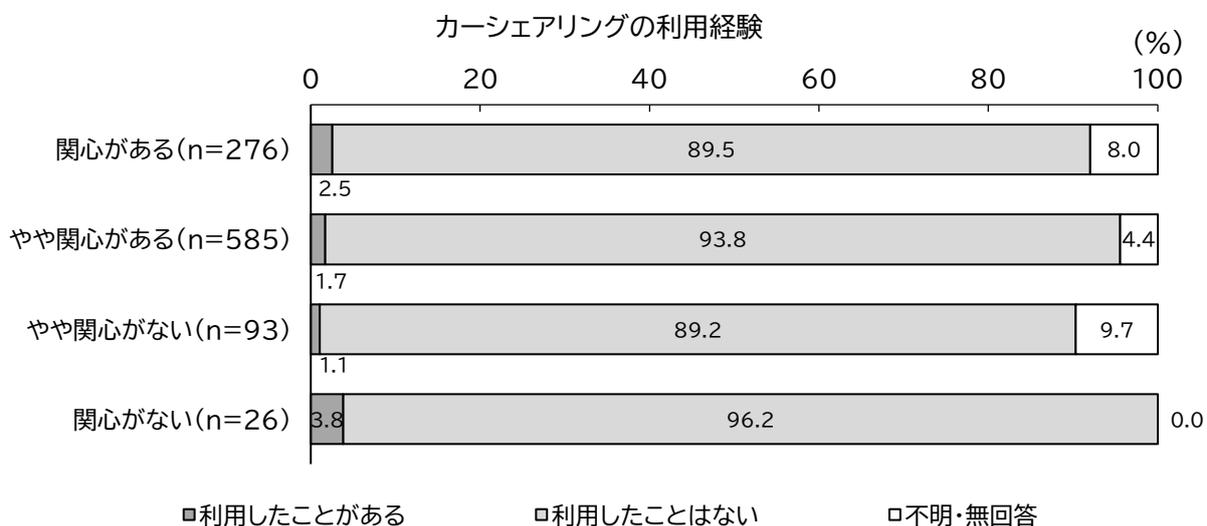
◎ 利用経験

カーシェアリングの利用経験について、「利用したことがある」が 1.9%、「利用したことはない」が 92.0%となっています。



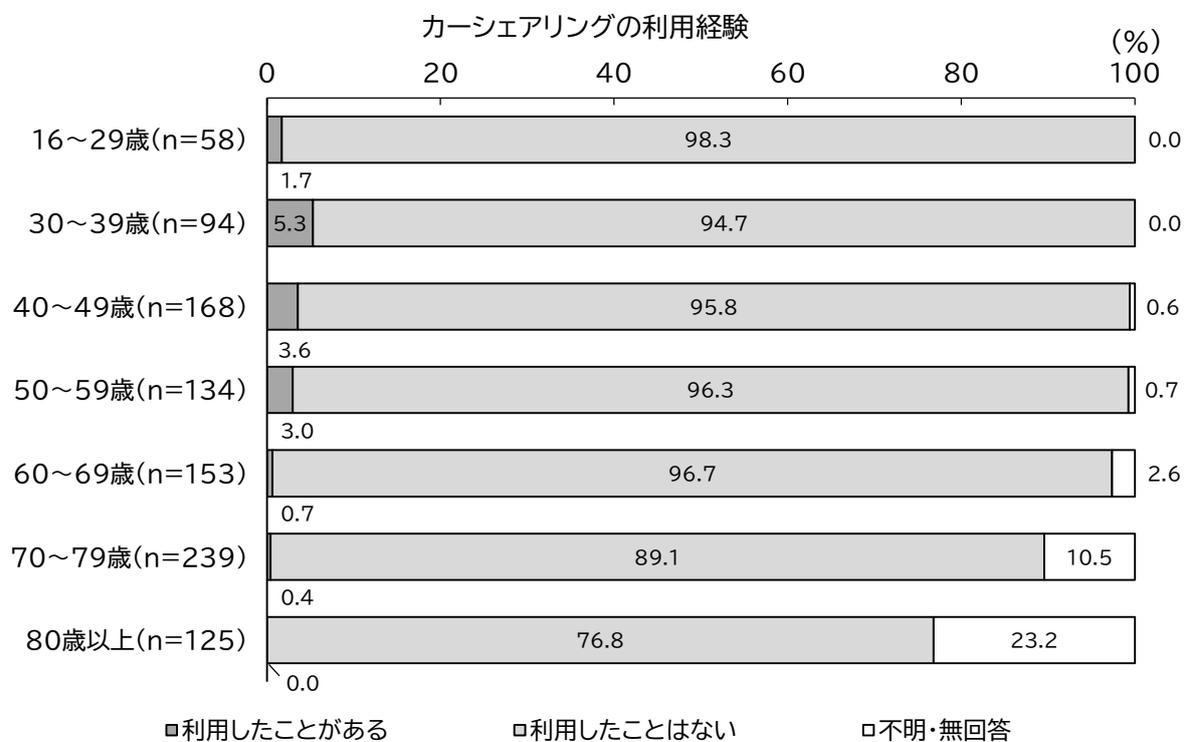
【環境問題や環境保全への関心との関係】

環境問題や環境保全への関心(問 3)別にみると、「利用したことがある」割合について、関心による差はみられません。



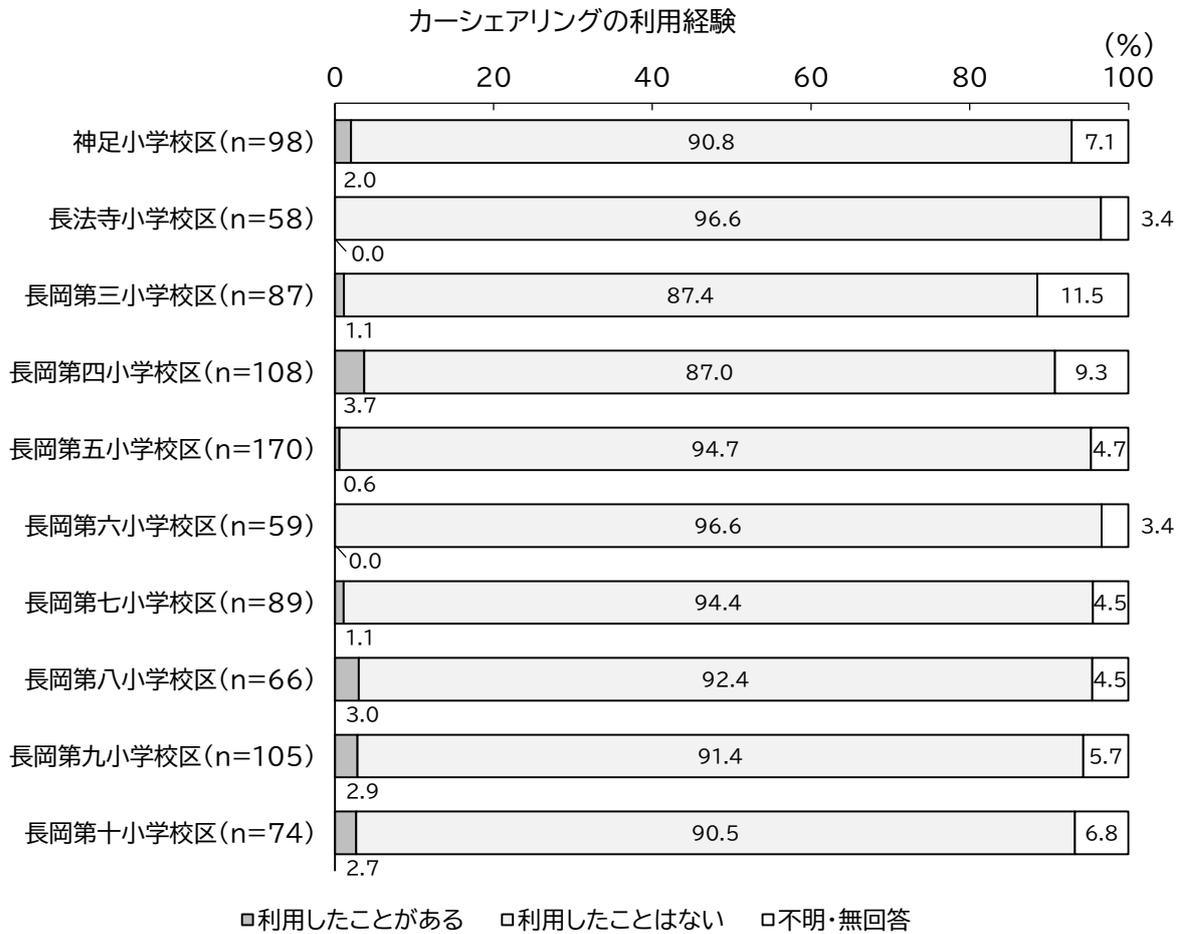
【年齢との関係】

年齢別にみると、「30～39歳」で「利用したことがある」が多くなっています。



【居住地域との関係】

居住地域別にみると、「利用したことがある」割合について、居住地域による差はみられません。

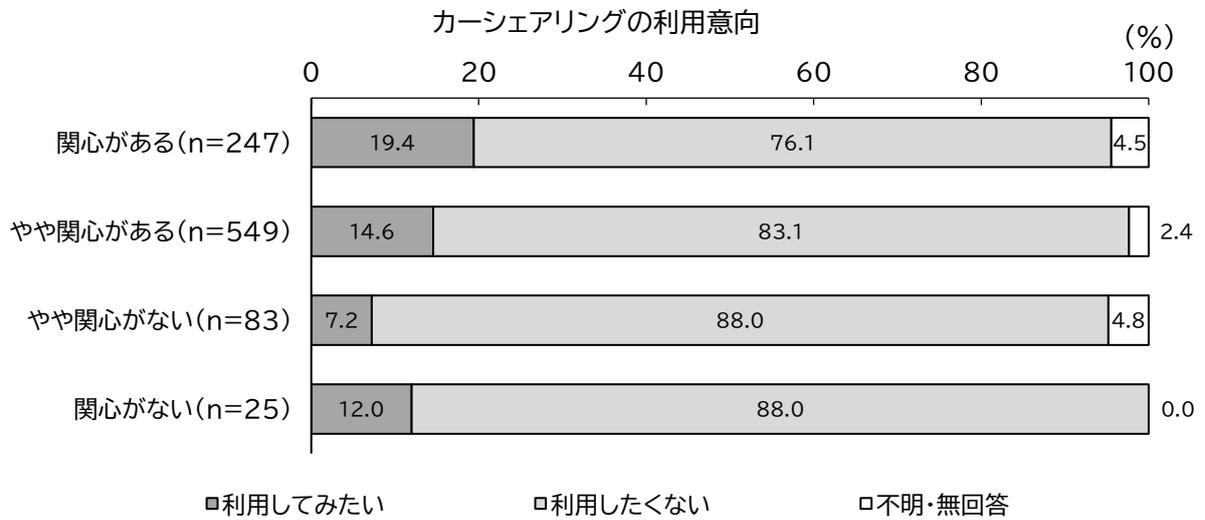


◎ 利用の意向

「利用経験」で「利用したことはない」と回答した人の、利用の意向について、「利用してみたい」が15.2%、「利用したくない」が81.6%となっています。

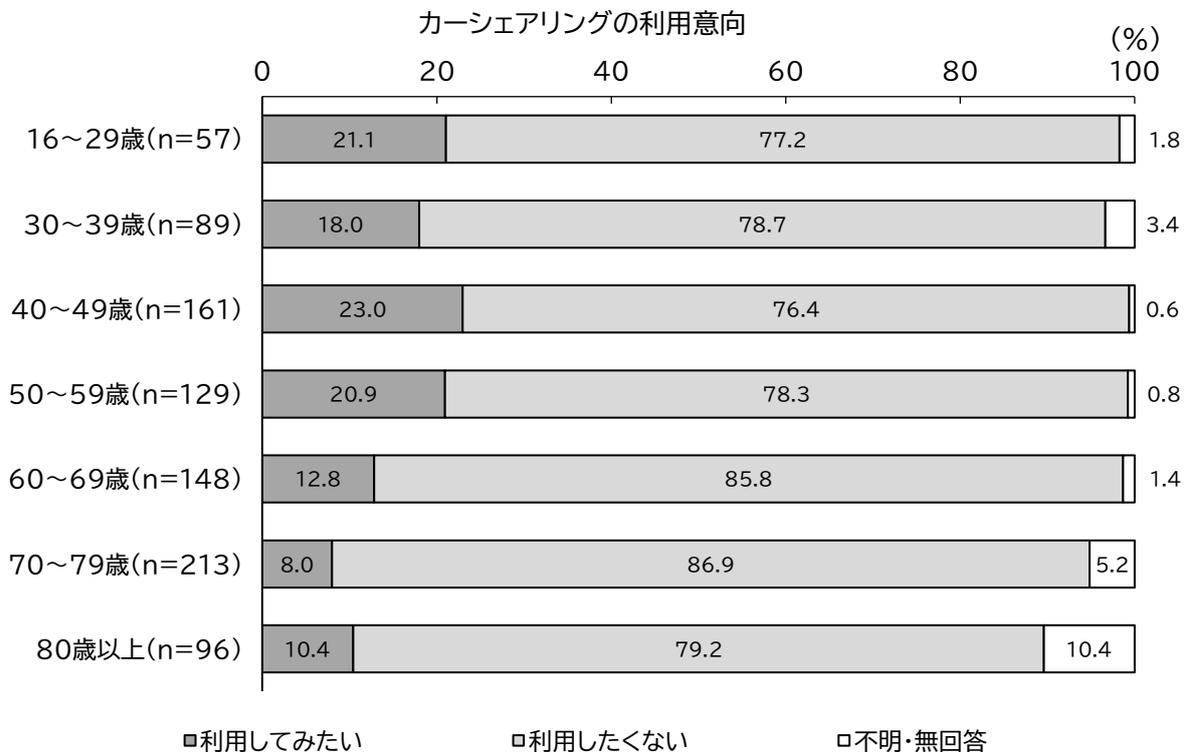
【環境問題や環境保全への関心との関係】

環境問題や環境保全への関心(問3)別にみると、関心が高いほど「利用してみたい」が多くなっています。



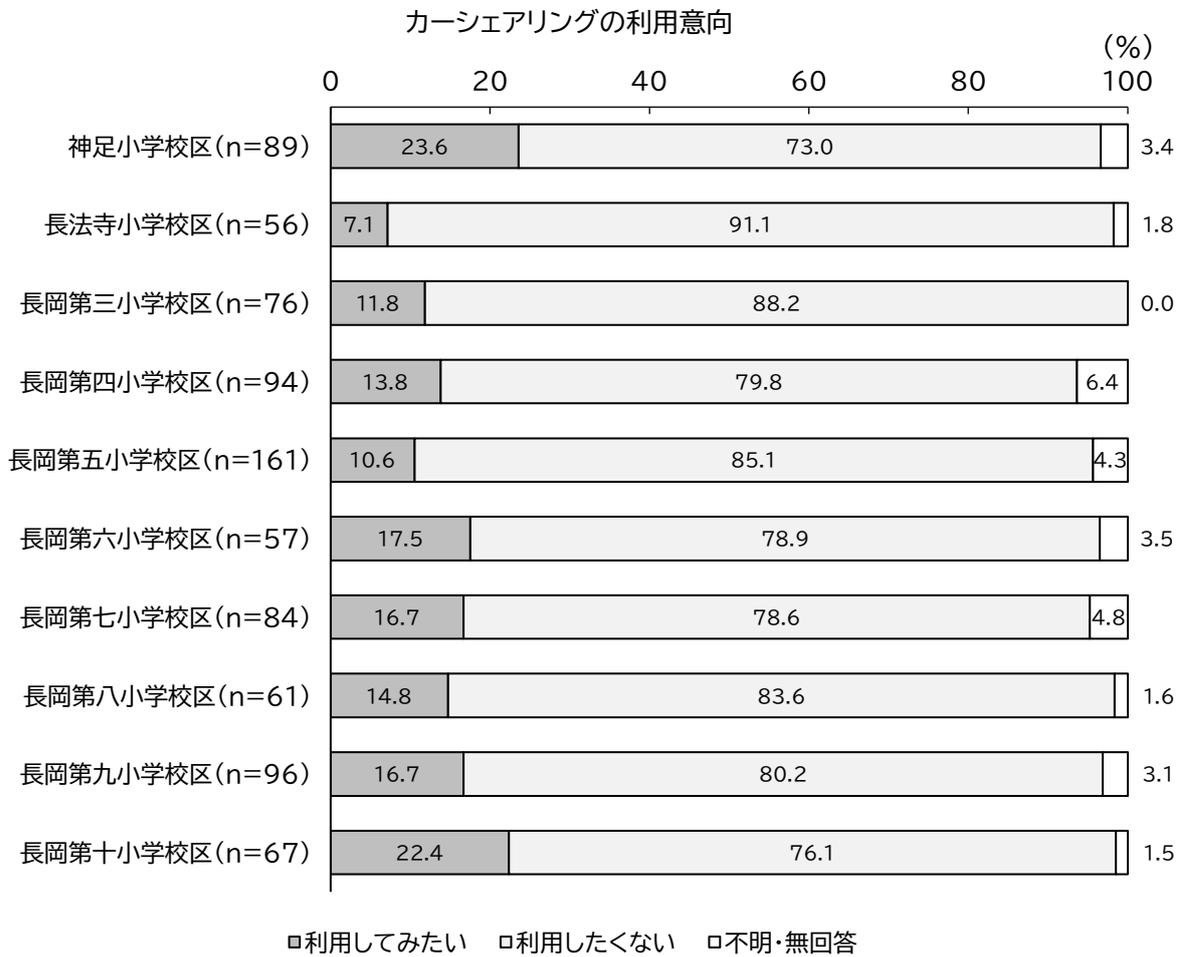
【年齢との関係】

年齢別にみると、「60～69歳」より上の年代で「利用してみたい」が少なくなっています。



【居住地域との関係】

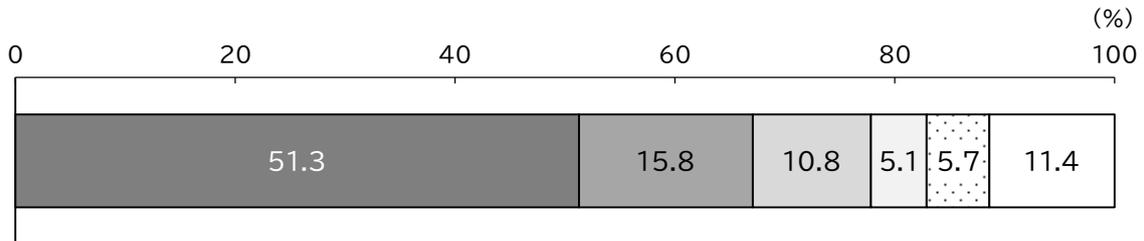
居住地域別にみると、「神足小学校区」「長岡第十小学校区」で「利用してみたい」が多くなっています。



◎ 利用したい(利用した)最大の理由

「利用経験」でカーシェアリングを「利用したことがある」、または「利用の意向」で「利用してみたい」と回答した人の、カーシェアリングを利用したい(利用した)最大の理由について、最も多いのは「マイカーを持つより安くすませられる」で 51.3%、次いで「外出先でも車に乗ることができる」が 15.8%、「目的に応じて車を選ぶことができる」が 10.8%となっています。

カーシェアリングを利用したい(利用した)最大の理由(SA, n=158)



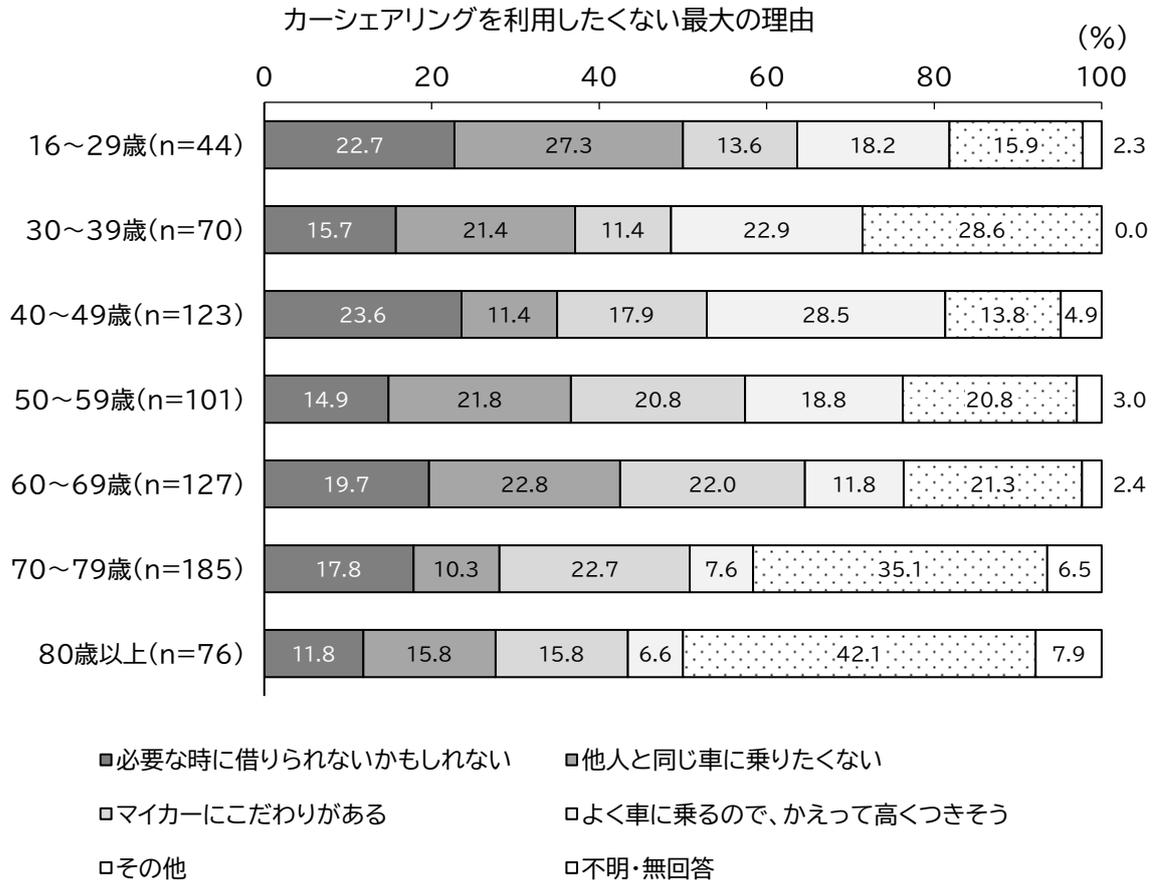
- マイカーを持つより安くすませられる
- 外出先でも車に乗ることができる
- 目的に応じて車を選ぶことができる
- 自宅に(これ以上)駐車スペースがない
- その他
- 不明・無回答

◎ 利用したくない最大の理由

「利用の意向」で「利用したくない」と回答した人の、カーシェアリングを利用したくない最大の理由について、最も多いのは「マイカーにこだわりがある」で 18.8%、次いで「必要な時に借りられないかもしれない」が 18.0%、「他人と同じ車に乗りたくない」が 17.2%となっています。

【年齢との関係】

年齢別にみると、「16～29 歳」「50～59 歳」「60～69 歳」では「他人と同じ車に乗りたくない」が、「40～49 歳」で「よく車に乗るので、かえって高くつきそう」が、「30～39 歳」「70～79 歳」「80 歳以上」では「その他」が最も多くなっています。「その他」について、「60～69 歳」より下の年代は免許を持っていない、車に乗ること自体ないという意見が、「70～79 歳」より上の年代は高齢のため免許を返納した、返納を考えているという意見が多数を占めています。



3.8. 自動車について(問 13)

◎ 所有状況

自動車の所有状況について、「所有している」が 64.0%、「所有していない」が 32.8%となっています。

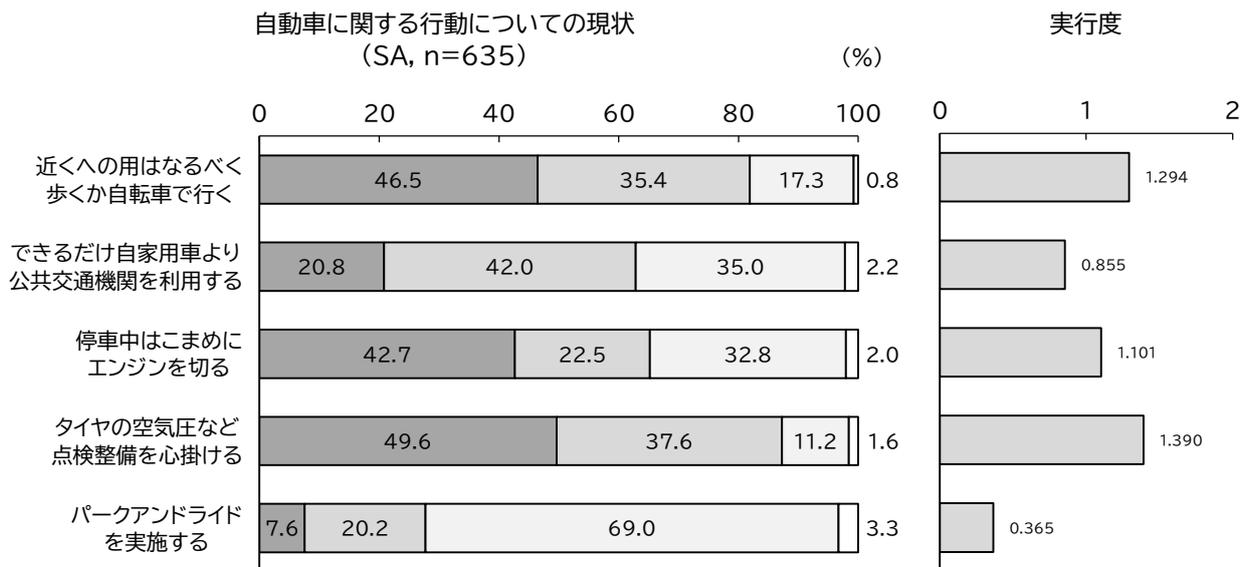
◎ 現状の実行状況

「所有状況」で自動車を「所有している」と回答した人について、現状の実行状況で「実行している」が最も多いのは「タイヤの空気圧など点検整備を心掛ける」で 49.6%、次いで「近くへの用はなるべく歩くか自転車で行く」が 46.5%、「停車中はこまめにエンジンを切る」が 42.7%となっています。

「ときどき実行している」が最も多いのは「できるだけ自家用車より公共交通機関を利用する」で 42.0%、次いで「タイヤの空気圧など点検整備を心掛ける」が 37.6%、「近くへの用はなるべく歩くか自転車で行く」が 35.4%となっています。

「実行していない」が最も多いのは「パークアンドライドを実施する」で 69.0%、次いで「できるだけ自家用車より公共交通機関を利用する」が 35.0%、「停車中はこまめにエンジンを切る」が 32.8%となっています。

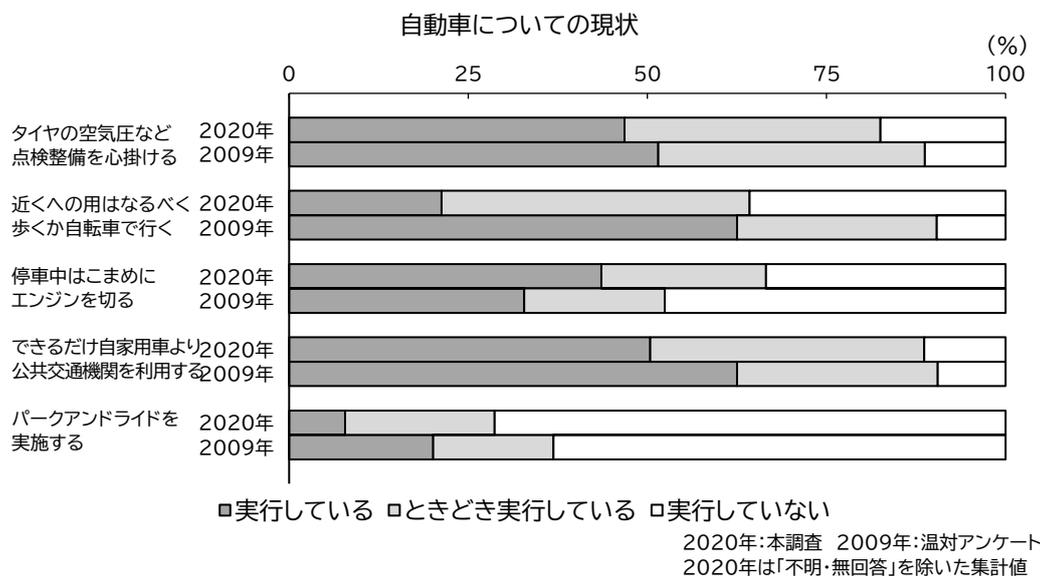
「実行している」を 2 点、「ときどき実行している」を 1 点、「実行していない」を 0 点としたときの平均点（「不明・無回答」を除く）を「実行度」とすると、実行度が最も高いのは「タイヤの空気圧など点検整備を心掛ける」で 1.390 点、次いで「近くへの用はなるべく歩くか自転車で行く」が 1.294 点、「停車中はこまめにエンジンを切る」が 1.101 点となっています。



■実行している □ときどき実行している □実行していない □不明・無回答

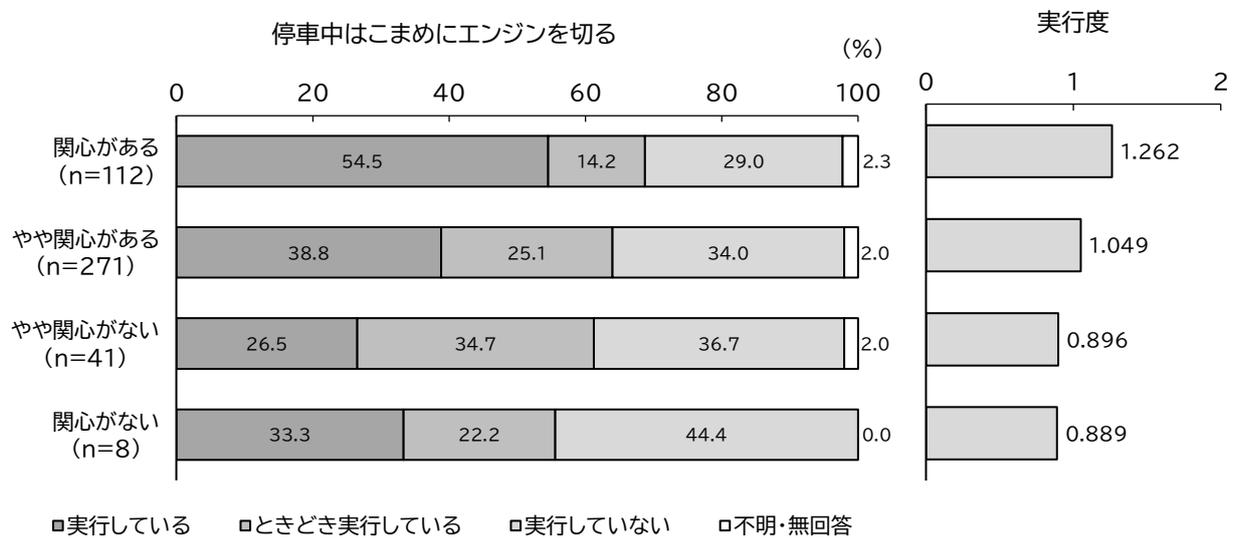
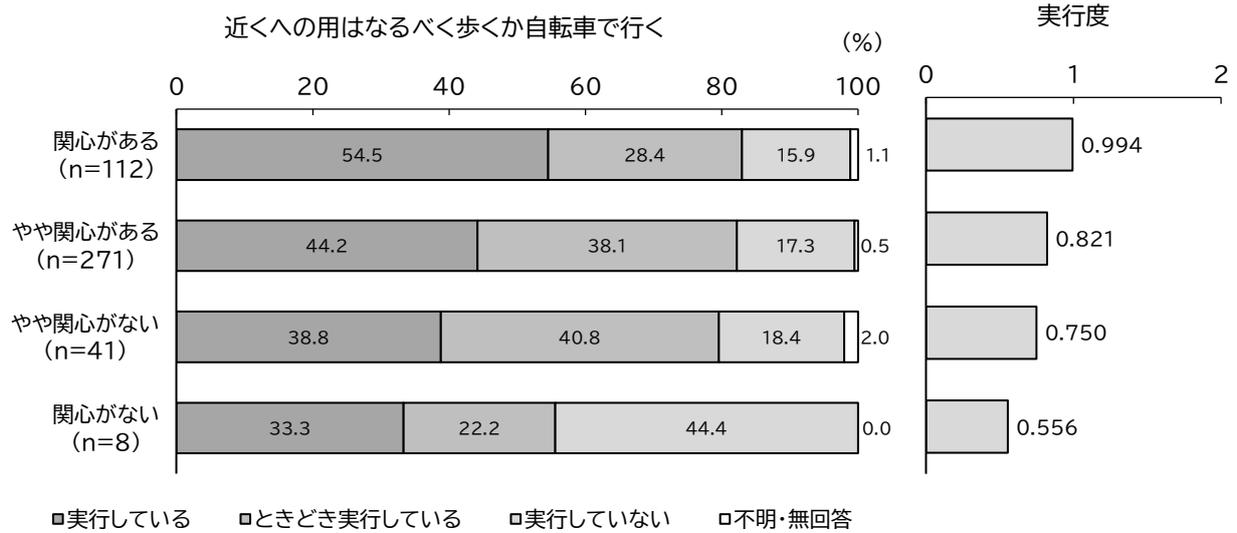
平成 21(2009)年度の温対アンケートと比較すると、「停車中はこまめにエンジンを切る」で実行度が高く、「近くへの用はなるべく歩くか自転車で行く」「できるだけ自家用車より公共交通機関を利用する」「パークアンドライドを実施する」で低くなっています。

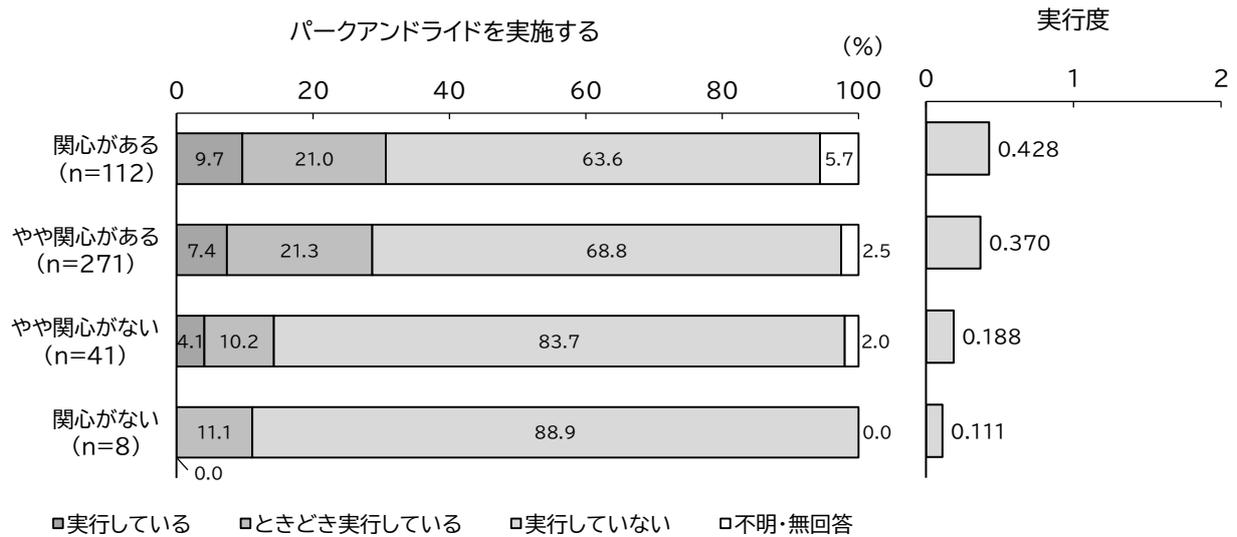
なお、温対アンケートの結果については、報告書のグラフより読み取った推計値を使用しています。このため、結果の精度について注意が必要です。



【環境問題や環境保全への関心との関係】

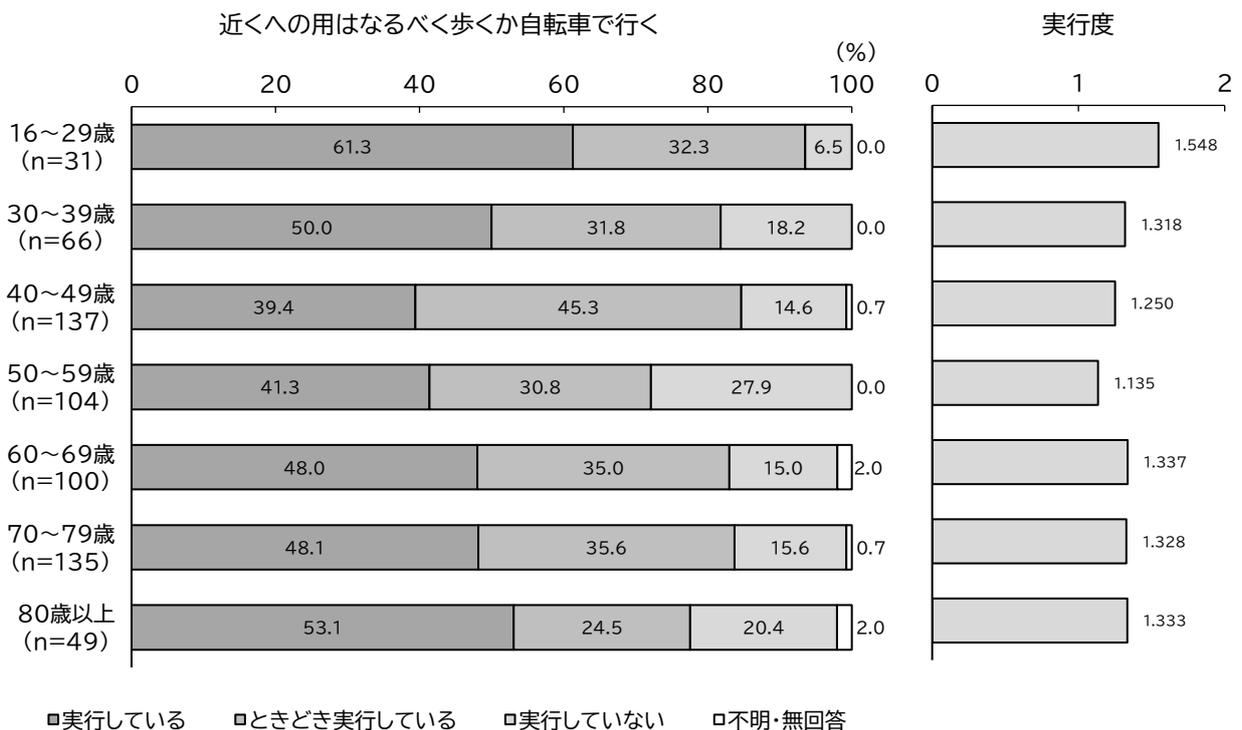
環境問題や環境保全への関心(問3)別にみると、「タイヤの空気圧など点検整備を心掛ける」を除くすべての項目で、関心が高いほど実行度が高くなっています。

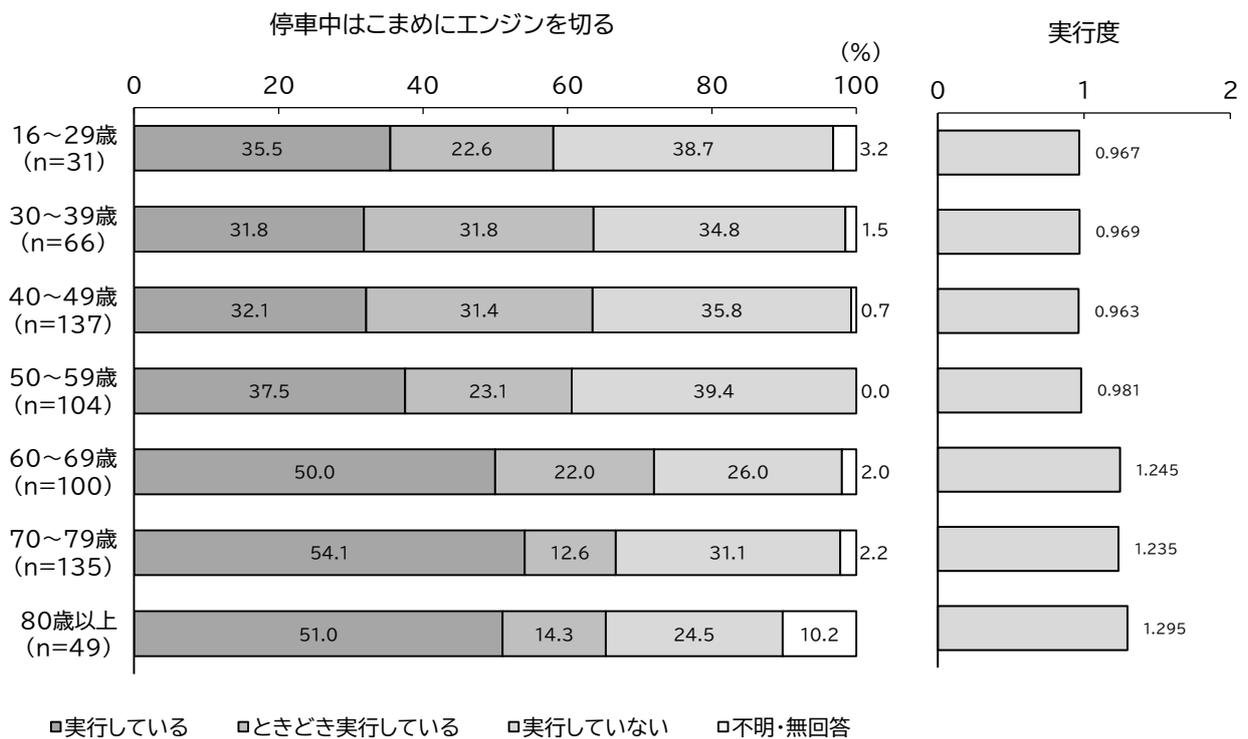
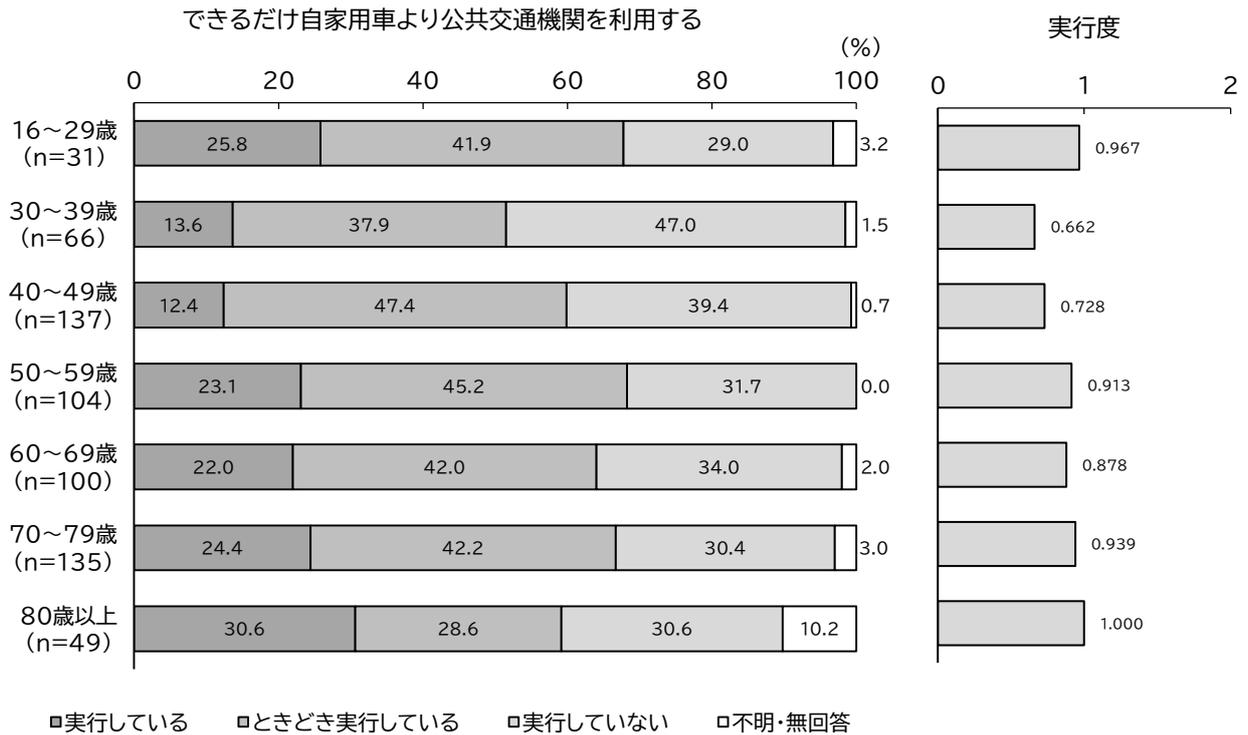


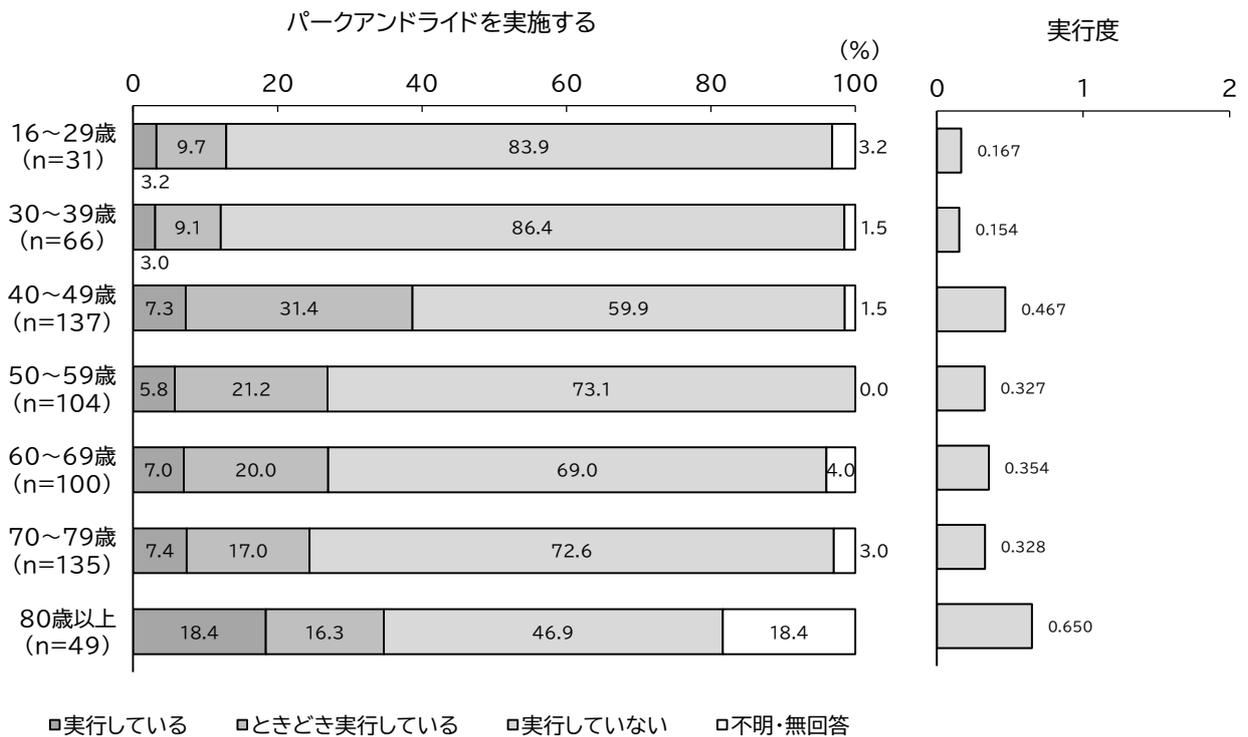
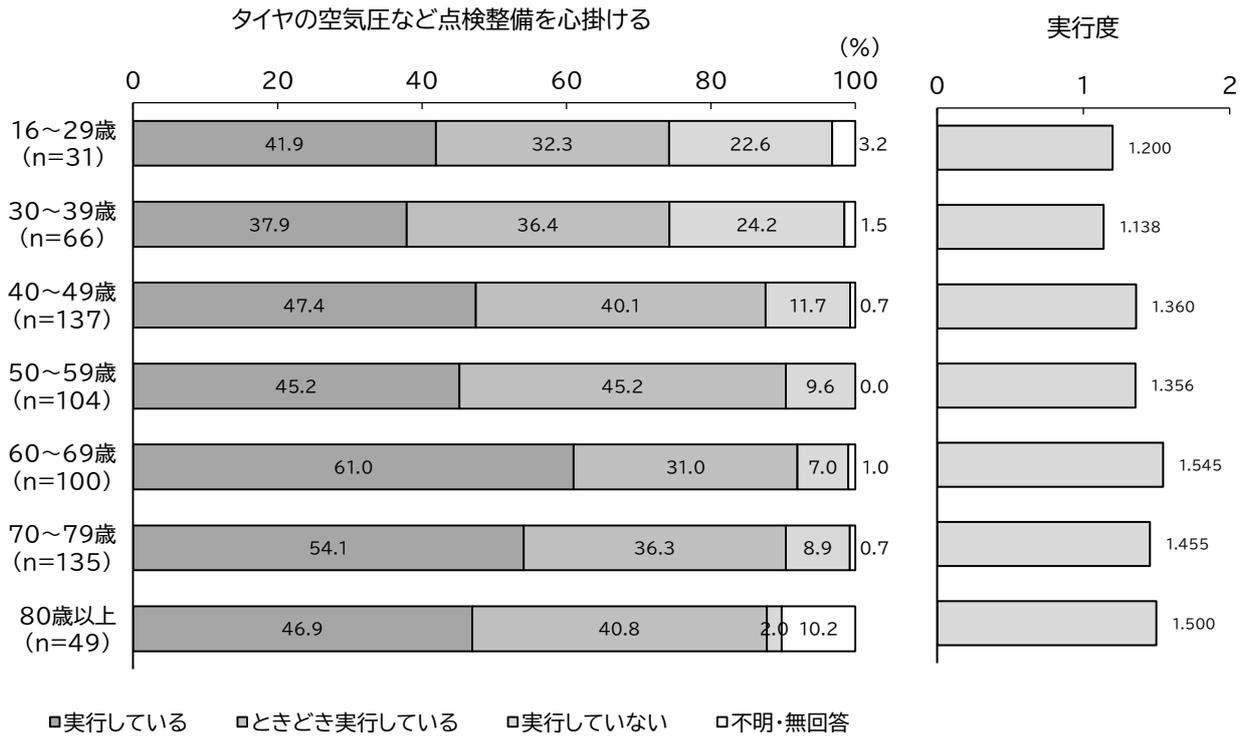


【年齢との関係】

年齢別にみると、年代が高くなるほど「停車中はこまめにエンジンを切る」「タイヤの空気圧など点検整備を心掛ける」の実行度が高くなっています。



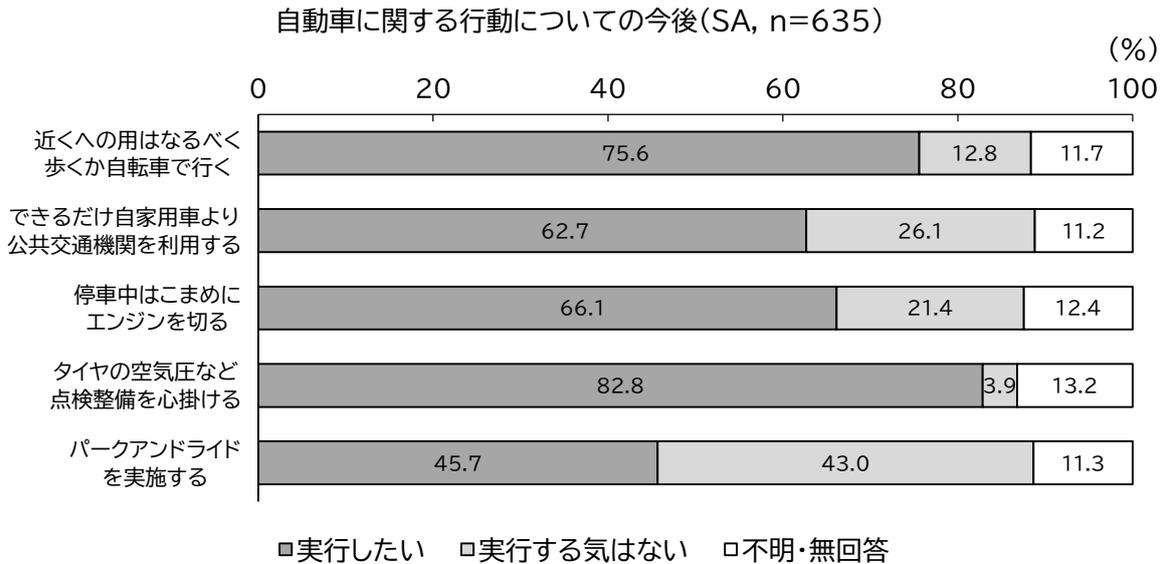




◎ 今後の実行意向

「所有状況」で自動車を「所有している」と回答した人について、今後「実行したい」が最も多いのは「タイヤの空気圧など点検整備を心掛ける」で 82.8%、次いで「近くへの用はなるべく歩くか自転車で行く」が 75.6%、「停車中はこまめにエンジンを切る」が 66.1%となっています。

「実行する気はない」が最も多いのは「パークアンドライドを実施する」で 43.0%、次いで「できるだけ自家用車より公共交通機関を利用する」が 26.1%、「停車中はこまめにエンジンを切る」が 21.4%となっています。

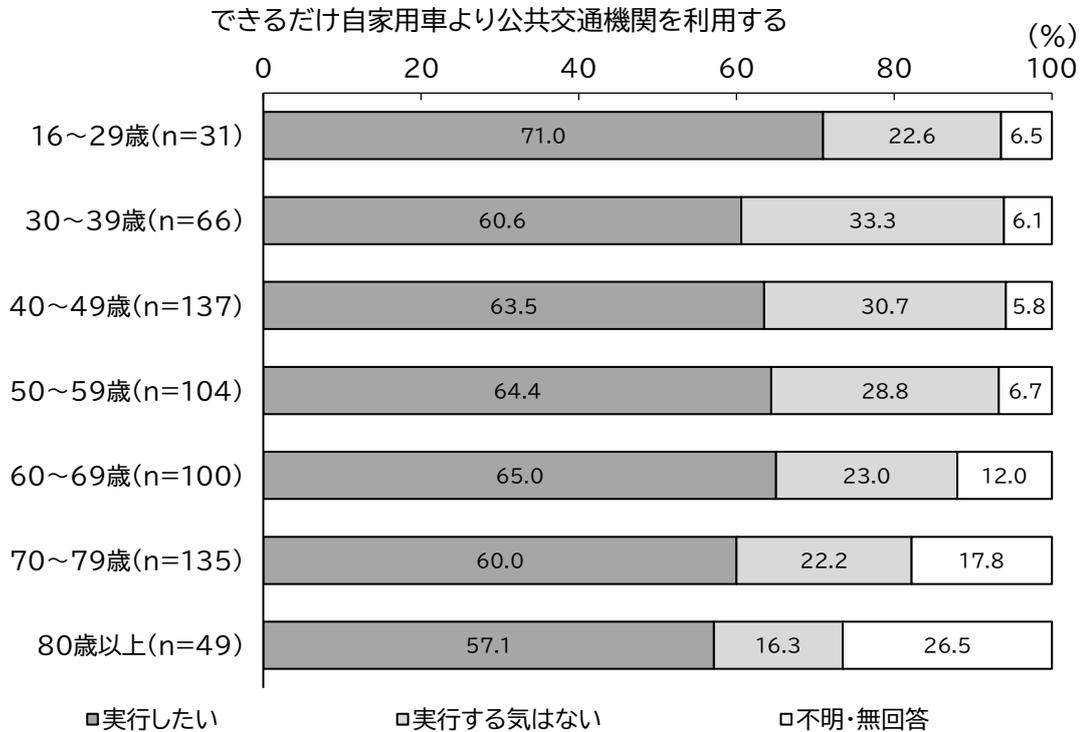
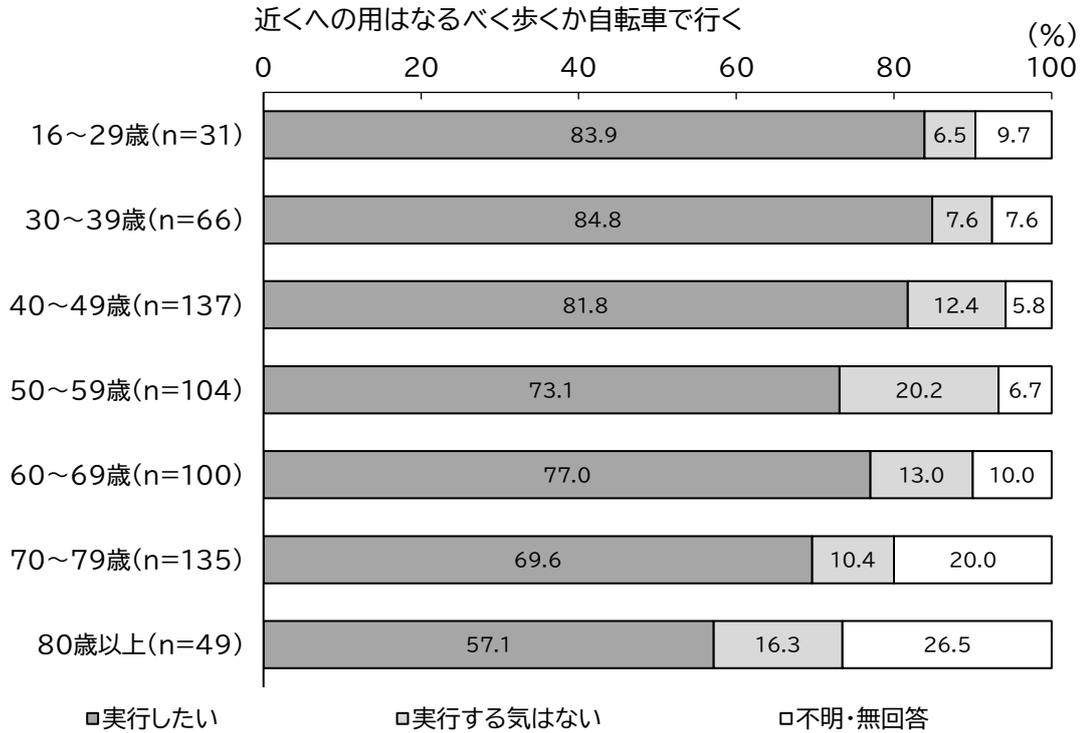


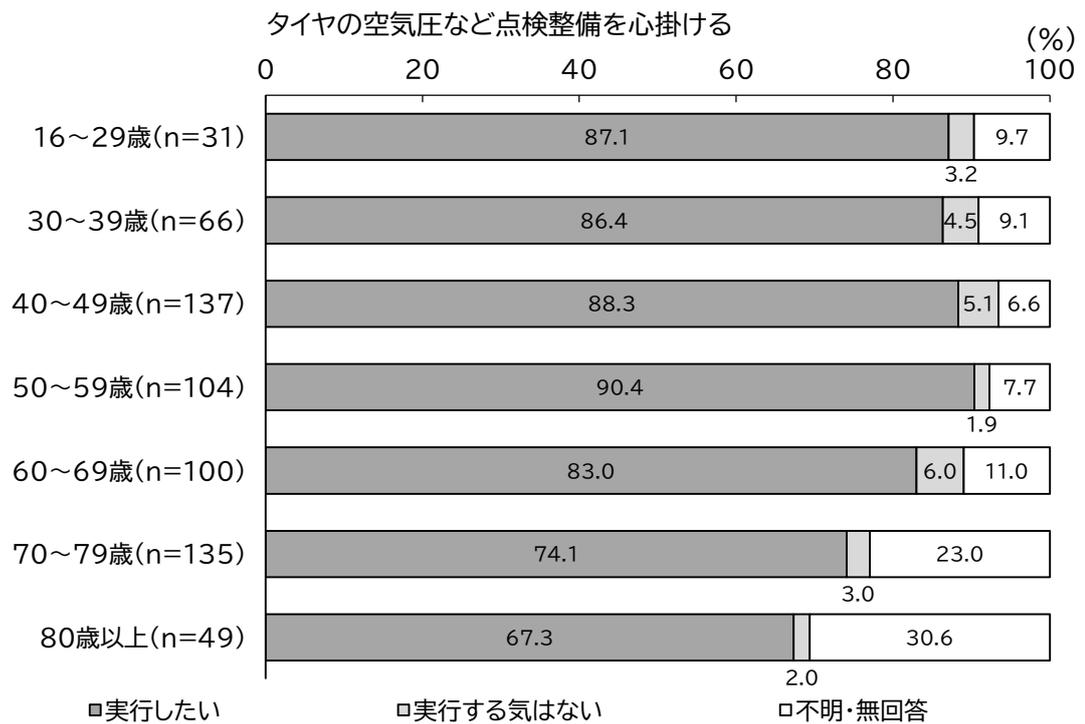
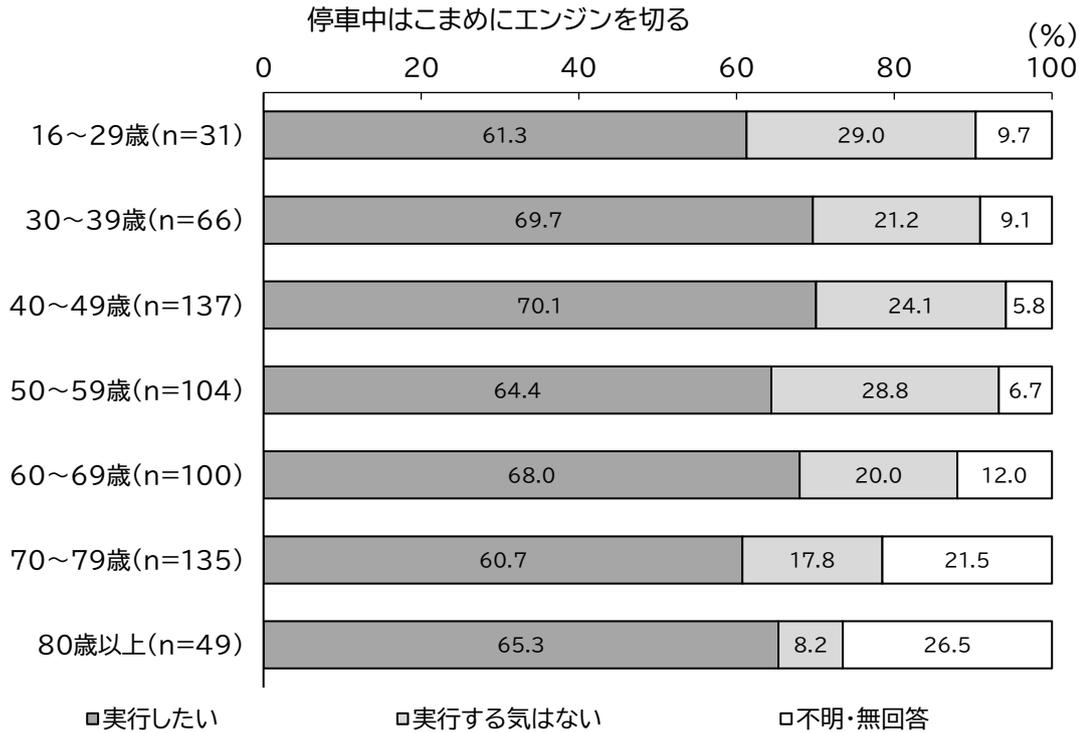
平成 21(2009)年度の温対アンケートと比較すると、「タイヤの空気圧など点検整備を心掛ける」「近くへの用はなるべく歩くか自転車で行く」「パークアンドライドを実施する」で実行の意向が低くなっています。

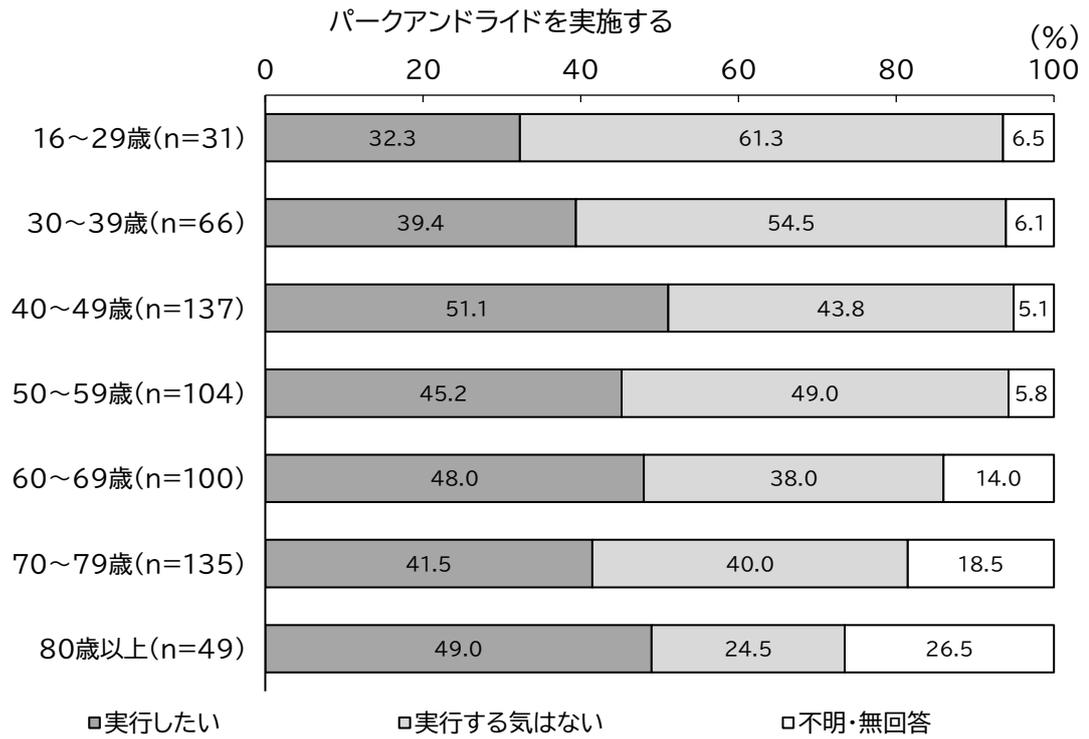
なお、温対アンケートの結果については、報告書のグラフより読み取った推計値を使用しています。このため、結果の精度について注意が必要です。

【年齢との関係】

年齢別にみると、「不明・無回答」を除いた「実行したい」割合について、年齢による差はみられません。



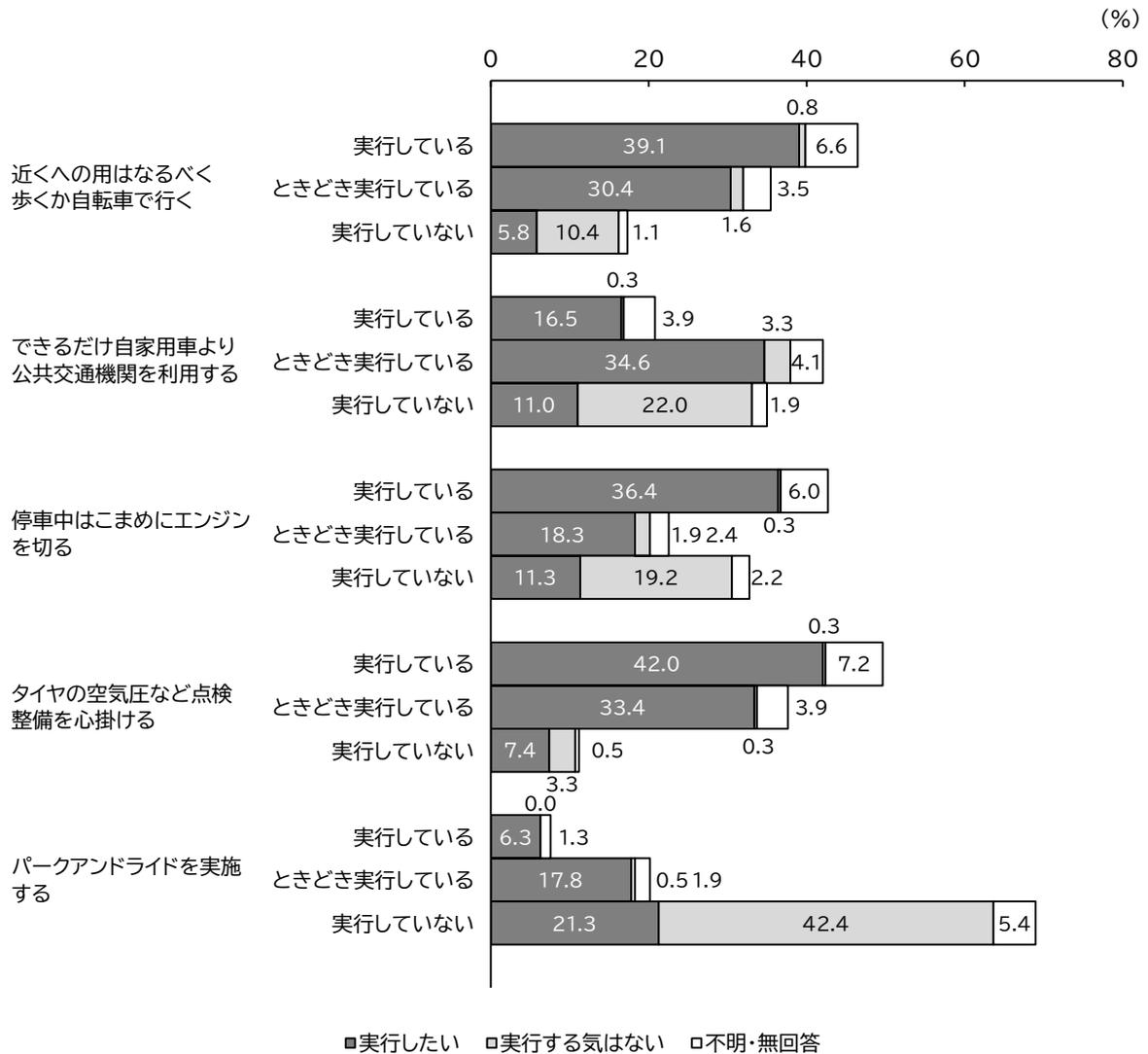




◎ 「現状の実行状況」と「今後の実行意向」の関係

現状は「実行していない」が、今後は「実行したい」と回答している割合について、最も多いのは「パークアンドライドを実施する」で 21.3%、次いで「停車中はこまめにエンジンを切る」が 11.3%、「できるだけ自家用車より公共交通機関を利用する」が 11.0%と続いています。

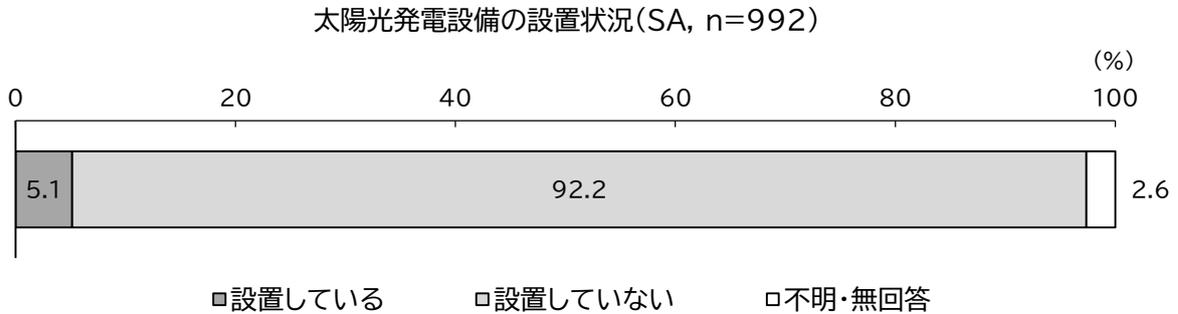
自動車に関する行動についての現状と今後(SA, n=635)



3.9. 太陽光発電設備について(問 14)

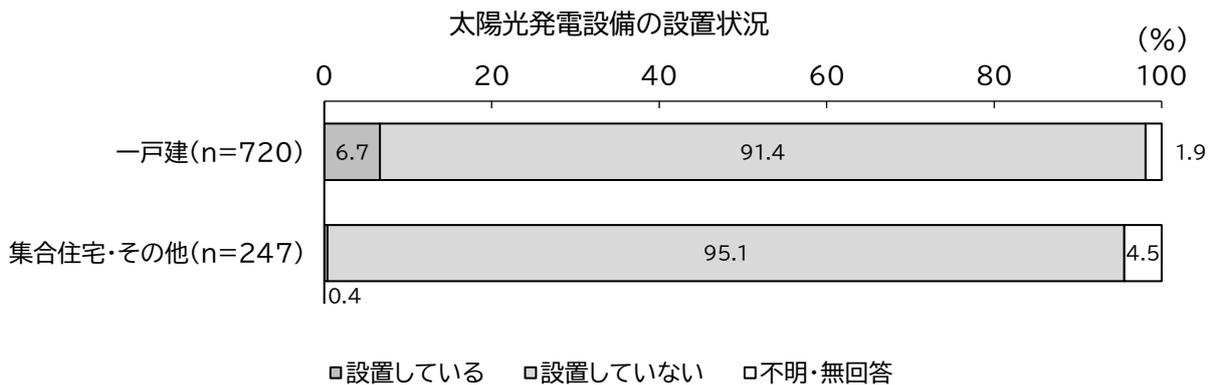
◎ 設置状況

太陽光発電設備の設置状況について、「設置している」が 5.1%、「設置していない」が 92.2%となっています。



【住宅の種類との関係】

住宅の種類別にみると、「一戸建」で「設置している」が多くなっています。



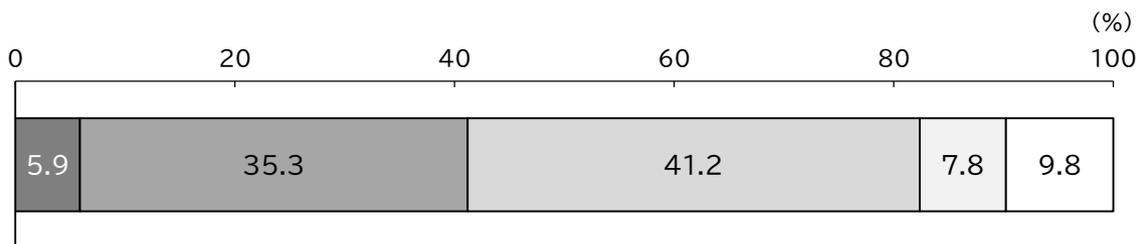
◎ 蓄電装置の導入状況

「設置状況」で太陽光発電設備を「設置している」と回答した人の、蓄電装置の導入状況について、「導入している」が 33.3%、「導入していない」66.7%となっています。

◎ 地域密着型電力事業者への売電意向

「設置状況」で太陽光発電設備を「設置している」と回答した人の、地域密着型電力事業者への売電の意向について、最も多いのは「現在契約している事業者より高く買い取ってもらえるなら、売電したい」で41.2%、次いで「現在契約している事業者と同程度の価格で買い取ってもらえるなら、売電したい」が35.3%、「現在契約している事業者から変えるつもりはない」が7.8%、「現在契約している事業者より安い買取価格であっても、売電したい」が5.9%となっています。

地域密着型電力事業者への売電意向(SA, n=51)



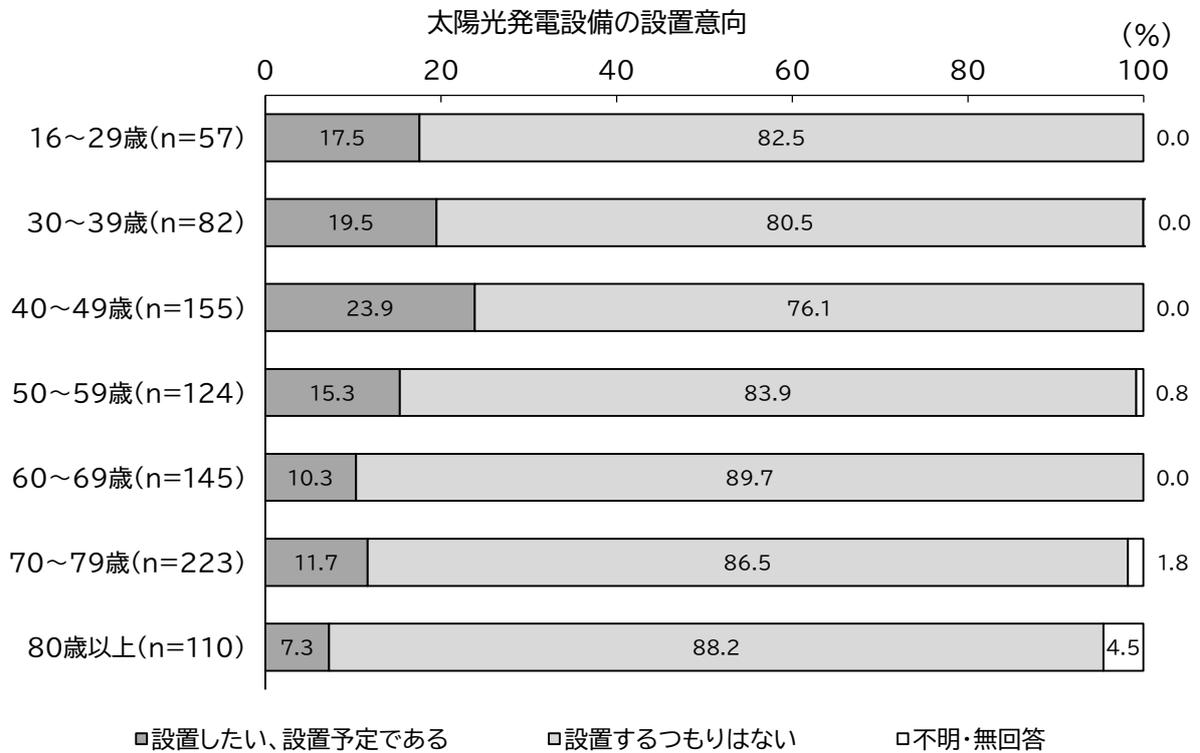
- 現在契約している事業者より安い買取価格であっても、売電したい
- 現在契約している事業者と同程度の価格で買い取ってもらえるなら、売電したい
- 現在契約している事業者より高く買い取ってもらえるなら、売電したい
- 現在契約している事業者から変えるつもりはない
- 不明・無回答

◎ 設置の意向

「設置状況」で太陽光発電設備を「設置していない」と回答した人の、設置の意向について、「設置したい、設置予定である」が14.5%、「設置するつもりはない」が84.2%となっています。

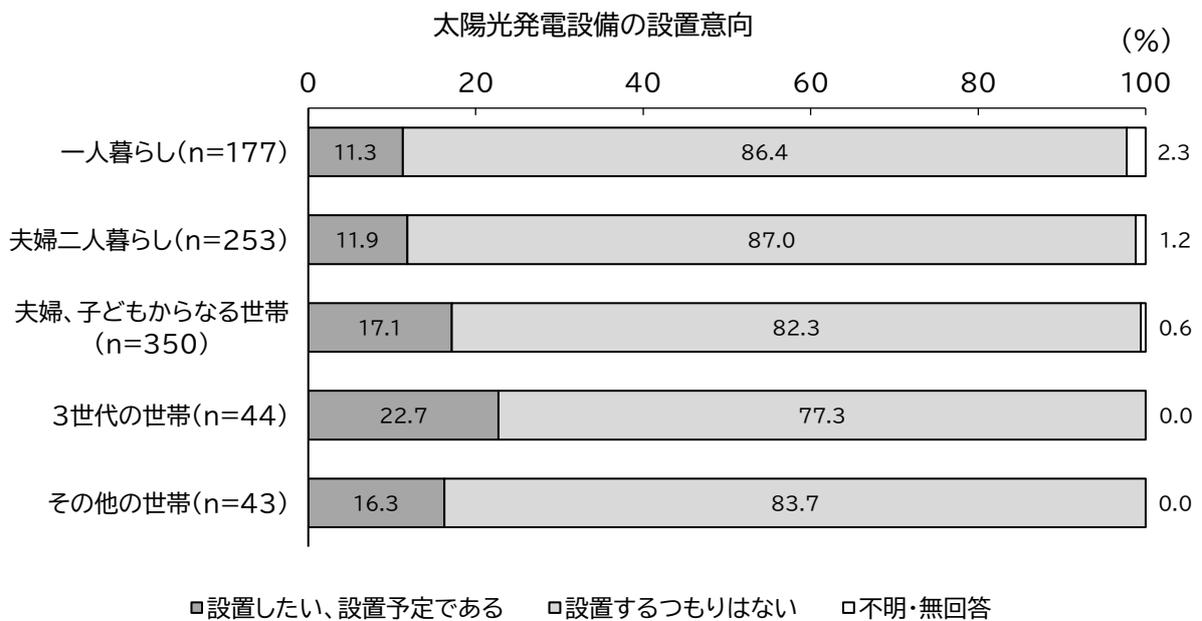
【年齢との関係】

年齢別にみると、「40～49歳」で「設置した、設置予定である」が多く、「80歳以上」で少なくなっています。



【世帯構成との関係】

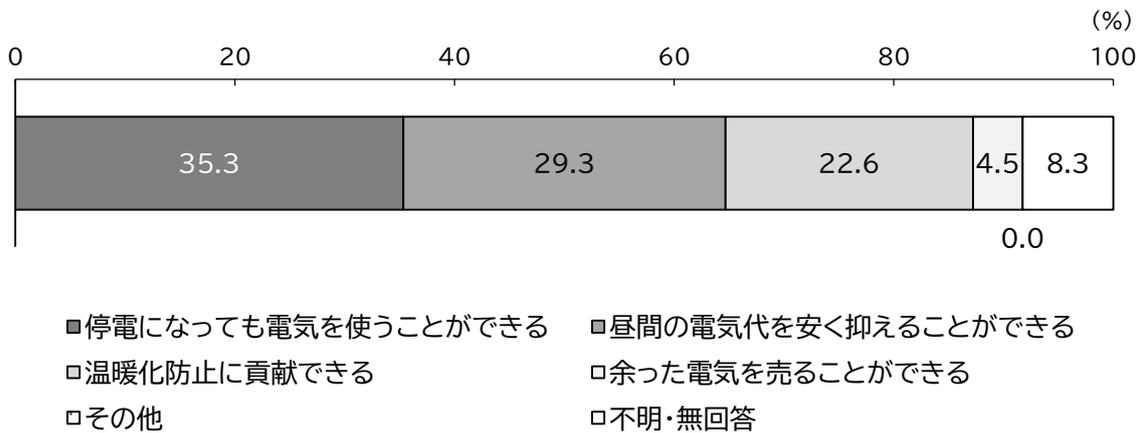
世帯構成別にみると、「設置した、設置予定である」割合について、世帯構成による差はみられません。



◎ 設置したい最大の理由

「設置の意向」で太陽光発電設備を「設置したい、設置予定である」と回答した人の、設置したい最大の理由について、最も多いのは「停電になっても電気を使うことができる」で 35.3%、次いで「昼間の電気代を安く抑えることができる」が 29.3%、「温暖化防止に貢献できる」が 22.6%となっています。

太陽光発電設備を設置したい最大の理由(SA, n=133)

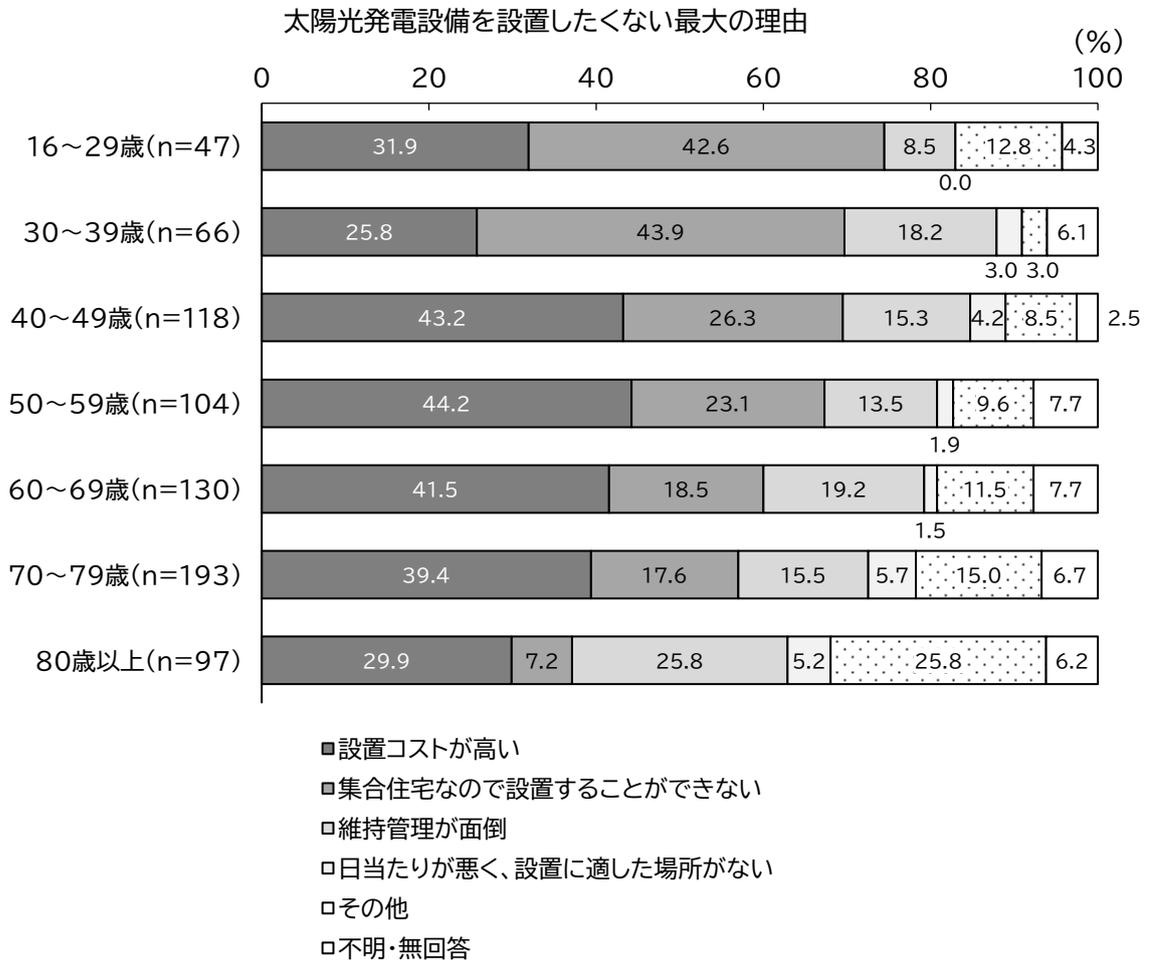


◎ 設置したくない最大の理由

「設置の意向」で太陽光発電設備を「設置するつもりはない」と回答した人の、設置したくない最大の理由について、最も多いのは「設置コストが高い」で 38.1%、次いで「集合住宅なので設置することができない」が 22.6%、「維持管理が面倒」が 17.1%となっています。

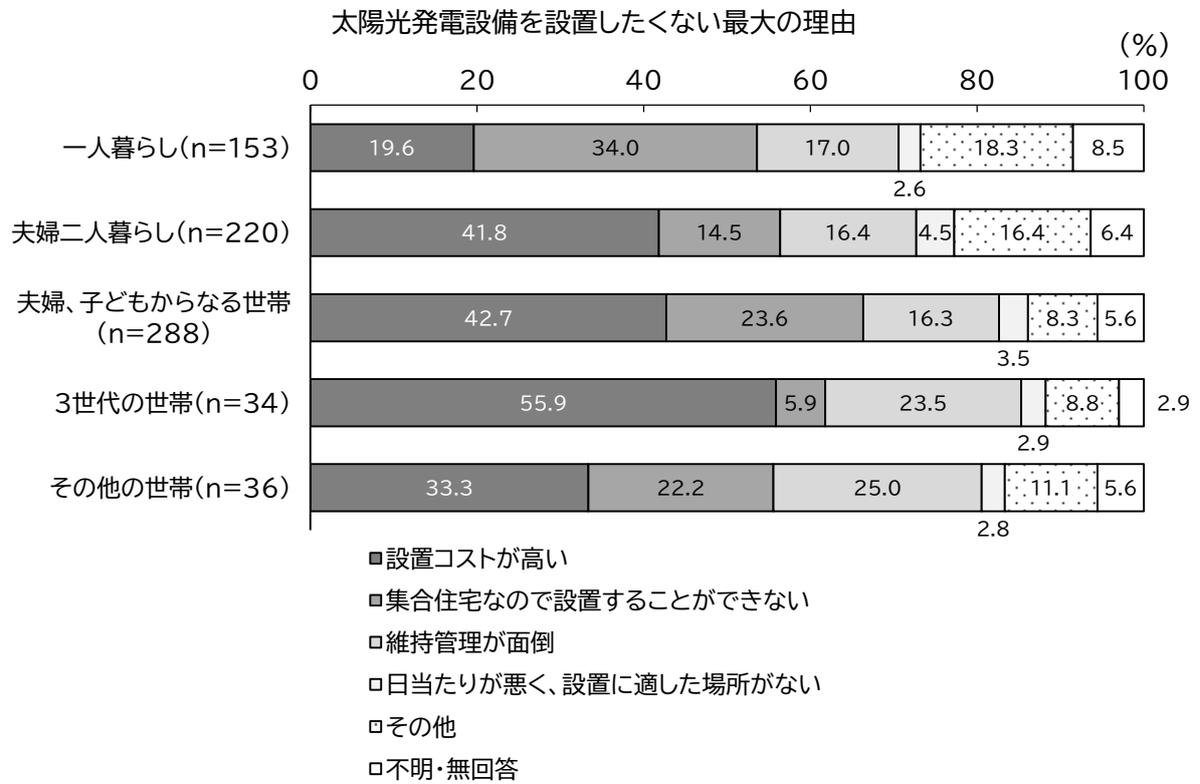
【年齢との関係】

年齢別にみると、「30～39 歳」より下の年代では「集合住宅なので設置することができない」が、他の年代では「設置コストが高い」が最も多くなっています。「80 歳以上」では「維持管理が面倒」が多くなっています。



【世帯構成との関係】

世帯構成別にみると、「一人暮らし」では「集合住宅なので設置することができない」が、他の世帯構成では「設置コストが高い」が最も多くなっています。



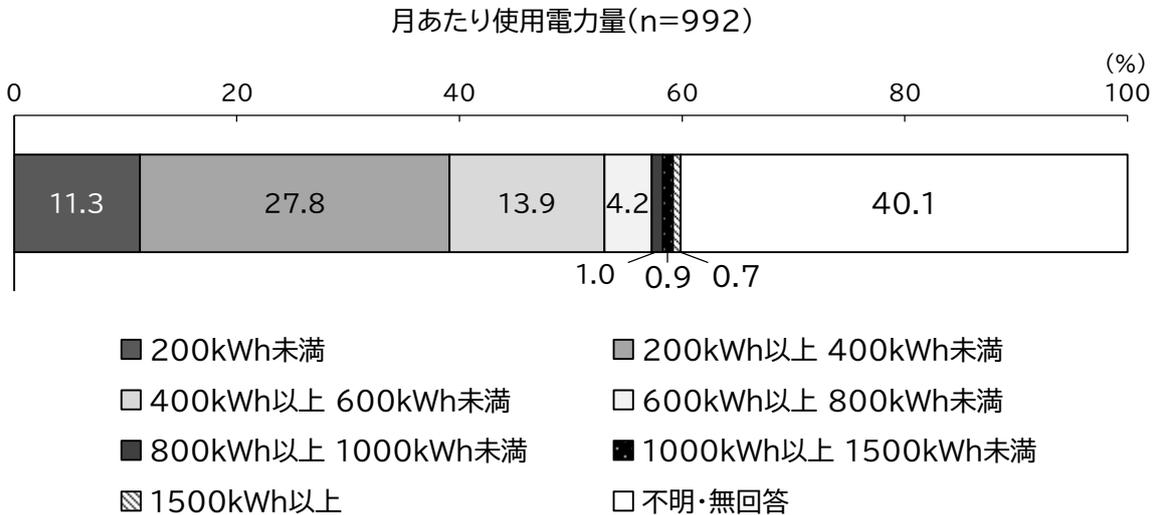
【住宅の種類との関係】

住宅の種類別にみると、「一戸建」では「設置コストが高い」が最も多くなっています。「集合住宅・その他」では8割以上を「集合住宅なので設置することができない」が占めています。

3.10. 電気・ガスの利用について(問 15)

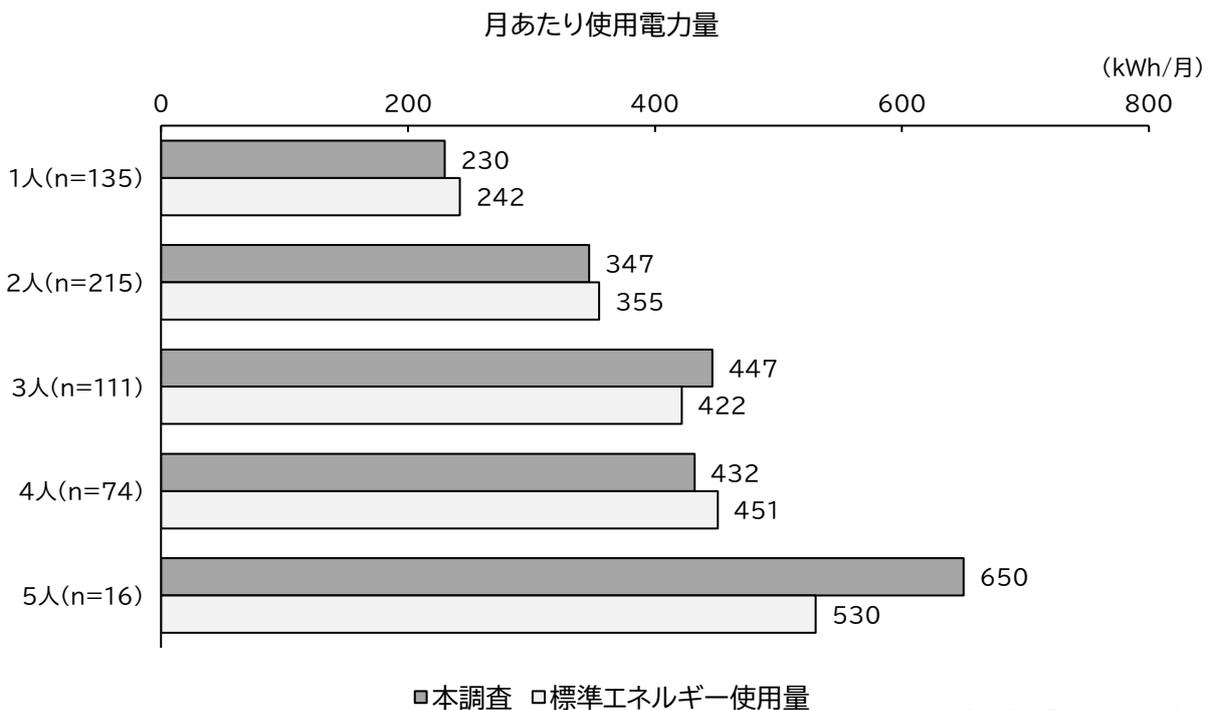
◎ 月あたり使用電力量

回答者世帯の1か月あたりの使用電力量について、最も多いのは「200kWh以上 400kWh未滿」で27.8%、次いで「400kWh以上 600kWh未滿」が13.9%、「200kWh未滿」が11.3%となっています。



【世帯人数との関係】

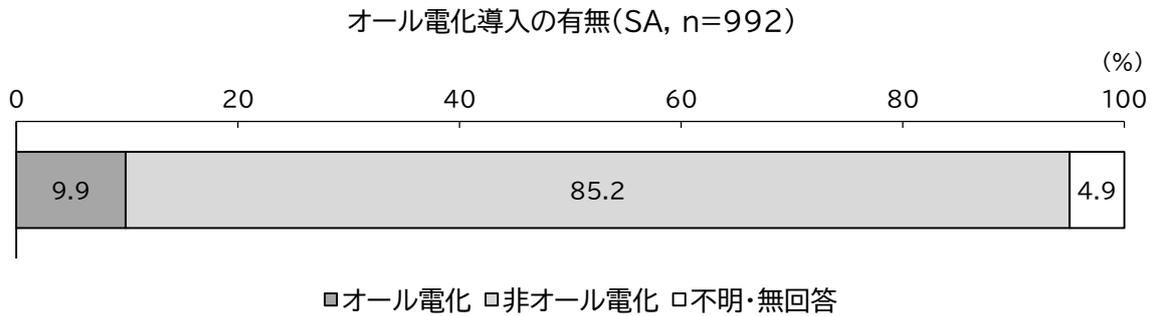
世帯人数別に1か月あたりの平均値について、人数が多くなるほど月あたり平均使用電力量は多くなっています。京都府が運営する「インターネット家計簿」による「京都府南部標準エネルギー使用量」の7月～9月の平均値と比較すると、「1人」から「4人」は標準エネルギー使用量とほぼ同程度となっていますが、「5人」では多くなっています。



本調査の「6人以上」は割愛

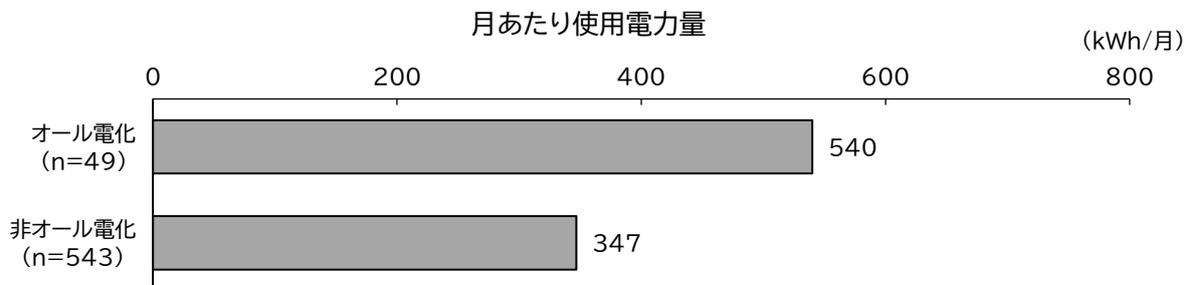
◎ オール電化の有無

オール電化の有無について、「オール電化」が9.9%、「非オール電化」が85.2%となっています。



【月あたり使用電力量との関係】

月あたり平均使用電力量について、オール電化は 540kWh/月、非オール電化は 347kWh/月となっています。

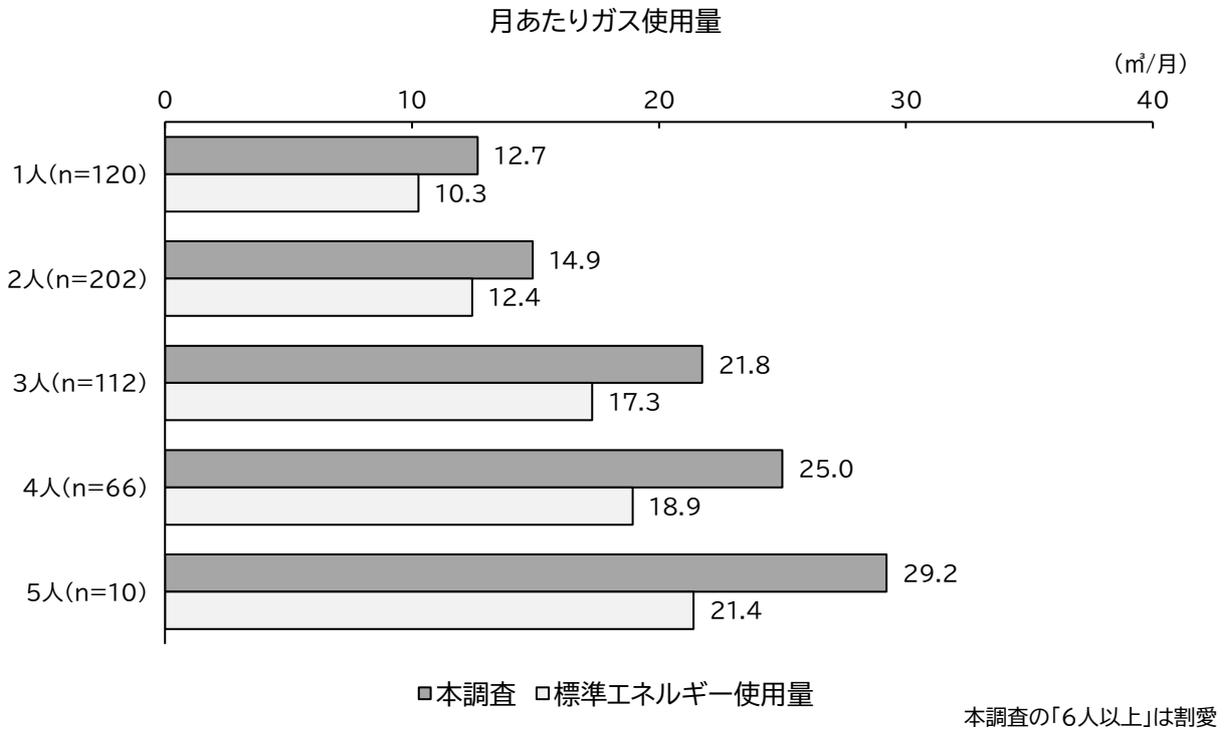


◎ 月あたりガス使用量

「オール電化の有無」で「いいえ(導入していない)」と回答した人の世帯の、1 か月あたりのガス使用量について、最も多いのは「10m³以上 20 m³未満」で23.6%、次いで「10 m³未満」が21.5%、「20 m³以上 30 m³未満」が11.8%となっています。

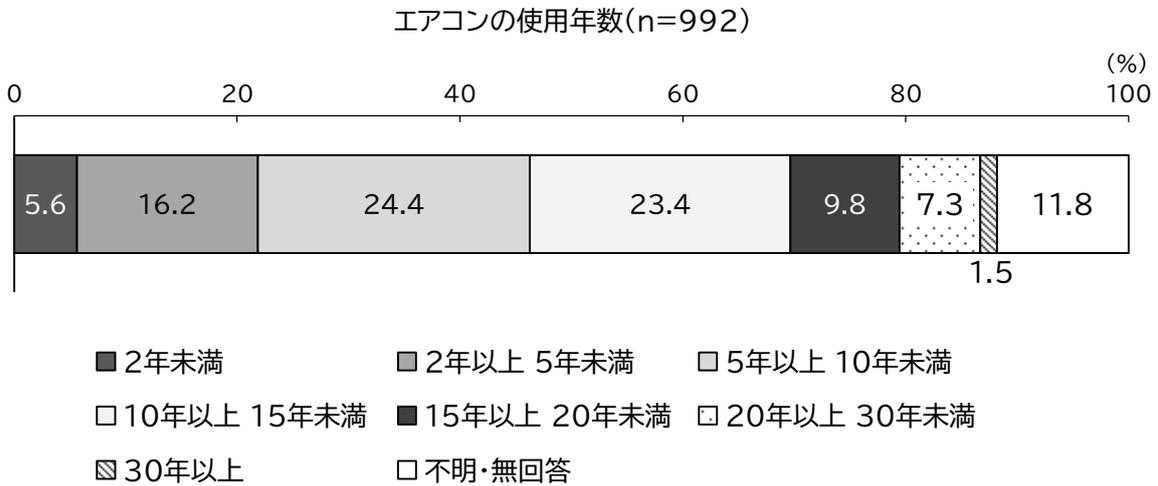
【世帯人数との関係】

世帯人数別に1か月あたりの平均値について、人数が多くなるほど月あたり平均ガス使用量は多くなっています。京都府が運営する「インターネット家計簿」による「京都府南部標準エネルギー使用量」の7月～9月の平均値と比較すると、すべての世帯人数で標準エネルギー使用量より多くなっています。

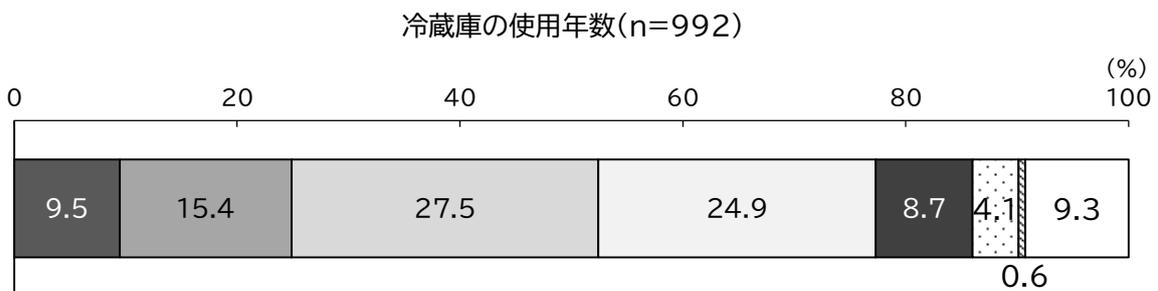


3.11. エアコン・冷蔵庫の使用年数(問 16)

回答者世帯のエアコンの使用年数(複数台ある場合は最も古いものについて)について、最も多いのは「5年以上 10年未満」で24.4%、次いで「10年以上 15年未満」が23.4%、「2年以上 5年未満」が16.2%となっています。

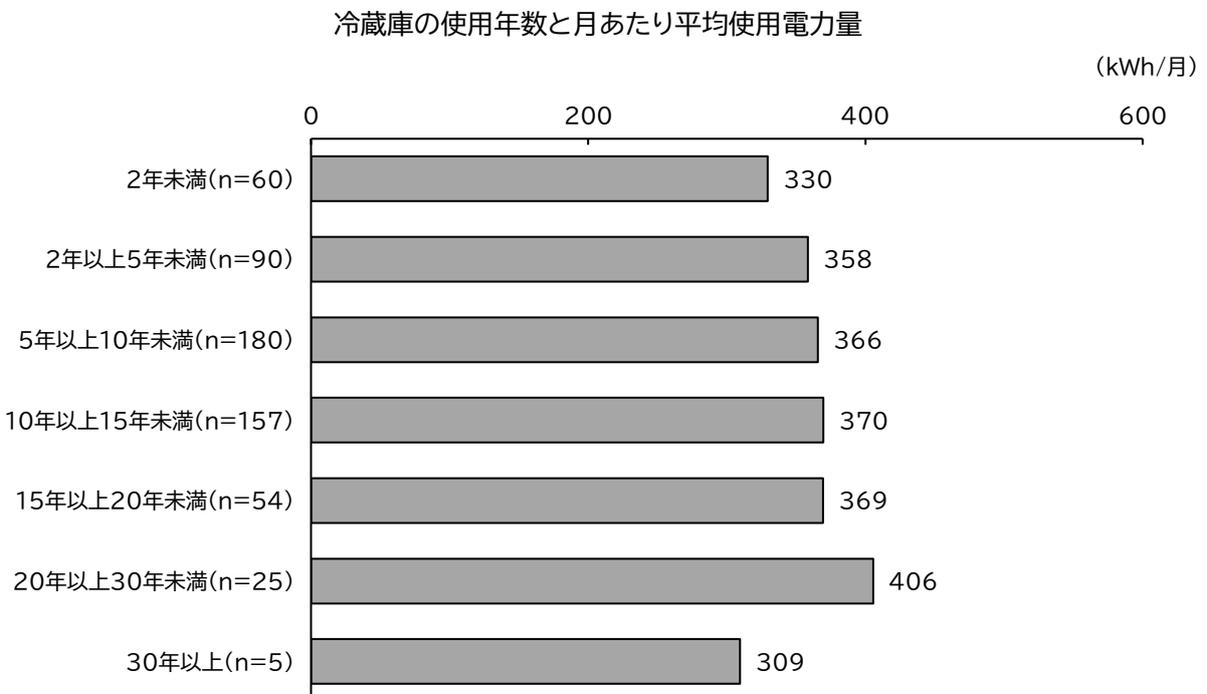
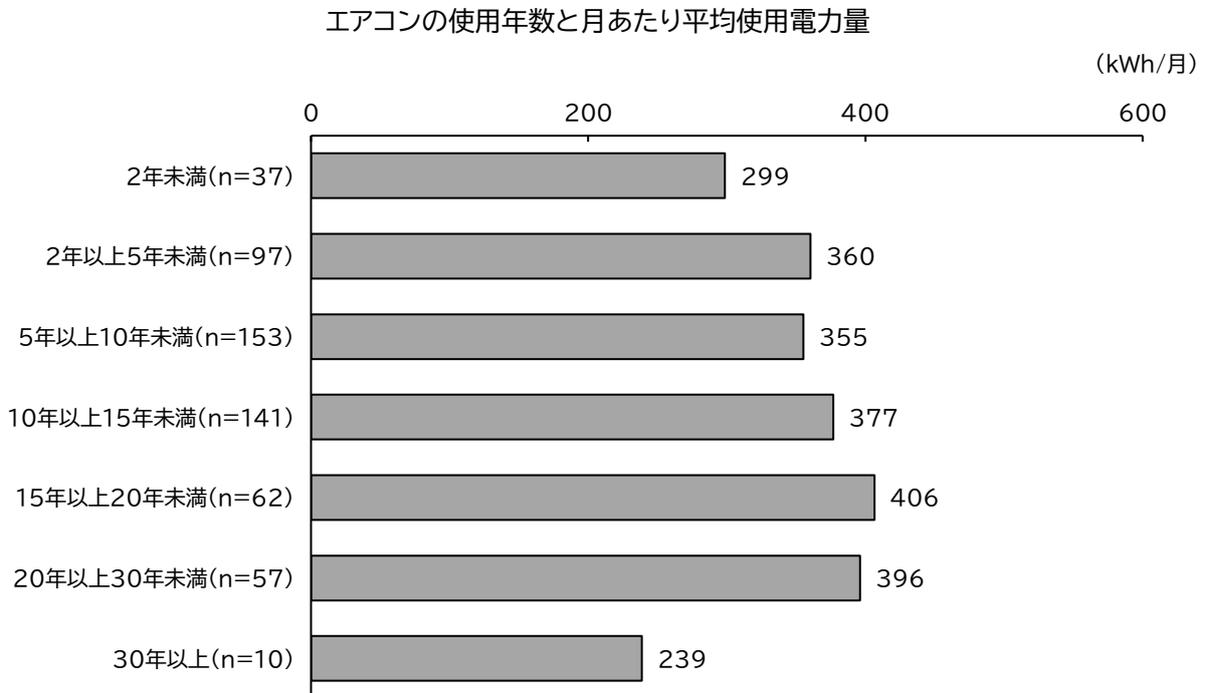


冷蔵庫の使用年数(複数台ある場合は最も古いものについて)について、最も多いのは「5年以上 10年未満」で27.5%、次いで「10年以上 15年未満」が24.9%、「2年以上 5年未満」が15.4%となっています。



【月あたり使用電力量との関係】

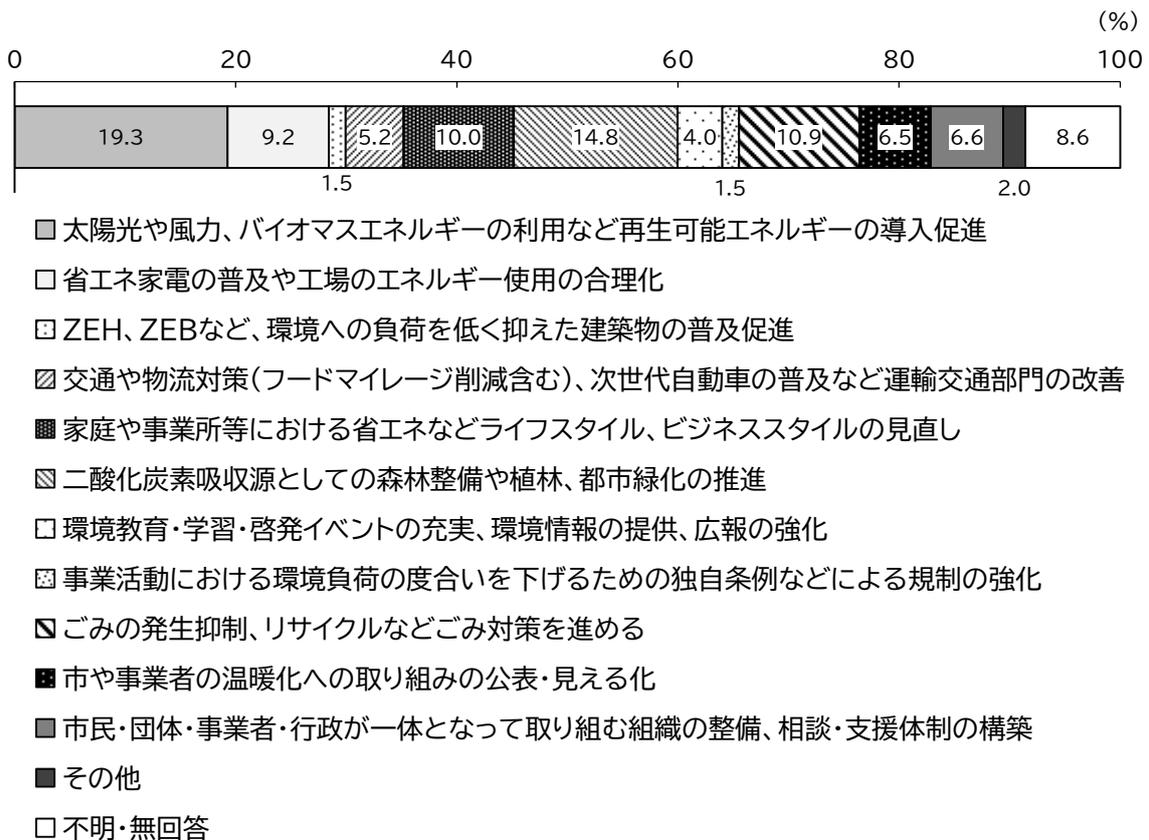
エアコン、冷蔵庫の使用年数と月あたり使用電力量の関係について、「30年以上」を除くと、使用年数が短いほど月あたり平均使用電力量が少なくなっています。



3.12. 温暖化防止のための市全体として最も重要な取り組み(問 17)

温暖化防止のための市全体として最も重要な取り組みについて、最も多いのは「太陽光や風力、バイオマスエネルギーの利用など再生可能エネルギーの導入促進」で 19.3%、次いで「二酸化炭素吸収源としての森林整備や植林、都市緑化の推進」が 14.8%、「ごみの発生抑制、リサイクルなどごみ対策を進める」が 10.9%となっています。

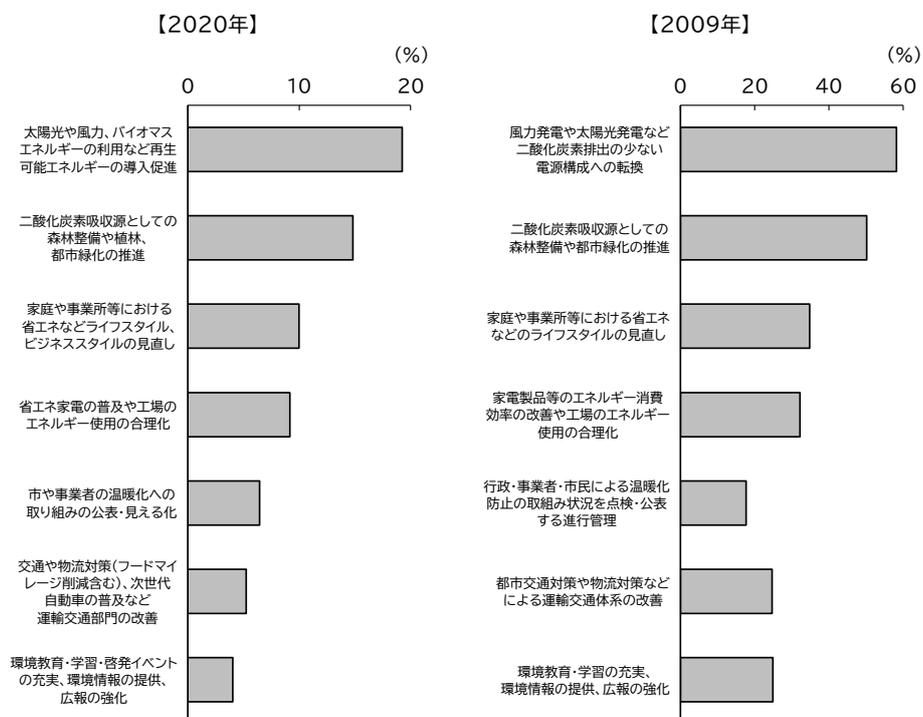
温暖化防止のための市全体として最も重要な取り組み(SA, n=992)



【参考】過去の調査との比較

平成 21(2009)年度の温対アンケート中の同様の設問と比較すると、再生可能エネルギーの導入が重要視され続けていることが確認できます。

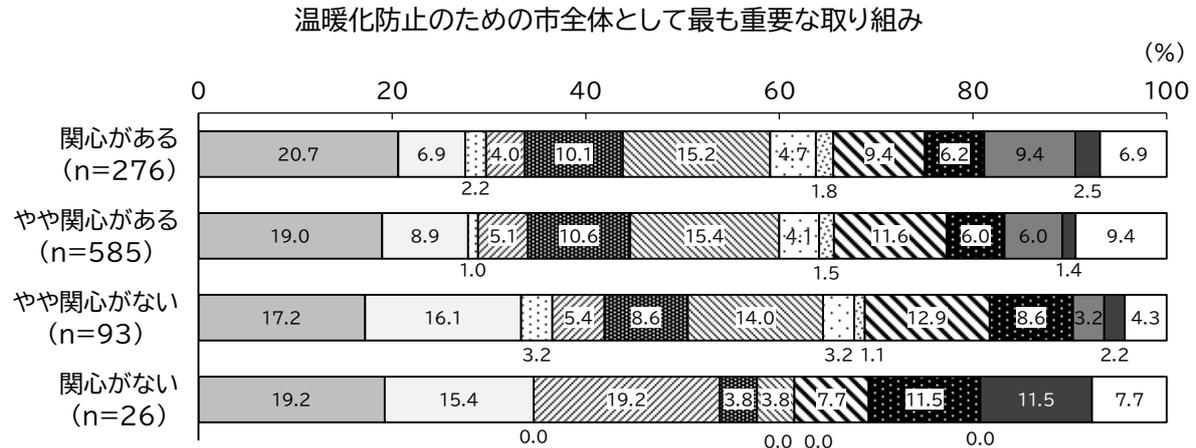
なお、温対アンケートの結果については、報告書のグラフより読み取った推計値を使用しています。さらに、本調査とは設問内容や選択肢、回答方法などが異なるため、結果の解釈には注意が必要です。



2020年:本調査 2009年:温対アンケート

【環境問題や環境保全への関心との関係】

環境問題や環境保全への関心(問3)別にみると、関心が高いほど「市民・団体・事業者・行政が一体となって取り組む組織の整備、相談・支援体制の構築」が多く、「省エネ家電の普及や工場のエネルギー使用の合理化」が少なくなっています。



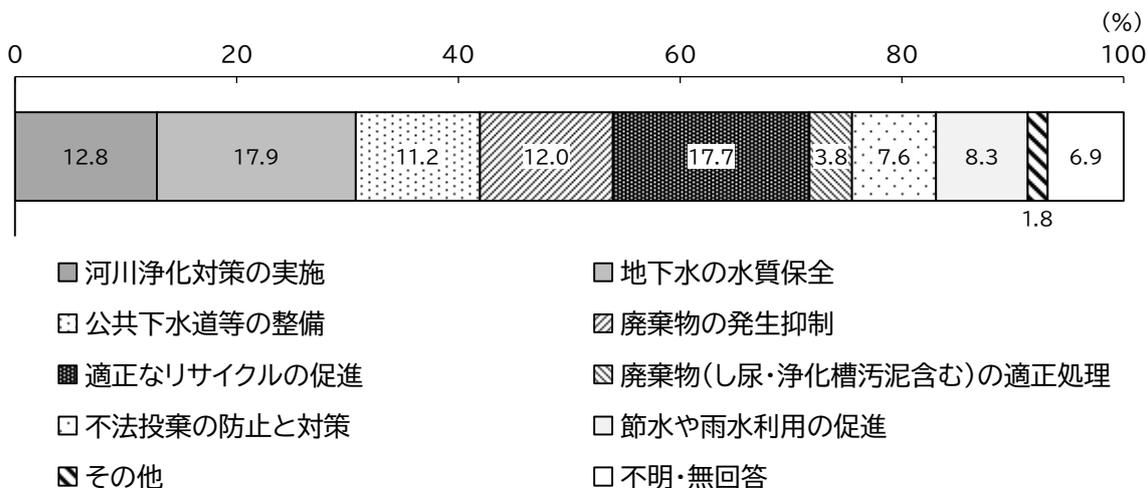
- 太陽光や風力、バイオマスエネルギーの利用など再生可能エネルギーの導入促進
- 省エネ家電の普及や工場のエネルギー使用の合理化
- ZEH、ZEBなど、環境への負荷を低く抑えた建築物の普及促進
- 交通や物流対策(フードマイレージ削減含む)、次世代自動車の普及など運輸交通部門の改善
- 家庭や事業所等における省エネなどライフスタイル、ビジネススタイルの見直し
- 二酸化炭素吸収源としての森林整備や植林、都市緑化の推進
- 環境教育・学習・啓発イベントの充実、環境情報の提供、広報の強化
- 事業活動における環境負荷の度合いを下げるための独自条例などによる規制の強化
- ごみの発生抑制、リサイクルなどごみ対策を進める
- 市や事業者の温暖化への取り組みの公表・見える化
- 市民・団体・事業者・行政が一体となって取り組む組織の整備、相談・支援体制の構築
- その他
- 不明・無回答

4. 「資源循環型社会づくり」について

4.1. 資源・水の循環のための市全体として最も重要な取り組み(問 18)

資源や水を適正に循環させ、環境への負担を減らしていくために市全体として最も重要な取り組みについて、最も多いのは「地下水の水質保全」で 17.9%、次いで「適正なりサイクルの促進」が 17.7%、「河川浄化対策の実施」が 12.8%となっています。

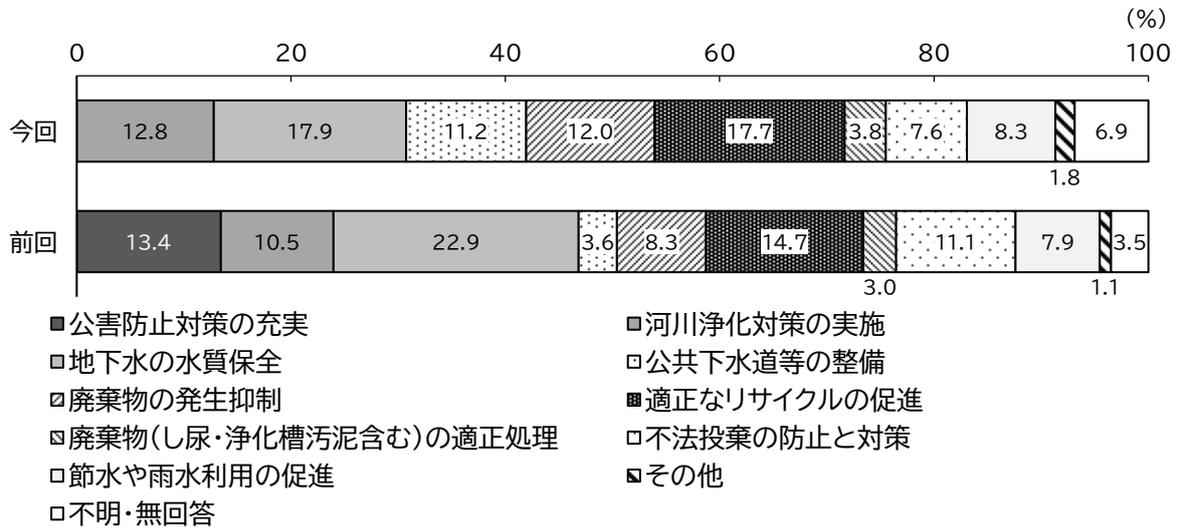
資源・水の循環のための市全体として最も重要な取り組み (SA, n=992)



平成 23(2011)年度の前回アンケートと比較すると、「公共下水道等の整備」「廃棄物の発生抑制」「適正なりサイクルの促進」が多く、「地下水の水質保全」「不法投棄の防止と対策」が少なくなっています。

ただし、前回アンケートには、今回含まれていない「公害防止対策の充実」という選択肢があるため、結果の解釈には注意が必要です。

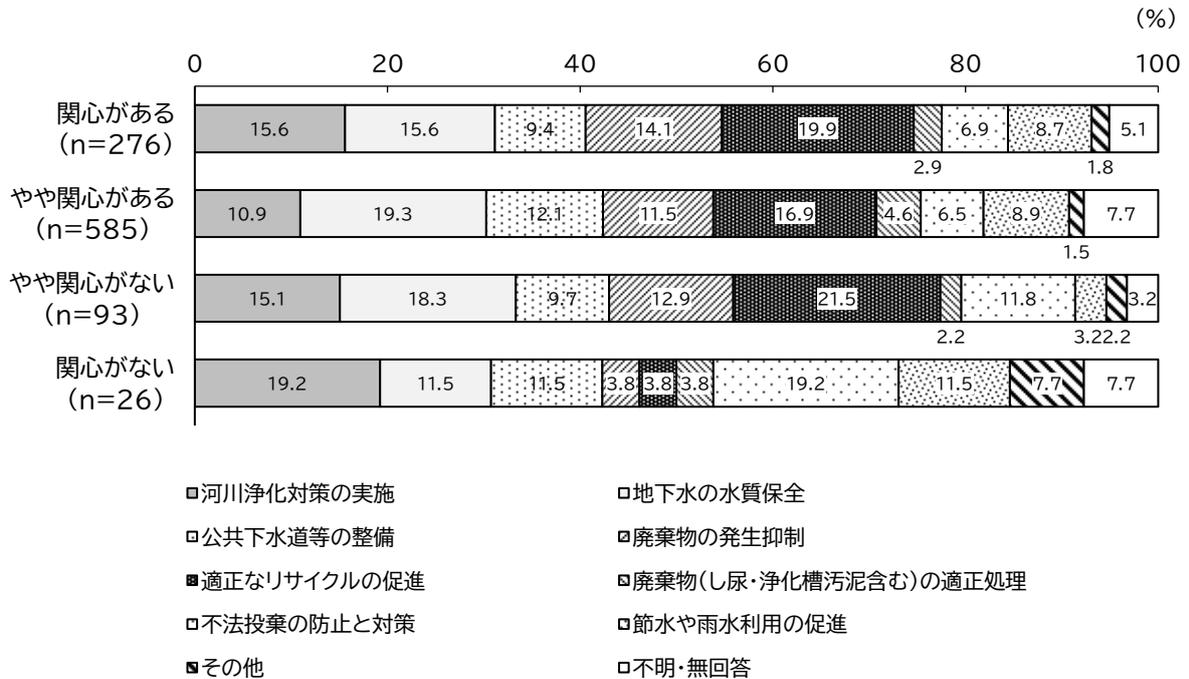
資源・水の循環のための市全体として最も重要な取り組み



【環境問題や環境保全への関心との関係】

環境問題や環境保全への関心(問 3)別にみると、関心が高いほど「不法投棄の防止と対策」が少なくなっています。

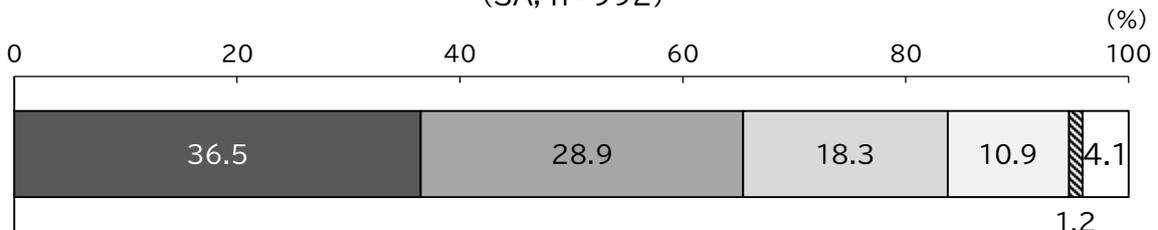
温暖化防止のための市全体として最も重要な取り組み



4.2. プラスチックごみ発生抑制のための市全体として最も重要な取り組み(問 19)

プラスチックごみの発生を抑制するための市全体として最も重要な取り組みについて、最も多いのは「生分解性プラスチックやプラスチック以外の素材の利用など、製造者に対する働きかけや支援」で 36.5%、次いで「過剰な容器包装に対する規制など、提供者・販売者に対する働きかけや支援」が 28.9%、「マイバッグ、マイボトル利用の推奨など、利用者に対する働きかけや支援」が 18.3%となっています。

プラスチックごみ発生抑制のための市全体として最も重要な取り組み
(SA, n=992)

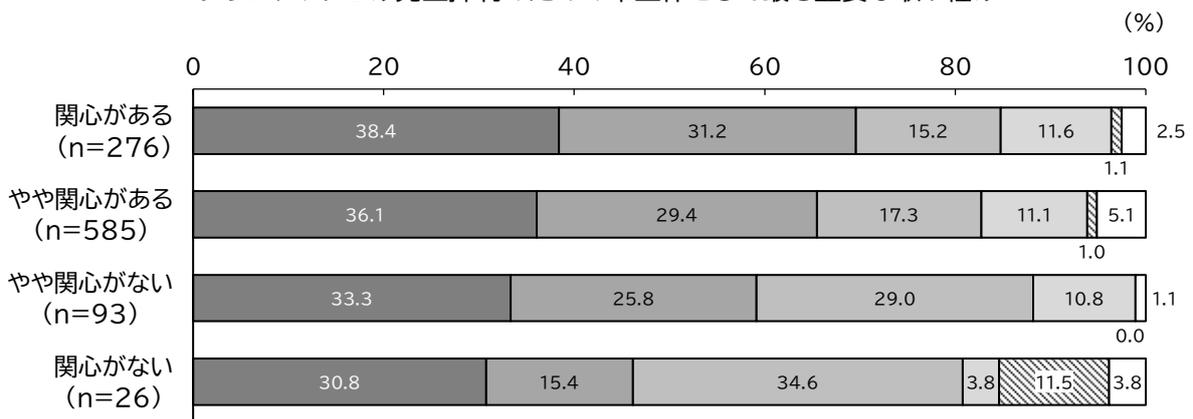


- 生分解性プラスチックやプラスチック以外の素材の利用など、製造者に対する働きかけや支援
- ▣ 過剰な容器包装に対する規制など、提供者・販売者に対する働きかけや支援
- マイバッグ、マイボトル利用の推奨など、利用者に対する働きかけや支援
- プラスチックごみ削減が強く求められる事業者の公表や不法投棄の罰則強化など、制度の強化
- ▨ その他
- 不明・無回答

【環境問題や環境保全への関心との関係】

環境問題や環境保全への関心(問 3)別にみると、関心が高いほど「マイバッグ、マイボトル利用の推奨など、利用者に対する働きかけや支援」が少なくなっています。

プラスチックごみ発生抑制のための市全体として最も重要な取り組み



- 生分解性プラスチックやプラスチック以外の素材の利用など、製造者に対する働きかけや支援
- ▣ 過剰な容器包装に対する規制など、提供者・販売者に対する働きかけや支援
- マイバッグ、マイボトル利用の推奨など、利用者に対する働きかけや支援
- プラスチックごみ削減が強く求められる事業者の公表や不法投棄の罰則強化など、制度の強化
- ▨ その他
- 不明・無回答

4.3. ごみ減量・リサイクルのための行動(問 20)

ごみ減量・リサイクルのための行動で、「やっている」が最も多いのは「過剰包装の商品購入は避け、買物袋・エコバッグを持ち歩く」で 82.0%、次いで「新聞紙・雑誌などを古紙回収に出す」が 75.9%、「カン、ビンやトレイ、紙パック、廃食油などをリサイクル回収に出す」が 73.8%となっています。

「時々やっている」が最も多いのは「早く食べる必要がある食品を冷蔵庫のすぐ見える位置に置く」で 35.0%、次いで「早く食べる必要がある食品がないか、週に1回以上冷蔵庫を点検する」が 34.8%、「リサイクル製品、詰め替え使用可能な製品を優先して購入・利用する」が 34.4%となっています。

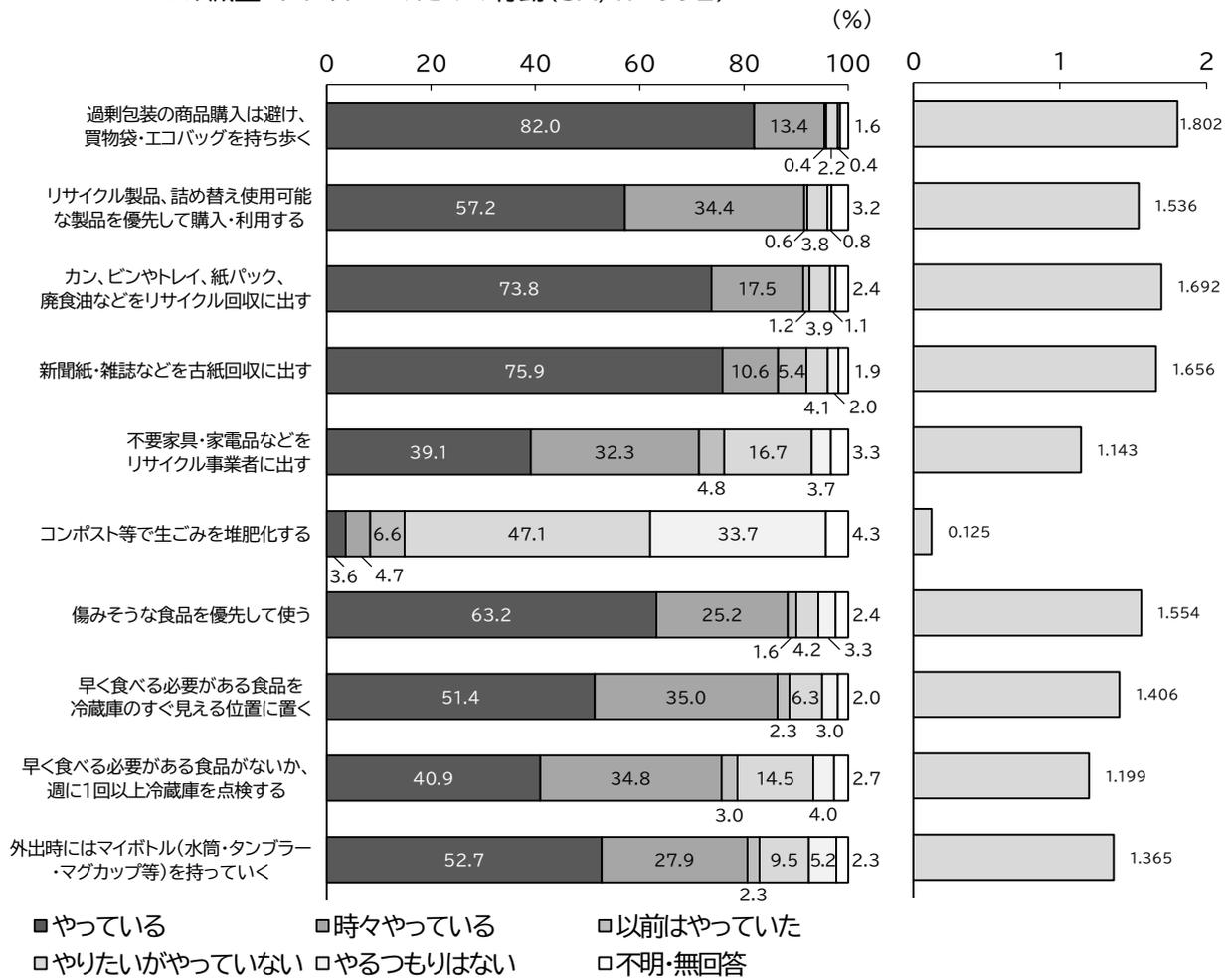
「以前はやっていた」が最も多いのは「コンポスト等で生ごみを堆肥化する」で 6.6%、次いで「新聞紙・雑誌などを古紙回収に出す」が 5.4%、「不要家具・家電品などをリサイクル事業者に出す」が 4.8%となっています。

「やりたいがやっていない」が最も多いのは「コンポスト等で生ごみを堆肥化する」で 47.1%、次いで「不要家具・家電品などをリサイクル事業者に出す」が 16.7%、「早く食べる必要がある食品がないか、週に1回以上冷蔵庫を点検する」が 14.5%となっています。

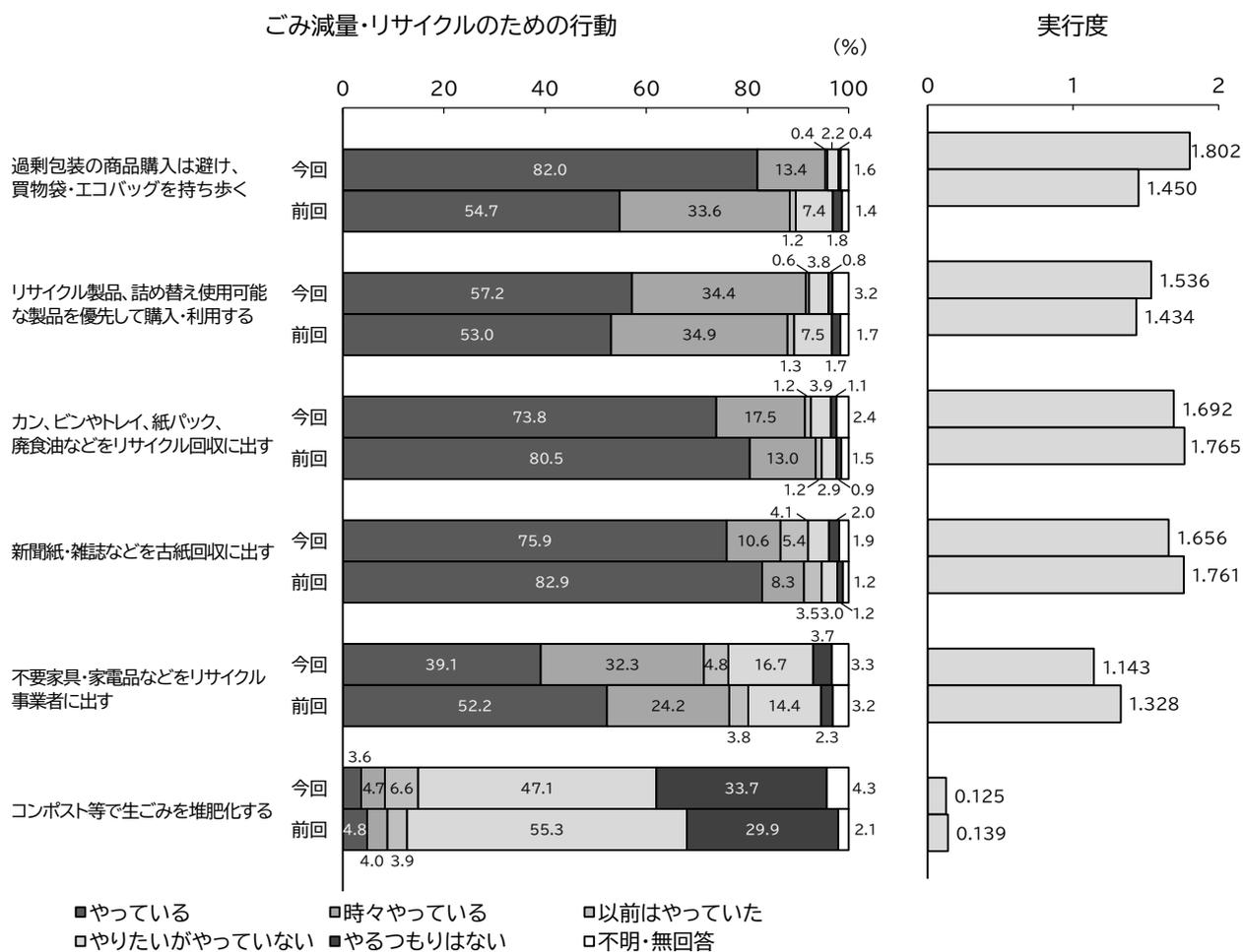
「やるつもりはない」が最も多いのは「コンポスト等で生ごみを堆肥化する」で 33.7%、次いで「外出時にはマイボトル(水筒・タンブラー・マグカップ等)を持っていく」が 5.2%、「早く食べる必要がある食品がないか、週に1回以上冷蔵庫を点検する」が 4.0%となっています。

「実行している」を 2 点、「ときどき実行している」を 1 点、「以前はやっていた」「やりたいがやっていない」「やるつもりはない」を 0 点としたときの平均点(「不明・無回答」を除く)を「実行度」とすると、実行度が最も高いのは「過剰包装の商品購入は避け、買物袋・エコバッグを持ち歩く」で 1.802 点、次いで「カン、ビンやトレイ、紙パック、廃食油などをリサイクル回収に出す」が 1.692 点、「新聞紙・雑誌などを古紙回収に出す」が 1.656 点となっています。

ごみ減量・リサイクルのための行動(SA, n=992)

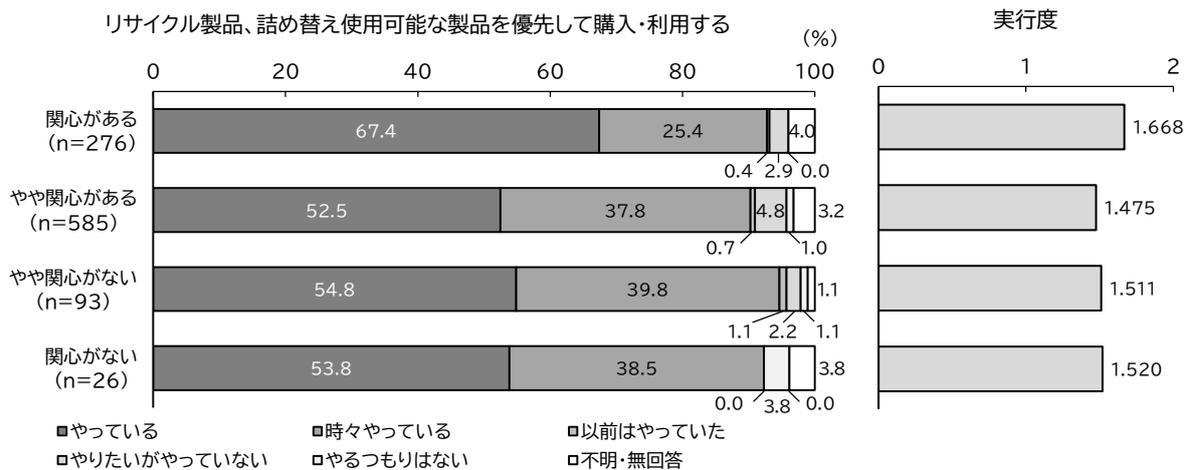
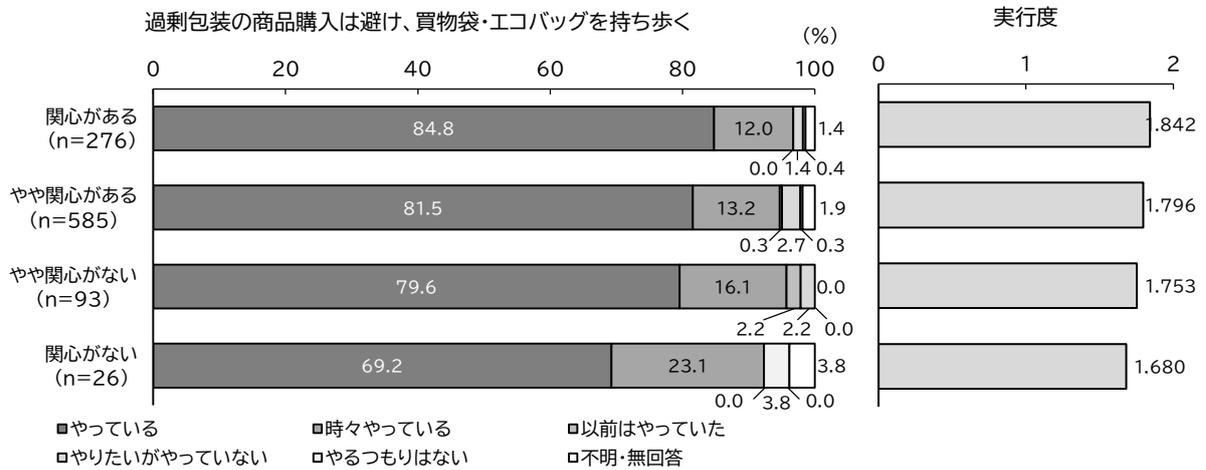


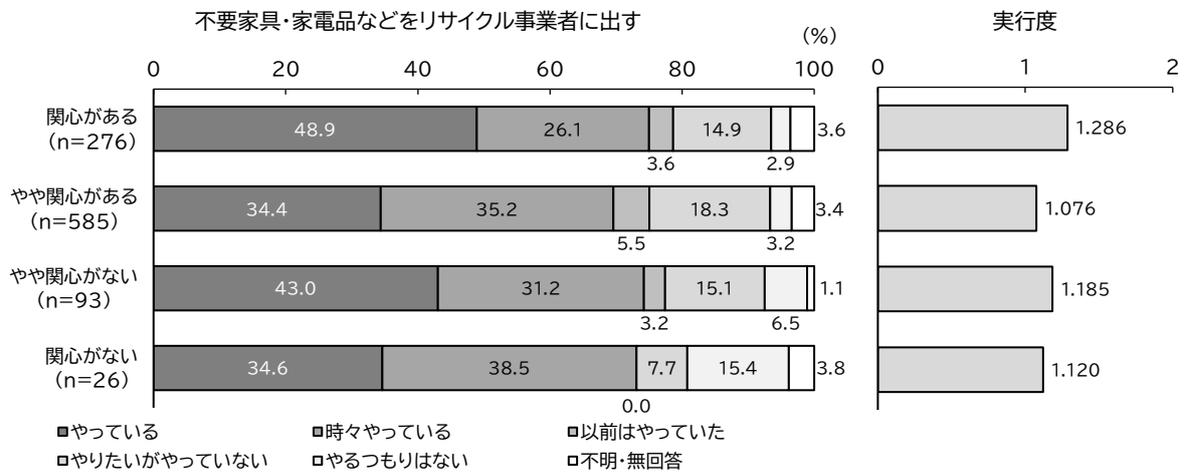
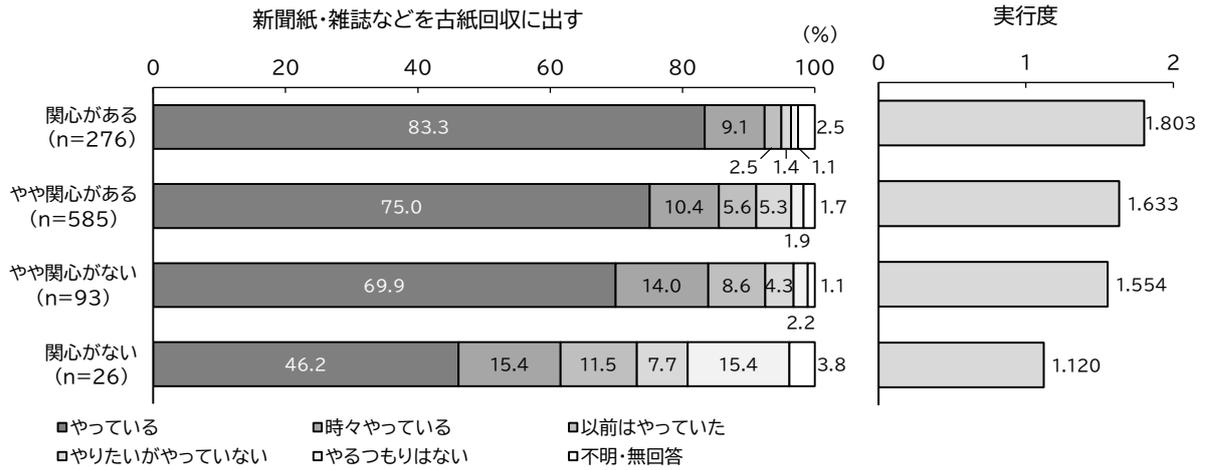
平成 23(2011)年度の前回アンケートと比較すると、「過剰包装の商品購入は避け、買物袋・エコバッグを持ち歩く」「リサイクル製品、詰め替え使用可能な製品を優先して購入・利用する」で実行度が高く、「新聞紙・雑誌などを古紙回収に出す」「不要家具・家電品などをリサイクル事業者に出す」で実行度が低くなっています。



【環境問題や環境保全への関心との関係】

環境問題や環境保全への関心(問 3)別にみると、「コンポスト等で生ごみを堆肥化する」「不要家具・家電品などをリサイクル事業者に出す」「傷みそうな食品を優先して使う」を除くすべての項目で、関心が高いほど実行度が高くなっています。

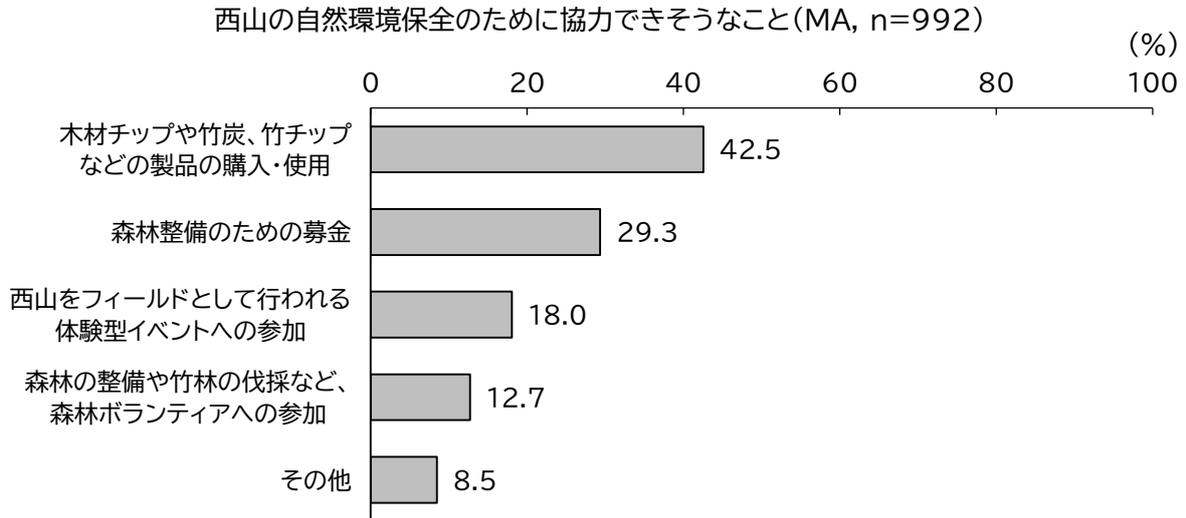




5. 「環境共生のまちづくり」について

5.1. 西山の自然環境保全のために協力できそうなこと(問 21)

西山の自然環境保全に関わる取り組みの中で協力できそうなことについて、最も多いのは「木材チップや竹炭、竹チップなどの製品の購入・使用」で42.5%、次いで「森林整備のための募金」が29.3%、「西山をフィールドとして行われる体験型イベントへの参加」が18.0%となっています。



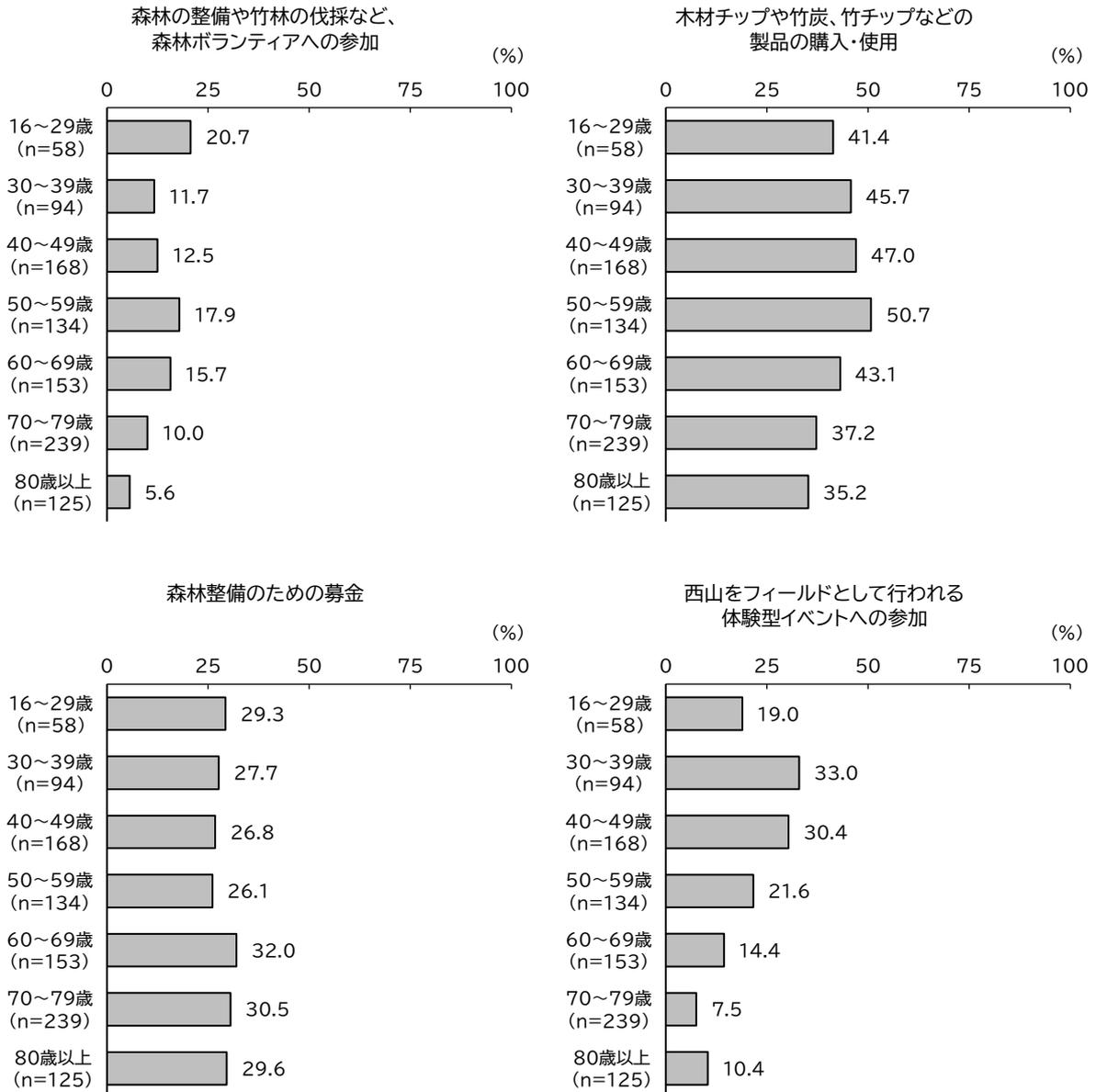
【参考】過去の調査との比較

平成 21(2009)年度の温対アンケート中の同様の設問と比較すると、どちらの結果も「木材チップや竹炭、竹チップなどの製品の購入・使用」が多くなっています。

なお、温対アンケートの結果については、報告書のグラフより読み取った推計値を使用しています。さらに、今回のアンケートは回答者全員を対象としているのに対し、温対アンケートでは「森林や竹林の伐採などの森林ボランティア活動」への参加意向をもつ回答者だけを対象としており、結果の解釈には注意が必要です。

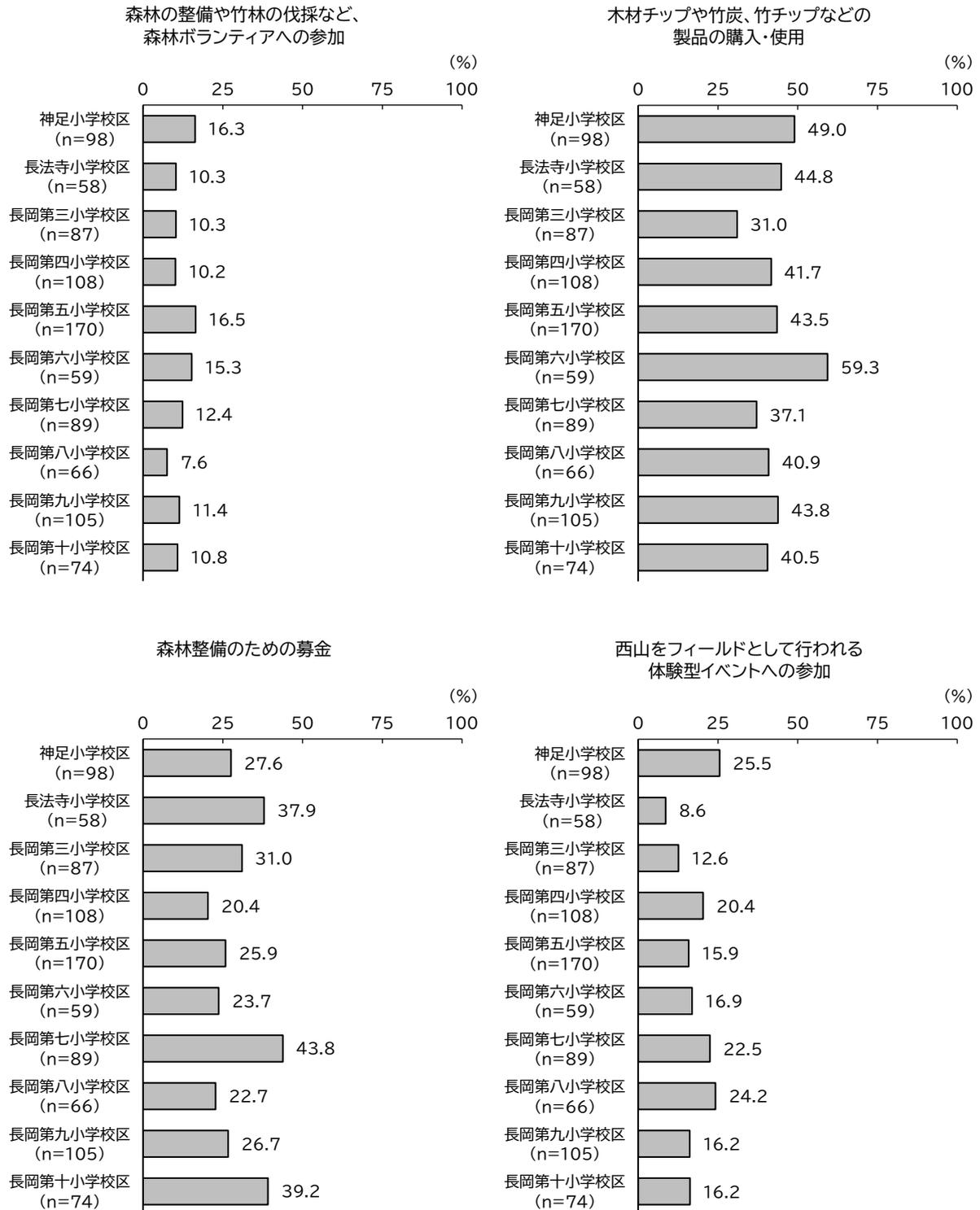
【年齢との関係】

年齢別にみると、「30～39歳」「40～49歳」は「西山をフィールドとして行われる体験型イベントへの参加」が多く、「50～59歳」は「森林の整備や竹林の伐採など、森林ボランティアへの参加」「木材チップや竹炭、竹チップなどの製品の購入・使用」が多く、「70～79歳」「80歳以上」は「森林の整備や竹林の伐採など、森林ボランティアへの参加」「西山をフィールドとして行われる体験型イベントへの参加」が少なくなっています。



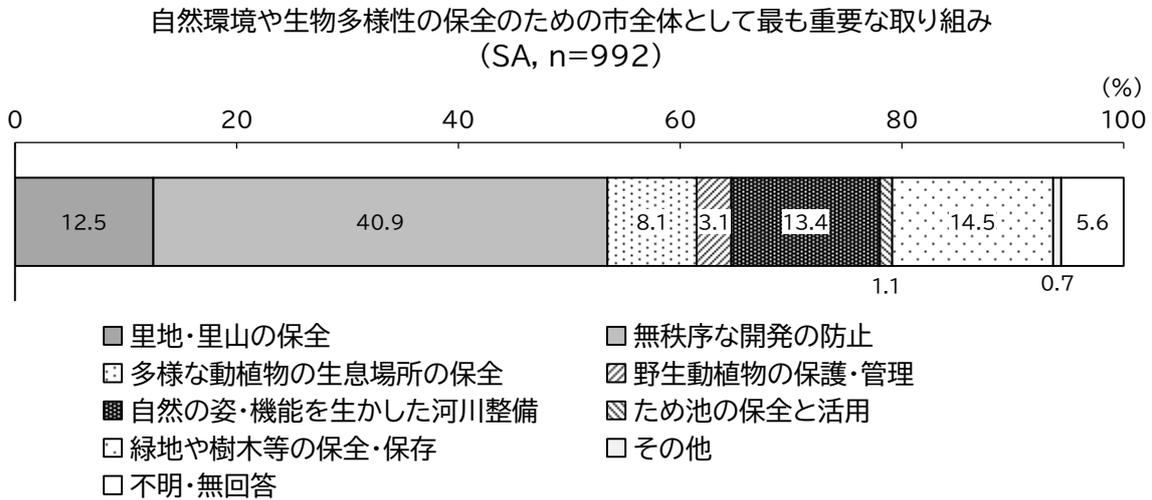
【居住地域との関係】

居住地域別にみると、「神足小学校区」では「西山をフィールドとして行われる体験型イベントへの参加」が多く、「長岡第三小学校区」では「木材チップや竹炭、竹チップなどの製品の購入・使用」が少なく、「長岡第四小学校区」では「森林整備のための募金」が少なく、「長岡第六小学校区」では「木材チップや竹炭、竹チップなどの製品の購入・使用」が多く、「長岡第七小学校区」「長岡第十小学校区」では「森林整備のための募金」が多くなっています。

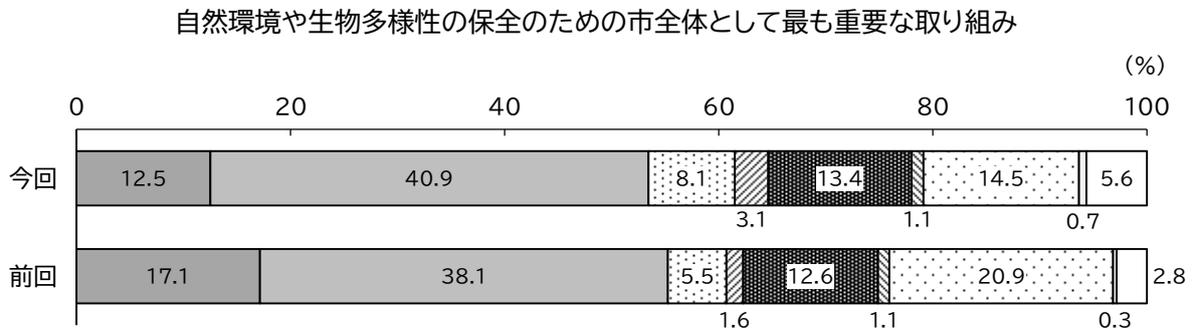


5.2. 自然環境や生物多様性の保全のための市全体として最も重要な取り組み(問 22)

自然環境や生物多様性の保全のために市全体として最も重要な取り組みについて、最も多いのは「無秩序な開発の防止」で40.9%、次いで「緑地や樹木等の保全・保存」が14.5%、「自然の姿・機能を生かした河川整備」が13.4%となっています。



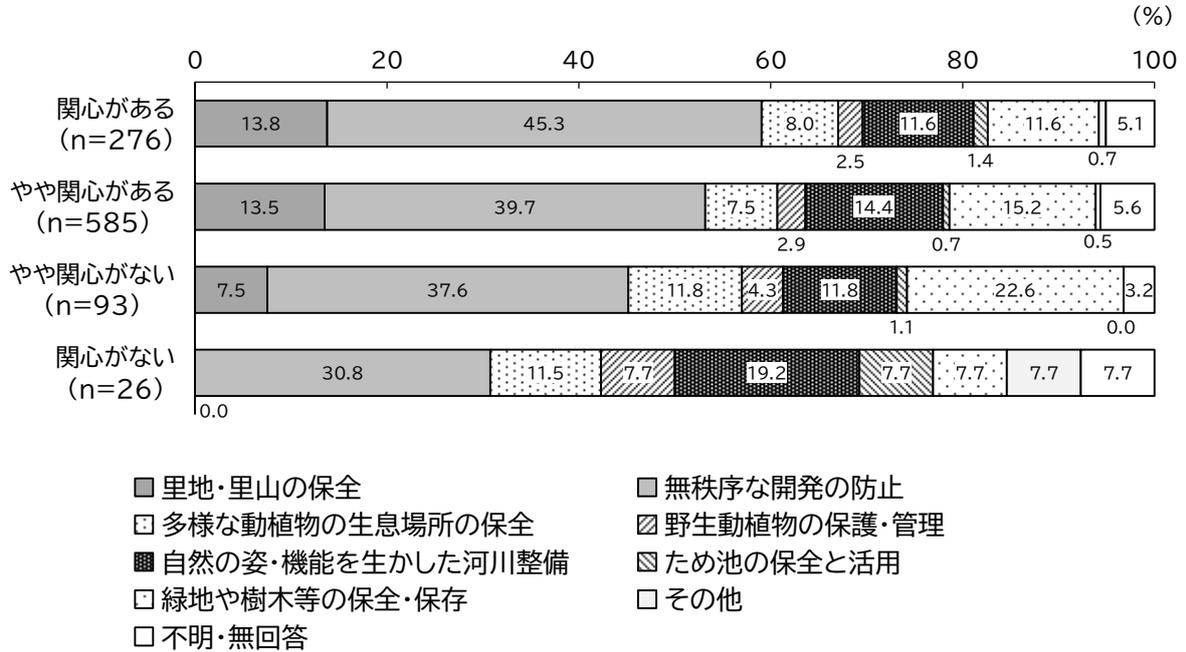
平成 23(2011)年度の前回アンケートと比較すると、「里地・里山の保全」「緑地や樹木等の保全・保存」が少なくなっています。



【環境問題や環境保全への関心との関係】

環境問題や環境保全への関心(問3)別にみると、関心が高いほど「里地・里山の保全」が多くなっています。

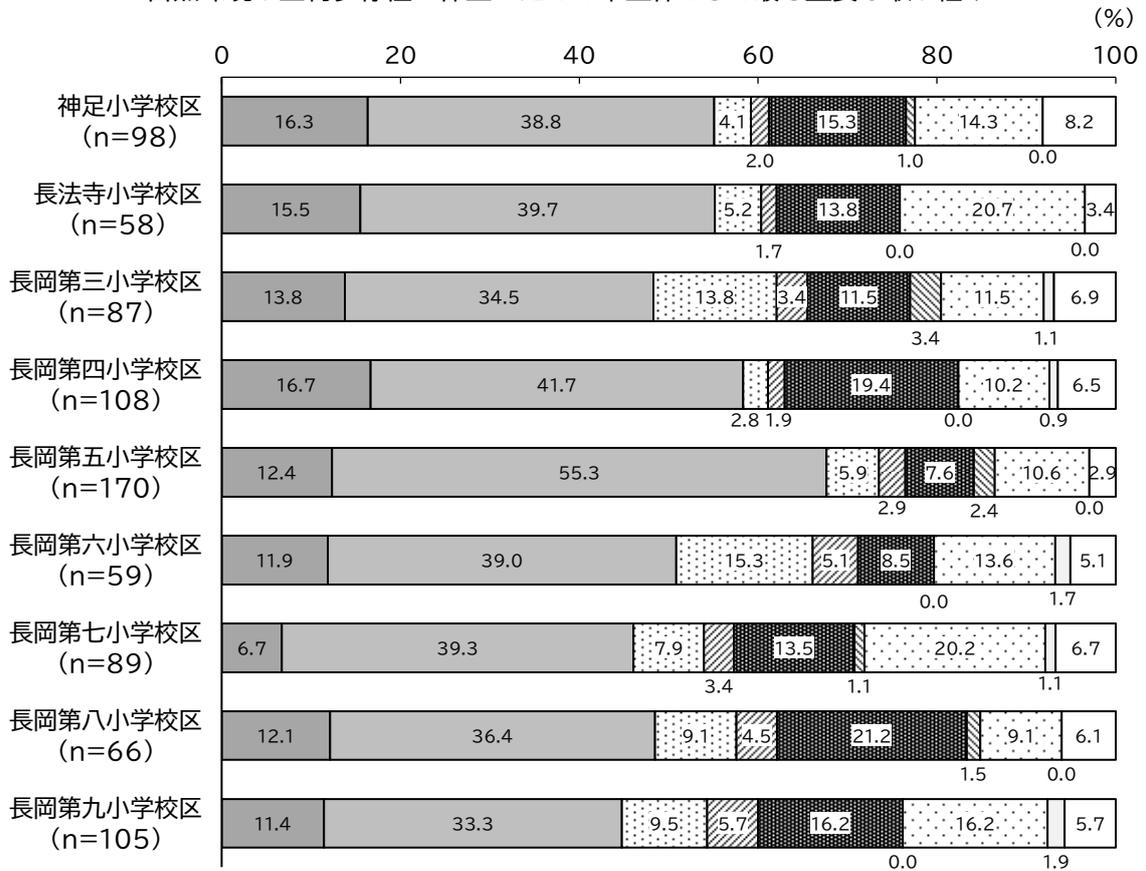
自然環境や生物多様性の保全のための市全体として最も重要な取り組み



【居住地域との関係】

居住地域別にみると、「長岡第五小学校区」では「無秩序な開発の防止」が多くなっています。

自然環境や生物多様性の保全のための市全体として最も重要な取り組み



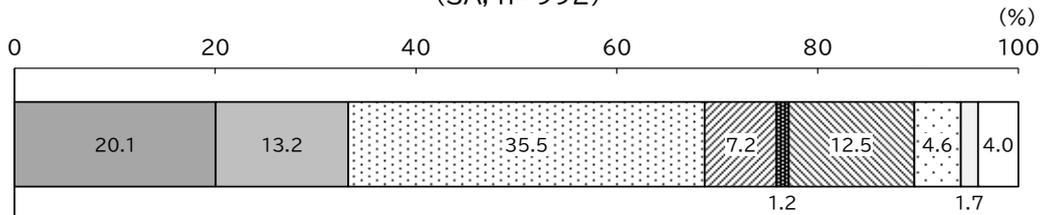
- 里地・里山の保全
- 無秩序な開発の防止
- 多様な動植物の生息場所の保全
- ▨ 野生動植物の保護・管理
- 自然の姿・機能を生かした河川整備
- ▨ ため池の保全と活用
- 緑地や樹木等の保全・保存
- その他
- 不明・無回答

6. 「快適な都市環境づくり」について

6.1. 快適な都市環境づくりのための市全体として最も重要な取り組み(問 23)

快適な都市環境づくりのために市全体として最も重要な取り組みについて、最も多いのは「歩道の整備、電線の地中化など、歩きやすいまちづくり」で 35.5%、次いで「公園・緑地・街路樹など、身近にある自然の保全・創出」が 20.1%、「透水性舗装など、環境に配慮した都市基盤の整備」が 13.2%となっています。

快適な都市環境づくりのための市全体として最も重要な取り組み
(SA, n=992)

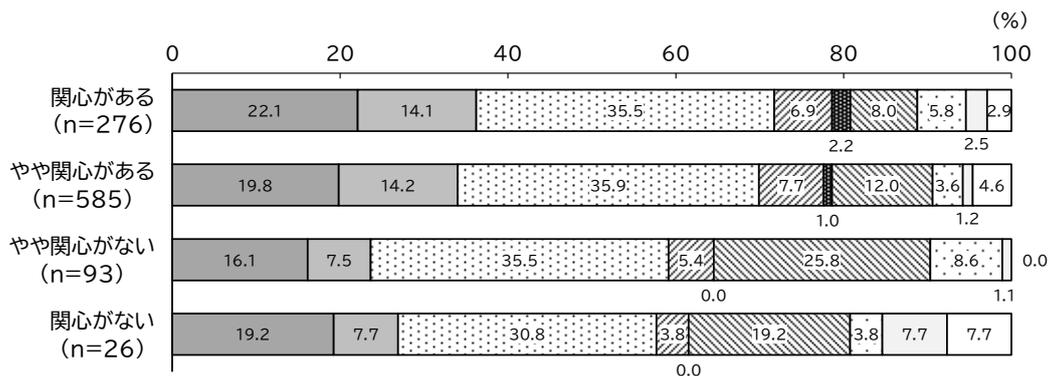


- 公園・緑地・街路樹など、身近にある自然の保全・創出
- 透水性舗装など、環境に配慮した都市基盤の整備
- 歩道の整備、電線の地中化など、歩きやすいまちづくり
- 景観に配慮したまちづくり
- 歴史文化資源の保全・活用
- ポイ捨てや犬のふんの放置などが無い、きれいなまちづくり
- 公害防止対策の充実
- その他
- 不明・無回答

【環境問題や環境保全への関心との関係】

環境問題や環境保全への関心(問 3)別にみると、関心が高いほど「透水性舗装など、環境に配慮した都市基盤の整備」が多く、「ポイ捨てや犬のふんの放置などが無い、きれいなまちづくり」が少なくなっています。

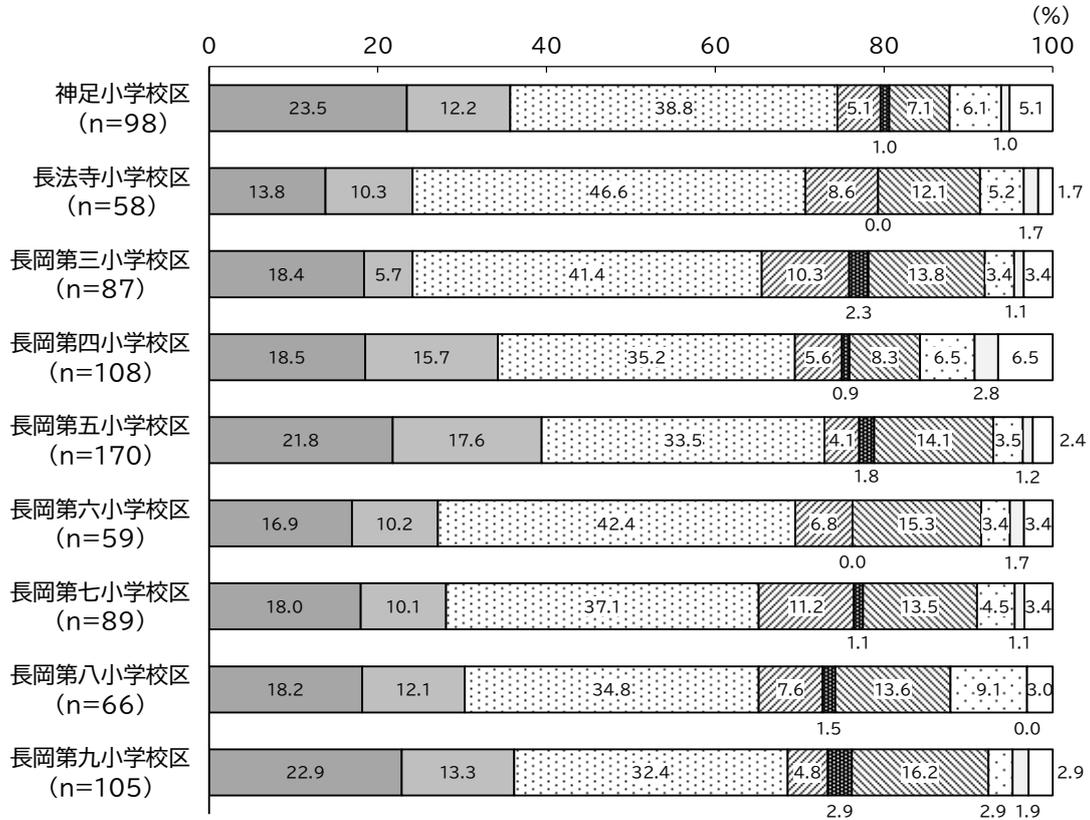
快適な都市環境づくりのための市全体として最も重要な取り組み



【居住地域との関係】

居住地域別にみると、すべての項目で居住地区による差はみられません。

快適な都市環境づくりのための市全体として最も重要な取り組み

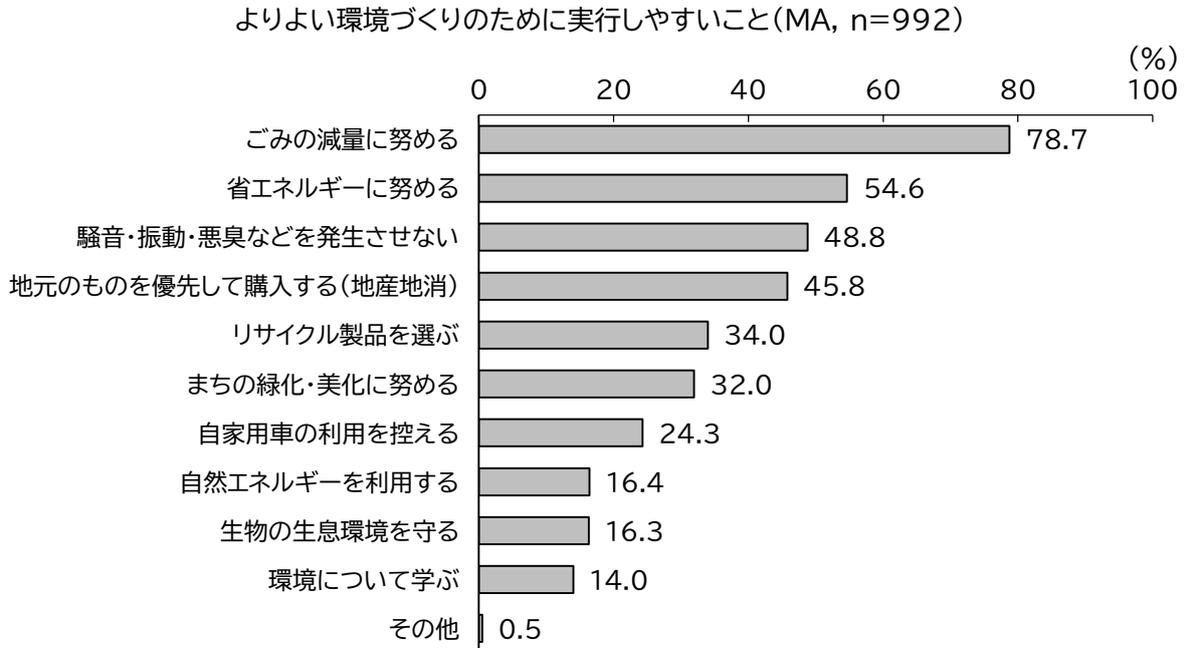


- 公園・緑地・街路樹など、身近にある自然の保全・創出
- 透水性舗装など、環境に配慮した都市基盤の整備
- 歩道の整備、電線の地中化など、歩きやすいまちづくり
- ▨ 景観に配慮したまちづくり
- 歴史文化資源の保全・活用
- ▨ ポイ捨てや犬のふんの放置がない、きれいなまちづくり
- 公害防止対策の充実
- その他
- 不明・無回答

7. 環境の取り組みへの参画と協働について

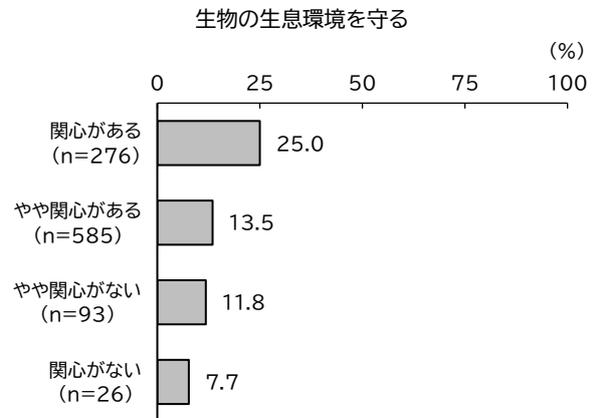
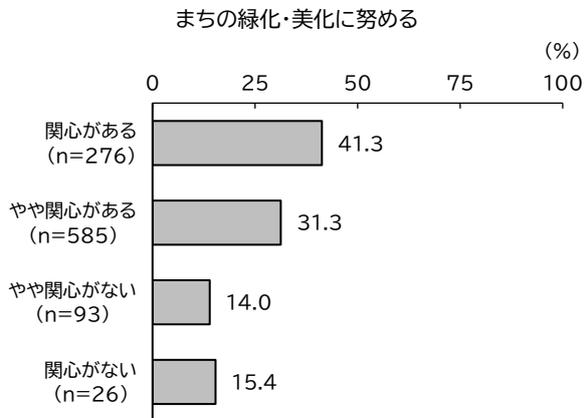
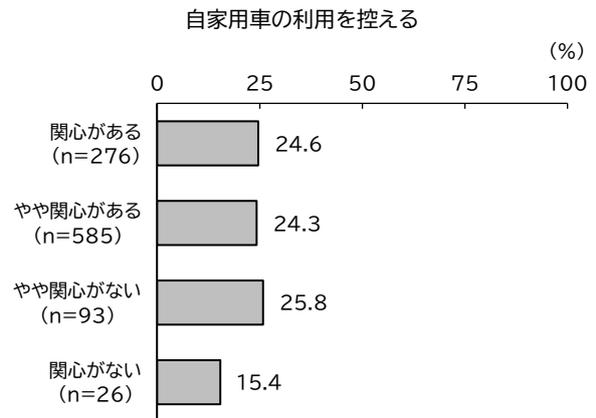
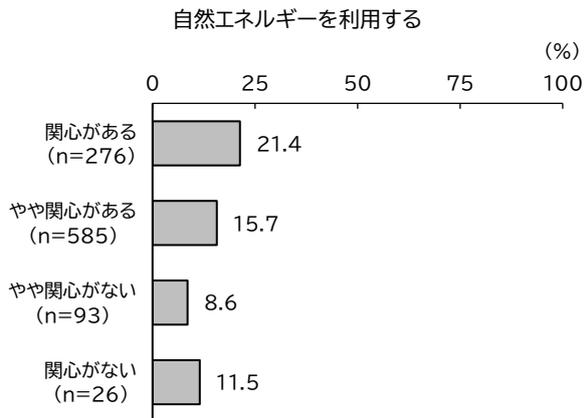
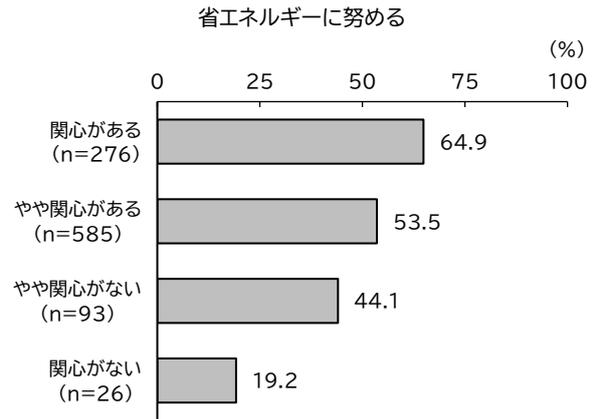
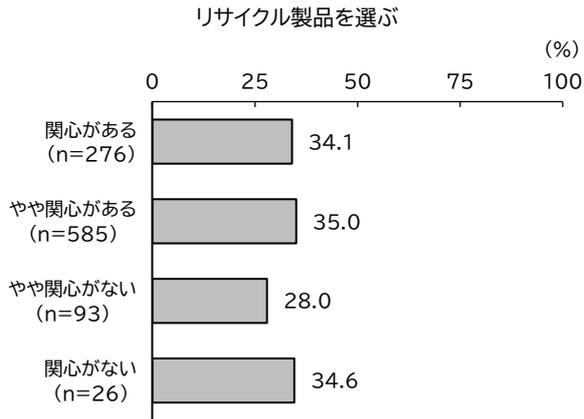
7.1. よりよい環境づくりのために実行しやすいこと(問 24)

よりよい環境づくりのために実行しやすいことについて、最も多いのは「ごみの減量に努める」で 78.7%、次いで「省エネルギーに努める」が 54.6%、「騒音・振動・悪臭などを発生させない」が 48.8%となっています。



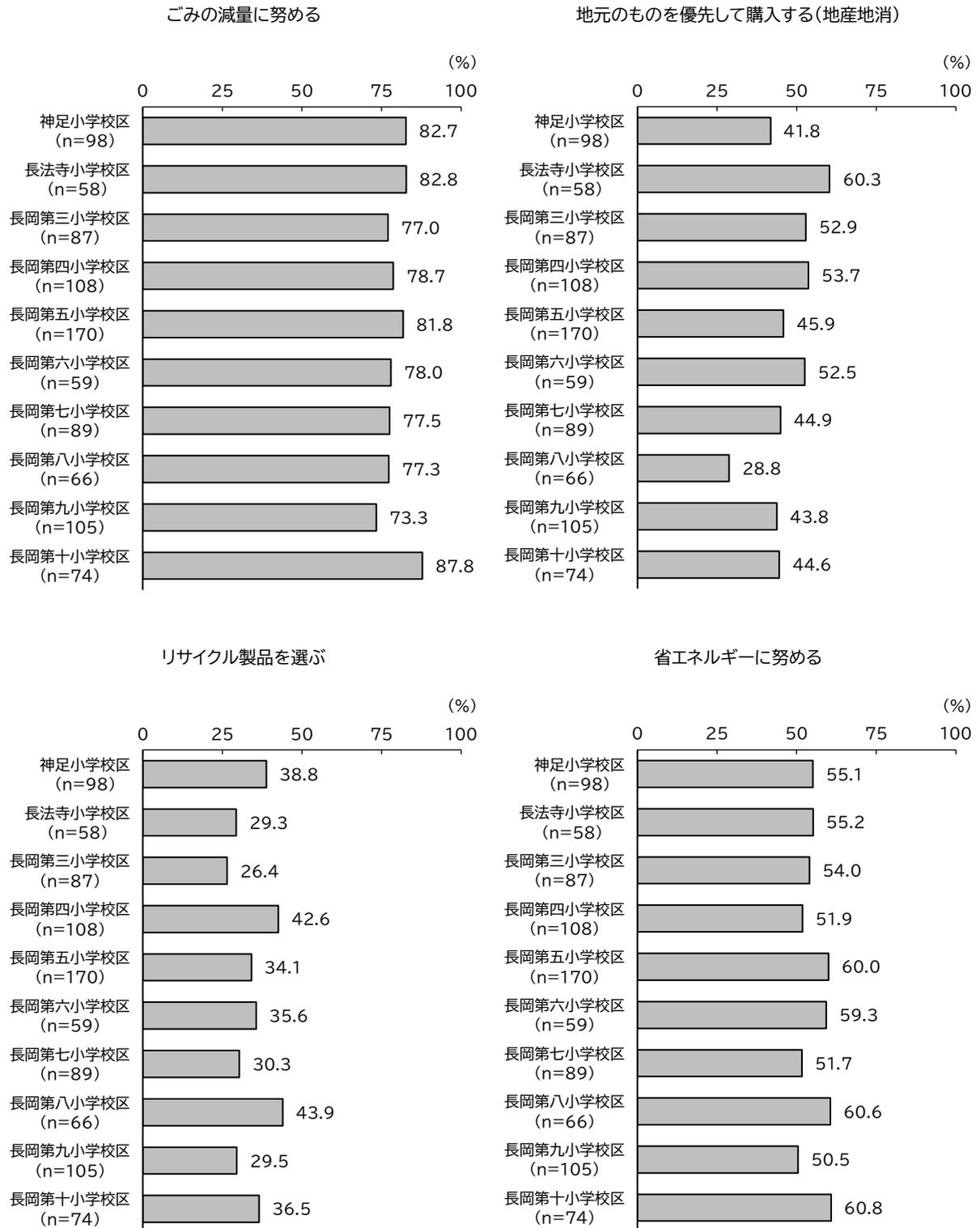
【環境問題や環境保全への関心との関係】

環境問題や環境保全への関心(問 3)別にみると、「リサイクル製品を選ぶ」「自家用車の利用を控える」「騒音・振動・悪臭などを発生させない」を除くすべての項目で、関心が高いほど多くなっています。

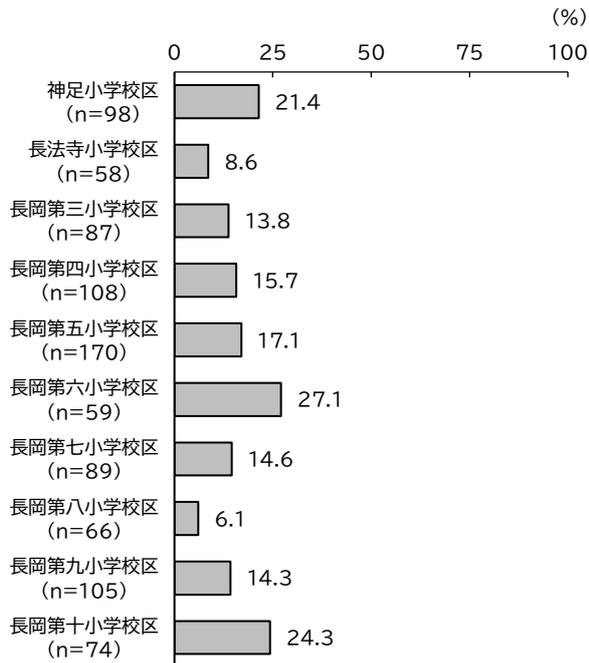


【居住地域との関係】

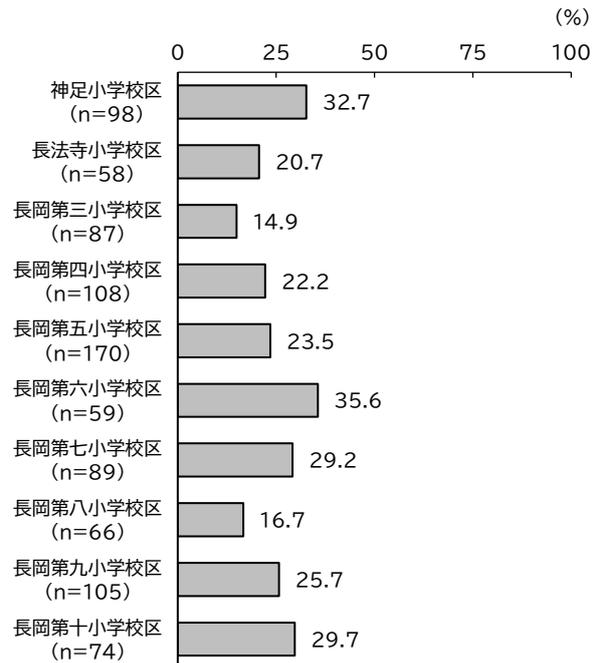
居住地区別にみると、「その他」を除く10項目中5項目で「長岡第六小学校区」が最も多くなっています。



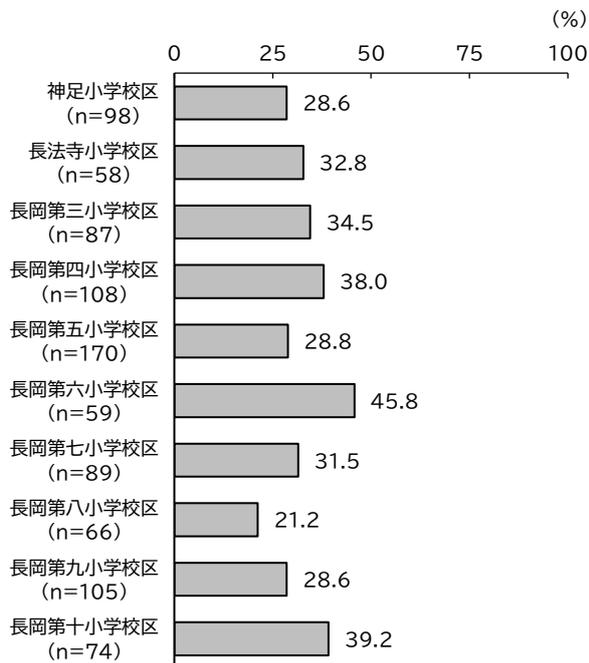
自然エネルギーを利用する



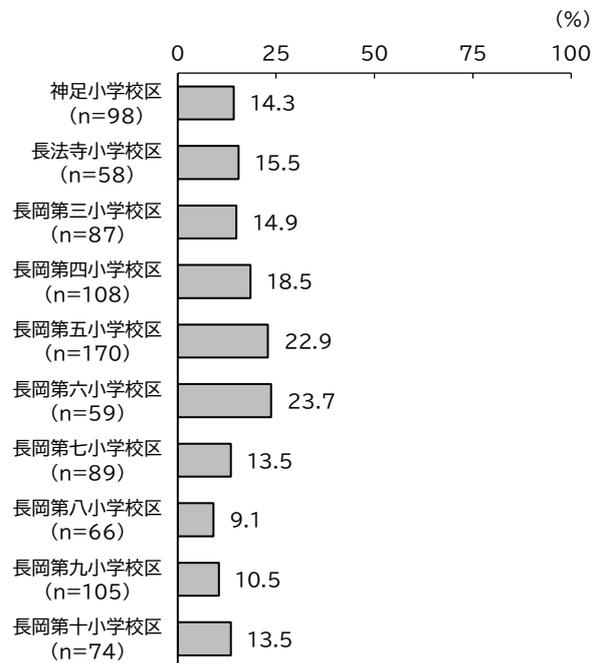
自家用車の利用を控える



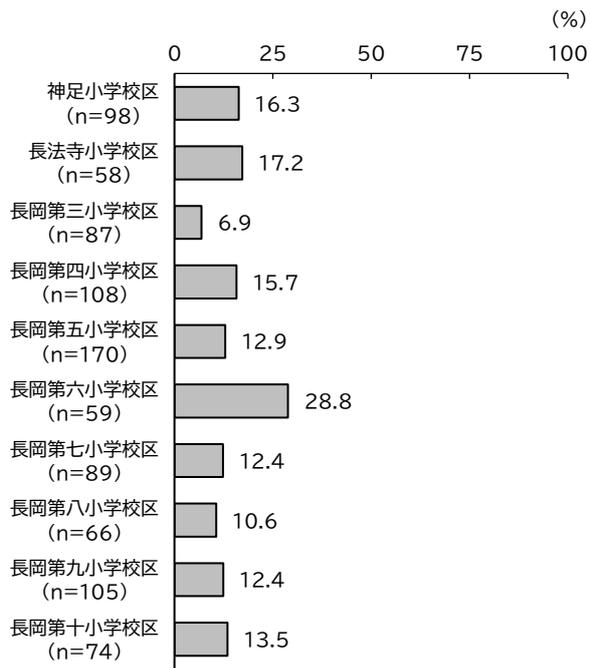
まちの緑化・美化に努める



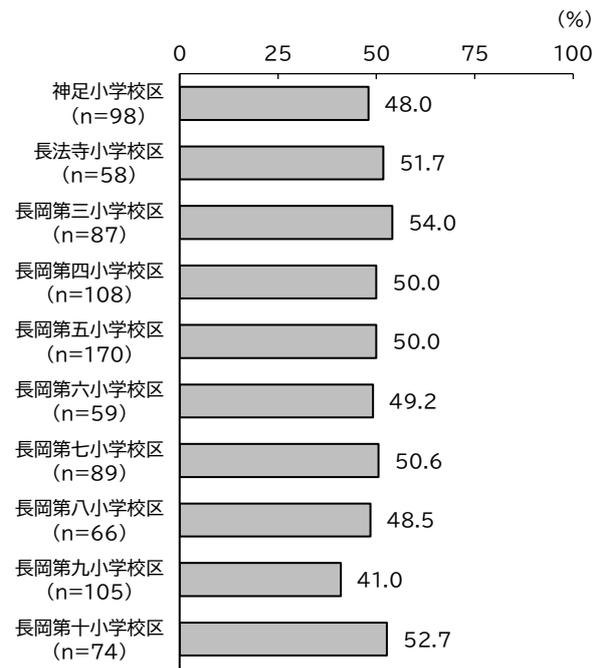
生物の生息環境を守る



環境について学ぶ



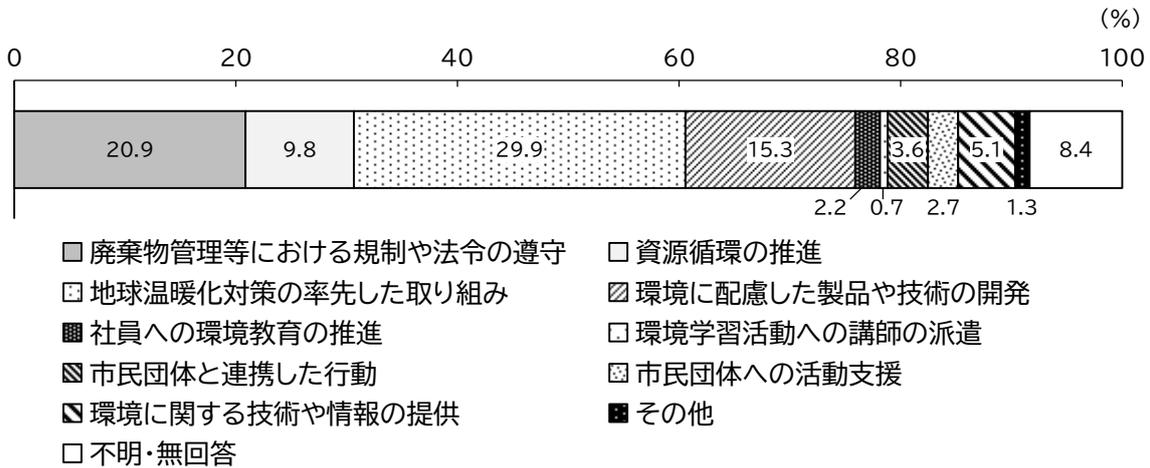
騒音・振動・悪臭などを発生させない



7.2. よりよい環境づくりのため市内の事業所に期待すること(問 25)

よりよい環境づくりのために市内の事業所に期待することについて、最も多いのは「地球温暖化対策の率先した取り組み」で 29.9%、次いで「廃棄物管理等における規制や法令の遵守」が 20.9%、「環境に配慮した製品や技術の開発」が 15.3%となっています。

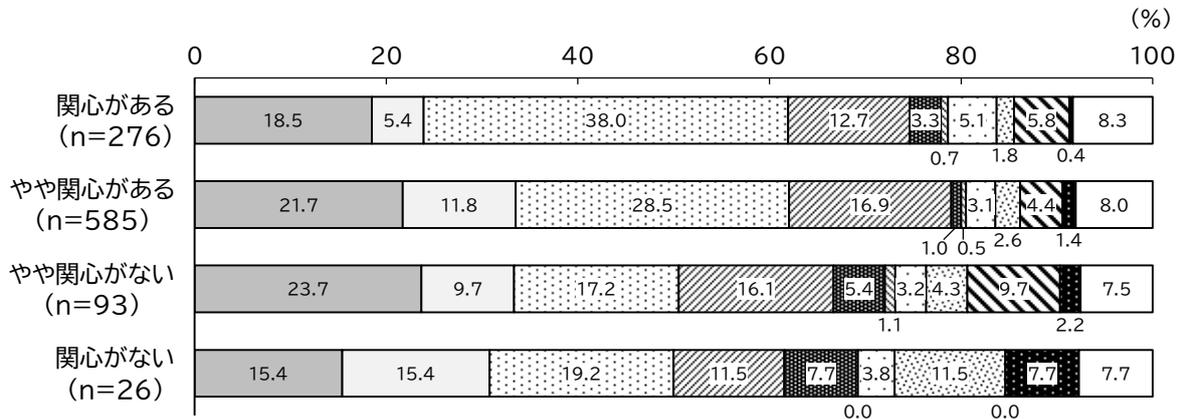
よりよい環境づくりのため市内の事業所に期待すること(SA, n=992)



【環境問題や環境保全への関心との関係】

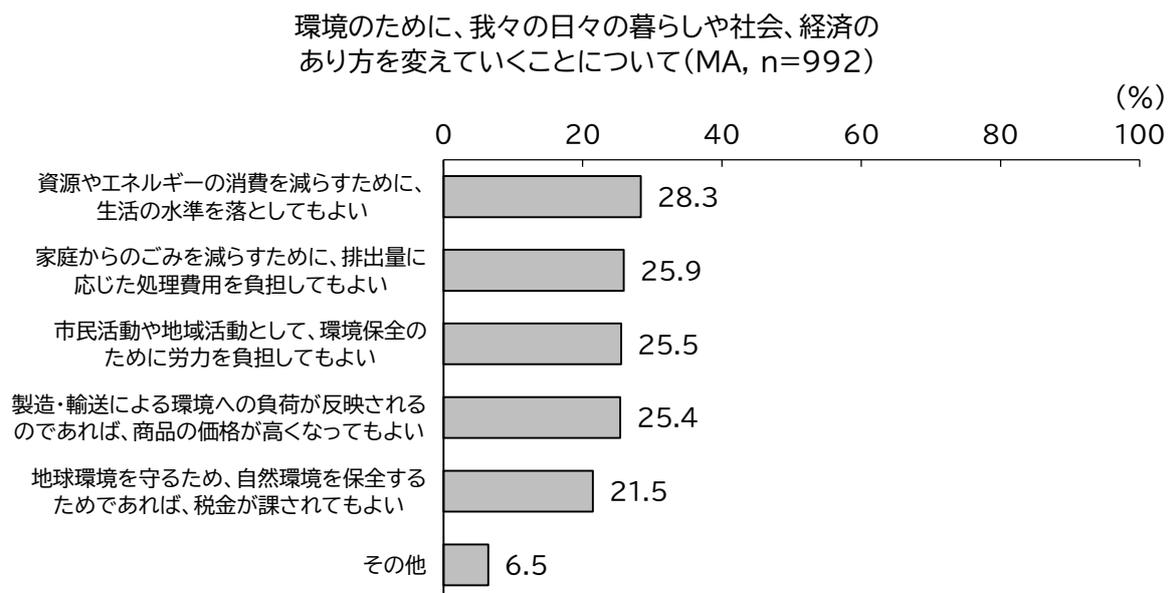
環境問題や環境保全への関心(問 3)別にみると、関心が高いほど「地球温暖化対策の率先した取り組み」が多く、「社員への環境教育の推進」「市民団体への活動支援」が少なくなっています。

よりよい環境づくりのため市内の事業所に期待すること



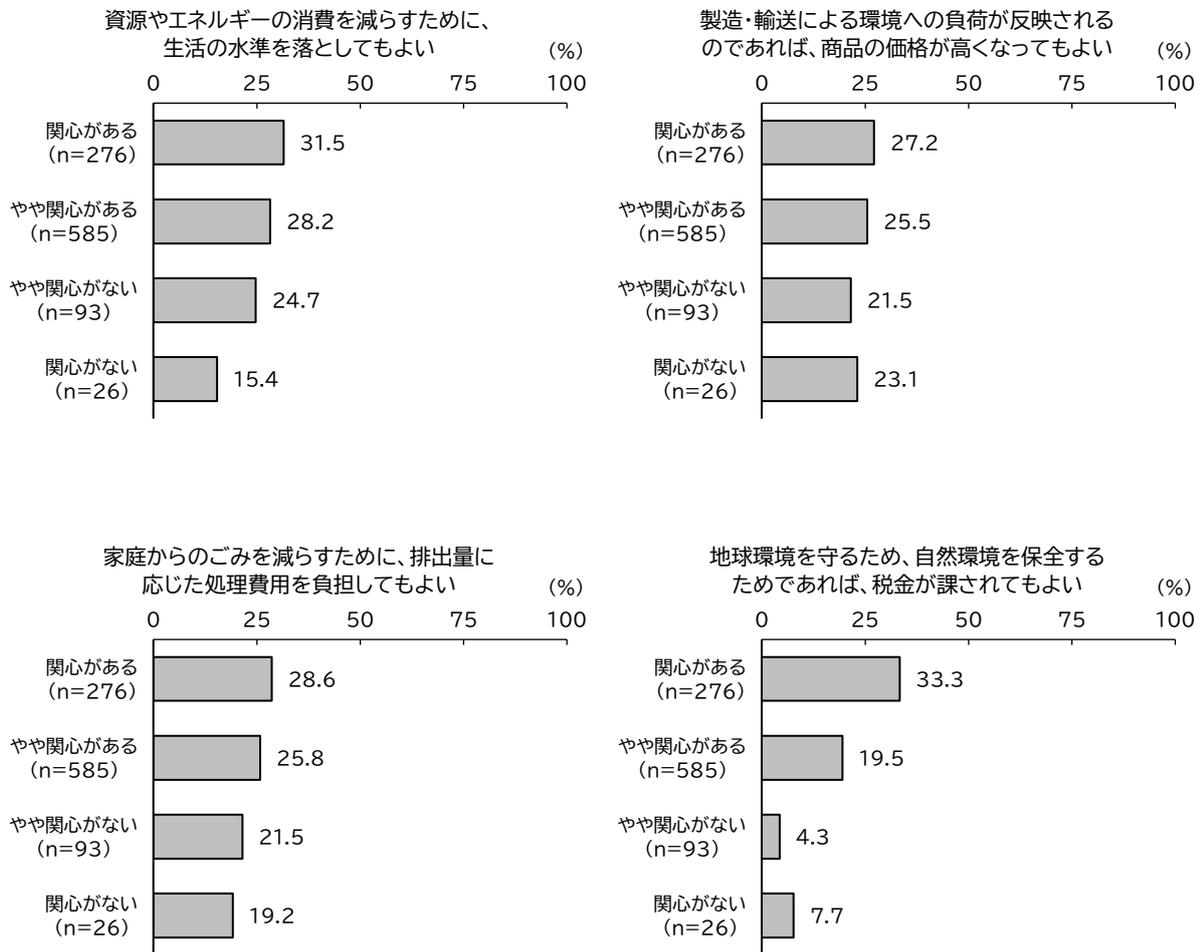
7.3. 環境のために、我々の日々の暮らしや社会、経済のあり方を変えていくことについて(問 26)

環境のために、我々の日々の暮らしや社会、経済のあり方を変えていくことについて、最も多いのは「資源やエネルギーの消費を減らすために、生活の水準を落としてもよい」で 28.3%、次いで「家庭からのごみを減らすために、排出量に応じた処理費用を負担してもよい」が 25.9%、「市民活動や地域活動として、環境保全のために労力を負担してもよい」が 25.5%となっています。



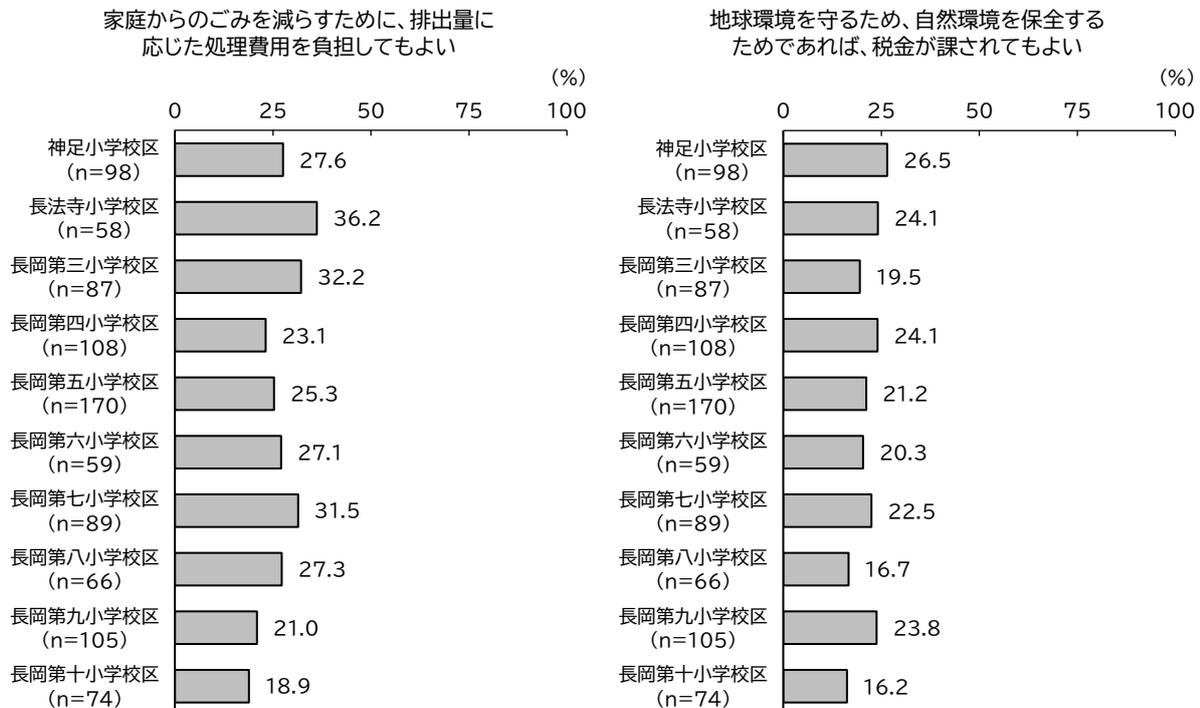
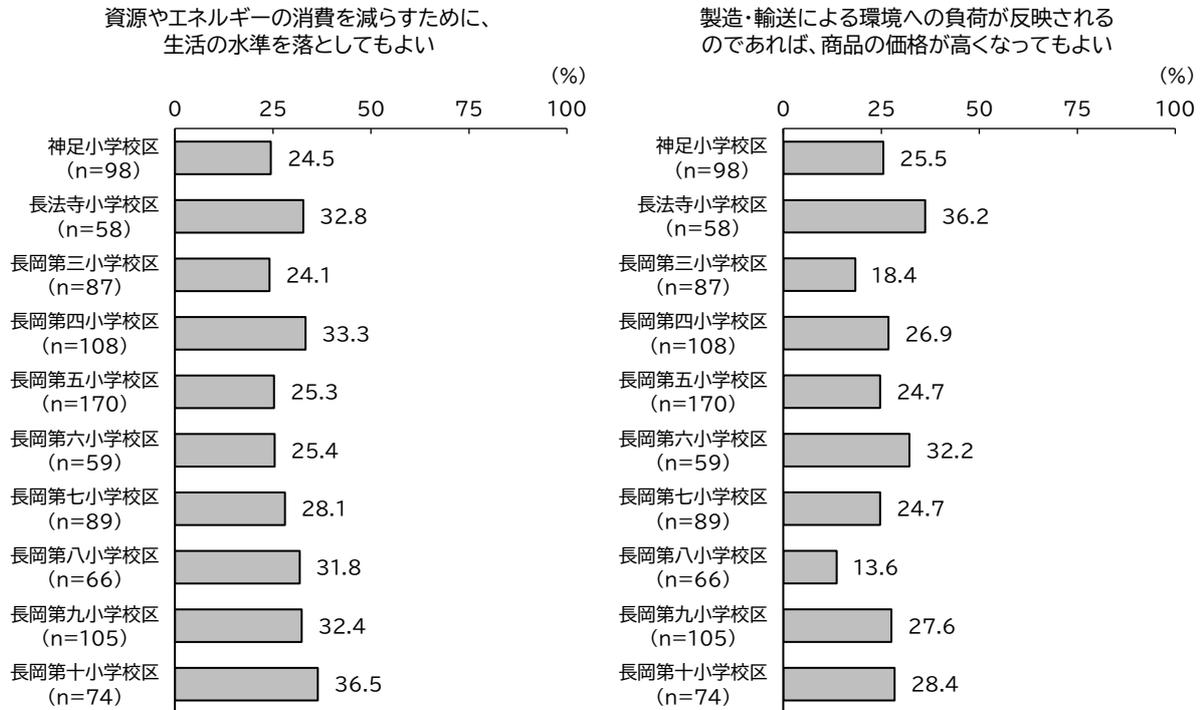
【環境問題や環境保全への関心との関係】

環境問題や環境保全への関心(問3)別にみると、すべての項目で関心が高いほど多くなっています。

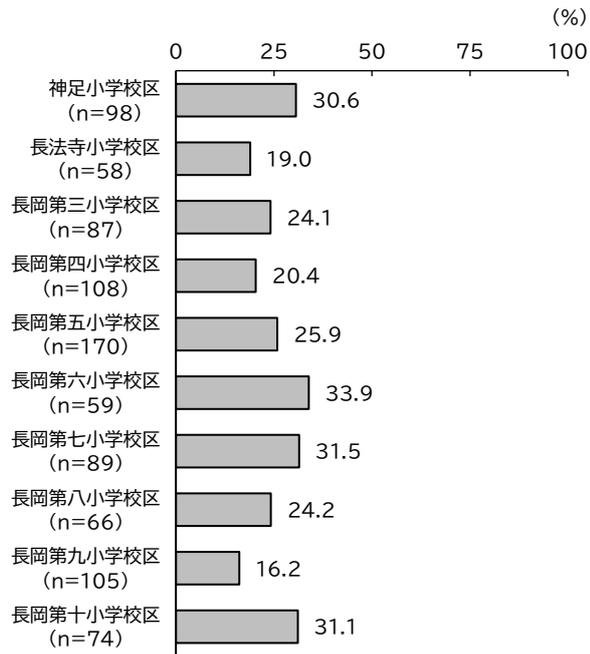


【居住地域との関係】

居住地域別にみると、「その他」を除く 5 項目中 2 項目で「長法寺小学校区」が最も多くなっています。「長岡第八小学校区」では「製造・輸送による環境への負荷が反映されるのであれば、商品の価格が高くなってもよい」が少なく、「長岡第九小学校区」では「市民活動や地域活動として、環境保全のために労力を負担してもよい」が少なくなっています。



市民活動や地域活動として、
環境保全のために労力を負担してもよい



8. 本アンケートについて(問 27)

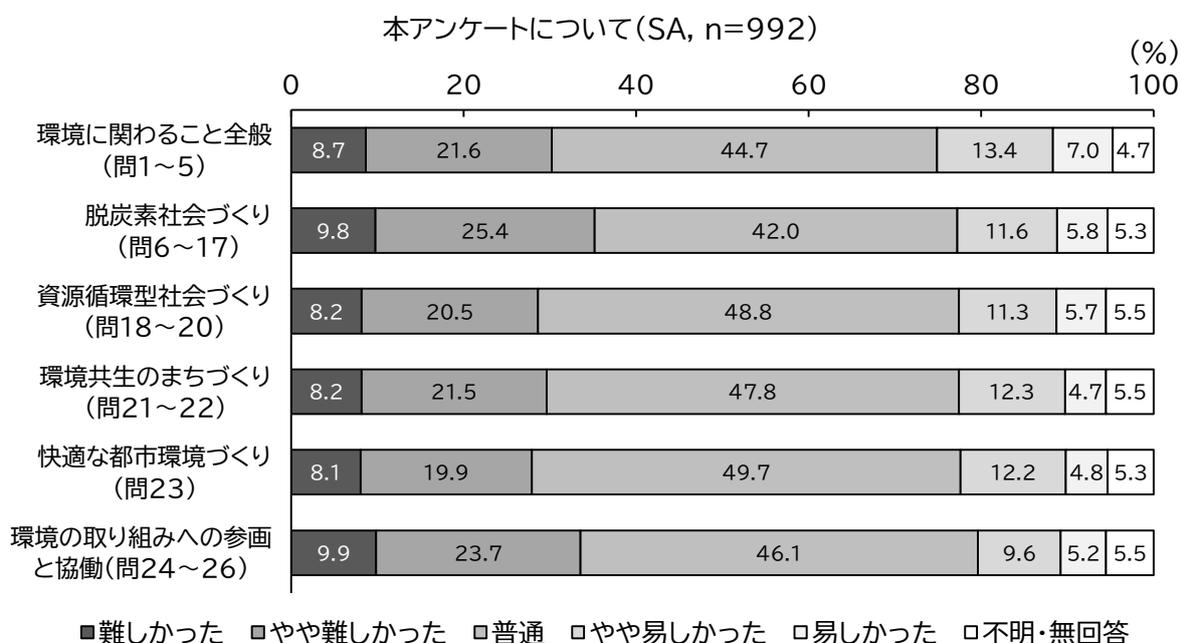
本アンケートについて、「難しかった」が最も多いのは「環境の取り組みへの参画と協働(問 24～26)」で 9.9%、次いで「脱炭素社会づくり(問 6～17)」が 9.8%、「環境に関わること全般(問 1～5)」が 8.7%となっています。

「やや難しかった」が最も多いのは「脱炭素社会づくり(問 6～17)」で 25.4%、次いで「環境の取り組みへの参画と協働(問 24～26)」が 23.7%、「環境に関わること全般(問 1～5)」が 21.6%となっています。

「普通」が最も多いのは「快適な都市環境づくり(問 23)」で 49.7%、次いで「資源循環型社会づくり(問 18～20)」が 48.8%、「環境共生のまちづくり(問 21～22)」が 47.8%となっています。

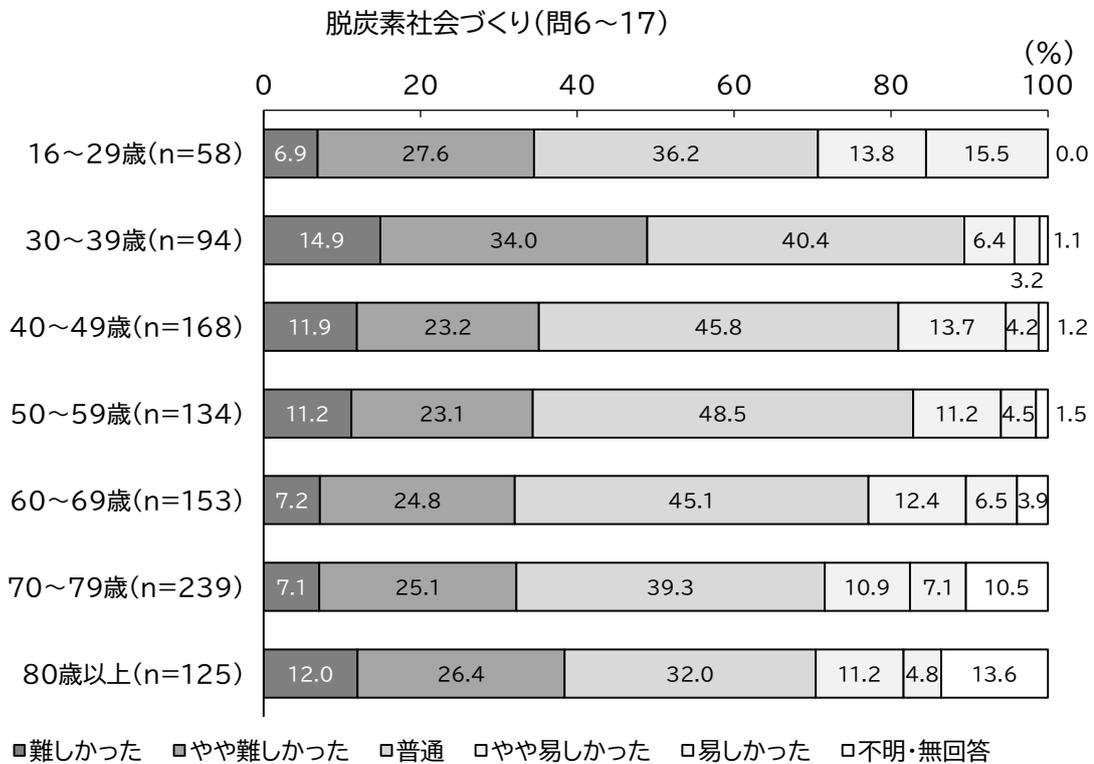
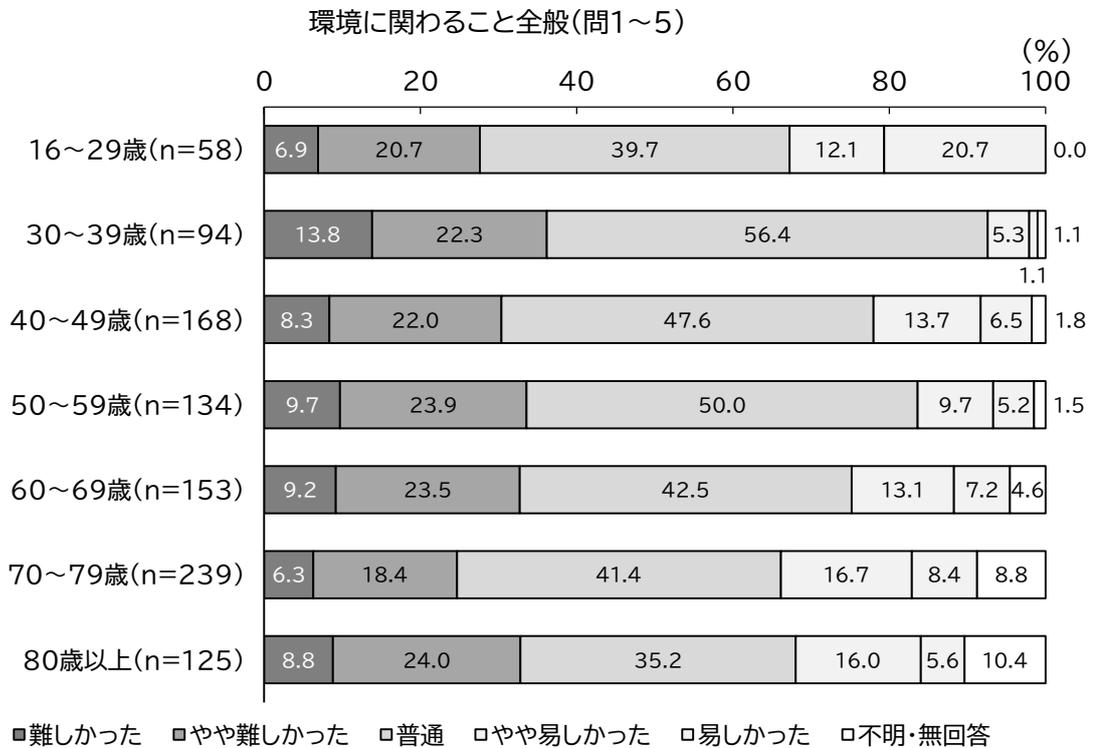
「やや易しかった」が最も多いのは「環境に関わること全般(問 1～5)」で 13.4%、次いで「環境共生のまちづくり(問 21～22)」が 12.3%、「快適な都市環境づくり(問 23)」が 12.2%となっています。

「易しかった」が最も多いのは「環境に関わること全般(問 1～5)」で 7.0%、次いで「脱炭素社会づくり(問 6～17)」が 5.8%、「資源循環型社会づくり(問 18～20)」が 5.7%となっています。

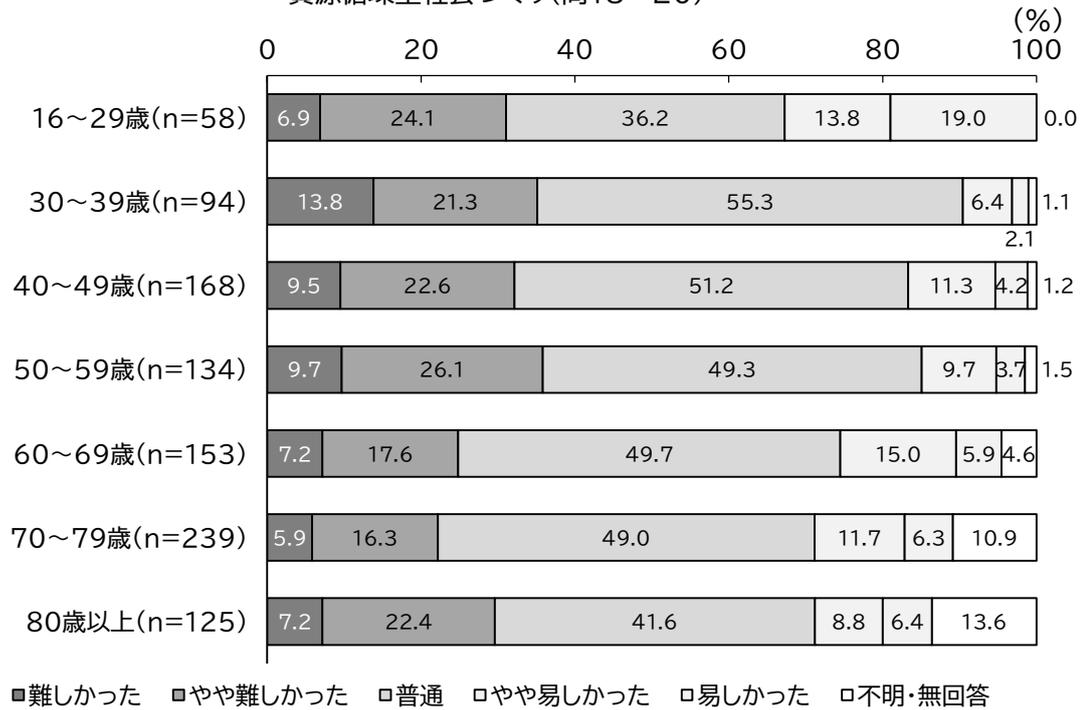


【年齢との関係】

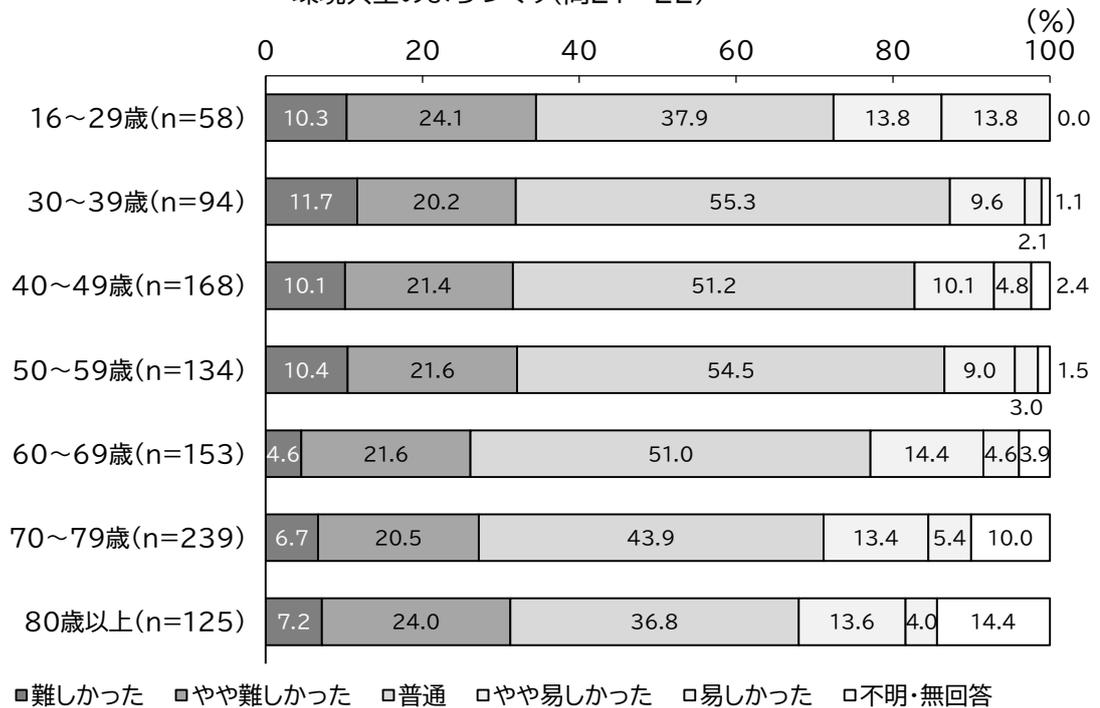
年齢別にみると、「環境に関わること全般(問 1～5)」「脱炭素社会づくり(問 6～17)」「資源循環型社会づくり(問 18～20)」では「30～39 歳」の「難しかった」「やや難しかった」が多くなっています。



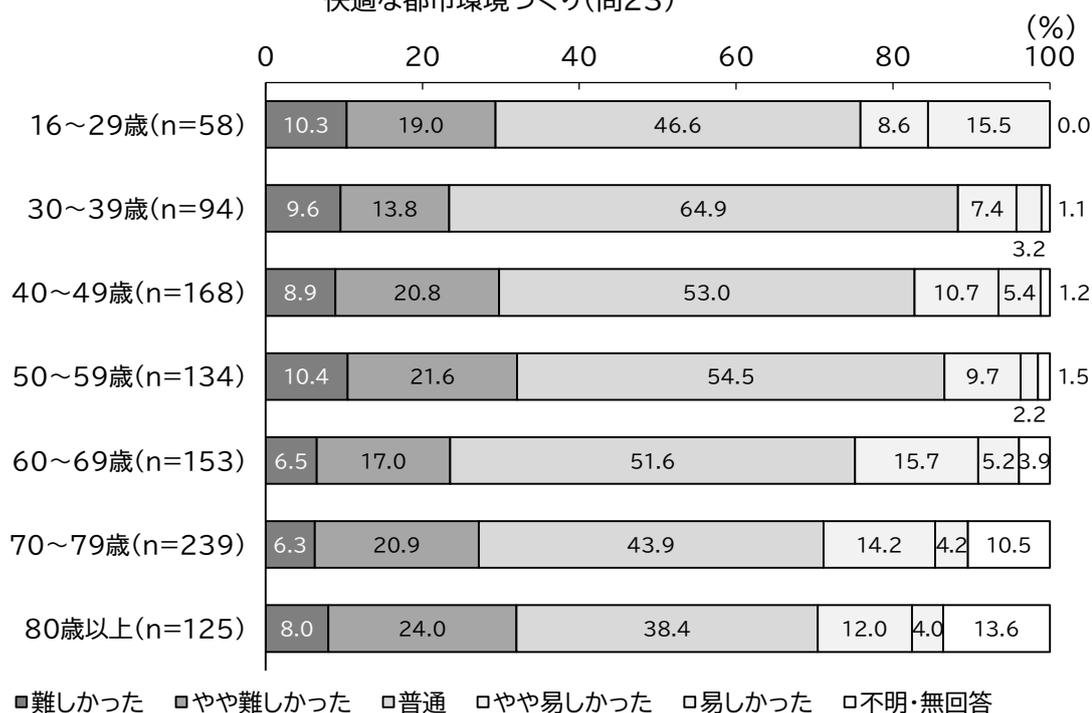
資源循環型社会づくり(問18~20)



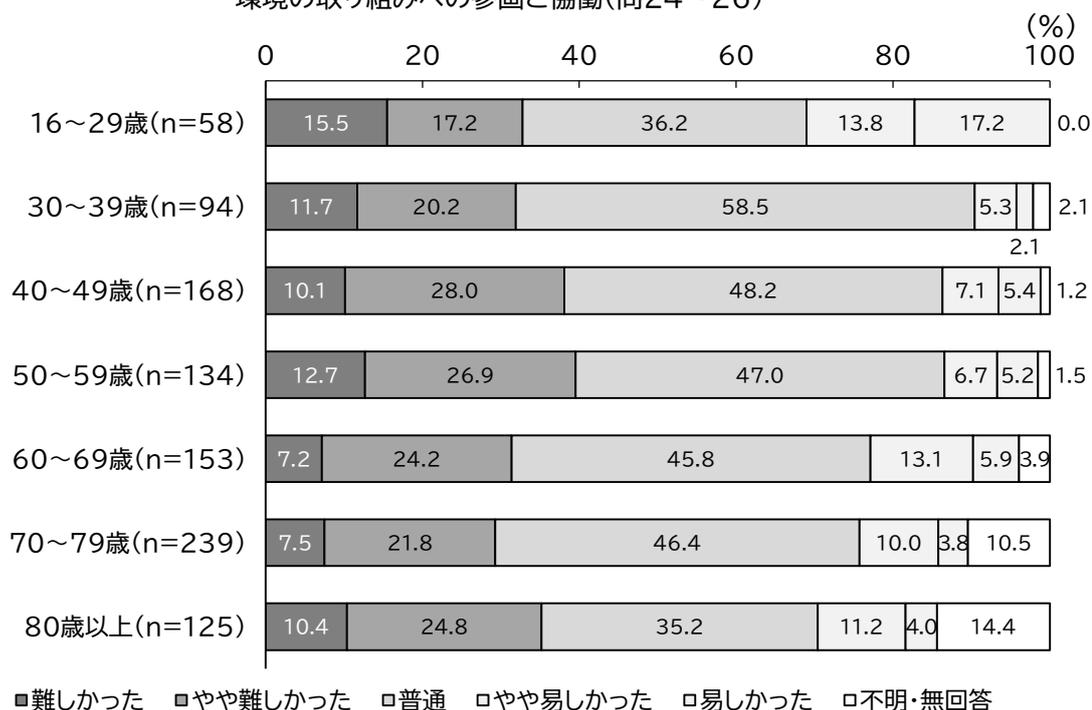
環境共生のまちづくり(問21~22)



快適な都市環境づくり(問23)



環境の取り組みへの参画と協働(問24~26)

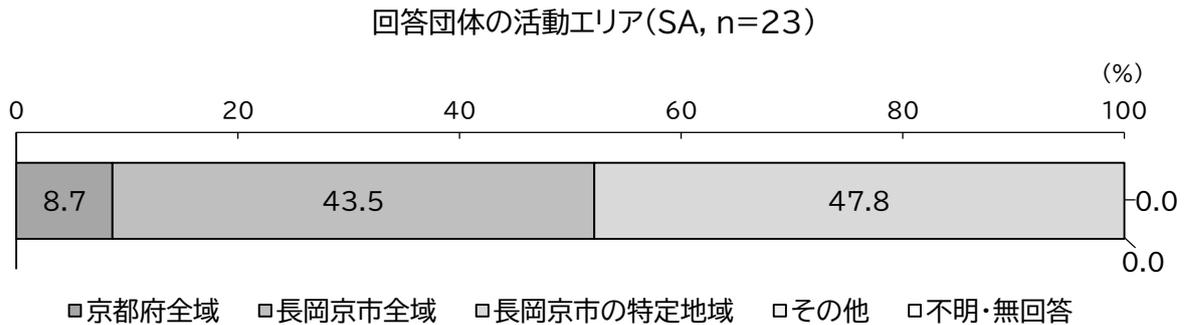


団体アンケートの結果

1. 回答団体について

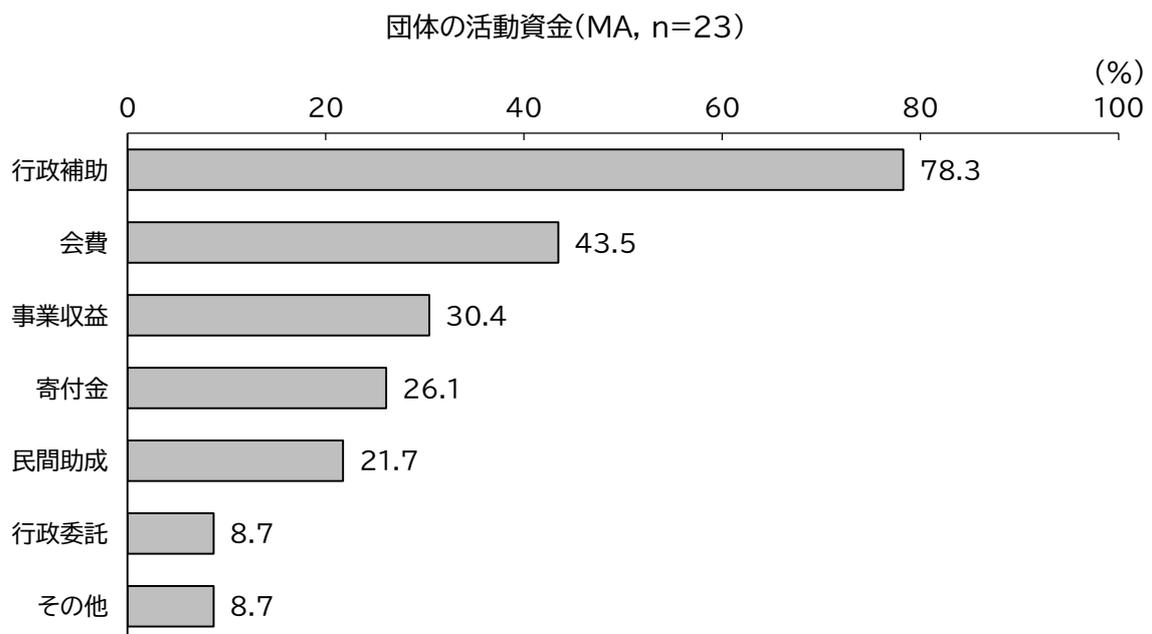
【活動エリア】

回答団体の活動エリアについて、「京都府全域」が 8.7%、「長岡京市全域」が 43.5%、「長岡京市の特定地域」が 47.8%となっています。



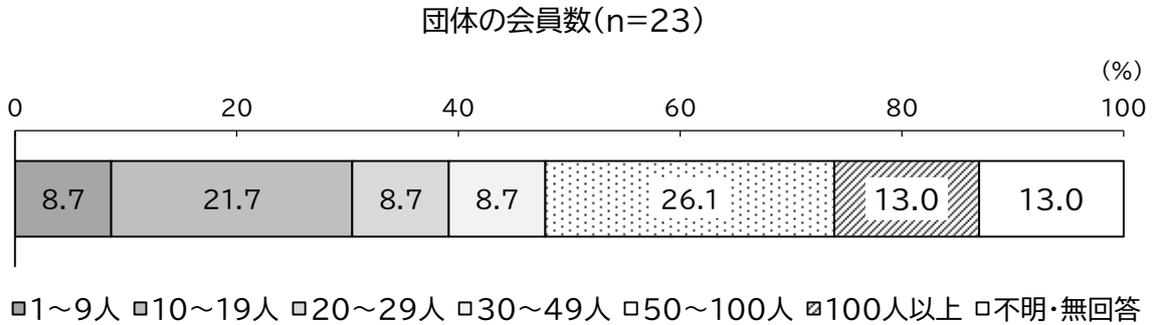
【活動資金】

回答団体の活動資金について、最も多いのは「行政補助」で 78.3%、次いで「会費」が 43.5%、「事業収益」が 30.4%となっています。



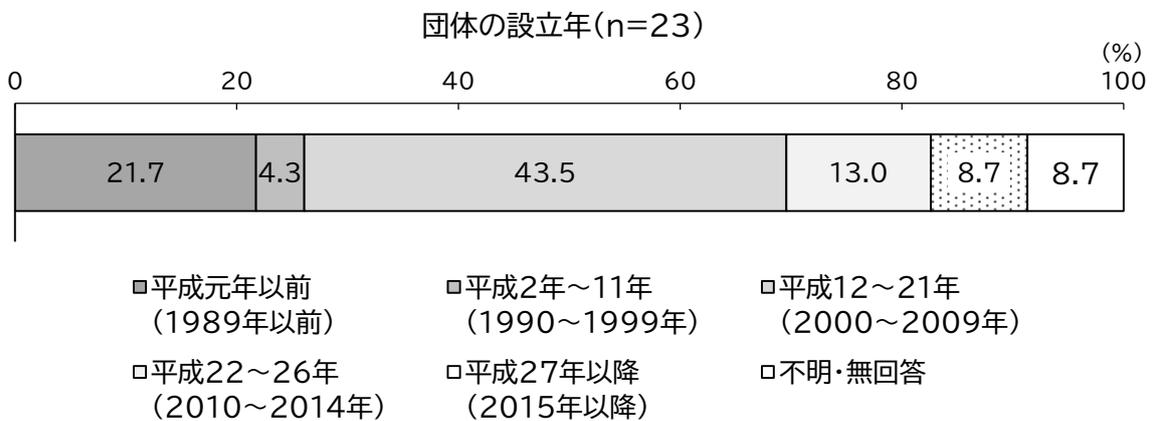
【会員数】

回答団体の会員数について、最も多いのは「50～100人」で26.1%、次いで「10～19人」が21.7%、「100人以上」が13.0%となっています。



【設立年】

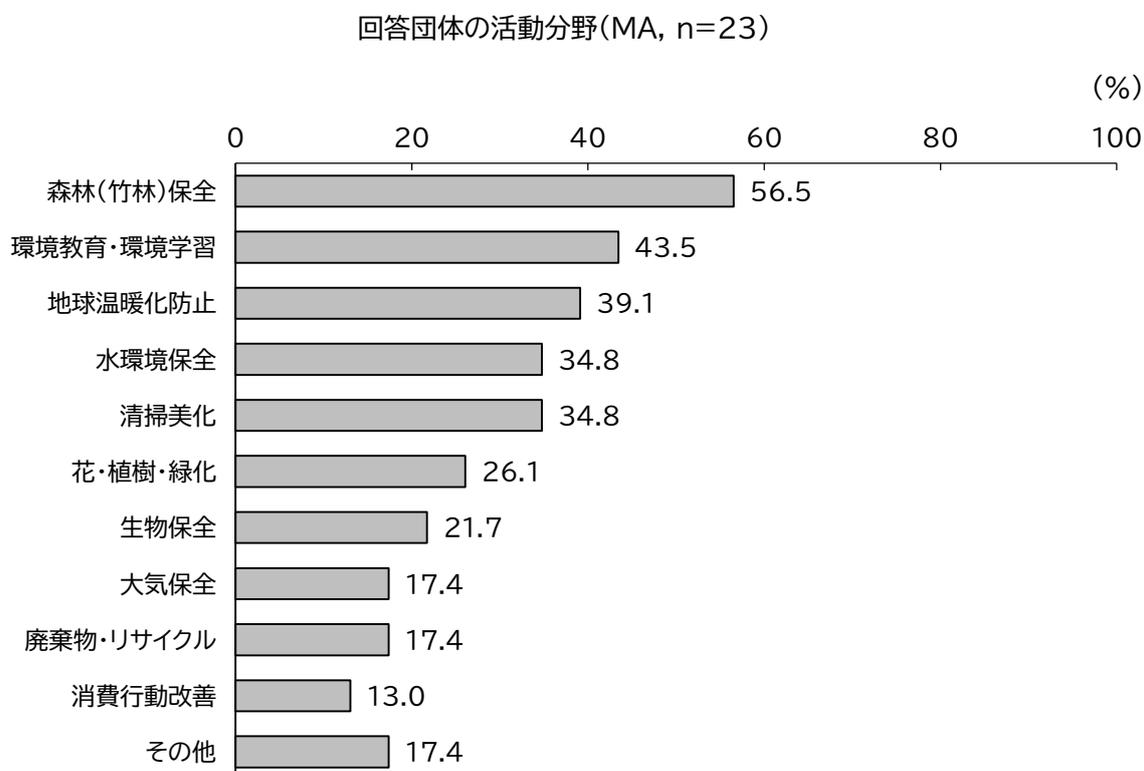
回答団体の設立年について、最も多いのは「平成12～21年(2000～2009年)」で43.5%、次いで「平成元年以前(1989年以前)」が21.7%、「平成22～26年(2010～2014年)」が13.0%となっています。



2. 回答団体の活動について

2.1. 活動分野(問1)

回答団体の活動分野について、最も多いのは「森林(竹林)保全」で 56.5%、次いで「環境教育・環境学習」が 43.5%、「地球温暖化防止」が 39.1%となっています。



2.2. 活動形態(問2)

回答団体の活動形態について、最も多いのは「実践活動」で 87.0%、次いで「普及・啓発活動」が 73.9%、「調査・研究活動」が 26.1%となっています。

2.3. 活動上の課題、今後活動したいこと(問3)

自由記述による回答は、以下のとおりとなっています(一部抜粋および誤字修正、件数は重複あり)。

◎ 現在の活動を行う上での問題

高齢化・人材の不足(10件)

- ・ 人手不足
- ・ 会員不足
- ・ 高齢化で若いボランティアがいない
- ・ 会員の多忙と高齢化で活動参加者が少ない
- ・ 自治会加入率の減少に伴う活動への負担
- ・ 体力のある男性が減少
- ・ メンバーの高齢化、病気持ちが増えてパワーが不足している
- ・ 会員の年齢が上昇していて活動がややきつくなってきている
- ・ 高齢化しており、意見交換や行事への参加が活発とは言えない
- ・ 森林所有者の高齢化、意欲低下で放置された森林が増えている

資金面について(4件)

- ・ シルバー人材センターの人件費増への対応
- ・ 資金不足
- ・ 資金が欲しい
- ・ 資金不足で機材の購入が難しい

活動拠点について(2件)

- ・ 市民への農産物の紹介、販売の拠点が必要
- ・ 事務所が欲しい

安全面について(2件)

- ・ ボランティア活動における安全性の確保
- ・ 加齢とともに体力と気持ちのギャップが大きくなってきているので安全対策を入念に実施している

森林整備について(5件)

- ・ 薪の販売事業において木材の確保が困難になっており、需要に対し供給量がおいついていないこと(そのため今年度の薪販売は中止)
- ・ 青少年への指導の機会が削減されている
- ・ 病虫害や自然災害、獣害、放置森林・竹林拡大による森林の荒廃
- ・ 施業路、歩道の維持・管理
- ・ 伐採した竹を焼却処分していること

新型コロナウイルスの影響(2件)

- ・ コロナウイルスの関係で行政と共同で行う催しが中止になっている、会議室利用も人数制限されており全員が入れない
- ・ 会合やイベントで大きな制約を受け、中止や形態変更を強いられている

◎ 今後、活動を継続する上での問題

高齢化・人材の不足(10 件)

- ・ 高齢化(2 件)
- ・ 役員、会員などの不足(2 件)
- ・ 後継者があれば継続することができるが、なければ終わり
- ・ 主力メンバーが後期高齢者であり、若い方々の入会を期待している
- ・ 若返りが必要
- ・ ボランティアの育成化
- ・ メンバーの高齢化問題
- ・ 会員の若年齢化、若年層が興味をもてる内容になるか

資金面について(3 件)

- ・ 補助金の増額
- ・ 資金不足
- ・ 運営費面での公的機関・企業などの支援が少ない

活動拠点について(2 件)

- ・ 会合場所
- ・ 居場所不足

自然環境について(1 件)

- ・ 西山の生態系を守り、自然と人間が共存できる環境整備

行政の支援・連携の強化について(5 件)

- ・ 環境保全活動に特化した部会の設立
- ・ 市が率先して声掛け実践活動を行っている用件との話し合い、良い意見があれば実践するフットワークが欲しい
- ・ 長岡京市としての竹林保全の具体的指針の設定が無い
- ・ 長岡京市として竹林整備ボランティアの呼びかけ不足
- ・ 学校との連携強化

新型コロナウイルスの影響(2 件)

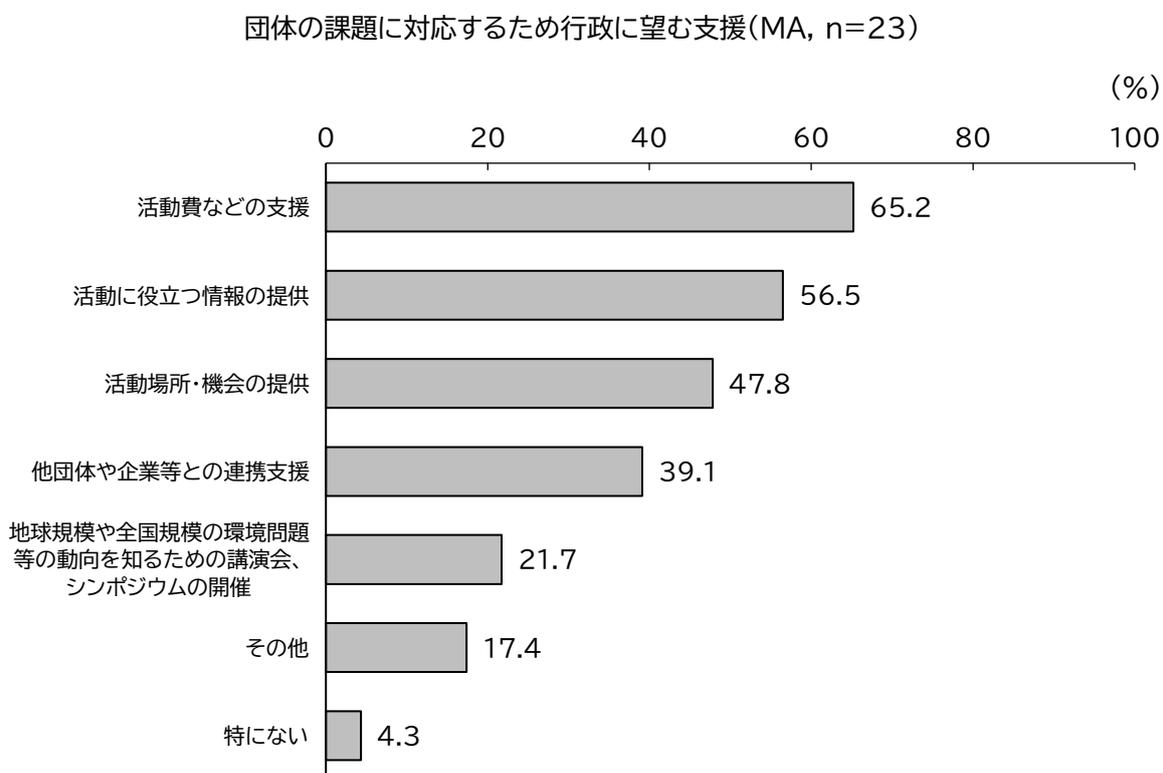
- ・ コロナウイルスの収束
- ・ この状況がいつまで続くか心配

◎ 今後、活動したいこと

- ・ 放置竹林、空き地、山林等の保全
- ・ この街を良くしたいに尽きる
- ・ グリーンカーテンが地域にも普及できるような活動をしたい
- ・ 森林整備、路網の開設などを併せて行うことで、木材を安定的に搬出し、事業を継続させること
- ・ 市民への地産の紹介、販売を広めたい
- ・ 竹文化の調査、研究、啓発
- ・ 筍掘り取りボランティアを主体とした竹林整備の普及、青少年の竹林での自由な遊び場、見本竹林の整備と指導、竹製品の利活用の普及
- ・ 森林の調査・整備の推進、環境教育の推進、森林ボランティアの普及啓発活動など
- ・ 西山の材を使った工作教室等を増やして啓発活動に力を入れていきたい
- ・ たけのこ栽培の継続、放置竹林でのイベント主催、ボランティア団体はいずれ消滅すると考え、丸投げはやめる方向に持っていきたい
- ・ 伐採したての竹の再活用、チップをまいて雑草を防ぐ
- ・ 西代里山公園管理塔での常設的なパネル展示
- ・ 自治会同士の意見交流する機会を増やす
- ・ 研修会で自治会ごとあるいは校区ごとに活動内容を報告しあいたい
- ・ 情報化社会にあった活動形態を模索していく
- ・ 時代と内容に応じた環境教育活動
- ・ 目的を同じくする団体との協働活動
- ・ 市民と共に活動できる(イベントも含め)居場所づくり
- ・ 色々な事を行ってみたい

2.4. 課題に対応するため行政に望む支援(問4)

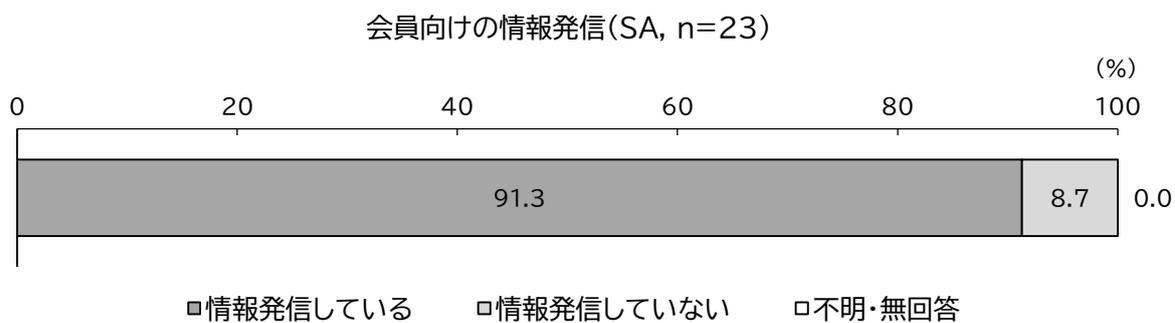
団体の課題に対応するため行政に望む支援について、最も多いのは「活動費などの支援」で65.2%、次いで「活動に役立つ情報の提供」が56.5%、「活動場所・機会の提供」が47.8%となっています。



2.5. 情報発信(問 5)

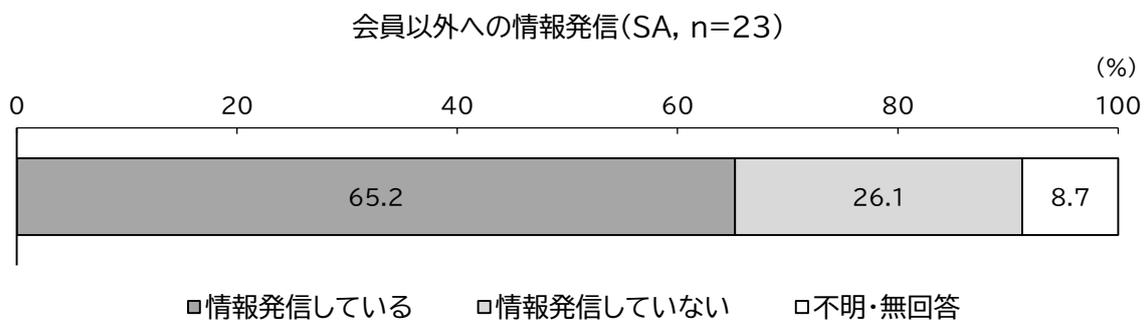
【会員向けの情報発信】

会員向けの情報発信について、「情報発信している」が 91.3%、「情報発信していない」が 8.7%となっています。



【会員以外への情報発信】

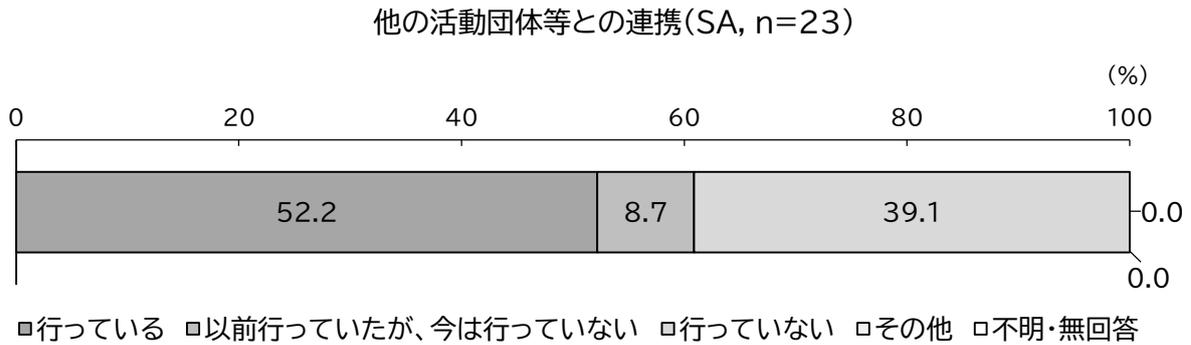
会員以外への情報発信について、「情報発信している」が 65.2%、「情報発信していない」が 26.1%となっています。



2.6. 他の活動団体等との連携(問 6)

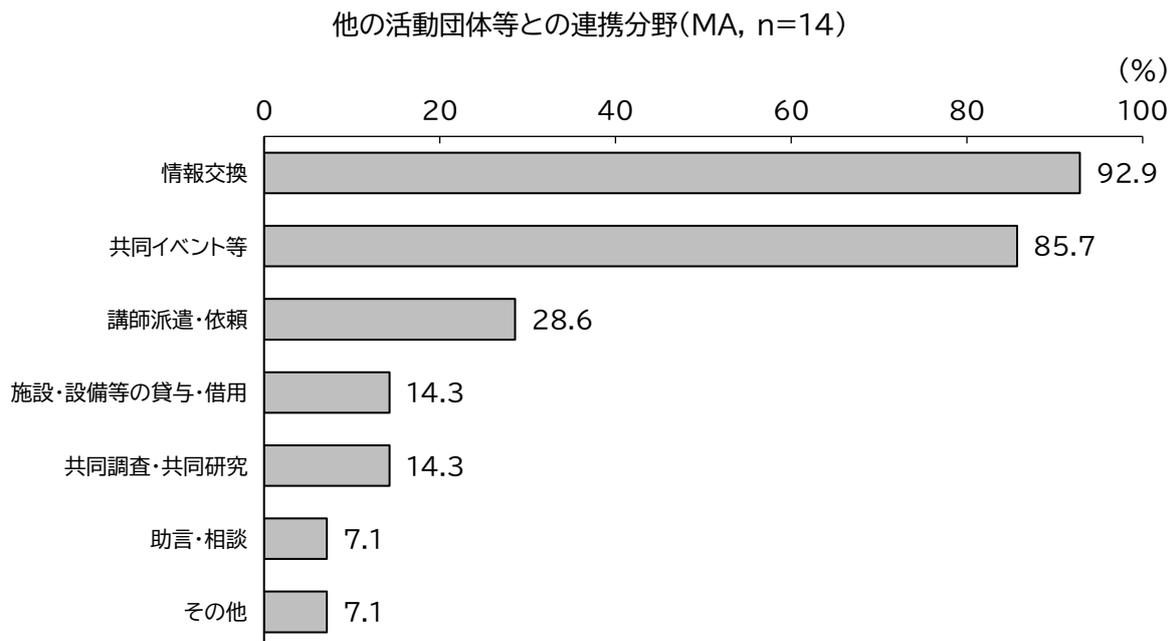
【連携の有無】

他の活動団体等との連携について、「行っている」が 52.2%、「以前行っていたが、今は行っていない」が 8.7%、「行っていない」が 39.1%となっています。



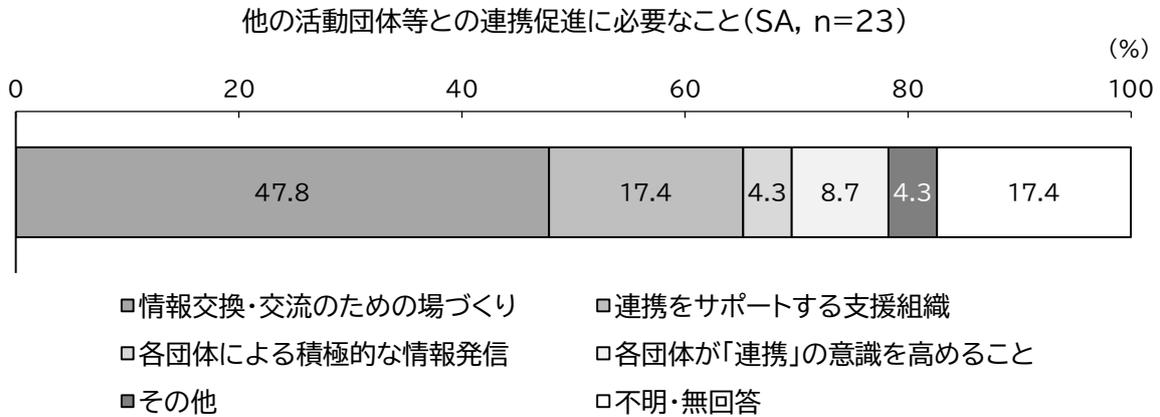
【連携分野】

「連携の有無」で「行っている」「以前行っていたが、今は行っていない」と回答した団体の、連携分野について、最も多いのは「情報交換」で 92.9%、次いで「共同イベント等」が 85.7%、「講師派遣・依頼」が 28.6%となっています。



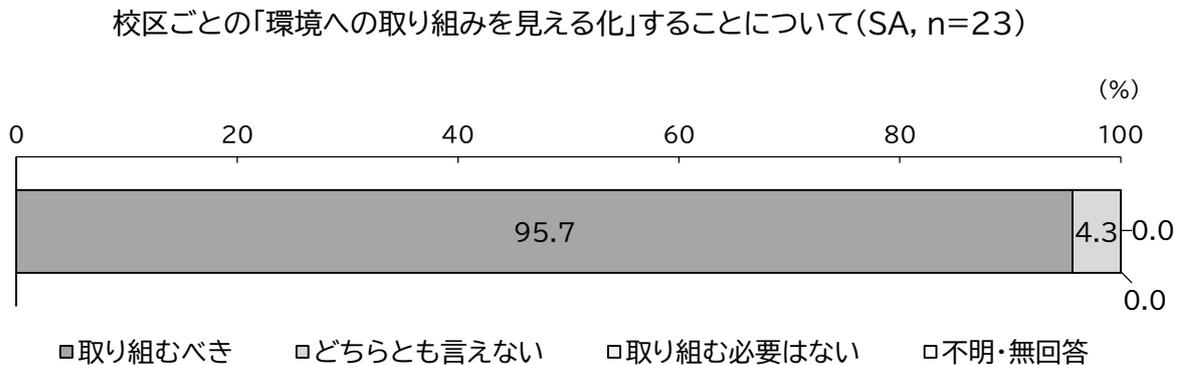
【連携促進に必要なこと】

他の活動団体等との連携促進に必要なことについて、最も多いのは「情報交換・交流のための場づくり」で 47.8%、次いで「連携をサポートする支援組織」が 17.4%、「各団体が「連携」の意識を高めること」が 8.7%となっています。



2.7. 校区ごとの「環境への取り組みを見える化」について(問 7)

校区ごとの「環境への取り組みを見える化」することについて、「取り組むべき」が 95.7%し、「どちらとも言えない」が 4.3%、「取り組む必要はない」が 0.0%となっています。



2.8. 環境活動を行うなかで感じること(問 8)

自由記述による回答が 12 件あり、以下のとおりとなっています。

- ・ 長期間指導いただける方の確保、専門家のアドバイスが必要。
- ・ 同じ思考、目的等が同じ(良く似ている)であれば、広く深く研修しているのではないかと思う。
- ・ これからは人材をいかに確保するか、親子で活動できる催し等、市民ひとりひとりの環境意識の向上につながる対策が必要。
- ・ 地球温暖化への意識、もったいないからありがとうへの感謝の心(やさしさ)の向上を日々感じて生活して欲しい。
- ・ 農地へのポイ捨てをどうにかしたい。
- ・ ボランティアは生活に余裕があって、元気で暇で初めて継続できるものだと思う。
- ・ 竹林整備ボランティア活動の為に機材購入が不十分で市民参加を呼びかけにくい／中高年者の竹林保全意識が低下している／小中学校の竹工作講座が減少し、予算が削減されたため、団体に負担している／子供たちの竹林体験、竹工作体験が極端に減少している
- ・ 長岡京市のほとんどが民有林だが、森林所有者やボランティアの方々、行政により整備が進んでいる状況。西山森林整備構想が制定され、以前よりも整備は進んでいるが、森林の多面的機能を十全に発揮するためにはまだまだ手入れが必要。様々な専門的視点が必要であり、課題が多い。環境教育の為に市民が気軽に森林に触れ合える場が必要と思うが、安全面など考慮すると難しい。
- ・ 市民団体の活動とはいえ、行政とのいい連携が大切。
- ・ ボランティアを無料の労働力だと思っている人がいる。竹林が維持できなくなるのはやむを得ないが、市で管理するなどやり方を変えないと何も変わらない。
- ・ 伐採した竹のチップ化が有料なのはおかしい。労務提供した上に経費を負担させないようにした方がボランティア活動は推進される。経費は行政が援助した方がいい。
- ・ 環境活動が独りよがりになっていないか？ 近隣がどのような活動を行い、どのような点に悩みがあるかさえわからない。ましてや、近隣の自治体に関しても「隣は何をする人ぞ」である。情報の公開と人的交流を密にしたい。

2.9. ヒアリング調査の可否(問 9)

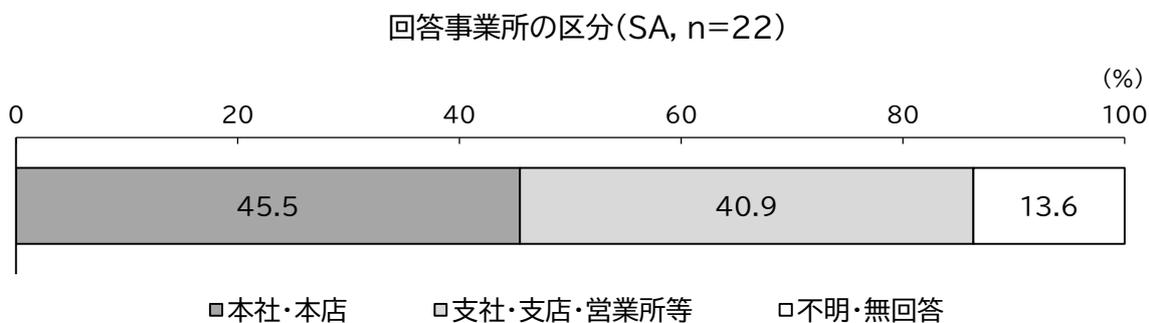
ヒアリング調査についての連絡の可否について、「はい」が 87.0%、「いいえ」が 0.0%となっています。

事業者アンケートの結果

1. 回答事業者について

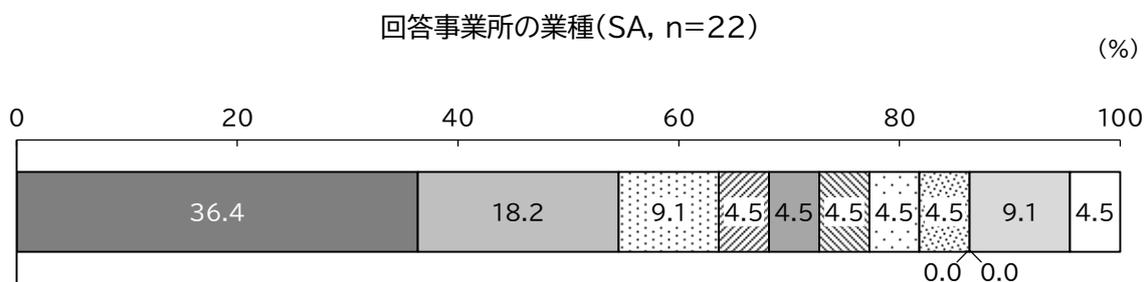
【事業所の区分】

回答事業所の区分について、「本社・本店」が45.5%、「支社・支店・営業所等」が40.9%となっています。



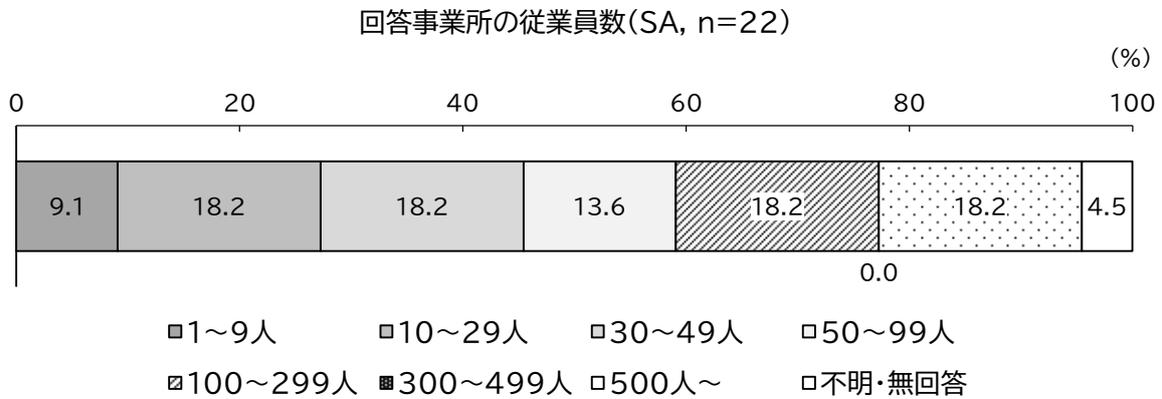
【業種】

回答事業所の業種について、最も多いのは「製造業」で36.4%、次いで「その他サービス業」が18.2%、「卸売・小売業」が9.1%となっています。



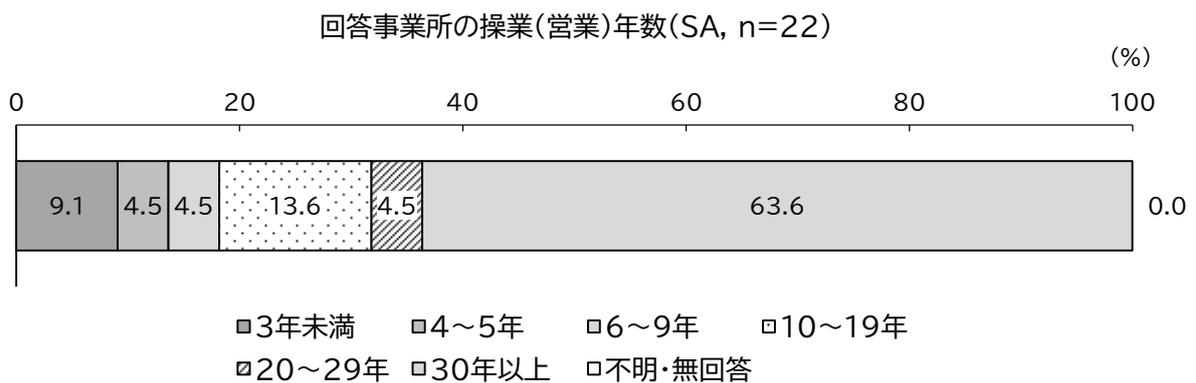
【従業員数】

回答事業所の従業員数について、最も多いのは「10～29人」「30～49人」「100～299人」「500人～」で18.2%、次いで「50～99人」が13.6%、「1～9人」が9.1%となっています。



【操業(営業)年数】

回答事業所の操業(営業)年数について、最も多いのは「30年以上」で63.6%、次いで「10～19年」が13.6%、「3年未満」が9.1%となっています。



【床面積】

回答事業所の床面積について、最も多いのは「1500m²～」で36.4%、次いで「～499 m²」が27.3%、「1000～1499 m²」が9.1%、「500～999 m²」が4.5%となっています。

2. 回答事業所における環境保全活動について(問1)

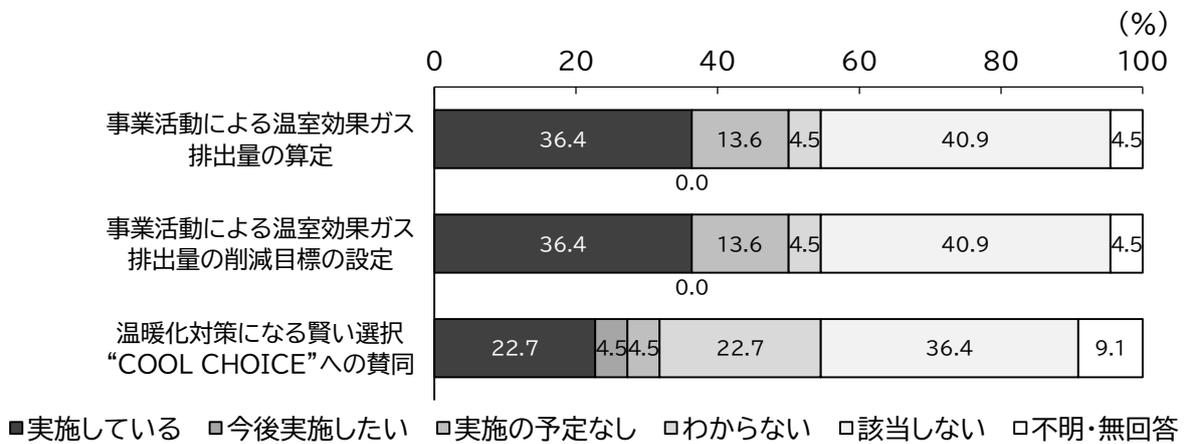
◎ 脱炭素社会づくりに関する取り組み

脱炭素社会づくりに関する取り組みについて、「実施している」が最も多いのは「事業活動による温室効果ガス排出量の算定」と「事業活動による温室効果ガス排出量の削減目標の設定」で 36.4%、次いで「温暖化対策になる賢い選択“COOL CHOICE”への賛同」が 22.7%となっています。

「今後実施したい」が最も多いのは「温暖化対策になる賢い選択“COOL CHOICE”への賛同」で 4.5%、次いで「事業活動による温室効果ガス排出量の算定」と「事業活動による温室効果ガス排出量の削減目標の設定」が 0.0%となっています。

「実施の予定なし」が最も多いのは「事業活動による温室効果ガス排出量の算定」と「事業活動による温室効果ガス排出量の削減目標の設定」で 13.6%、次いで「温暖化対策になる賢い選択“COOL CHOICE”への賛同」が 4.5%となっています。

脱炭素社会づくりに関する取り組み(SA, n=22)



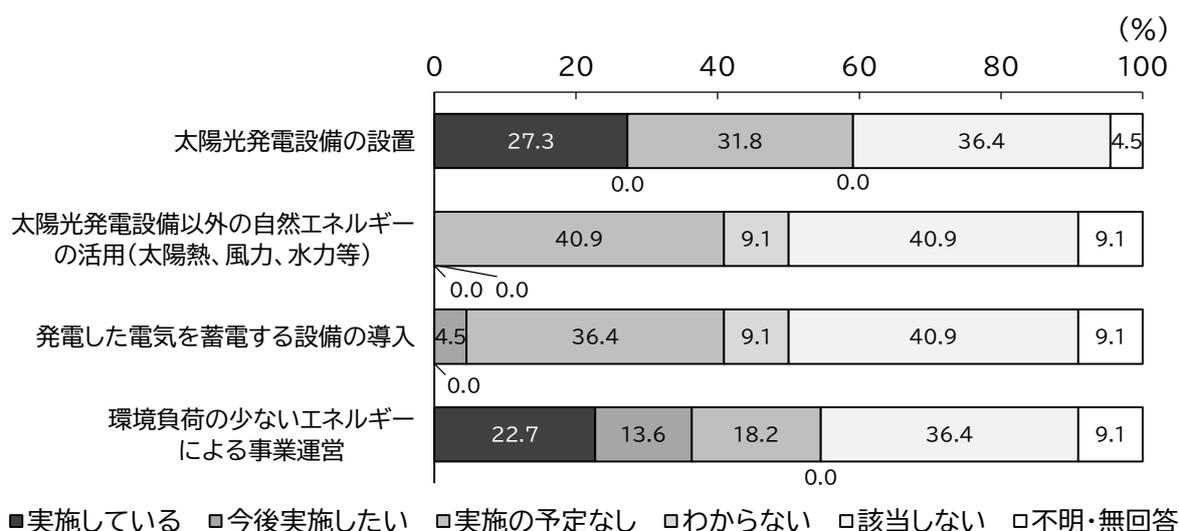
◎ 再生可能エネルギー等に関する取り組み

再生可能エネルギー等に関する取り組みについて、「実施している」という回答が最も多いのは「太陽光発電設備の設置」で 27.3%、次いで「環境負荷の少ないエネルギーによる事業運営」が 22.7%、「太陽光発電設備以外の自然エネルギーの活用(太陽熱、風力、水力等)」「発電した電気を蓄電する設備の導入」が 0.0%となっています。

「今後実施したい」という回答が最も多いのは「環境負荷の少ないエネルギーによる事業運営」で 13.6%、次いで「発電した電気を蓄電する設備の導入」が 4.5%、「太陽光発電設備の設置」「太陽光発電設備以外の自然エネルギーの活用(太陽熱、風力、水力等)」が 0.0%となっています。

「実施の予定なし」という回答が最も多いのは「太陽光発電設備以外の自然エネルギーの活用(太陽熱、風力、水力等)」で 40.9%、次いで「発電した電気を蓄電する設備の導入」が 36.4%、「太陽光発電設備の設置」が 31.8%となっています。

再生可能エネルギー等に関する取り組み(SA, n=22)



◎ 省エネルギーに関する取り組み

省エネルギーに関する取り組みについて、「実施している」という回答が最も多いのは「省エネルギー型の機器や設備の導入」で 45.5%、次いで「事業所建物の省エネルギーへの配慮(自然採光、通風、断熱等)」が 36.4%、「省エネ診断、ESCO 事業等の導入」が 9.1%となっています。

「今後実施したい」という回答が最も多いのは「省エネ診断、ESCO 事業等の導入」で 13.6%、次いで「省エネルギー型の機器や設備の導入」「事業所建物の省エネルギーへの配慮(自然採光、通風、断熱等)」が 9.1%となっています。

「実施の予定なし」という回答が最も多いのは「省エネ診断、ESCO 事業等の導入」で 27.3%、次いで「事業所建物の省エネルギーへの配慮(自然採光、通風、断熱等)」が 18.2%、「省エネルギー型の機器や設備の導入」が 13.6%となっています。

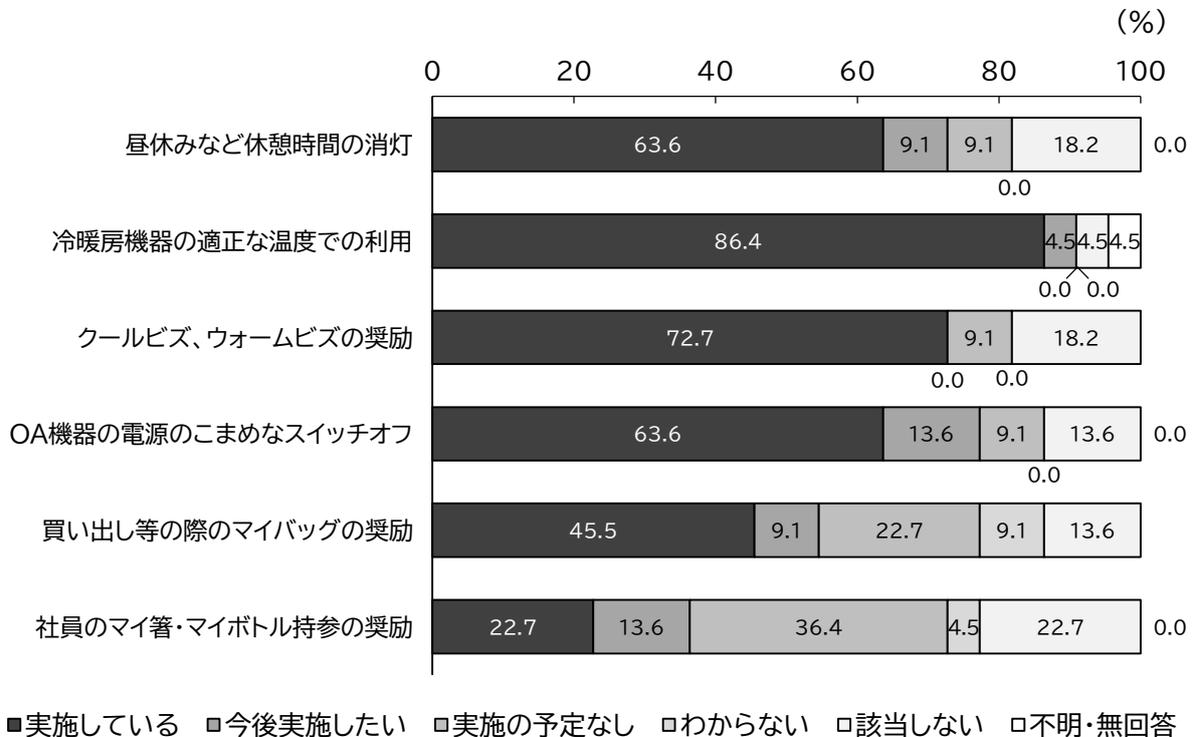
◎ 従業員の環境配慮行動に関する取り組み

従業員の環境配慮行動に関する取り組みについて、「実施している」という回答が最も多いのは「冷暖房機器の適正な温度での利用」で86.4%、次いで「クールビズ、ウォームビズの奨励」が72.7%、「昼休みなど休憩時間の消灯」「OA機器の電源のこまめなスイッチオフ」が63.6%となっています。

「今後実施したい」という回答が最も多いのは「OA機器の電源のこまめなスイッチオフ」「社員のマイ箸・マイボトル持参の奨励」で13.6%、次いで「昼休みなど休憩時間の消灯」「買い出し等の際のマイバッグの奨励」が9.1%となっています。

「実施の予定なし」という回答が最も多いのは「社員のマイ箸・マイボトル持参の奨励」で36.4%、次いで「買い出し等の際のマイバッグの奨励」が22.7%、「昼休みなど休憩時間の消灯」「クールビズ、ウォームビズの奨励」「OA機器の電源のこまめなスイッチオフ」が9.1%となっています。

従業員の環境配慮行動に関する取り組み(SA, n=22)

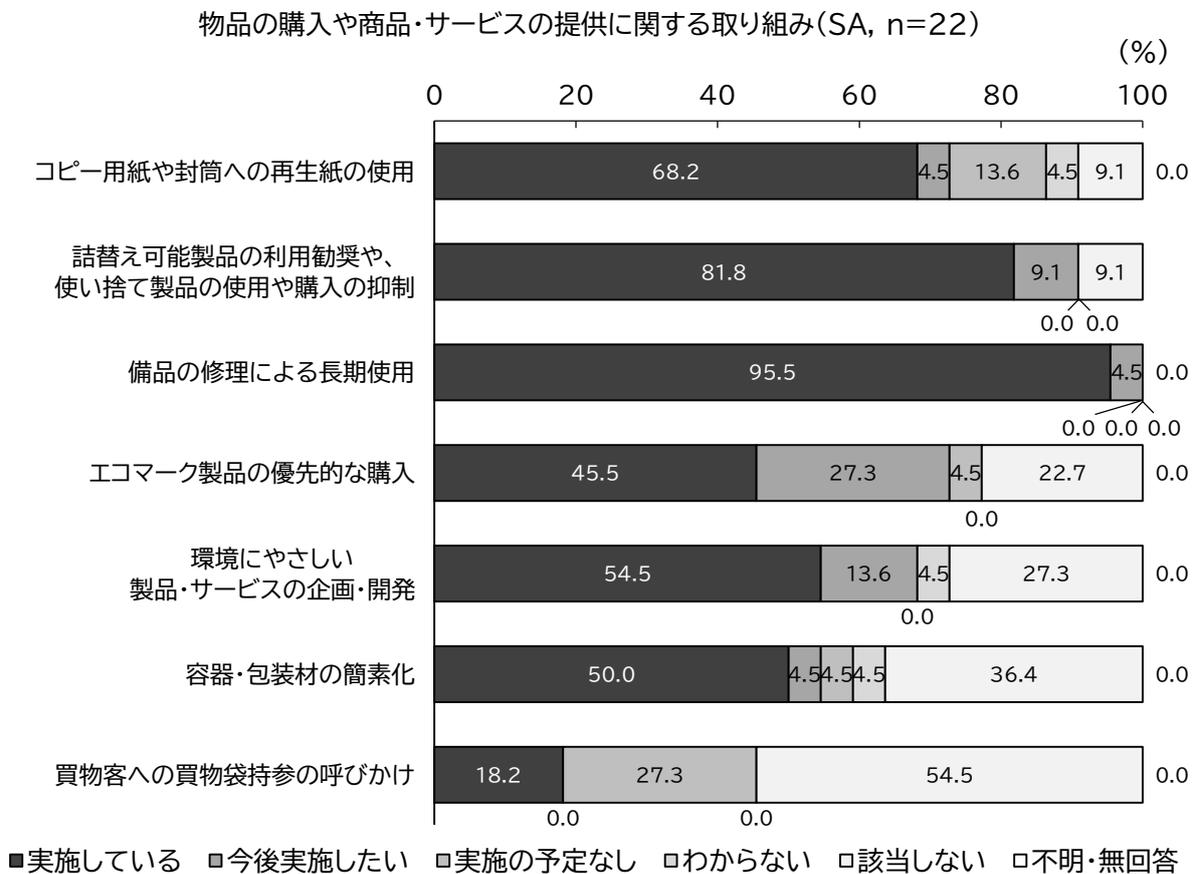


◎ 物品の購入や商品・サービスの提供に関する取り組み

物品の購入や商品・サービスの提供に関する取り組みについて、「実施している」という回答が最も多いのは「備品の修理による長期使用」で 95.5%、次いで「詰替え可能製品の利用勧奨や、使い捨て製品の使用や購入の抑制」が 81.8%、「コピー用紙や封筒への再生紙の使用」が 68.2%となっています。

「今後実施したい」という回答が最も多いのは「エコマーク製品の優先的な購入」で 27.3%、次いで「環境にやさしい製品・サービスの企画・開発」が 13.6%、「詰替え可能製品の利用勧奨や、使い捨て製品の使用や購入の抑制」が 9.1%となっています。

「実施の予定なし」という回答が最も多いのは「買物客への買物袋持参の呼びかけ」で 27.3%、次いで「コピー用紙や封筒への再生紙の使用」が 13.6%、「エコマーク製品の優先的な購入」「容器・包装材の簡素化」が 4.5%となっています。



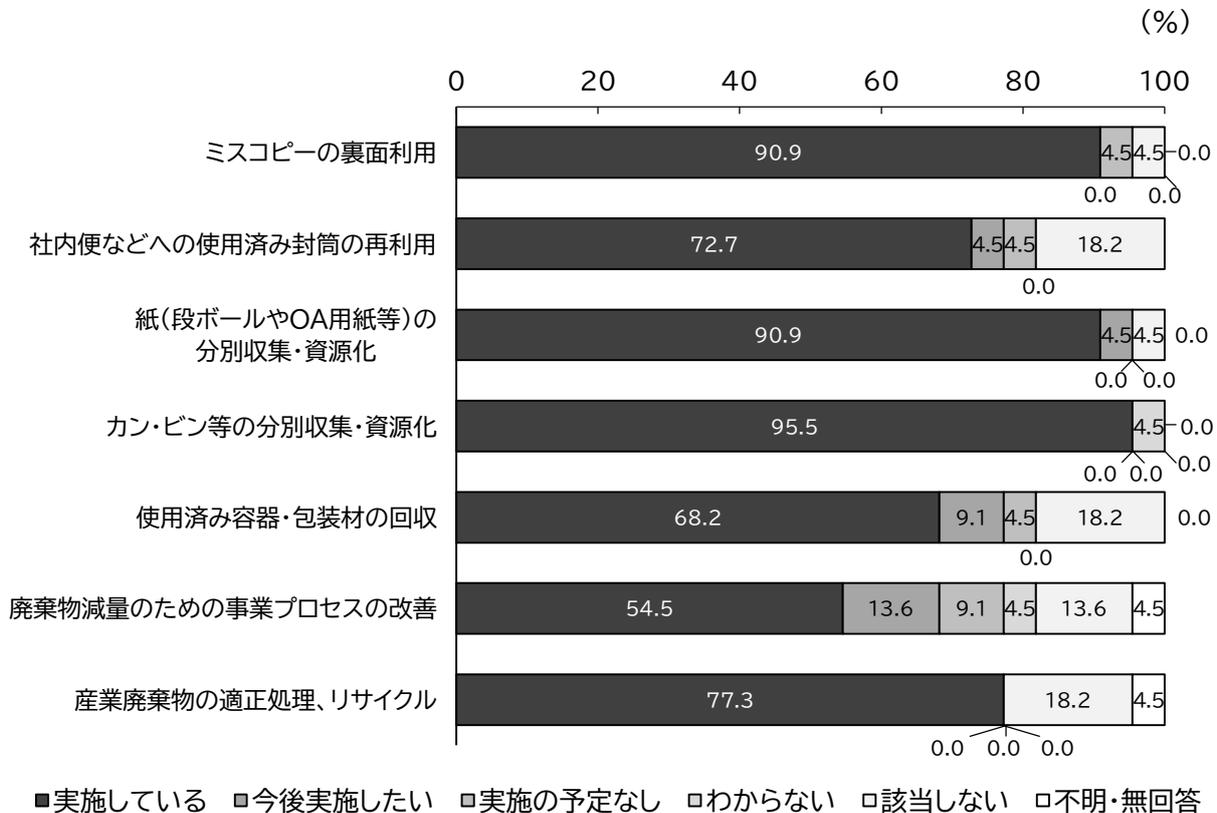
◎ 廃棄物の減量・リサイクルに関する取り組み

廃棄物の減量・リサイクルに関する取り組みについて、「実施している」という回答が最も多いのは「カン・ビン等の分別収集・資源化」で95.5%、次いで「ミスコピーの裏面利用」「紙(段ボールやOA用紙等)の分別収集・資源化」が90.9%となっています。

「今後実施したい」という回答が最も多いのは「廃棄物減量のための事業プロセスの改善」で13.6%、次いで「使用済み容器・包装材の回収」が9.1%、「社内便などへの使用済み封筒の再利用」「紙(段ボールやOA用紙等)の分別収集・資源化」が4.5%となっています。

「実施の予定なし」という回答が最も多いのは「廃棄物減量のための事業プロセスの改善」で9.1%、次いで「ミスコピーの裏面利用」「社内便などへの使用済み封筒の再利用」「使用済み容器・包装材の回収」が4.5%となっています。

廃棄物の減量・リサイクルに関する取り組み(SA, n=22)



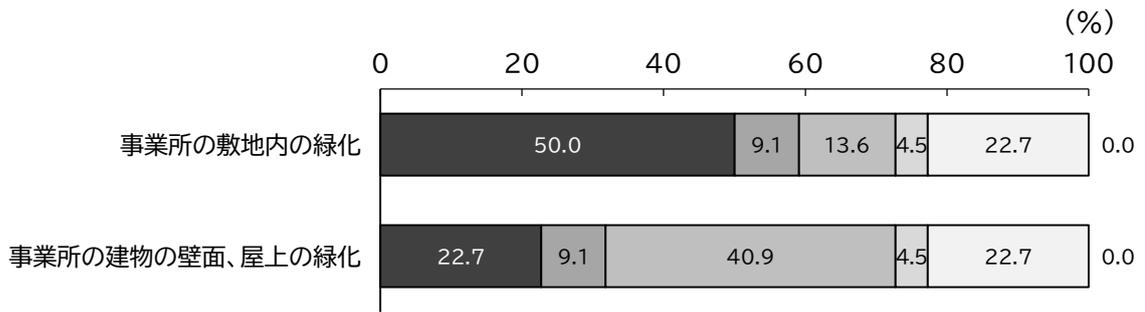
◎ 緑化に関する取り組み

緑化に関する取り組みについて、「実施している」という回答が多いのは「事業所の敷地内の緑化」で50.0%、次いで「事業所の建物の壁面、屋上の緑化」が22.7%となっています。

「今後実施したい」という回答は「事業所の敷地内の緑化」「事業所の建物の壁面、屋上の緑化」とともに9.1%となっています。

「実施の予定なし」という回答が多いのは「事業所の建物の壁面、屋上の緑化」で40.9%、次いで「事業所の敷地内の緑化」が13.6%となっています。

緑化に関する取り組み(SA, n=22)



■実施している □今後実施したい □実施の予定なし □わからない □該当しない □不明・無回答

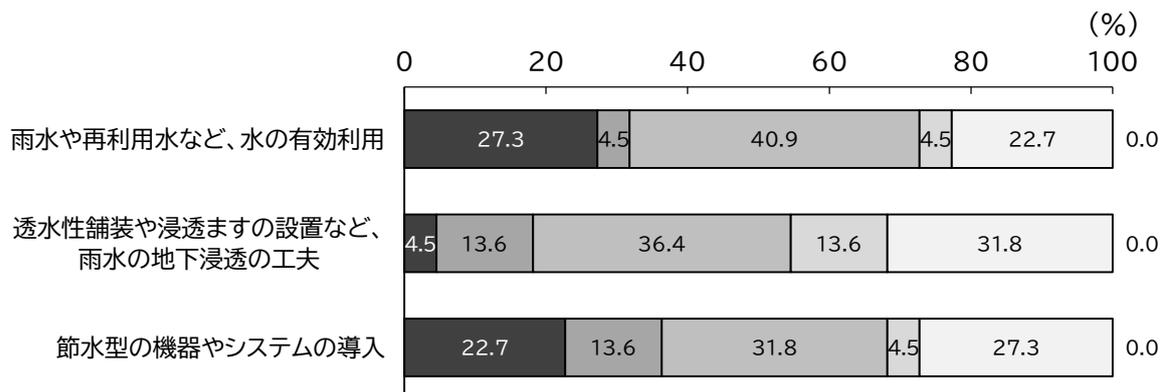
◎ 水に関する取り組み

水に関する取り組みについて、「実施している」という回答が最も多いのは「雨水や再利用水など、水の有効利用」で27.3%、次いで「節水型の機器やシステムの導入」が22.7%、「透水性舗装や浸透ますの設置など、雨水の地下浸透の工夫」が4.5%となっています。

「今後実施したい」という回答が最も多いのは「透水性舗装や浸透ますの設置など、雨水の地下浸透の工夫」「節水型の機器やシステムの導入」で13.6%、次いで「雨水や再利用水など、水の有効利用」が4.5%となっています。

「実施の予定なし」という回答が最も多いのは「雨水や再利用水など、水の有効利用」で40.9%、次いで「透水性舗装や浸透ますの設置など、雨水の地下浸透の工夫」が36.4%、「節水型の機器やシステムの導入」が31.8%となっています。

水に関する取り組み(SA, n=22)



■実施している □今後実施したい □実施の予定なし □わからない □該当しない □不明・無回答

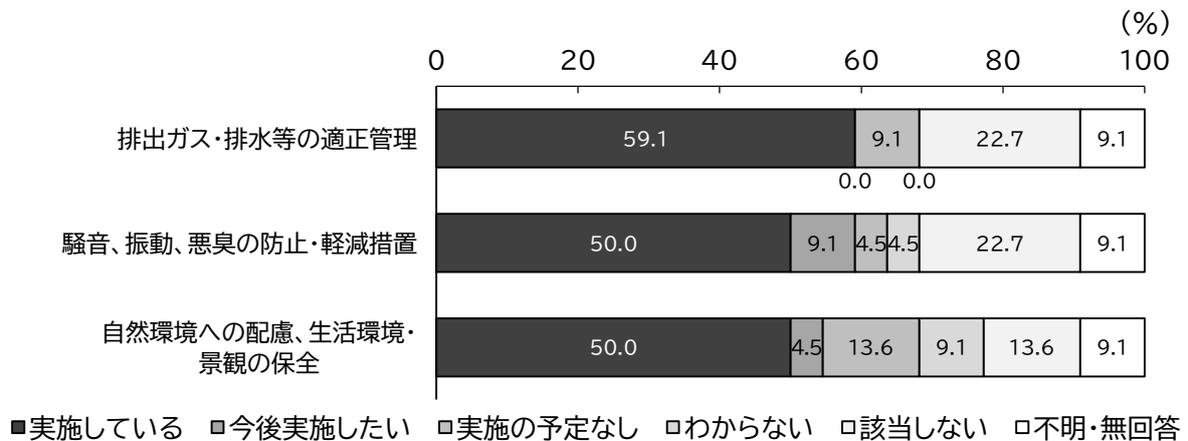
◎ 生活環境・自然環境の保全に関する取り組み

生活環境・自然環境の保全に関する取り組みについて、「実施している」という回答が最も多いのは「排出ガス・排水等の適正管理」で59.1%、次いで「騒音、振動、悪臭の防止・軽減措置」「自然環境への配慮、生活環境・景観の保全」が50.0%となっています。

「今後実施したい」という回答が最も多いのは「騒音、振動、悪臭の防止・軽減措置」で9.1%、次いで「自然環境への配慮、生活環境・景観の保全」が4.5%、「排出ガス・排水等の適正管理」が0.0%となっています。

「実施の予定なし」という回答が最も多いのは「自然環境への配慮、生活環境・景観の保全」で13.6%、次いで「排出ガス・排水等の適正管理」が9.1%、「騒音、振動、悪臭の防止・軽減措置」が4.5%となっています。

生活環境・自然環境の保全に関する取り組み(SA, n=22)

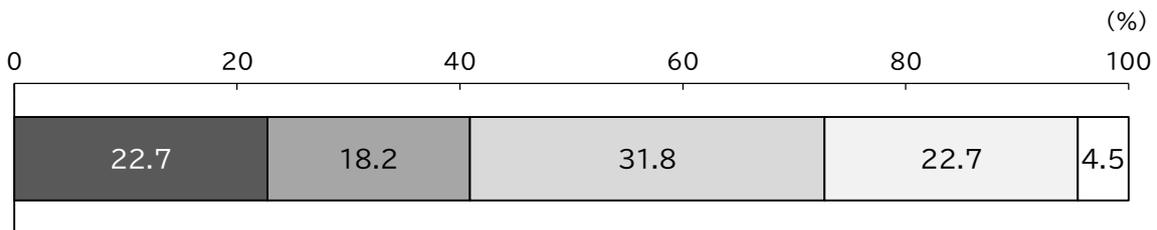


3. 環境に関する経営や管理手法に関わることについて

3.1. 電気の調達の方(問 2)

電気の調達の方について、最も多いのは「再エネに関係なく、価格の安い電力事業者からの購入を検討したい」で31.8%、次いで「再生可能エネルギーを積極的に利用し、少しでも多くの電力を自給したい」が22.7%、「電力事業者を選ぶこと、自前の発電設備を持つことについて考えたことがない、関心がない」が22.7%、「再エネ比率の高い電力事業者であれば、多少高くても購入を検討したい」が18.2%となっています。

電気の調達の方(SA, n=22)



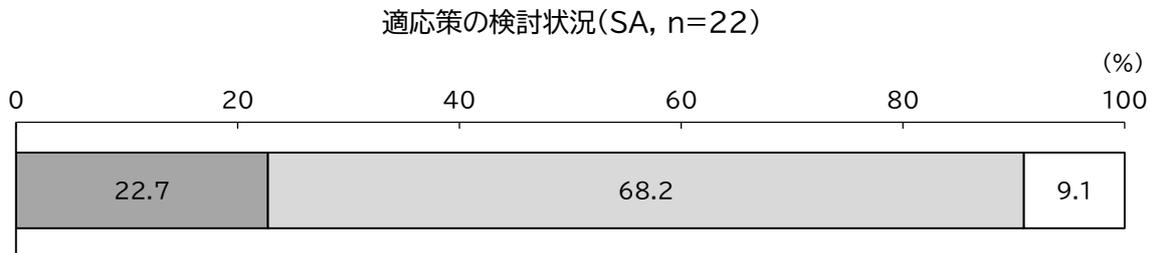
- 再生可能エネルギーを積極的に利用し、少しでも多くの電力を自給したい
- 再エネ比率の高い電力事業者であれば、多少高くても購入を検討したい
- 再エネに関係なく、価格の安い電力事業者からの購入を検討したい
- 電力事業者を選ぶこと、自前の発電設備を持つことについて考えたことがない、関心がない
- 不明・無回答

3.2. 地域密着型電力事業者からの購入意向(問 3)

地域密着型の電力事業者からの購入意向について、最も多いのは「これまでより安く売ってもらえるなら購入してもよい」で40.9%、次いで「これまでの契約先から変えるつもりはない」が36.4%、「価格がこれまでと同程度なら、購入してもよい」が9.1%、「これまでより多少高くても、購入したい」が4.5%となっています。

3.3. 適応策の検討状況(問 4)

適応策の検討状況について、「適応策を実施中(または検討中)」が 22.7%、「適応策を検討したことがない」が 68.2%となっています。



□適応策を実施中(または検討中) □適応策を検討したことがない □不明・無回答

「適応策を実施中(または検討中)」と回答した事業所の具体的な内容は、以下のとおりとなっています。

【事業への影響】

作業場の気温上昇による熱中症リスクの増加

気温上昇によるエアコン負荷の増大

災害による生産設備への影響

【適応策】

→ 設備投資やこまめな飲料摂取

→ CO₂削減のための取り組み、高効率機械への更新

→ BCP(事業継続計画)の作成(2件)

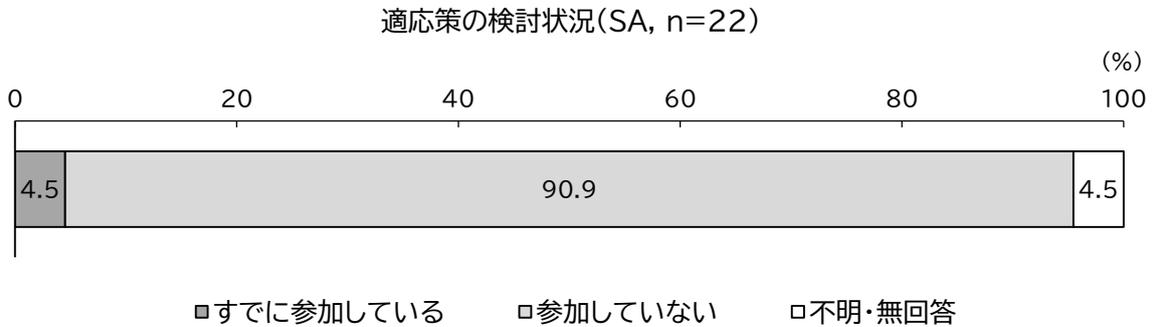
3.4. 「2050年ゼロカーボンシティ」を目指すために市内事業者が取り組むべきこと(問 5)

「2050年ゼロカーボンシティ」を目指すために市内事業者が取り組むべきことについて、最も多いのは「空調、生産設備など機械装置の高効率化機器への交換」で 68.2%、次いで「再エネ比率の高い電気の調達」が 45.5%、「再エネ発電設備や熱利用設備などエネルギー自給率の向上」が 31.8%となっています。

3.5. 「チャレンジ・ゼロ宣言」の参加状況、参加意向(問 6)

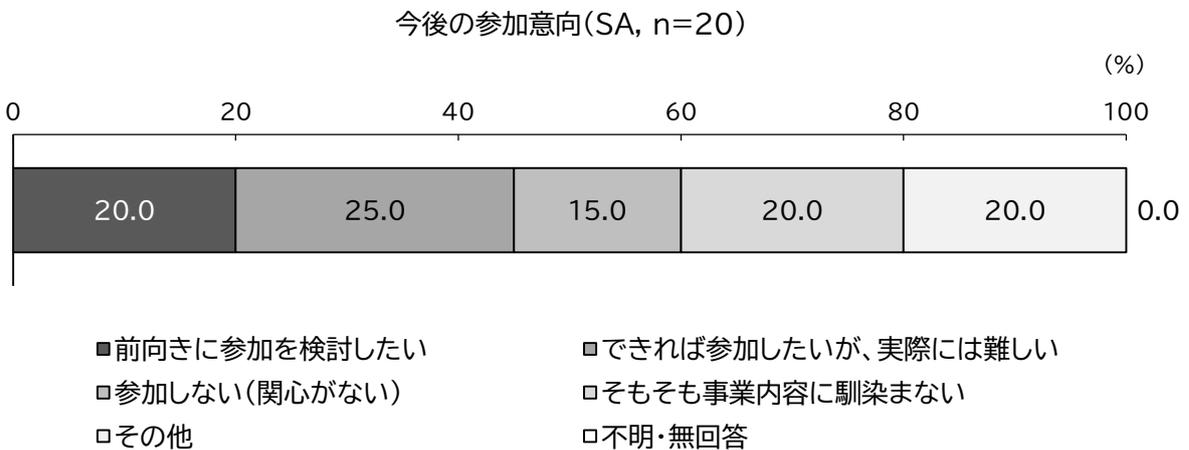
【参加状況】

「チャレンジ・ゼロ宣言」への参加状況について、「すでに参加している」が 4.5%、「参加していない」が 90.9%となっています。



【参加意向】

「参加状況」で「参加していない」と回答した事業所の、今後の参加意向について、最も多いのは「できれば参加したいが、実際には難しい」で 25.0%、次いで「前向きに参加を検討したい」「そもそも事業内容に馴染まない」が 20.0%となっています。



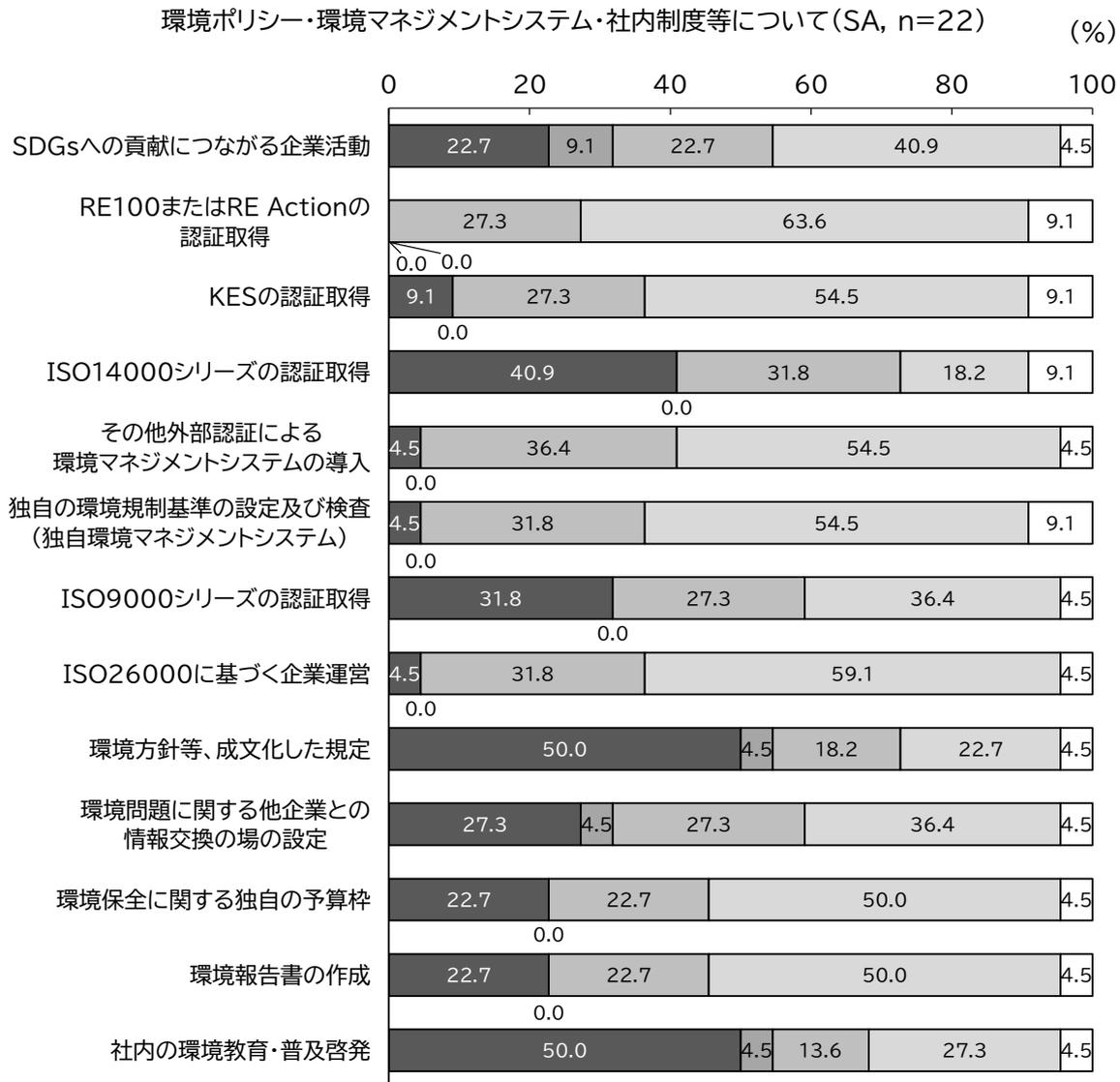
3.6. 環境ポリシー、環境マネジメントシステム、社内制度等について(問 7)

【実施状況】

環境ポリシー・環境マネジメントシステム・社内制度等について、「実施済」が最も多いのは「環境方針等、成文化した規定」「社内の環境教育・普及啓発」が 50.0%、次いで「ISO14000 シリーズの認証取得」が 40.9%となっています。

「実施予定」が最も多いのは「SDGs への貢献につながる企業活動」で 9.1%、次いで「環境方針等、成文化した規定」「環境問題に関する他企業との情報交換の場の設定」「社内の環境教育・普及啓発」が 4.5%となっています。

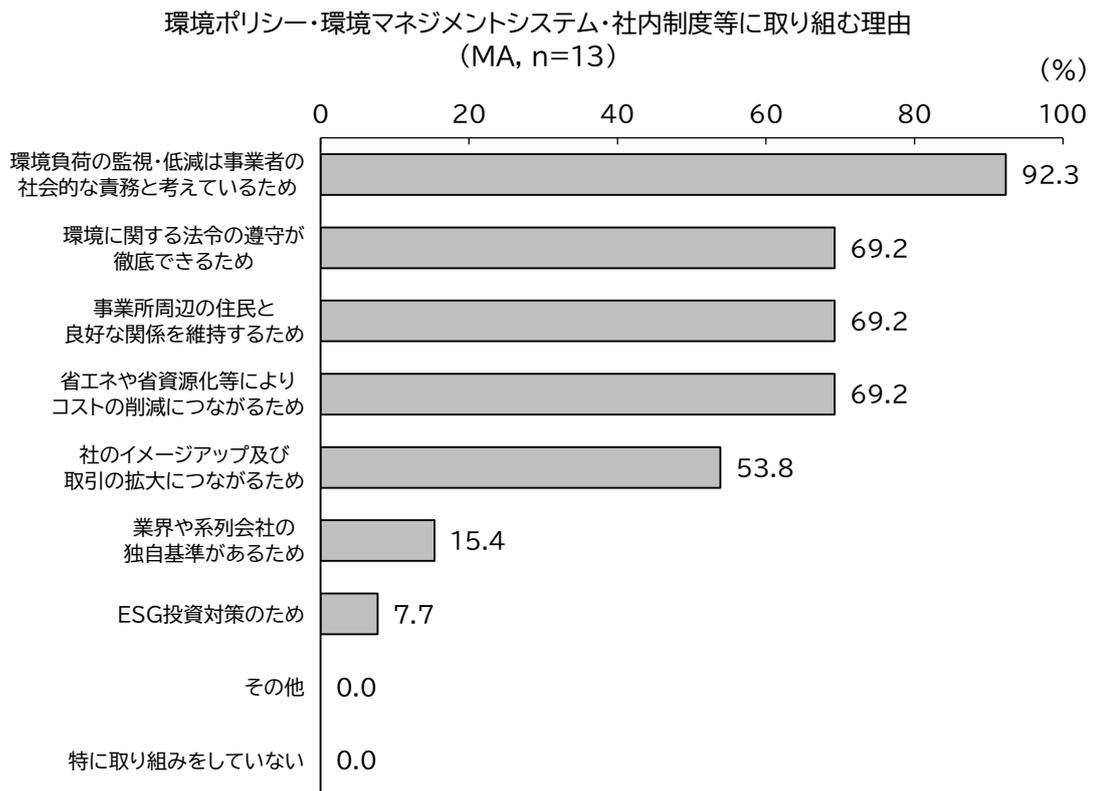
「実施予定なし」が最も多いのは「その他外部認証による環境マネジメントシステムの導入」で 36.4%、次いで「ISO14000 シリーズの認証取得」「独自の環境規制基準の設定及び検査(独自環境マネジメントシステム)」「ISO26000 に基づく企業運営」が 31.8%となっています。



■実施済 ▨実施予定 □実施予定なし □未定 □不明・無回答

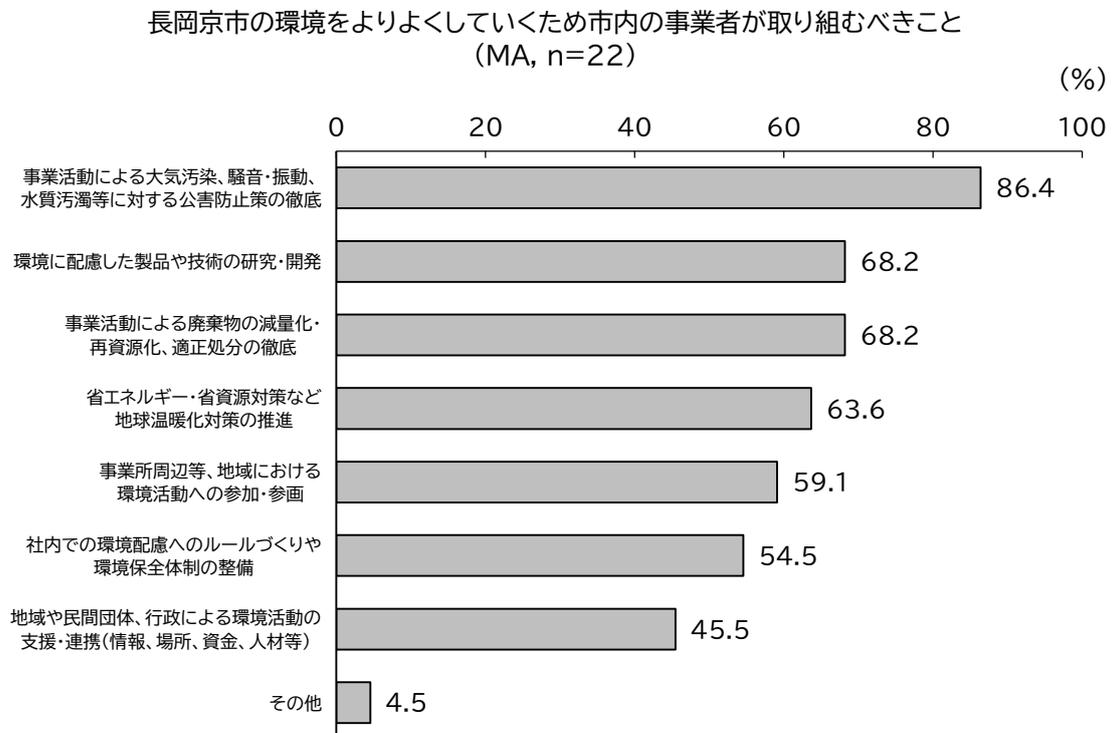
【取り組む理由】

「実施状況」で1つでも「実施済」「実施予定」と回答した事業所の、環境ポリシー・環境マネジメントシステム・社内制度等に取り組む理由について、最も多いのは「環境負荷の監視・低減は事業者の社会的な責務と考えているため」で92.3%、次いで「環境に関する法令の遵守が徹底できるため」「事業所周辺の住民と良好な関係を維持するため」「省エネや省資源化等によりコストの削減につながるため」が69.2%となっています。



3.7. 長岡京市の環境をよりよくしていくため市内の事業者が取り組むべきこと(問 8)

長岡京市の環境をよりよくしていくため市内の事業者が取り組むべきことについて、最も多いのは「事業活動による大気汚染、騒音・振動、水質汚濁等に対する公害防止策の徹底」で 86.4%、次いで「環境に配慮した製品や技術の研究・開発」と「事業活動による廃棄物の減量化・再資源化、適正処分の徹底」が 68.2%となっています。

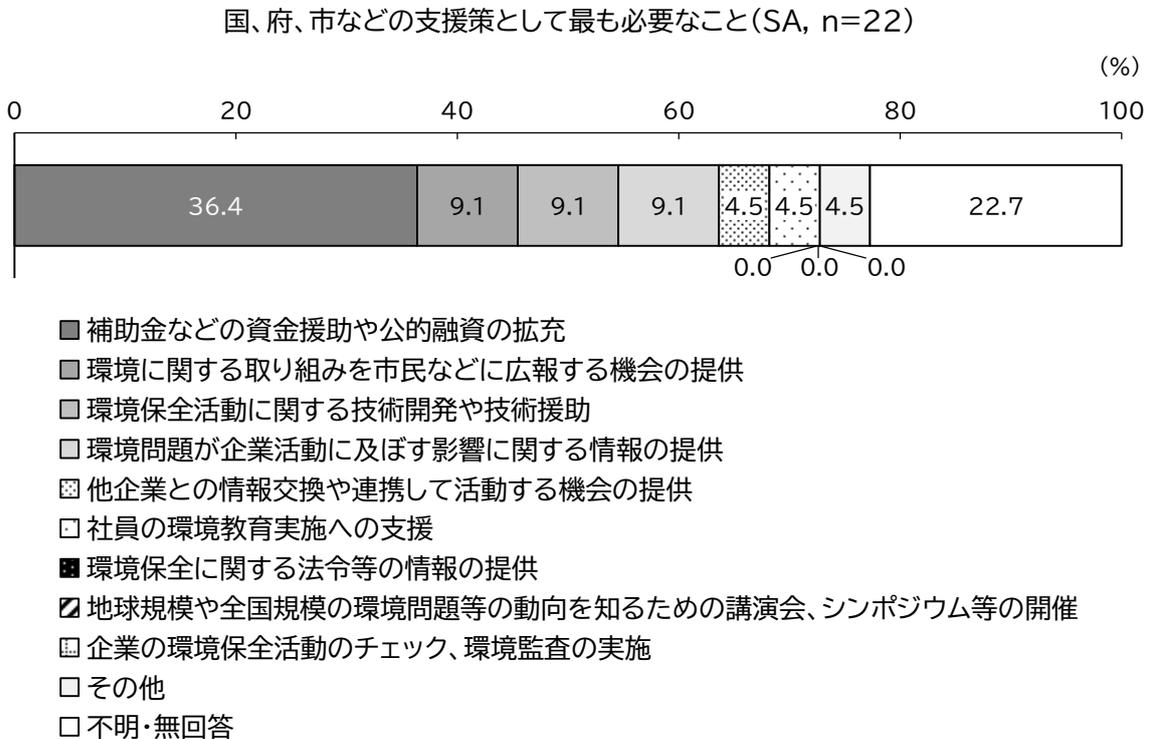


3.8. 環境への取り組みを進める上で最大の課題(問 9)

環境への取り組みを進める上で最大の課題について、「特になし」を除いて最も多いのは「ノウハウがない」「取り組むための資金がない」で 13.6%、次いで「適切な人材・人員がない」と「従業員に環境意識が定着していない」が 9.1%となっています。

3.9. 国、府、市などの支援策として最も必要なこと(問 10)

国、府、市などの支援策として最も必要なことについて、最も多いのは「補助金などの資金援助や公的融資の拡充」で 36.4%、次いで「環境に関する取り組みを市民などに広報する機会の提供」「環境保全活動に関する技術開発や技術援助」「環境問題が企業活動に及ぼす影響に関する情報の提供」が 9.1%となっています。



4. 高効率機器や社用車の EV 化に関わることについて

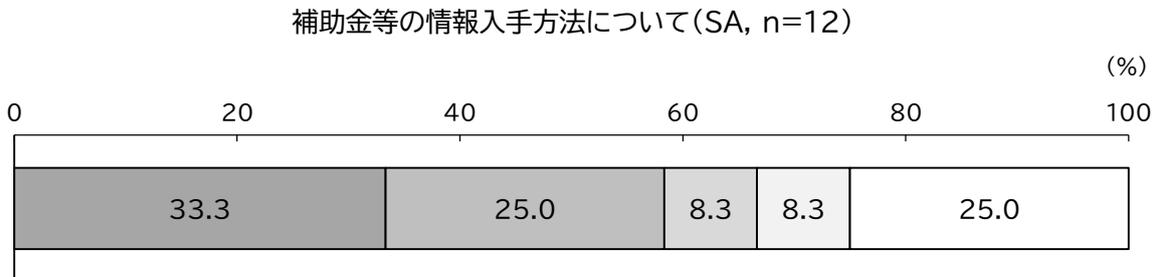
4.1. 高効率機器への買い替えや社用車の EV 化に対する補助金制度について(問 11)

【補助金制度の認知度】

高効率機器への買い替えや社用車の EV 化に対する補助金制度の認知度について、「知っていた」が 54.5%、「知らなかった」が 40.9%となっています。

【補助金等の情報入手方法】

補助金等の情報入手方法についてみると、最も多いのは「チラシや通知などに掲載された情報に目を通している」で 33.3%、次いで「官公庁・自治体のホームページで情報を探したり、直接問い合わせたりしている」が 25.0%、「設備や機器の展示会などに行った際に情報を入手している」と「その他」が 8.3%となっています。



- チラシや通知などに掲載された情報に目を通している
- 官公庁・自治体のホームページで情報を探したり、直接問い合わせたりしている
- 設備や機器の展示会などに行った際に情報を入手している
- その他
- 不明・無回答

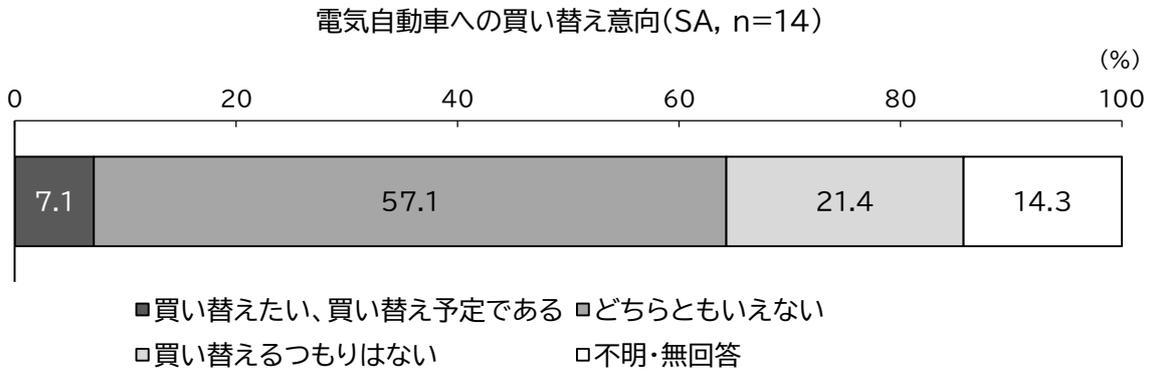
4.2. 電気自動車について(問 12)

【電気自動車の所有状況】

電気自動車の所有状況について、「所有している」が 4.5%、「電気自動車以外の車を所有している」が 63.6%、「自動車を所有していない」が 27.3%となっています。

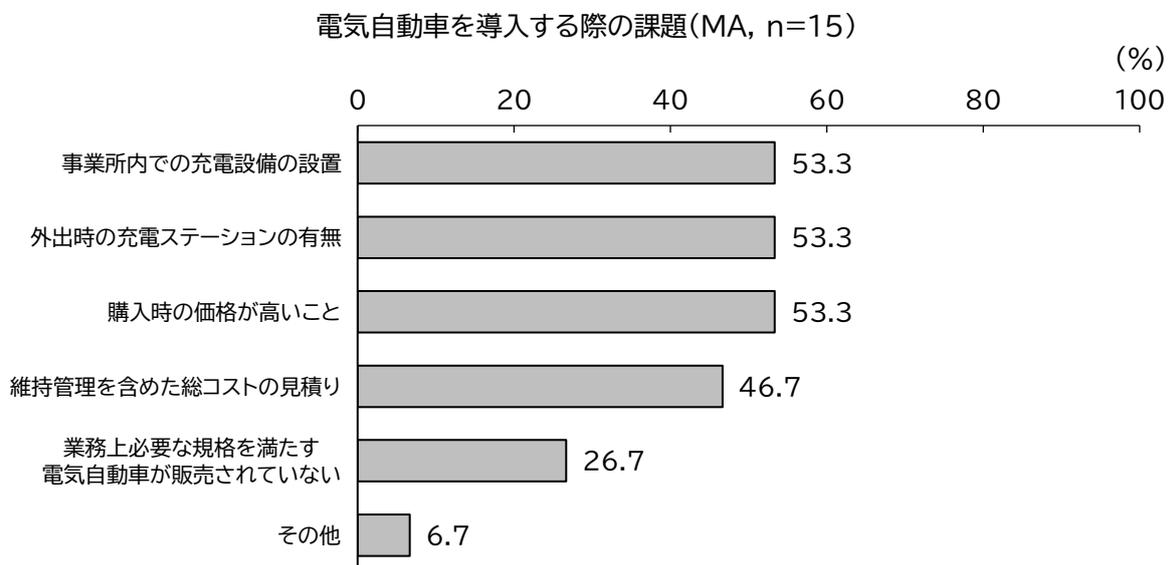
【電気自動車への買い替え意向】

「所有状況」について「電気自動車以外の車を所有している」と回答した事業所の買い替え意向をみると、「買い替えたい、買い替え予定である」が7.1%、「どちらともいえない」が57.1%、「買い替えるつもりはない」が21.4%となっています。



【電気自動車を導入する際の課題】

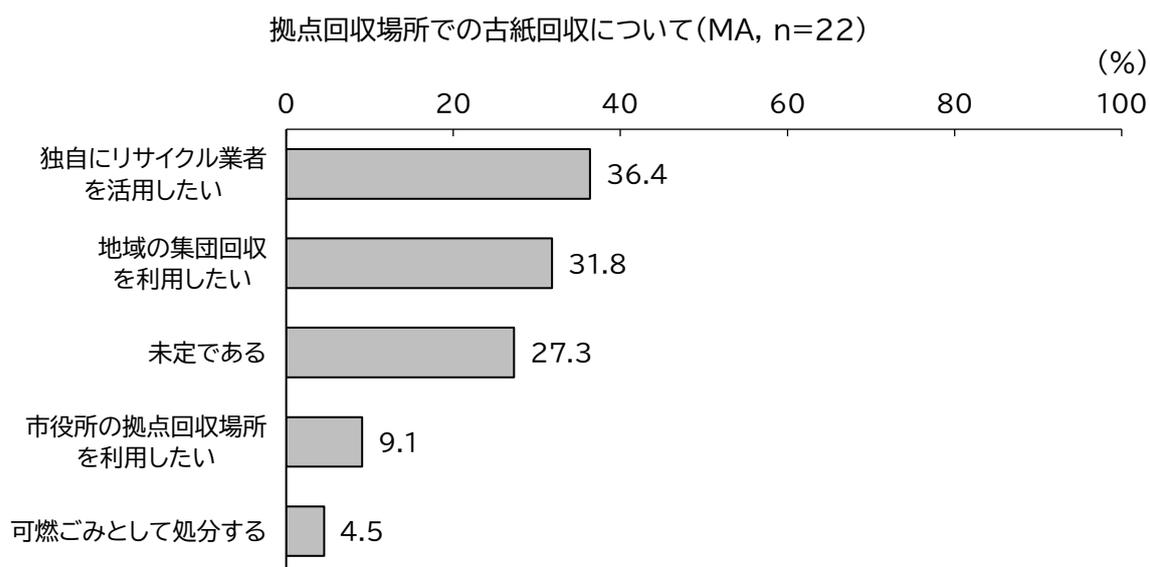
電気自動車を導入する際の課題について、最も多いのは「事業所内での充電設備の設置」「外出時の充電ステーションの有無」「購入時の価格が高いこと」で53.3%となっています。



5. ごみ減量に関する取り組みについて

5.1. 拠点回収場所での古紙回収について(問 13)

拠点回収場所での古紙回収についてみると、最も多いのは「独自にリサイクル業者を活用したい」で36.4%、次いで「地域の集団回収を利用したい」が31.8%、「未定である」が27.3%となっています。



5.2. ごみ減量の取り組みについて(問 14)

自由記述による回答が 9 件あり、以下のとおりとなっています。

ごみの分別・減量(5 件)

- ・ 製造歩留りの向上
- ・ 会社でのゴミの分別・ペットボトルのキャップ、ラベルはがす
- ・ 徹底した分別回収による再資源化
- ・ 調理前の生ごみをコンポスターへ
- ・ 通い箱の利用

紙のリサイクル(4 件)

- ・ 古紙を自社の紙袋工場へ持ち込み、再資源化している
- ・ 古紙のリサイクル・コピー用紙の使用量抑制の取り組み(両面コピーの励行、電子メールの活用)、不要となったコピー用紙は内部資料のコピー用紙やメモ用紙に再使用
- ・ 裏紙利用・段ボール有効利用
- ・ 紙類の分別徹底

リサイクル全般(2 件)

- ・ 指定業者によるリサイクルをしている
- ・ リサイクル業者の開拓

環境マネジメントシステム(1 件)

- ・ ISO14001 の目標に排出物の削減を設定し取り組んでいる

5.3. ごみ削減にあたっての課題、行政への要望(問 15)

自由記述による回答が 2 件あり、以下のとおりとなっています。

- ・ 指定ごみ袋と分別について
- ・ 市で小型電化製品の回収を実施しているのか

6. 長岡京市の環境政策や、地域と事業者との関わりについて

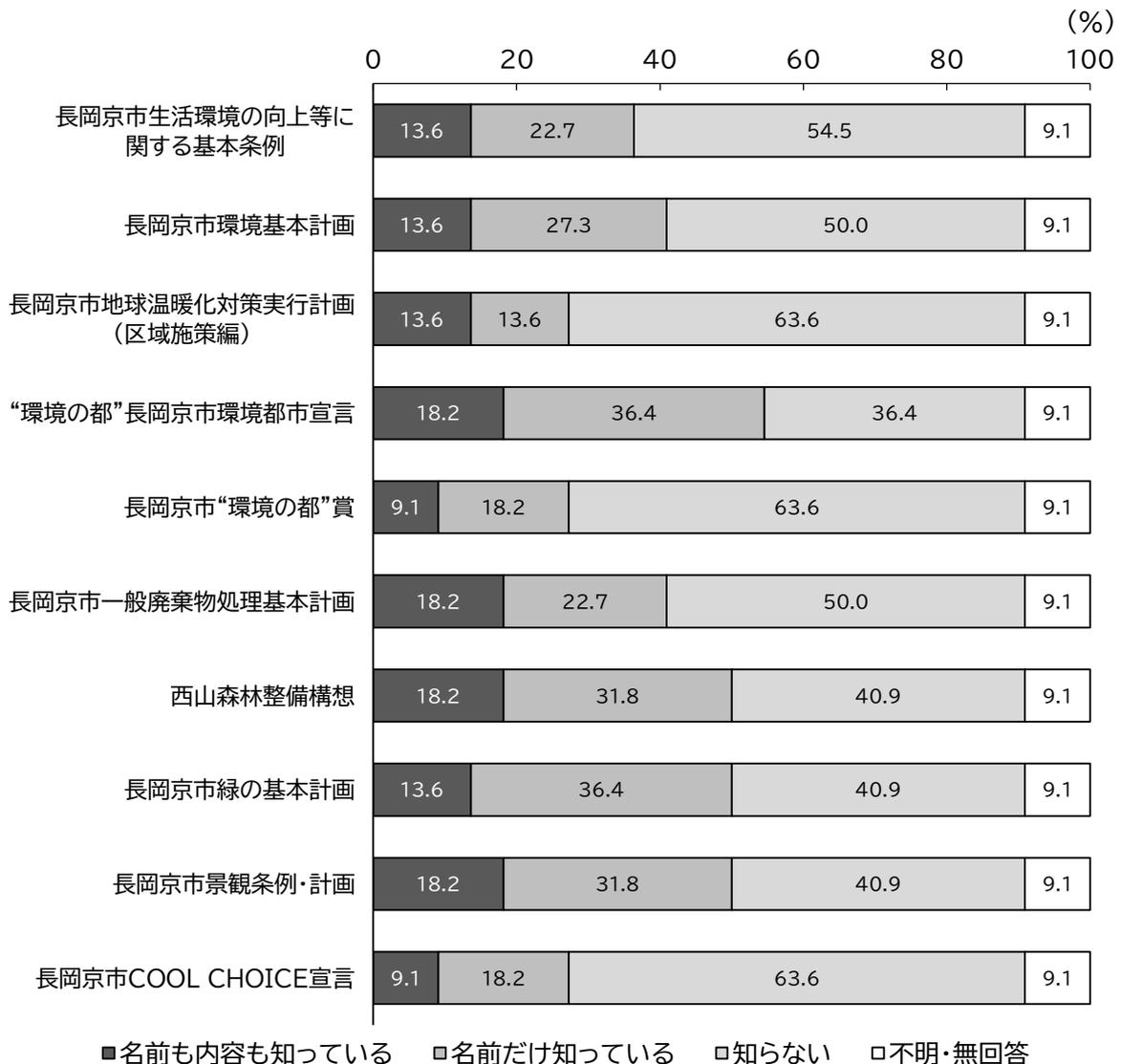
6.1. 長岡京市の環境に関する計画や方針の認知度(問 16)

長岡京市の環境に関する計画や方針の認知度について、「名前も内容も知っている」が最も多いのは「“環境の都”長岡京市環境都市宣言」「長岡京市一般廃棄物処理基本計画」「西山森林整備構想」「長岡京市景観条例・計画」で18.2%となっています。

「名前だけ知っている」が最も多いのは「“環境の都”長岡京市環境都市宣言」「長岡京市緑の基本計画」で36.4%、次いで「西山森林整備構想」「長岡京市景観条例・計画」が31.8%となっています。

「知らない」が最も多いのは「長岡京市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」「長岡京市“環境の都”賞」「長岡京市 COOL CHOICE 宣言」で63.6%となっています。

長岡京市の環境に関する計画や方針の認知度(SA, n=22)

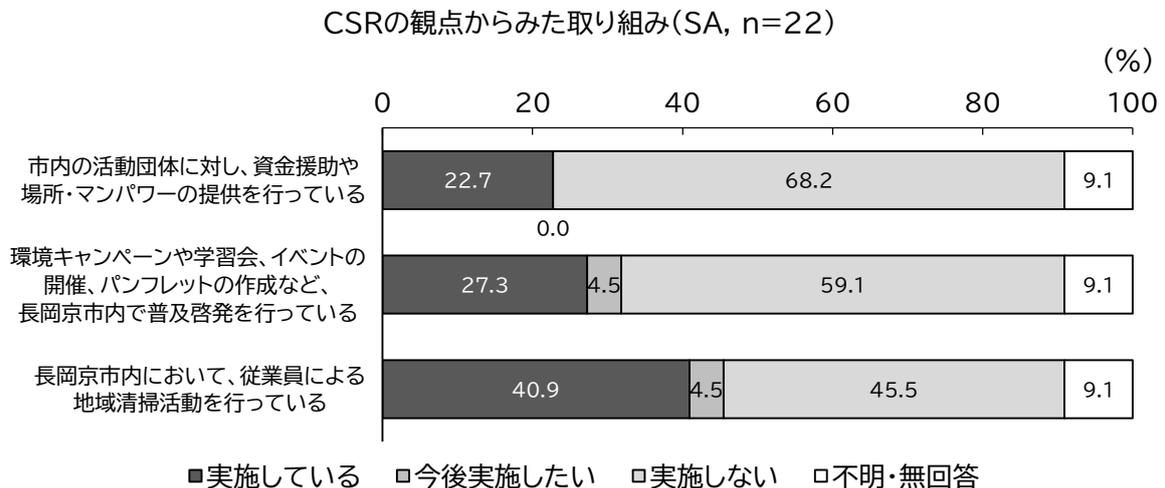


6.2. CSRの観点からみた取り組み(問17)

CSRの観点からみた取り組みについて、「実施している」という回答が最も多いのは「長岡京市内において、従業員による地域清掃活動を行っている」で40.9%、次いで「環境キャンペーンや学習会、イベントの開催、パンフレットの作成など、長岡京市内で普及啓発を行っている」が27.3%、「市内の活動団体に対し、資金援助や場所・マンパワーの提供を行っている」が22.7%となっています。

「今後実施したい」という回答が最も多いのは「環境キャンペーンや学習会、イベントの開催、パンフレットの作成など、長岡京市内で普及啓発を行っている」「長岡京市内において、従業員による地域清掃活動を行っている」で4.5%、次いで「市内の活動団体に対し、資金援助や場所・マンパワーの提供を行っている」が0.0%となっています。

「実施しない」という回答が最も多いのは「市内の活動団体に対し、資金援助や場所・マンパワーの提供を行っている」で68.2%、次いで「環境キャンペーンや学習会、イベントの開催、パンフレットの作成など、長岡京市内で普及啓発を行っている」が59.1%、「長岡京市内において、従業員による地域清掃活動を行っている」が45.5%となっています。



6.3. 校区ごとの「環境への取り組みを見える化」について(問18)

校区ごとの「環境への取り組みを見える化」することについて、「取り組むべき」が50.0%、「どちらとも言えない」が36.4%、「取り組む必要はない」が4.5%となっています。

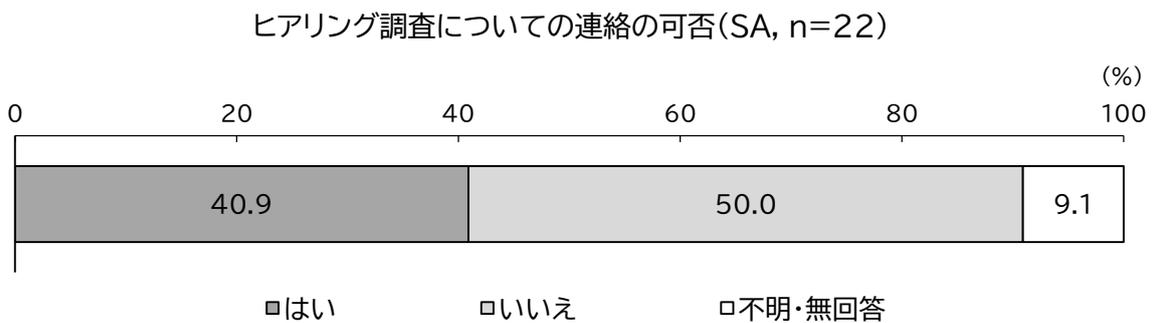
7. 環境問題に関する懸念事項、検討事項、提案など(問 19)

自由記述による回答が 3 件あり、以下のとおりとなっています(一部抜粋)。

- ・ 店内のごみ箱、資源回収ボックスの利用マナーについて。店によって指定ごみ袋の販売価格にばらつきがあることについて。
- ・ 希少植物の自生地の清掃活動を行っている。府の条例により自生地の公表はできないが、一般の方の訪問、問い合わせがあり、対応に困ることがある。
- ・ 紙、プラスチックのリサイクル買取市況が悪化しており、リサイクル率の減少を懸念している。

8. ヒアリング調査の可否(問 20)

ヒアリング調査についての連絡の可否について、「はい」が 40.9%、「いいえ」が 50.0%となっています。



參考資料

1. アンケート調査票

1.1. 市民アンケート

“環境の都”長岡京に向けての市民アンケート調査票

初秋の候 皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、日頃より環境行政の推進にご理解とご協力を頂き、厚く御礼申し上げます。

さて、長岡京市では、令和2・3年度の2年間かけて、現行の「長岡京市第二期環境基本計画」の改定を予定しておりますことから、これに先立ち、本市の環境づくりについて広く市民の皆様のご意見をお聞かせ頂くこととしました。

つきましては、ご多用のところ誠に恐縮ですが、本調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、本調査では、令和2年8月1日現在の長岡京市住民基本台帳から無作為抽出した16歳以上の市民2,000名の皆様に協力をお願いしております。また、ご回答いただいた内容をそのまま公表することは一切ございません。よりよい計画づくりの基礎的な資料として、統計的な処理を行った上で活用するものです。

新型コロナウイルスの流行により、人々の生活様式や価値観に大きな影響を与えている昨今かと思えます。市民の皆様が日頃お感じになっていることを率直にお答えいただくことで、地域の状況や市民の視点を踏まえた環境施策が実行できるものと考えますので、なにとぞご協力いただきますようお願いいたします。

令和2年9月吉日

長岡京市長 中小路 健吾

◆ 調査票へのご記入にあたって ◆

- あて名のご本人がご回答ください。また、何らかの理由でご本人による記入が難しい場合は、そのお考えをご尊重頂いて代理の人がご記入ください。
- ご回答頂いた調査票は、同封の返信用封筒に入れて封をし、

令和2年9月30日(水) までに

お近くの郵便ポストに入れてください。切手は不要です。
また、差出人の記載も不要です。

- ご不明の点がございましたら、下記までお問い合わせください。

長岡京市環境経済部 環境政策室 環境政策担当:山口
電話:075-955-9542 FAX:075-951-5410
e-mail:kankyouseisaku@city.nagaokakyo.lg.jp

■「環境」に関わることを全般についておたずねします。

【問1】 ここ最近の長岡京市の環境について、大きく変わったと感じるのはどのようなことですか。

【当てはまるものすべてに○】

1. 夏の猛暑、冬の暖冬など、気候の変化
2. 不法投棄・ポイ捨ての状況など、まち美化環境の変化
3. 長岡京 IC の開通・西山天王山駅の開業など、ハード面の変化
4. 特定の昆虫・草花等の増減、放置竹林の状況など、自然環境の変化
5. 特に大きく変わったと感じるところはない

【問2】 現在の生活の「身近な環境」について、どのように思われますか。

【それぞれ当てはまるもの1つに○】

	満足	まあ満足 している	どちらとも 言えない	やや不満	不満
①空気や水のきれいさ、まちのみどりの豊富さ	5	4	3	2	1
②騒音・振動などがないこと	5	4	3	2	1
③衛生的なまちであること	5	4	3	2	1
④自然景観・都市景観などまちの美しさ	5	4	3	2	1
⑤農地・農空間の美しさ・身近さ	5	4	3	2	1
⑥西山など自然環境の身近さ	5	4	3	2	1
⑦歴史的・文化的資源の豊富さ・身近さ	5	4	3	2	1
⑧災害・犯罪・交通事故等の危険が少ないこと	5	4	3	2	1
⑨日常生活の便利さ	5	4	3	2	1
⑩近所付き合いなど近隣の人間関係	5	4	3	2	1
⑪総合的にみた「身近な環境」	5	4	3	2	1

【問3】 あなたは環境問題や環境保全にどの程度の関心をお持ちですか。【○は1つ】

- | | |
|------------|------------|
| 1. 関心がある | 2. やや関心がある |
| 3. やや関心がない | 4. 関心がない |

【問4】 環境保全、温暖化対策等に関する以下の用語を知っていますか。【知っているものすべてに○】

1. パリ協定
2020年以降の温室効果ガス排出削減等のための新たな国際枠組み
2. COOLCHOICE
脱炭素社会づくりのために商品・サービス・生活様式など「賢い選択」をする取り組み
3. RE100・REAction
企業や自治体等が使用電力を100%再生可能エネルギーとする意思と行動を示すもの
4. SDGs
持続可能な開発目標(Sustainable Development Goalsの略)。2030年までに国連加盟国で達成する目標
5. エシカル消費
地域の活性化や雇用なども含む、人や社会・環境に配慮した消費行動「倫理的消費」
6. 海洋プラスチック・マイクロプラスチック
海洋等の環境中に拡散した微小なプラスチック粒子
7. グリーンインフラ
天候・土壌・植物等の自然の働きを活用して道路や施設などをつくること
8. ソーラーシェアリング
田んぼや畑などの農地で農業と太陽光発電事業を両立させる仕組み
9. 地域循環共生圏
地域の資源や活力を最大限に活用しながら、自立・分散型の社会をつくる考え方
10. 2050年ゼロカーボンシティ
2050年に温室効果ガス排出量の実質ゼロを公表している自治体

【問5】 長岡京市の以下の環境の取り組みについて、どのように思われますか。

	現在の満足度【1つに○】					今後の重要度【1つに○】				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない
①再生可能エネルギーの活用	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
②省エネルギーの推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
③エコ建築の普及	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
④エコ交通システムの導入	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑤廃棄物の発生抑制・再生利用の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑥資源回収の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑦廃棄物の適正処理	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑧水資源の有効活用・水環境の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑨西山の保全・再生・活用	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑩竹林の保全・再生・活用	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

【次ページへ続く】

【問5 続き】

	現在の満足度【1つに○】					今後の重要度【1つに○】				
	満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない
①環境にやさしい農業の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
②水辺環境の保全・再生	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
③身近な緑の保全・創出	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
④環境に配慮した都市の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑤歴史文化資源の保全・活用	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑥環境美化の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑦適切な環境管理	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑧市民活動のサポート機能の拡充	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑨環境を担う人づくり・人結び	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑩環境学習の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

■「脱炭素型社会づくり」に関しておたずねします。

【問6】 気候変動の影響ではないかと、強く感じていることはありますか。【当てはまるものすべてに○】

1. 農産物、水産物の収穫量、漁獲量の減少
2. 農産物、水産物等の食材の品質の低下
3. 自然生態系の変化(植物の開花時期の変化、特定の虫の増加・減少など)
4. 猛暑による熱中症患者の増加
5. 台風や長雨、ゲリラ豪雨などによる災害の増加
6. その他()

【問7】 温室効果ガスの排出削減目標『実質ゼロ』を知っていますか。【○は1つ】

1. 知っていた
2. 知らなかった

※実質ゼロ:排出される温室効果ガスと、植物などによって吸収される二酸化炭素の量が釣り合っている状態。地球の平均気温の上昇を1.5度未満に抑えるためには、2050年までに世界全体の温室効果ガス排出量を実質ゼロにすることが必要とされている。

【問8】 今後最大限の温暖化対策を行ったとしても、ある程度の気温の上昇は避けられないと言われており、その影響に備える・適応していくための取り組み(「適応策」)の重要性が増しています。行政はどのようなことに最優先で取り組むべきだと思いますか。【〇は1つ】

1. 暑さに強い作物など、農業生産者への情報提供
2. 森林整備などによる生物多様性の保護
3. 施設・イベントの暑さ対策など、熱中症防止のための取り組み
4. 災害や水不足などに備えての、インフラ整備や防災体制の充実
5. 適応策に取り組んでいる市内の生産者や市民活動への支援
6. その他()

【問9】 家電・家庭用品等の購入に関しておたずねします。
以下のことを実行していますか。「現状」と「今後」それぞれについてお答えください。

	現状【1つに〇】			今後【1つに〇】	
	実行している	実行しているときどき	実行していない	実行したい	実行する気はない
①家電製品は省エネルギー型のもを購入する	3	2	1	2	1
②照明は白熱灯や蛍光灯よりLEDを購入する	3	2	1	2	1
③詰め替え用容器を用いた商品を購入する	3	2	1	2	1
④古紙を使ったトイレトーパーを購入する	3	2	1	2	1
⑤複層ガラスや二重窓を導入する	3	2	1	2	1

【問10】 現在のお住まいについておたずねします。
断熱性能を上げるためのリフォーム工事などを実施したことがありますか。【〇は1つ】

1. 実施したことがある
2. 実施したことはない
3. 新築のときに断熱材等を使っている
4. わからない
5. その他()

【問11】 電気自動車についておたずねします。
① 現在、電気自動車を所有していますか。【〇は1つ】

1. 所有している⇒③へ
2. 電気自動車以外の車を所有している⇒②へ
3. 自動車を所有していない⇒【問12】へ

② **【①で「2」と回答した方のみ】**

今後、電気自動車に買い替えたいと思いますか。【〇は1つ】

1. 買い替えたい、買い替え予定である⇒③へ 2. 買い替えるつもりはない⇒④へ

③ **【①で「1」または②で「1」と回答した方のみ】**

電気自動車を購入した最大の理由、買い替えたいと思う最大の理由は何ですか。【〇は1つ】

1. 環境にやさしい 2. 燃料費を節約できる
3. 乗り心地がいい 4. 税金が安くなるなど、維持費を抑えることができる
5. その他()

④ **【②で「2」と回答した方のみ】**

買い替えたくないと思う最大の理由は何ですか。【〇は1つ】

1. 自宅に充電器が設置できない 2. 外出時に充電できるか不安
3. 購入価格が高い 4. 維持費(バッテリー交換など)を考えると割高になりそう
5. その他()

【問12】 カーシェアリング※についておたずねします。

① カーシェアリングを利用したことがありますか。【〇は1つ】

1. 利用したことがある⇒③へ 2. 利用したことはない⇒②へ

② **【①で「2」と回答した方のみ】**

今後、カーシェアリングを利用してみたいと思いますか。【〇は1つ】

1. 利用してみたい⇒③へ 2. 利用したくない⇒④へ

③ **【①で「1」または②で「1」と回答した方のみ】**

カーシェアリングを利用した最大の理由、利用したいと思う最大の理由は何ですか。【〇は1つ】

1. 外出先でも車に乗ることができる 2. 目的に応じて車を選ぶことができる
3. マイカーを持つより安くすませられる 4. 自宅に(これ以上)駐車スペースがない
5. その他()

④ **【②で「2」と回答した方のみ】**

利用したくないと思う最大の理由は何ですか。【〇は1つ】

1. 必要な時に借りられないかもしれない 2. 他人と同じ車に乗りたくない
3. マイカーにこだわりがある 4. よく車に乗るので、かえて高くつきそう
5. その他()

※カーシェアリング：自動車の共同利用サービス。仕組みとしてはレンタカーに近いが、日ごろの買物など、短時間・短距離での利用を想定している。

【問17】 地球温暖化を防止するため、市全体として最も重要な取り組みはどのようなことですか。【○は1つ】

1. 太陽光や風力、バイオマスエネルギーの利用など再生可能エネルギーの導入促進
2. 省エネ家電の普及や工場のエネルギー使用の合理化
3. ZEH、ZEB※など、環境への負荷を低く抑えた建築物の普及促進
4. 交通や物流対策(フードマイレージ※削減含む)、次世代自動車の普及など運輸交通部門の改善
5. 家庭や事業所等における省エネなどライフスタイル、ビジネススタイルの見直し
6. 二酸化炭素吸収源としての森林整備や植林、都市緑化の推進
7. 環境教育・学習・啓発イベントの充実、環境情報の提供、広報の強化
8. 事業活動における環境負荷の度合いを下げるための独自条例などによる規制の強化
9. ごみの発生抑制、リサイクルなどごみ対策を進める
10. 市や事業者の温暖化への取り組みの公表・見える化
11. 市民・団体・事業者・行政が一体となって取り組む組織の整備、相談・支援体制の構築
12. その他()

※ZEH(ゼロエネルギー住宅)・ZEB(ゼロエネルギービルディング):

断熱化や効率化でエネルギー消費を減らしつつ、太陽光発電など自然エネルギーを活用することで、差し引きのエネルギー使用量ゼロを目指した住宅や建物。

※フードマイレージ:食べ物が食卓に運ばれるまでに輸送された距離。フードマイレージが多いほど、輸送にともなう温室効果ガスが排出されている。

■「資源循環型社会づくり」に関しておたずねします。

【問18】 資源や水を適正に循環させ、環境への負担を減らしていくために、市全体として最も重要な取り組みはどのようなことですか【○は1つ】

1. 河川浄化対策の実施
2. 地下水の水質保全
3. 公共下水道等の整備
4. 廃棄物の発生抑制
5. 適正なリサイクルの促進
6. 廃棄物(し尿・浄化槽汚泥含む)の適正処理
7. 不法投棄の防止と対策
8. 節水や雨水利用の促進
9. その他()

【問19】 プラスチックごみの発生を抑制するために、市全体として最も重要な取り組みはどのようなことですか。【○は1つ】

1. 生分解性プラスチックやプラスチック以外の素材の利用など、製造者に対する働きかけや支援
2. 過剰な容器包装に対する規制など、提供者・販売者に対する働きかけや支援
3. マイバッグ、マイボトル利用の推奨など、利用者に対する働きかけや支援
4. プラスチックごみ削減が強く求められる事業者の公表や不法投棄の罰則強化など、制度の強化
5. その他()

【問20】 ごみの減量化・リサイクルに関しておたずねします。日常生活で以下のことを実行していますか。
【それぞれ当てはまるもの1つに○】

	やっている	時々やっている	以前はやってた	やりたいが やっていない	やるつもりはない
① 過剰包装の商品購入は避け、買物袋・エコバッグを持ち歩く	5	4	3	2	1
② リサイクル製品、詰め替え使用可能な製品を優先して購入・利用する	5	4	3	2	1
③ カン、ビンやトレイ、紙パック、廃食油などをリサイクル回収に出す	5	4	3	2	1
④ 新聞紙・雑誌などを古紙回収に出す	5	4	3	2	1
⑤ 不要家具・家電品などをリサイクル事業者に出す	5	4	3	2	1
⑥ コンポスト等で生ごみを堆肥化する	5	4	3	2	1
⑦ 傷みそうな食品を優先して使う	5	4	3	2	1
⑧ 早く食べる必要がある食品を冷蔵庫のすぐ見える位置に置く	5	4	3	2	1
⑨ 早く食べる必要がある食品がないか、週に1回以上冷蔵庫を点検する	5	4	3	2	1
⑩ 外出時にはマイボトル(水筒・タンブラー・マグカップ等)を持っていく	5	4	3	2	1

■「環境共生のまちづくり」に関しておたずねします。

【問21】 西山の自然環境保全に関わる取り組みの中で、あなたが協力できそうなものはありますか。
【当てはまるものすべてに○】

- | |
|---|
| 1. 森林の整備や竹林の伐採など、森林ボランティアへの参加
2. 木材チップや竹炭、竹チップなどの製品の購入・使用
3. 森林整備のための募金
4. 西山をフィールドとして行われる体験型イベントへの参加
5. その他() |
|---|

【問22】 自然環境や生物多様性の保全のために、市全体として最も重要な取り組みはどのようなことですか。【○は1つ】

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1. 里地・里山の保全 | 2. 無秩序な開発の防止 |
| 3. 多様な動植物の生息場所の保全 | 4. 野生動植物の保護・管理 |
| 5. 自然の姿・機能を生かした河川整備 | 6. ため池の保全と活用 |
| 7. 緑地や樹木等の保全・保存 | 8. その他() |

■「快適な都市環境づくり」に関しておたずねします。

【問23】 快適な都市環境づくりのため、市全体として最も重要な取り組みはどのようなことですか。【○は1つ】

- | |
|--------------------------------|
| 1. 公園・緑地・街路樹など、身近にある自然の保全・創出 |
| 2. 透水性舗装など、環境に配慮した都市基盤の整備 |
| 3. 歩道の整備、電線の地中化など、歩きやすいまちづくり |
| 4. 景観に配慮したまちづくり |
| 5. 歴史文化資源の保全・活用 |
| 6. ポイ捨てや犬のふんの放置などが無い、きれいなまちづくり |
| 7. 公害防止対策の充実 |
| 8. その他() |

■環境の取り組みへの参画と協働についておたずねします。

【問24】 よりよい環境づくりのために、あなたが実行しやすいのはどのようなことですか。
【当てはまるものすべてに○】

- | | |
|-----------------|-------------------------|
| 1. ごみの減量に努める | 2. 地元のものを優先して購入する(地産地消) |
| 3. リサイクル製品を選ぶ | 4. 省エネルギーに努める |
| 5. 自然エネルギーを利用する | 6. 自家用車の利用を控える |
| 7. まちの緑化・美化に努める | 8. 生物の生息環境を守る |
| 9. 環境について学ぶ | 10. 騒音・振動・悪臭などを発生させない |
| 11. その他() | |

【問25】 よりよい環境づくりを進めるために、市内の事業所にどのようなことを期待されますか。【○は1つ】

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 1. 廃棄物管理等における規制や法令の遵守 | 2. 資源循環の推進 |
| 3. 地球温暖化対策の率先した取り組み | 4. 環境に配慮した製品や技術の開発 |
| 5. 社員への環境教育の推進 | 6. 環境学習活動への講師の派遣 |
| 7. 市民団体と連携した行動 | 8. 市民団体への活動支援 |
| 9. 環境に関する技術や情報の提供 | 10. その他() |

【問26】 環境のために、我々の日々の暮らしや社会、経済のあり方を変えていくことについて、どのように思われますか。【当てはまるものすべてに○】

- | |
|--|
| 1. 資源やエネルギーの消費を減らすために、生活の水準を落としてもよい |
| 2. 製造・輸送による環境への負荷が反映されるのであれば、商品の価格が高くなってよい |
| 3. 家庭からのごみを減らすために、排出量に応じた処理費用を負担してもよい |
| 4. 地球環境を守るため、自然環境を保全するためであれば、税金が課されてもよい |
| 5. 市民活動や地域活動として、環境保全のために労力を負担してもよい |
| 6. その他() |

【問27】 本アンケートに回答した感想をおたずねします。【それぞれ当てはまるもの1つに○】

	易 し か っ た	易 し か っ た や や	普 通	難 し か っ た や や	難 し か っ た
①環境に関わること全般(問 1～5)	5	4	3	2	1
②脱炭素社会づくり(問 6～17)	5	4	3	2	1
③資源循環型社会づくり(問 18～20)	5	4	3	2	1
④環境共生のまちづくり(問 21～22)	5	4	3	2	1
⑤快適な都市環境づくり(問 23)	5	4	3	2	1
⑥環境の取り組みへの参画と協働(問 24～26)	5	4	3	2	1

【問28】 長岡京市の環境づくりについてご意見等ございましたら、ご自由にお聞かせください。

■あなた(あて名の方)ご自身のことについておたずねします。

【問29】 あなたの年齢はおいくつですか(令和2年8月1日時点)。【○は1つ】

- | | | | |
|------------|------------|------------|------------|
| 1. 16～19 歳 | 2. 20～29 歳 | 3. 30～39 歳 | 4. 40～49 歳 |
| 5. 50～59 歳 | 6. 60～69 歳 | 7. 70～79 歳 | 8. 80 歳以上 |

【問30】 あなたの職業は何ですか。【○は1つ】

- | | | | |
|-------------------|--------------|--------|--------|
| 1. 給与所得者(会社員や公務員) | 2. パート・アルバイト | 3. 自営業 | |
| 4. 専業主婦(夫) | 5. 無職 | 6. 学生 | 7. その他 |

【問31】 あなたのお住まいの世帯の人数およびご家族の構成は。(令和2年8月1日時点)

人数 ()人	構成【○は1つ】
	1. 一人暮らし 2. 夫婦二人暮らし 3. 夫婦、子どもからなる世帯
	4. 3世代の世帯 5. その他の世帯()

【問32】 あなたのお住まいのある小学校区はどちらですか。【○は1つ】

- | | | |
|--------------|----------------------|-------------|
| 1. 神足小学校区 | 2. 長法寺小学校区 | 3. 長岡第三小学校区 |
| 4. 長岡第四小学校区 | 5. 長岡第五小学校区 | 6. 長岡第六小学校区 |
| 7. 長岡第七小学校区 | 8. 長岡第八小学校区 | 9. 長岡第九小学校区 |
| 10. 長岡第十小学校区 | 11. わからない(町名・自治会名など) |) |

【問33】 あなたは長岡京市にお住まいになってどのくらい経ちますか。【○は1つ】

- | | | |
|------------|-----------|------------|
| 1. ～4 年 | 2. 5～9 年 | 3. 10～19 年 |
| 4. 20～29 年 | 5. 30 年以上 | |

【問34】 あなたのお住まいの住宅の種類は何ですか。【○は1つ】

- | | | |
|--------|---------|-----------|
| 1. 一戸建 | 2. 集合住宅 | 3. その他() |
|--------|---------|-----------|

設問は以上です。ご協力ありがとうございました。

ご記入もれがないかもう一度お確かめください。

なお、返送にあたっては、同封の封筒に三つ折りにし、**9月30日(水)**までに、お近くの郵便ポストに入れてください。

1.2. 団体アンケート

“環境の都”長岡京に向けての団体アンケート調査票

初秋の候 皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、日頃より環境行政の推進にご理解とご協力を頂き、厚く御礼申し上げます。

さて、長岡京市では、令和 2・3 年度の 2 年間かけて、現行の「長岡京市第二期環境基本計画」の改定を予定しておりますことから、これに先立ち、本市において環境活動にご尽力されている団体の皆様のご意見をお聞かせ頂くこととしました。

つきましては、ご多用のところ誠に恐縮ですが、本調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、ご回答いただいた内容をそのまま公表することは一切ございません。よりよい計画づくりの基礎的な資料として、統計的な処理を行った上で活用するものです。

新型コロナウイルスの流行により、人々の生活様式や価値観に大きな影響を与えている昨今かと思えます。団体の皆様が日頃お感じになっていることを率直にお答えいただくことで、地域の状況や団体様の視点を踏まえた環境施策が実行できるものと考えますので、なにとぞご協力いただきますようお願いいたします。

令和 2 年 9 月吉日

長岡京市長 中小路 健吾

◆ 調査票へのご記入にあたって ◆

- 団体としてのお考えをお書きください。書いた内容によって何らかの義務が発生するというものではありません
- ご回答頂いた調査票は、同封の返信用封筒に入れて封をし、

令和 2 年 9 月 30 日(水) までに

お近くの郵便ポストに入れてください。切手は不要です。
また、差出人の記載も不要です。

- ご不明の点がございましたら、下記までお問い合わせください。

長岡京市環境経済部 環境政策室 環境政策担当：山口
電話：075-955-9542 FAX：075-951-5410
e-mail：kankyouseisaku@city.nagaokakyo.lg.jp

貴団体の活動についておたずねします

【問1】 貴団体の活動分野についてお答えください。【当てはまるものすべてに○】

1. 森林(竹林)保全	2. 生物保全	3. 水環境保全
4. 大気保全	5. 廃棄物・リサイクル	6. 地球温暖化防止
7. 清掃美化	8. 花・植樹・緑化	9. 環境教育・環境学習
10. 消費行動改善	11. その他()	

【問2】 貴団体の活動形態についてお答えください。【当てはまるものすべてに○】

1. 実践活動	2. 調査・研究活動
3. 普及・啓発活動	4. その他()

【問3】 「現在の活動を行う上での課題」「今後、活動を継続する上での課題」「今後、活動したいこと」について具体的な内容をご記入ください。

①現在の活動を行う上での問題
②今後、活動を継続する上での問題
③今後、活動したいこと

【問4】 問3の課題に対応するため、行政に望む支援はどのようなことですか。

当てはまるものすべてに○	具体的内容を記入
1. 活動に役立つ情報の提供	
2. 活動場所・機会の提供	
3. 活動費などの支援	
4. 他団体や企業等との連携支援	
5. 地球規模や全国規模の環境問題等の動向を知るための講演会、シンポジウムの開催	
6. その他	
7. 特になし	

【問5】 会員や会員以外の人たちへ情報発信を行っていますか。その具体的な方法もご記入ください。

①会員向け 【〇は1つ】	1. 情報発信している 2. 情報発信していない	【方法】
②会員以外 【〇は1つ】	1. 情報発信している 2. 情報発信していない	【方法】

【問6-1】 他の活動団体等(民間団体、企業等)と連携した活動を行っていますか。【〇は1つ】

1. 行っている	2. 以前行っていたが、今は行っていない
3. 行っていない	4. その他()

【問6-2】 【問6-1で「1」または「2」を回答した方のみ】

どのような分野の活動ですか。【当てはまるものすべてに〇】

1. 情報交換	2. 共同イベント等	3. 施設・設備等の貸与・借用
4. 講師派遣・依頼	5. 共同調査・共同研究	6. 助言・相談
7. その他()		

【問6-3】 【すべての方】

他の活動団体等(民間団体、企業等)との連携を促進するには、どのようなことが必要だと思いますか。【〇は1つ】

1. 情報交換・交流のための場づくり	2. 連携をサポートする支援組織
3. 各団体による積極的な情報発信	4. 各団体が「連携」の意識を高めること
5. その他()	

【問7-1】 長岡京市では校区ごとの「環境への取り組みを見える化」*することで、より校区に愛着を持ち、環境活動を加速させていく仕組みができないか検討しています。

市のこのような取り組みについて、どのように思われますか。【〇は1つ】

* 環境への取り組みを見える化…校区ごとのリサイクル率の発表、特色ある取り組みの紹介等

1. 取り組むべき	2. どちらとも言えない	3. 取り組む必要はない
-----------	--------------	--------------

【問7-2】 校区ごとの「環境への取り組みを見える化」について、貴団体では、今後、どのような関わりができると思われますか。具体的な内容をご記入ください。

1.3. 事業者アンケート

“環境の都”長岡京に向けての事業者アンケート調査票

初秋の候 皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、日頃より環境行政の推進にご理解とご協力を頂き、厚く御礼申し上げます。

さて、長岡京市では、令和 2・3 年度の 2 年間かけて、現行の「長岡京市第二期環境基本計画」の改定を予定しておりますことから、これに先立ち、本市において事業活動されている事業者の皆様のご意見をお聞かせ頂くこととしました。

つきましては、ご多用のところ誠に恐縮ですが、本調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、ご回答いただいた内容をそのまま公表することは一切ございません。よりよい計画づくりの基礎的な資料として、統計的な処理を行った上で活用するものです。

新型コロナウイルスの流行により、人々の生活様式や価値観に大きな影響を与えている昨今かと思えます。事業者の皆様が日頃お感じになっていることを率直にお答えいただくことで、地域の状況や事業者様の視点を踏まえた環境施策が実行できるものと考えますので、なにとぞ協力いただきますようお願いいたします。

令和 2 年 9 月吉日

長岡京市長 中小路 健吾

◆ 調査票へのご記入にあたって ◆

○事業者としてのお考えをお書きください。書いた内容によって何らかの義務が発生するというものではありません。

○ご回答頂いた調査票は、同封の返信用封筒に入れて封をし、

令和 2 年 9 月 30 日(水) までに

お近くの郵便ポストに入れてください。切手は不要です。

また、差出人の記載も不要です。

○ご不明の点がございましたら、下記までお問い合わせください。

長岡京市環境経済部 環境政策室 環境政策担当:山口

電話:075-955-9542 FAX:075-951-5410

e-mail:kankyouseisaku@city.nagaokakyo.lg.jp

貴事業所（長岡京市に立地する）における環境保全活動についておたずねします

【問1】 以下の活動の実施状況についてお答えください。【それぞれ当てはまるもの1つに○】
 長岡京市以外に本社・支社等がある場合は、市内の事業所のみについてお答えください。

	実施 している	今後実施 したい	実施の 予定なし	わから ない	該当 しない
脱炭素社会づくりに関する取り組み					
①事業活動による温室効果ガス排出量の算定	1	2	3	4	5
②事業活動による温室効果ガス排出量の削減目標の設定	1	2	3	4	5
③温暖化対策になる賢い選択“COOL CHOICE”への賛同	1	2	3	4	5
再生可能エネルギー等に関する取り組み					
①太陽光発電設備の設置	1	2	3	4	5
↳ 1.の場合…出力()kW 2.の場合…予定出力()kW					
②太陽光発電設備以外の自然エネルギーの活用(太陽熱、風力、水力等)	1	2	3	4	5
③発電した電気を蓄電する設備の導入	1	2	3	4	5
④環境負荷の少ないエネルギーによる事業運営	1	2	3	4	5
省エネルギーに関する取り組み					
①省エネルギー型の機器や設備の導入	1	2	3	4	5
②事業所建物の省エネルギーへの配慮(自然採光、通風、断熱等)	1	2	3	4	5
③省エネ診断、ESCO 事業等の導入	1	2	3	4	5
従業員の環境配慮行動に関する取り組み					
①昼休みなど休憩時間の消灯	1	2	3	4	5
②冷暖房機器の適正な温度での利用	1	2	3	4	5
③クールビズ、ウォームビズの奨励	1	2	3	4	5
④OA 機器の電源のこまめなスイッチオフ	1	2	3	4	5
⑤買い出し等の際のマイバッグの奨励	1	2	3	4	5
⑥社員のマイ箸・マイボトル持参の奨励	1	2	3	4	5

【次ページへ続く】

【問1 続き】

	実施 している	今後実施 したい	実施の 予定なし	わから ない	該当 しない
物品の購入や商品・サービスの提供に関する取り組み					
①コピー用紙や封筒への再生紙の使用	1	2	3	4	5
②詰替え可能製品の利用勧奨や、使い捨て製品の使用や購入の抑制	1	2	3	4	5
③備品の修理による長期使用	1	2	3	4	5
④エコマーク製品の優先的な購入	1	2	3	4	5
⑤環境にやさしい製品・サービスの企画・開発	1	2	3	4	5
⑥容器・包装材の簡素化	1	2	3	4	5
⑦買物客への買物袋持参の呼びかけ	1	2	3	4	5
廃棄物の減量・リサイクルに関する取り組み					
①ミスコピーの裏面利用	1	2	3	4	5
②社内便などへの使用済み封筒の再利用	1	2	3	4	5
③紙(段ボールやOA用紙等)の分別収集・資源化	1	2	3	4	5
④カン・ビン等の分別収集・資源化	1	2	3	4	5
⑤使用済み容器・包装材の回収	1	2	3	4	5
⑥廃棄物減量のための事業プロセスの改善	1	2	3	4	5
⑦産業廃棄物の適正処理、リサイクル	1	2	3	4	5
緑化に関する取り組み					
①事業所の敷地内の緑化	1	2	3	4	5
②事業所の建物の壁面、屋上の緑化	1	2	3	4	5
水に関する取り組み					
①雨水や再利用水など、水の有効利用	1	2	3	4	5
②透水性舗装や浸透ますの設置など、雨水の地下浸透の工夫	1	2	3	4	5
③節水型の機器やシステムの導入	1	2	3	4	5

【次ページへ続く】

【問1 続き】

	実施 している	今後実施 したい	実施の 予定なし	わから ない	該当 しない
生活環境・自然環境の保全に関する取り組み					
①排出ガス・排水等の適正管理	1	2	3	4	5
②騒音、振動、悪臭の防止・軽減措置	1	2	3	4	5
③自然環境への配慮、生活環境・景観の保全	1	2	3	4	5
上記以外に特徴ある環境保全活動があれば、具体的にご記入ください。					

環境に関する経営や管理手法に関わることについておたずねします

【問2】 平成28年の電力小売全面自由化により、様々な電力事業者から電気を購入することが出来るようになりました。施設内に太陽光発電等の再生可能エネルギーを利用した発電設備を導入する事業者も増えています。

貴事業所での電気の調達の考え方について、最も近いものをお答えください。【〇は1つ】

1. 再生可能エネルギーを積極的に利用し、少しでも多くの電力を自給したい
2. 再エネ比率の高い電力事業者であれば、多少高くても購入を検討したい
3. 再エネに関係なく、価格の安い電力事業者からの購入を検討したい
4. 電力事業者を選ぶこと、自前の発電設備を持つことについて考えたことがない、関心がない

【問3】 今後、長岡京市域の余剰電力(固定価格買取制度が終了した一般家庭の余剰電力等)を買い取って、その電気を長岡京市域で販売する地域密着型の電力事業者が現れたと仮定します。

貴事業所は、この事業者の電気を購入しようと思われませんか。【〇は1つ】

1. これまでの契約先から変えるつもりはない
2. これまでより安く売ってもらえるなら購入してもよい
3. 価格がこれまでと同程度なら、購入してもよい
4. これまでより多少高くても、購入したい

【問4】 今後最大限の温暖化対策を行ったとしても、ある程度の気温の上昇は避けられないと言われており、そのような未来の環境に「適応」することが必要になります。
貴事業所における「適応策」の検討状況について教えてください。【〇は1つ】
(例:【事業への影響】災害による生産設備への影響→【適応策】BCP(事業継続計画)の策定)

1. 適応策を検討したことがない				
2. 以下の適応策を実施中(または検討中) 具体的にご記入ください。				
<table border="0"> <tr> <td style="width: 50%;">【事業への影響】</td> <td style="width: 50%;">【適応策】</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">→</td> </tr> </table>	【事業への影響】	【適応策】	→	
【事業への影響】	【適応策】			
→				

【問5】 長岡京市が「2050年ゼロカーボンシティ」*を目指すとした場合、市内事業者はどのようなことに取り組むべきとお考えですか。【当てはまるものすべてに〇】

1. 空調、生産設備など機械装置の高効率化機器への交換 2. 再エネ比率の高い電気の調達 3. 再エネ発電設備や熱利用設備などエネルギー自給率の向上 4. 環境規制の業界団体でのルール化 5. 経営幹部の意識変革 6. 社用車のEV化 7. その他()

* 2050年ゼロカーボンシティ: 2050年に温室効果ガス排出量の実質ゼロを公表している自治体

【問6】 2020年6月8日、経団連が公表した「チャレンジ・ゼロ宣言」*について、貴事業所ではどのように受け止めていますか。【〇は1つ】

①参加状況【〇は1つ】

1. すでに参加している ⇒問 7-1 へ	2. 参加していない ⇒②へ
-----------------------	----------------

【①参加状況で「2」と回答した方のみ】

②今後の意向【〇は1つ】

1. 前向きに参加を検討したい	2. できれば参加したいが、実際には難しい
3. 参加しない(関心がない)	4. そもそも事業内容に馴染まない
5. その他()	

* チャレンジ・ゼロ宣言: 日本経済団体連合会が国と連携し、気候変動対策の国際枠組み「パリ協定」が掲げる「脱炭素社会」の実現に向け、企業・団体がチャレンジするイノベーションのアクションを、国内外に力強く発信し、後押ししていく新たなイニシアティブ。

【問7-1】 貴事業所の環境ポリシーや、環境マネジメントシステム、社内制度等についておたずねします。
【それぞれ当てはまるもの1つに○】

	実施済	実施予定	実施予定なし	未定
①SDGs*への貢献につながる企業活動	1	2	3	4
②RE100 または RE Action*の認証取得	1	2	3	4
③KES*の認証取得	1	2	3	4
④ISO14000 シリーズの認証取得	1	2	3	4
⑤その他外部認証による環境マネジメントシステムの導入	1	2	3	4
⑥独自の環境規制基準の設定及び検査 (独自環境マネジメントシステム)	1	2	3	4
⑦ISO9000*シリーズの認証取得	1	2	3	4
⑧ISO26000*に基づく企業運営	1	2	3	4
⑨環境方針等、成文化した規定	1	2	3	4
⑩環境問題に関する他企業との情報交換の場の設定	1	2	3	4
⑪環境保全に関する独自の予算枠	1	2	3	4
⑫環境報告書の作成	1	2	3	4
⑬社内の環境教育・普及啓発	1	2	3	4

※ SDGs:持続可能な開発目標。国連サミットで採択され、17のゴールと169のターゲットから構成される。
 ※ RE100/RE Action:企業や自治体等が使用電力を100%再生可能エネルギーとする意思と行動を示すもの
 ※ KES:京都環境マネジメントシステムスタンダード。環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の基本コンセプトを活かして、中小企業でも取得可能なシンプルなシステムを構築。
 ※ ISO9000:ISO(国際標準化機構)によって制定された品質保証のための国際規格。
 ※ ISO26000:ISO(国際標準化機構)によって制定された組織の社会的責任に関する国際規格。

【問7-2】 【問7-1で1つでも「1」または「2」と回答した方のみ】

これらに取り組む理由は何ですか。【当てはまるものすべてに○】

1. 環境負荷の監視・低減は事業者の社会的な責務と考えているため
2. 環境に関する法令の遵守が徹底できるため
3. 事業所周辺の住民と良好な関係を維持するため
4. 省エネや省資源化等によりコストの削減につながるため
5. 社のイメージアップ及び取引の拡大につながるため
6. 業界や系列会社の独自基準があるため
7. ESG 投資*対策のため
8. その他()
9. 特に取り組みをしていない。

※ ESG投資:環境(Environment)・社会(Social)・ガバナンス(Governance)の要素を考慮した投資。

【問8】 長岡京市の環境をよりよくしていくため、事業者はどのようなことに取り組むべきとお考えですか。【当てはまるものすべてに○】

1. 環境に配慮した製品や技術の研究・開発
2. 省エネルギー・省資源対策など地球温暖化対策の推進
3. 事業活動による大気汚染、騒音・振動、水質汚濁等に対する公害防止策の徹底
4. 事業活動による廃棄物の減量化・再資源化、適正処分の徹底
5. 社内での環境配慮へのルールづくりや環境保全体制の整備
6. 事業所周辺等、地域における環境活動への参加・参画
7. 地域や民間団体、行政による環境活動の支援・連携(情報、場所、資金、人材等)
8. その他()

【問9】 貴事業所にとって、環境への取り組みを進める上で最大の課題は何ですか。【○は1つ】

1. 適切な人材・人員がない
2. ノウハウがない
3. 取り組むための資金がない
4. 取り組むための時間がない
5. 場所・設備が足りない
6. 取り組みの情報がない
7. 取引先や消費者から理解の不足
8. 従業員に環境意識が定着していない
9. その他()
10. 特になし

【問10】 貴事業所が環境に関する活動を効果的、効率的に実施していくために、国、府、市などの支援策として最も必要なことは何ですか。【○は1つ】

1. 環境に関する取り組みを市民などに広報する機会の提供
2. 他企業との情報交換や連携して活動する機会の提供
3. 社員の環境教育実施への支援
4. 補助金などの資金援助や公的融資の拡充
5. 環境保全活動に関する技術開発や技術援助
6. 環境問題が企業活動に及ぼす影響に関する情報の提供
7. 環境保全に関する法令等の情報の提供
8. 地球規模や全国規模の環境問題等の動向を知るための講演会、シンポジウム等の開催
9. 企業の環境保全活動のチェック、環境監査の実施
10. その他()

高効率機器や社用車のEV化に関わることについておたずねします

【問11-1】高効率機器への買い替えや社用車のEV化に対する補助金制度を知っていますか。【○は1つ】

1. 知っていた ⇒ 【問 11-2】へ 2. 知らなかった ⇒ 【問 12-1】へ

【問11-2】【問11-1で「1」と回答した方のみ】

どのように補助金等の情報を入手していますか。【○は1つ】

1. 官公庁・自治体のホームページで情報を探したり、直接問い合わせたりしている
2. チラシや通知などに掲載された情報に目を通している
3. 設備や機器の展示会などに行った際に情報を入手している
4. その他()

【問12-1】現在、事業所で電気自動車を所有していますか。

1. 所有している ⇒【問 12-3】へ 2. 電気自動車以外の車を所有 ⇒【問 12-2】へ
3. 自動車を所有していない ⇒【問 13】へ

【問12-2】【問12-1で「2」と回答した方のみ】

今後、電気自動車に買い替えたいと思いますか。【○は1つ】

1. 買い替えたい、買い替え予定である 2. どちらともいえない
3. 買い替えるつもりはない

【問12-3】【問12-1で「1」または「2」と回答した方のみ】

電気自動車を導入する際、貴事業所において解決しなければならない課題は何ですか。
(既に電気自動車を所有している場合、購入予定の場合も、検討時のことを振り返って回答してください。)【当てはまるものすべてに○】

1. 事業所内での充電設備の設置
2. 外出時の充電ステーションの有無
3. 購入時の価格が高いこと
4. 維持管理(バッテリー交換等)を含めた総コストの見積り
5. 業務上必要な規格(乗車定員・積載重量など)を満たす電気自動車が販売されていない
6. その他()

ごみ減量に関する取り組みについておたずねします

【問13】 市では、事業所系の紙ごみを削減するために、地域の集団回収や市役所の拠点回収場所での新聞等の古紙回収を事業所の方にもご利用いただけるよう取り組んでいます。活用されますか。【当てはまるものすべてに○】

1. 地域の集団回収を利用したい
2. 市役所の拠点回収場所を利用したい
3. 独自にリサイクル業者を活用したい
4. 可燃ごみとして処分する
5. 未定である

【問14】 貴事業所のごみ減量の取り組みについて、取り組まれていることやご提案があればご記入下さい。

【問15】 事業所のごみを削減するにあたり、課題や行政への要望などがあれば、ご記入下さい。

長岡京市の環境政策や、地域と事業者との関わりについておたずねします

【問16】 以下の長岡京市の環境に関する計画や方針についてご存知ですか。
【それぞれ当てはまるもの1つに○】

	名前も内容も知っている	名前だけ知っている	知らない
① 長岡京市生活環境の向上等に関する基本条例	1	2	3
② 長岡京市環境基本計画	1	2	3
③ 長岡京市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)	1	2	3
④ “環境の都”長岡京市環境都市宣言	1	2	3
⑤ 長岡京市“環境の都”賞	1	2	3
⑥ 長岡京市一般廃棄物処理基本計画	1	2	3
⑦ 西山森林整備構想	1	2	3
⑧ 長岡京市緑の基本計画	1	2	3
⑨ 長岡京市景観条例・計画	1	2	3
⑩ 長岡京市COOL CHOICE宣言	1	2	3

【問17】 CSR*の観点から、市内の環境活動に対してどのような取り組みを実施していますか。
「実施している」「今後実施したい」を回答した方は、その内容を具体的にご記入ください。
【それぞれ当てはまるもの1つに○】

【それぞれ当てはまるもの1つに○】	実施している	今後実施したい	実施しない	具体的に
①市内の活動団体に対し、資金援助や場所・マンパワーの提供を行っている	1	2	3	
②環境キャンペーンや学習会、イベントの開催、パンフレットの作成など、長岡京市内で普及啓発を行っている	1	2	3	
③長岡京市内において、従業員による地域清掃活動を行っている	1	2	3	

※ CSR:企業の社会的責任。企業は、自社の利益、経済合理性を追求するだけでなく、利害関係者全員の利益を考えて行動するべきであり、行動法令の遵守、環境保護、人権擁護、消費者保護などの社会的側面にも責任を有するという考え方に基づくもの。

【問18-1】長岡京市では校区ごとの「環境への取り組みを見える化」※することで、より校区に愛着を持ち、環境活動を加速させていく仕組みができないか検討しています。

市のこのような取り組みについて、どのように思われますか。【〇は1つ】

※ 環境への取り組みを見える化…校区ごとのリサイクル率の発表、特色ある取り組みの紹介等

1. 取り組むべき

2. どちらとも言えない

3. 取り組む必要はない

【問18-2】校区ごとの「環境への取り組みを見える化」について、貴事業所では、今後、どのような関わりができると思われますか。具体的な内容をご記入ください。

【問19】環境問題に関して、社内の共通認識となっていることで、懸念していることや、検討していること、ご提案などがございましたら、差しつかえない範囲で自由にご記入ください。

【問20】長岡京市の環境施策の検討に活かすために、事業所へのヒアリング調査を考えています。調査について、貴事業所へご連絡をとおらせていただいてもよろしいでしょうか。【〇は1つ】

1. はい

2. いいえ

貴事業所について教えてください

【問21】 貴事業所の概要とご連絡先について教えてください。

事業所名		
区分	1. 本社・本店	2. 支社・支店・営業所等
業種	1. 建設業 3. 情報・通信業 5. 卸売・小売業 7. 不動産業 9. 医療・福祉業 11. その他()	2. 製造業 4. 運輸業 6. 金融・保険業 8. 飲食・宿泊業 10. その他サービス業
従業員数 ・ 市内に立地する事業所のみ ・ パート・アルバイト含む	1. 1～9人 3. 30～49人 5. 100～299人 7. 500人～	2. 10～29人 4. 50～99人 6. 300～499人
操業(営業)年数	1. 3年未満 3. 6～9年 5. 20～29年	2. 4～5年 4. 10～19年 6. 30年以上
事業所の床面積	1. ～499㎡ 3. 1000～1499㎡	2. 500㎡～999㎡ 4. 1500㎡～
ご連絡先	貴名:	所属・役職:
	電話:	FAX:
	e-mail:	

ご協力ありがとうございました。
同封の封筒に三つ折りにし、9月30日(水)までにご返送ください。

2. 市民アンケートの集計結果一覧

【環境に関わること全般】

問1 環境について大きく変わったと感じること(MA, n=992)

夏の猛暑、冬の暖冬など、気候の変化	不法投棄・ポイ捨ての状況など、まち美化環境の変化	長岡京ICの開通・西山天王山駅の開業など、ハード面の変化	特定の昆虫・草花等の増減、放置竹林の状況など、自然環境の変化	特に大きく変わったと感じるところはない	回答者数
619	140	606	167	89	992
62.4%	14.1%	61.1%	16.8%	9.0%	

問2 現在の生活の「身近な環境」について(SA, n=992)

	満足	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満	不満	不明・無回答	計
空気や水のきれいさ、まちのみどりの豊富さ	143 14.4%	556 56.0%	218 22.0%	47 4.7%	16 1.6%	12 1.2%	992 100.0%
騒音・振動などがないこと	153 15.4%	413 41.6%	285 28.7%	104 10.5%	25 2.5%	12 1.2%	992 100.0%
衛生的なまちであること	123 12.4%	551 55.5%	256 25.8%	36 3.6%	6 0.6%	20 2.0%	992 100.0%
自然景観・都市景観などまちの美しさ	120 12.1%	480 48.4%	294 29.6%	75 7.6%	7 0.7%	16 1.6%	992 100.0%
農地・農空間の美しさ・身近さ	112 11.3%	430 43.3%	365 36.8%	63 6.4%	9 0.9%	13 1.3%	992 100.0%
西山など自然環境の身近さ	190 19.2%	521 52.5%	228 23.0%	32 3.2%	5 0.5%	16 1.6%	992 100.0%
歴史的・文化的資源の豊富さ・身近さ	149 15.0%	496 50.0%	295 29.7%	34 3.4%	4 0.4%	14 1.4%	992 100.0%
災害・犯罪・交通事故等の危険が少ないこと	119 12.0%	401 40.4%	357 36.0%	79 8.0%	20 2.0%	16 1.6%	992 100.0%
日常生活の便利さ	208 21.0%	461 46.5%	199 20.1%	95 9.6%	20 2.0%	9 0.9%	992 100.0%
近所付き合いなど近隣の人間関係	97 9.8%	397 40.0%	397 40.0%	75 7.6%	17 1.7%	9 0.9%	992 100.0%
総合的にみた「身近な環境」	92 9.3%	604 60.9%	248 25.0%	34 3.4%	4 0.4%	10 1.0%	992 100.0%

問5 長岡京市の環境の取り組みについての現在の満足度(SA, n=992)

	満足	まあ満足 している	どちらとも いえない	やや不満	不満	不明・無回答	計
再生可能エネルギーの活用	22 2.2%	122 12.3%	644 64.9%	113 11.4%	29 2.9%	62 6.3%	992 100.0%
省エネルギーの推進	16 1.6%	140 14.1%	668 67.3%	81 8.2%	20 2.0%	67 6.8%	992 100.0%
エコ建築の普及	15 1.5%	83 8.4%	711 71.7%	88 8.9%	22 2.2%	73 7.4%	992 100.0%
エコ交通システムの導入	15 1.5%	94 9.5%	652 65.7%	118 11.9%	43 4.3%	70 7.1%	992 100.0%
廃棄物の発生抑制・再生 利用の推進	32 3.2%	227 22.9%	540 54.4%	105 10.6%	29 2.9%	59 5.9%	992 100.0%
資源回収の推進	80 8.1%	416 41.9%	340 34.3%	83 8.4%	25 2.5%	48 4.8%	992 100.0%
廃棄物の適正処理	53 5.3%	309 31.1%	474 47.8%	82 8.3%	18 1.8%	56 5.6%	992 100.0%
水資源の有効活用・水環境 の整備	38 3.8%	255 25.7%	489 49.3%	108 10.9%	38 3.8%	64 6.5%	992 100.0%
西山の保全・再生・活用	40 4.0%	265 26.7%	559 56.4%	58 5.8%	12 1.2%	58 5.8%	992 100.0%
竹林の保全・再生・活用	33 3.3%	237 23.9%	538 54.2%	102 10.3%	30 3.0%	52 5.2%	992 100.0%
環境にやさしい農業の推進	28 2.8%	185 18.6%	660 66.5%	43 4.3%	11 1.1%	65 6.6%	992 100.0%
水辺環境の保全・再生	45 4.5%	235 23.7%	543 54.7%	86 8.7%	16 1.6%	67 6.8%	992 100.0%
身近な緑の保全・創出	49 4.9%	304 30.6%	487 49.1%	73 7.4%	16 1.6%	63 6.4%	992 100.0%
環境に配慮した都市の整備	26 2.6%	252 25.4%	520 52.4%	109 11.0%	30 3.0%	55 5.5%	992 100.0%
歴史文化資源の保全・活用	46 4.6%	356 35.9%	473 47.7%	50 5.0%	9 0.9%	58 5.8%	992 100.0%
環境美化の推進	35 3.5%	307 30.9%	520 52.4%	57 5.7%	15 1.5%	58 5.8%	992 100.0%
適切な環境管理	37 3.7%	240 24.2%	579 58.4%	60 6.0%	11 1.1%	65 6.6%	992 100.0%
市民活動のサポート機能の 拡充	35 3.5%	173 17.4%	631 63.6%	75 7.6%	16 1.6%	62 6.3%	992 100.0%
環境を担う人づくり・人結び	21 2.1%	132 13.3%	676 68.1%	85 8.6%	19 1.9%	59 5.9%	992 100.0%
環境学習の推進	27 2.7%	132 13.3%	679 68.4%	75 7.6%	19 1.9%	60 6.0%	992 100.0%

問5 長岡京市の環境の取り組みについての今後の重要度(SA, n=992)

	満足	まあ満足 している	どちらとも いえない	やや不満	不満	不明・無回答	計
再生可能エネルギーの活用	385 38.8%	339 34.2%	148 14.9%	10 1.0%	4 0.4%	106 10.7%	992 100.0%
省エネルギーの推進	373 37.6%	347 35.0%	151 15.2%	7 0.7%	2 0.2%	112 11.3%	992 100.0%
エコ建築の普及	209 21.1%	328 33.1%	308 31.0%	24 2.4%	7 0.7%	116 11.7%	992 100.0%
エコ交通システムの導入	267 26.9%	341 34.4%	247 24.9%	23 2.3%	3 0.3%	111 11.2%	992 100.0%
廃棄物の発生抑制・再生 利用の推進	379 38.2%	336 33.9%	159 16.0%	10 1.0%	4 0.4%	104 10.5%	992 100.0%
資源回収の推進	430 43.3%	317 32.0%	135 13.6%	4 0.4%	4 0.4%	102 10.3%	992 100.0%
廃棄物の適正処理	430 43.3%	314 31.7%	138 13.9%	3 0.3%	4 0.4%	103 10.4%	992 100.0%
水資源の有効活用・水環境 の整備	469 47.3%	289 29.1%	126 12.7%	4 0.4%	1 0.1%	103 10.4%	992 100.0%
西山の保全・再生・活用	310 31.3%	351 35.4%	213 21.5%	7 0.7%	5 0.5%	106 10.7%	992 100.0%
竹林の保全・再生・活用	332 33.5%	338 34.1%	209 21.1%	8 0.8%	5 0.5%	100 10.1%	992 100.0%
環境にやさしい農業の推進	265 26.7%	357 36.0%	248 25.0%	10 1.0%	4 0.4%	108 10.9%	992 100.0%
水辺環境の保全・再生	340 34.3%	357 36.0%	182 18.3%	5 0.5%	1 0.1%	107 10.8%	992 100.0%
身近な緑の保全・創出	348 35.1%	363 36.6%	163 16.4%	10 1.0%	2 0.2%	106 10.7%	992 100.0%
環境に配慮した都市の整備	381 38.4%	357 36.0%	143 14.4%	5 0.5%	3 0.3%	103 10.4%	992 100.0%
歴史文化資源の保全・活用	252 25.4%	352 35.5%	257 25.9%	15 1.5%	7 0.7%	109 11.0%	992 100.0%
環境美化の推進	346 34.9%	373 37.6%	166 16.7%	4 0.4%	2 0.2%	101 10.2%	992 100.0%
適切な環境管理	313 31.6%	373 37.6%	191 19.3%	6 0.6%	2 0.2%	107 10.8%	992 100.0%
市民活動のサポート機能の 拡充	237 23.9%	346 34.9%	286 28.8%	15 1.5%	7 0.7%	101 10.2%	992 100.0%
環境を担う人づくり・人結び	244 24.6%	379 38.2%	253 25.5%	11 1.1%	8 0.8%	97 9.8%	992 100.0%
環境学習の推進	253 25.5%	362 36.5%	254 25.6%	16 1.6%	8 0.8%	99 10.0%	992 100.0%

【脱炭素社会づくり】

問6 気候変動の影響ではないかと強く感じること(MA, n=992)

農産物、水産物の収穫量、漁獲量の減少	農産物、水産物の食材の品質の低下	自然生態系の変化(植物の開花時期の変化、特定の虫の増加・減少など)	猛暑による熱中症患者の増加	台風や長雨、ゲリラ豪雨などによる災害の増加	その他	回答者数
623	259	517	733	868	26	992
62.8%	26.1%	52.1%	73.9%	87.5%	2.6%	

問7 排出削減目標『実質ゼロ』の認知度(SA, n=992)

知っていた	知らなかった	不明・無回答	計
472	497	23	992
47.6%	50.1%	2.3%	100.0%

問8 行政が最優先で取り組むべき適応策(SA, n=992)

暑さに強い作物など、農業生産者への情報提供	森林整備などによる生物多様性の保護	施設・イベントの暑さ対策など、熱中症防止のための取り組み	災害や水不足などに備えての、インフラ整備や防災体制の充実	適応策に取り組んでいる市内の生産者や市民活動への支援	その他	不明・無回答	計
27	109	66	562	42	12	174	992
2.7%	11.0%	6.7%	56.7%	4.2%	1.2%	17.5%	100.0%

問9 家電・家庭用品等の購入についての現状(SA, n=992)

	実行している	ときどき実行している	実行していない	不明・無回答	計
家電製品は省エネルギー型のを購入する	498	389	72	33	992
	50.2%	39.2%	7.3%	3.3%	100.0%
照明は白熱灯や蛍光灯よりLEDを購入する	618	244	104	26	992
	62.3%	24.6%	10.5%	2.6%	100.0%
詰め替え用容器を用いた商品を購入する	658	261	49	24	992
	66.3%	26.3%	4.9%	2.4%	100.0%
古紙を使ったトイレトーパーを購入する	324	353	287	28	992
	32.7%	35.6%	28.9%	2.8%	100.0%
複層ガラスや二重窓を導入する	245	89	615	43	992
	24.7%	9.0%	62.0%	4.3%	100.0%

家電・家庭用品等の購入についての今後(SA, n=992)

	実行したい	実行する気はない	不明・無回答	計
家電製品は省エネルギー型のを購入する	821	22	149	992
	82.8%	2.2%	15.0%	100.0%
照明は白熱灯や蛍光灯よりLEDを購入する	815	23	154	992
	82.2%	2.3%	15.5%	100.0%
詰め替え用容器を用いた商品を購入する	805	30	157	992
	81.1%	3.0%	15.8%	100.0%
古紙を使ったトイレトーパーを購入する	669	177	146	992
	67.4%	17.8%	14.7%	100.0%
複層ガラスや二重窓を導入する	616	256	120	992
	62.1%	25.8%	12.1%	100.0%

問10 住まいの断熱性能を上げるための工事などについて(SA, n=992)

実施したことがある	実施したことはない	新築のときに断熱材等を使っている	わからない	その他	不明・無回答	回答者数
126	497	185	123	30	31	992
12.7%	50.1%	18.6%	12.4%	3.0%	3.1%	100.0%

問11 ①電気自動車の所有状況(SA, n=992)

電気自動車以外の車を所有している	自動車を持っていない	不明・無回答	計
11	581	379	992
1.1%	58.6%	38.2%	2.1%
			100.0%

②電気自動車への買い替え意向(SA, n=581)

買い替えたい、買い替え予定である	買い替えるつもりはない	不明・無回答	計
89	463	29	581
15.3%	79.7%	5.0%	100.0%

③電気自動車を購入したい(購入した)理由(SA, n=100)

環境にやさしい	燃料費を節約できる	乗り心地がいい	税金が安くなるなど、維持費を抑えることができる	その他	不明・無回答	計
50	26	2	6	2	14	100
50.0%	26.0%	2.0%	6.0%	2.0%	14.0%	100.0%

④電気自動車を購入したくない理由(SA, n=463)

自宅に充電器が設置できない	外出時に充電できるか不安	購入価格が高い	維持費(バッテリー交換など)を考えると割高になりそう	その他	不明・無回答	計
46	82	148	62	96	29	463
9.9%	17.7%	32.0%	13.4%	20.7%	6.3%	100.0%

問12 ①カーシェアリングの利用経験(SA, n=992)

利用したことがある	利用したことはない	不明・無回答	計
19	913	60	992
1.9%	92.0%	6.0%	100.0%

②カーシェアリングの利用意向(SA, n=913)

利用してみたい	利用したくない	不明・無回答	計
139	745	29	913
15.2%	81.6%	3.2%	100.0%

③カーシェアリングを利用したい(利用した)最大の理由(SA, n=158)

外出先でも車に乗ることができる	目的に応じて車を選ぶことができる	マイカーを持つより安くすませられる	自宅に(これ以上)駐車スペースがない	その他	不明・無回答	計
25	17	81	8	9	18	158
15.8%	10.8%	51.3%	5.1%	5.7%	11.4%	100.0%

④カーシェアリングを利用したくない最大の理由(SA, n=745)

必要な時に借りられないかもしれない	他人と同じ車に乗りたくない	マイカーにこだわりがある	よく車に乗るので、かえって高くつきそう	その他	不明・無回答	計
134	128	140	116	194	33	745
18.0%	17.2%	18.8%	15.6%	26.0%	4.4%	100.0%

問13 ①自動車の所有状況(SA, n=992)

所有している	所有していない	不明・無回答	計
635	325	32	992
64.0%	32.8%	3.2%	100.0%

②自動車に関する行動についての現状(SA, n=635)

	実行している	ときどき実行している	実行していない	不明・無回答	計
近くへの用はなるべく歩かか自転車で行く	295 46.5%	225 35.4%	110 17.3%	5 0.8%	635 100.0%
できるだけ自家用車より公共交通機関を利用する	132 20.8%	267 42.0%	222 35.0%	14 2.2%	635 100.0%
停車中はこまめにエンジンを切る	271 42.7%	143 22.5%	208 32.8%	13 2.0%	635 100.0%
タイヤの空気圧など点検整備を心掛ける	315 49.6%	239 37.6%	71 11.2%	10 1.6%	635 100.0%
パークアンドライドを実施する	48 7.6%	128 20.2%	438 69.0%	21 3.3%	635 100.0%

②自動車に関する行動についての今後(SA, n=635)

	実行したい	実行する気はない	不明・無回答	計
近くへの用はなるべく歩かか自転車で行く	480 75.6%	81 12.8%	74 12.8%	635 100.0%
できるだけ自家用車より公共交通機関を利用する	398 62.7%	166 26.1%	71 26.1%	635 100.0%
停車中はこまめにエンジンを切る	420 66.1%	136 21.4%	79 21.4%	635 100.0%
タイヤの空気圧など点検整備を心掛ける	526 82.8%	25 3.9%	84 3.9%	635 100.0%
パークアンドライドを実施する	290 45.7%	273 43.0%	72 11.3%	635 100.0%

問14 太陽光発電設備の設置状況(SA, n=992)

設置している	設置していない	不明・無回答	計
51	915	26	992
5.1%	92.2%	2.6%	100.0%

A-1 蓄電装置の導入状況(SA, n=51)

導入している	導入していない	不明・無回答	計
17	34	0	51
33.3%	66.7%	0.0%	100.0%

A-2 地域密着型電力事業者への売電意向(SA, n=51)

現在契約している事業者より安い買取価格であっても、売電したい	現在契約している事業者と同程度の価格で買い取ってもらえるなら、売電したい	現在契約している事業者より高く買い取ってもらえるなら、売電したい	現在契約している事業者から変えるつもりはない	不明・無回答	計
3	18	21	4	5	51
5.9%	35.3%	41.2%	7.8%	9.8%	100.0%

B-1 太陽光発電設備の設置意向(SA, n=915)

設置したい、 設置予定である	設置する つもりはない	不明・無回答	計
133	770	12	915
14.5%	84.2%	1.3%	100.0%

B-2 太陽光発電設備を設置したい最大の理由(SA, n=133)

温暖化防止に 貢献できる	昼間の電気代を 安く抑える ことができる	余った電気を 売ることが できる	停電になっても 電気を使う ことができる	その他	不明・無回答	計
30	39	6	47	0	11	133
22.6%	29.3%	4.5%	35.3%	0.0%	8.3%	100.0%

B-3 太陽光発電設備を設置したくない最大の理由(SA, n=770)

設置コストが 高い	集合住宅などで 設置することが できない	維持管理が 面倒	日当たりが悪 く、設置に適し た場所がない	その他	不明・無回答	計
293	174	132	27	98	46	770
38.1%	22.6%	17.1%	3.5%	12.7%	6.0%	100.0%

問15 ①月あたり使用電力量(n=992)

200kWh未満	200kWh以上 400kWh未満	400kWh以上 600kWh未満	600kWh以上 800kWh未満	800kWh以上 1000kWh未満	1000kWh以上 1500kWh未満	1500kWh以上	不明・無回答	計
112	276	138	42	10	9	7	398	992
11.3%	27.8%	13.9%	4.2%	1.0%	0.9%	0.7%	40.1%	100.0%

②オール電化導入の有無(SA, n=992)

はい (導入している)	いいえ (導入していない)	不明・無回答	計
98	845	49	992
9.9%	85.2%	4.9%	100.0%

③月あたりガス使用量(n=845)

10m ³ 未満	10m ³ 以上 20m ³ 未満	20m ³ 以上 30m ³ 未満	30m ³ 以上 40m ³ 未満	40m ³ 以上 50m ³ 未満	50m ³ 以上 100m ³ 未満	100m ³ 以上	不明・無回答	計
182	199	100	33	10	6	18	297	845
21.5%	23.6%	11.8%	3.9%	1.2%	0.7%	2.1%	35.1%	100.0%

問17 温暖化防止のための市全体として最も重要な取り組み(SA, n=992)

太陽光や風力、バイオマスエネルギーの利用など再生可能エネルギーの導入促進	省エネ家電の普及や工場のエネルギー使用の合理化	ZEH、ZEBなど、環境への負荷を低く抑えた建築物の普及促進	交通や物流対策(フードマイレージ削減含む)、次世代自動車の普及など運輸交通部門の改善	家庭や事業所等における省エネなどライフスタイル、ビジネススタイルの見直し	二酸化炭素吸収源としての森林整備や植林、都市緑化の推進	環境教育・学習・啓発イベントの充実、環境情報の提供、広報の強化	
191	91	15	52	99	147	40	
19.3%	9.2%	1.5%	5.2%	10.0%	14.8%	4.0%	
事業活動における環境負荷の度合いを下げるための独自条例などによる規制の強化	ごみの発生抑制、リサイクルなどごみ対策を進める	市や事業者の温暖化への取り組みの公表・見える化	市民・団体・事業者・行政が一体となって取り組む組織の整備、相談・支援体制の構築	その他	不明・無回答	計	
15	108	64	65	20	85	992	
1.5%	10.9%	6.5%	6.6%	2.0%	8.6%	100.0%	

【脱炭素社会づくり】

問18 資源・水の循環のための市全体として最も重要な取り組み (SA, n=992)

河川浄化対策の実施	地下水の水質保全	公共下水道等の整備	廃棄物の発生抑制	適正なりサイクルの促進	
127	178	111	119	176	
12.8%	17.9%	11.2%	12.0%	17.7%	
廃棄物(し尿・浄化槽汚泥含む)の適正処理	不法投棄の防止と対策	節水や雨水利用の促進	その他	不明・無回答	計
38	75	82	18	68	992
3.8%	7.6%	8.3%	1.8%	6.9%	100.0%

問19 プラスチックごみ発生抑制のための市全体として最も重要な取り組み(SA, n=992)

生分解性プラスチックやプラスチック以外の素材の利用など、製造者に対する働きかけや支援	過剰な容器包装に対する規制など、提供者・販売者に対する働きかけや支援	マイバッグ、マイボトル利用の推奨など、利用者に対する働きかけや支援	プラスチックごみ削減が強く求められる事業者の公表や不法投棄の罰則強化など、制度の強化	その他	不明・無回答	計
362	287	182	108	12	41	992
36.5%	28.9%	18.3%	10.9%	1.2%	4.1%	100.0%

問20 ごみ減量・リサイクルのための行動(SA, n=992)

	やっている	時々やっている	以前はやっていました	やりたいがやっていない	やるつもりはない	不明・無回答	計
過剰包装の商品購入は避け、買物袋・エコバッグを持ち歩く	813	133	4	22	4	16	992
	82.0%	13.4%	0.4%	2.2%	0.4%	1.6%	100.0%
リサイクル製品、詰め替え使用可能な製品を優先して購入・利用する	567	341	6	38	8	32	992
	57.2%	34.4%	0.6%	3.8%	0.8%	3.2%	100.0%
カン、ビンやトレイ、紙パック、廃食油などをリサイクル回収に出す	732	174	12	39	11	24	992
	73.8%	17.5%	1.2%	3.9%	1.1%	2.4%	100.0%
新聞紙・雑誌などを古紙回収に出す	753	105	54	41	20	19	992
	75.9%	10.6%	5.4%	4.1%	2.0%	1.9%	100.0%
不要家具・家電品などをリサイクル事業者に出す	388	320	48	166	37	33	992
	39.1%	32.3%	4.8%	16.7%	3.7%	3.3%	100.0%
コンポスト等で生ごみを堆肥化する	36	47	65	467	334	43	992
	3.6%	4.7%	6.6%	47.1%	33.7%	4.3%	100.0%
傷みそうな食品を優先して使う	627	250	16	42	33	24	992
	63.2%	25.2%	1.6%	4.2%	3.3%	2.4%	100.0%
早く食べる必要がある食品を冷蔵庫のすぐ見える位置に置く	510	347	23	62	30	20	992
	51.4%	35.0%	2.3%	6.3%	3.0%	2.0%	100.0%
早く食べる必要がある食品がないか、週に1回以上冷蔵庫を点検する	406	345	30	144	40	27	992
	40.9%	34.8%	3.0%	14.5%	4.0%	2.7%	100.0%
外出時にはマイボトル(水筒・タンブラー・マグカップ等)を持っていく	523	277	23	94	52	23	992
	52.7%	27.9%	2.3%	9.5%	5.2%	2.3%	100.0%

【環境共生のまちづくり】

問21 西山の自然環境保全のために協力できそうなこと(MA, n=992)

森林の整備や 竹林の伐採など、 森林ボランティア への参加	木材チップや竹 炭、 竹チップなどの 製品の購入・使用	森林整備のため の募金	西山をフィールド として行われる 体験型イベント への参加	その他	回答者数
126	422	291	179	84	992
12.7%	42.5%	29.3%	18.0%	8.5%	

問22 自然環境や生物多様性の保全のための市全体として最も重要な取り組み(SA, n=992)

里地・里山の 保全	無秩序な開発 の防止	多様な動植物の 生息場所の保全	野生動植物の 保護・管理	自然の姿・機能 を生かした河川 整備	
124	406	80	31	133	
12.5%	40.9%	8.1%	3.1%	13.4%	

ため池の保全 と活用	緑地や樹木等 の保全・保存	その他	不明・無回答	計
11	144	7	56	992
1.1%	14.5%	0.7%	5.6%	100.0%

【快適な都市環境づくり】

問23 快適な都市環境づくりのための市全体として最も重要な取り組み(SA, n=992)

公園・緑地・街路 樹など、身近にあ る自然の保全・創 出	透水性舗装など、 環境に配慮した 都市基盤の整備	歩道の整備、電線 の地中化など、歩 きやすいまちづく り	景観に配慮した まちづくり	歴史文化資源の 保全・活用	
199	131	352	71	12	
20.1%	13.2%	35.5%	7.2%	1.2%	

ポイ捨てや犬の ふんの放置などが ない、きれいな まちづくり	公害防止対策の 充実	その他	不明・無回答	計
124	46	17	40	992
12.5%	4.6%	1.7%	4.0%	100.0%

【環境の取り組みへの参画と協働】

問25 よりよい環境づくりのため市内の事業所に期待すること(SA, n=992)

廃棄物管理等 における規制 や法令の遵守	資源循環の 推進	地球温暖化 対策の率先 した取り組み	環境に配慮 した製品や 技術の開発	社員への環境 教育の推進	環境学習 活動への講師 の派遣	
207	97	297	152	22	7	
20.9%	9.8%	29.9%	15.3%	2.2%	0.7%	
市民団体と 連携した行動	市民団体への 活動支援	環境に関する 技術や情報の 提供	その他	不明・無回答	計	
36	27	51	13	83	992	
3.6%	2.7%	5.1%	1.3%	8.4%	100.0%	

問26 環境のために、我々の日々の暮らしや社会、経済のあり方を変えていくことについて(MA, n=992)

資源やエネルギー の消費を減らすた めに、生活の水準 を落としてもよい	製造・輸送による 環境への負荷が反 映されるのであれ ば、商品の価格が 高くなってもよい	家庭からのごみを 減らすために、排 出量に応じた処理 費用を負担しても よい	地球環境を守るた め、自然環境を保 全するためであれ ば、税金が課され てもよい	市民活動や地域活 動として、環境保 全のために労力を 負担してもよい	その他	回答者数
281	252	257	213	253	64	992
28.3%	25.4%	25.9%	21.5%	25.5%	6.5%	

【本アンケートについて】

問27 本アンケートについて(SA, n=992)

	難しかった	やや 難しかった	普通	やや 易しかった	易しかった	不明・無回答	計
環境に関わること全般 (問1～5)	86	214	443	133	69	47	992
	8.7%	21.6%	44.7%	13.4%	7.0%	4.7%	100.0%
脱炭素社会づくり (問6～17)	97	252	417	115	58	53	992
	9.8%	25.4%	42.0%	11.6%	5.8%	5.3%	100.0%
資源循環型社会づくり (問18～20)	81	203	484	112	57	55	992
	8.2%	20.5%	48.8%	11.3%	5.7%	5.5%	100.0%
環境共生のまちづくり (問21～22)	81	213	474	122	47	55	992
	8.2%	21.5%	47.8%	12.3%	4.7%	5.5%	100.0%
快適な都市環境づくり (問23)	80	197	493	121	48	53	992
	8.1%	19.9%	49.7%	12.2%	4.8%	5.3%	100.0%
環境の取り組みへの参画と協 働(問24～26)	98	235	457	95	52	55	992
	9.9%	23.7%	46.1%	9.6%	5.2%	5.5%	100.0%

【回答者および回答者世帯について】

問30 回答者の職業(SA, n=992)

給与所得者(会社員や公務員)	パート・アルバイト	自営業	専業主婦(夫)		
300	123	65	172		
30.2%	12.4%	6.6%	17.3%		
無職	学生	その他	不明・無回答	計	
246	22	38	26	992	
24.8%	2.2%	3.8%	2.6%	100.0%	

問31 回答者世帯の世帯人数(SA, n=992)

1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	不明・無回答	計
196	355	174	149	38	15	65	992
19.8%	35.8%	17.5%	15.0%	3.8%	1.5%	6.6%	100.0%

回答者世帯の世帯構成(SA, n=992)

一人暮らし	夫婦二人暮らし	夫婦、子どもからなる世帯	3世代の世帯	その他の世帯	不明・無回答	計
193	268	377	51	47	56	992
19.5%	27.0%	38.0%	5.1%	4.7%	5.6%	100.0%

問32 回答者の居住地域(SA, n=992)

神足小学校区	長法寺小学校区	長岡第三小学校区	長岡第四小学校区	長岡第五小学校区	長岡第六小学校区		
98	58	87	108	170	59		
9.9%	5.8%	8.8%	10.9%	17.1%	5.9%		
長岡第七小学校区	長岡第八小学校区	長岡第九小学校区	長岡第十小学校区	わからない	不明・無回答	計	
89	66	105	74	44	34	992	
9.0%	6.7%	10.6%	7.5%	4.4%	3.4%	100.0%	

問33 回答者の市内居住年数(SA, n=992)

～4年	5～9年	10～19年	20～29年	30年以上	不明・無回答	計
60	62	155	139	555	21	992
6.0%	6.3%	15.6%	14.0%	55.9%	2.1%	100.0%

3. 団体アンケートの集計結果一覧

【団体の活動について】

問1 回答団体の活動分野(MA, n=23)

森林(竹林)保全	生物保全	水環境保全	大気保全	廃棄物・リサイクル	地球温暖化防止	
13	5	8	4	4	9	
56.5%	21.7%	34.8%	17.4%	17.4%	39.1%	
清掃美化	花・植樹・緑化	環境教育・環境学習	消費行動改善	その他		回答者数
8	6	10	3	4		23
34.8%	26.1%	43.5%	13.0%	17.4%		

問2 回答団体の活動形態(MA, n=23)

実践活動	調査・研究活動	普及・啓発活動	その他	回答者数
20	6	17	1	23
87.0%	26.1%	73.9%	4.3%	

問3 団体の課題に対応するため行政に望む支援(MA, n=23)

活動に役立つ情報の提供	活動場所・機会の提供	活動費などの支援	他団体や企業等との連携支援	地球規模や全国規模の環境問題等の動向を知るための講演会、シンポジウムの開催	その他	特になし	回答者数
13	11	15	9	5	4	1	23
56.5%	47.8%	65.2%	39.1%	21.7%	17.4%	4.3%	

問5 ①会員向けの情報発信(SA, n=23)

情報発信している	情報発信していない	不明・無回答	計
21	2	0	23
91.3%	8.7%	0.0%	100.0%

問6-2 他の活動団体等との連携分野(MA, n=14)

情報交換	共同 イベント等	施設・設備等 の貸与・借用	講師派遣・ 依頼	共同調査・ 共同研究	助言・相談	その他	回答者数
13	12	2	4	2	1	1	14
92.9%	85.7%	14.3%	28.6%	14.3%	7.1%	7.1%	

問6-3 他の活動団体等との連携促進に必要なこと(SA, n=23)

情報交換・ 交流のための 場づくり	連携をサポート する支援組織	各団体による 積極的な情報 発信	各団体が 「連携」の意識 を高めること	その他	不明・無回答	計
11	4	1	2	1	4	23
47.8%	17.4%	4.3%	8.7%	4.3%	17.4%	100.0%

問7-1 校区ごとの「環境への取り組みを見える化」することについて(SA, n=23)

取り組む べき	どちらとも 言えない	取り組む 必要はない	不明・無回答	計
22	1	0	0	23
95.7%	4.3%	0.0%	0.0%	100.0%

問9 ヒアリング調査についての連絡の可否(SA, n=23)

はい	いいえ	不明・無回答	計
20	0	3	23
87.0%	0.0%	13.0%	100.0%

【回答団体について】

問10 回答団体の活動形態(MA, n=23)

京都府全域	長岡京市 全域	長岡京市の 特定地域	その他	不明・無回答	計
2	10	11	0	0	23
8.7%	43.5%	47.8%	0.0%	0.0%	100.0%

4. 事業者アンケートの集計結果一覧

【回答事業所における環境保全活動について】

問1 脱炭素社会づくりに関する取り組み(SA, n=22)

	実施 している	今後実施 したい	実施の 予定なし	わからない	該当しない	不明・無回答	計
事業活動による温室効果ガス排出量の算定	8 36.4%	0 0.0%	3 13.6%	1 4.5%	9 40.9%	1 4.5%	22 100.0%
事業活動による温室効果ガス排出量の削減目標の設定	8 36.4%	0 0.0%	3 13.6%	1 4.5%	9 40.9%	1 4.5%	22 100.0%
温暖化対策になる賢い選択“COOL CHOICE”への賛同	5 22.7%	1 4.5%	1 4.5%	5 22.7%	8 36.4%	2 9.1%	22 100.0%

再生可能エネルギー等に関する取り組み(SA, n=22)

	実施 している	今後実施 したい	実施の 予定なし	わからない	該当しない	不明・無回答	計
太陽光発電設備の設置	6 27.3%	0 0.0%	7 31.8%	0 0.0%	8 36.4%	1 4.5%	22 100.0%
太陽光発電設備以外の自然エネルギーの活用 (太陽熱、風力、水力等)	0 0.0%	0 0.0%	9 40.9%	2 9.1%	9 40.9%	2 9.1%	22 100.0%
発電した電気を蓄電する設備の導入	0 0.0%	1 4.5%	8 36.4%	2 9.1%	9 40.9%	2 9.1%	22 100.0%
環境負荷の少ないエネルギーによる事業運営	5 22.7%	3 13.6%	4 18.2%	0 0.0%	8 36.4%	2 9.1%	22 100.0%

省エネルギーに関する取り組み(SA, n=22)

	実施 している	今後実施 したい	実施の 予定なし	わからない	該当しない	不明・無回答	計
省エネルギー型の機器や設備の導入	10 45.5%	2 9.1%	3 13.6%	0 0.0%	6 27.3%	1 4.5%	22 100.0%
事業所建物の省エネルギーへの配慮 (自然採光、通風、断熱等)	8 36.4%	2 9.1%	4 18.2%	1 4.5%	6 27.3%	1 4.5%	22 100.0%
省エネ診断、ESCO事業等の導入	2 9.1%	3 13.6%	6 27.3%	4 18.2%	6 27.3%	1 4.5%	22 100.0%

物品の購入や商品・サービスの提供に関する取り組み(SA, n=22)

	実施 している	今後実施 したい	実施の 予定なし	わからない	該当しない	不明・無回答	計
コピー用紙や封筒への再生紙の使用	15 68.2%	1 4.5%	3 13.6%	1 4.5%	2 9.1%	0 0.0%	22 100.0%
詰替え可能製品の利用勧奨や、使い捨て製品の 使用や購入の抑制	18 81.8%	2 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	2 9.1%	0 0.0%	22 100.0%
備品の修理による長期使用	21 95.5%	1 4.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	22 100.0%
エコマーク製品の優先的な購入	10 45.5%	6 27.3%	1 4.5%	0 0.0%	5 22.7%	0 0.0%	22 100.0%
環境にやさしい製品・サービスの企画・開発	12 54.5%	3 13.6%	0 0.0%	1 4.5%	6 27.3%	0 0.0%	22 100.0%
容器・包装材の簡素化	11 50.0%	1 4.5%	1 4.5%	1 4.5%	8 36.4%	0 0.0%	22 100.0%
買物客への買物袋持参の呼びかけ	4 18.2%	0 0.0%	6 27.3%	0 0.0%	12 54.5%	0 0.0%	22 100.0%

廃棄物の減量・リサイクルに関する取り組み(SA, n=22)

	実施 している	今後実施 したい	実施の 予定なし	わからない	該当しない	不明・無回答	計
ミスコピーの裏面利用	20 90.9%	0 0.0%	1 4.5%	0 0.0%	1 4.5%	0 0.0%	22 100.0%
社内便などへの使用済み封筒の再利用	16 72.7%	1 4.5%	1 4.5%	0 0.0%	4 18.2%	0 0.0%	22 100.0%
紙(段ボールやOA用紙等)の分別収集・資源化	20 90.9%	1 4.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.5%	0 0.0%	22 100.0%
カン・ビン等の分別収集・資源化	21 95.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.5%	0 0.0%	0 0.0%	22 100.0%
使用済み容器・包装材の回収	15 68.2%	2 9.1%	1 4.5%	0 0.0%	4 18.2%	0 0.0%	22 100.0%
廃棄物減量のための事業プロセスの改善	12 54.5%	3 13.6%	2 9.1%	1 4.5%	3 13.6%	1 4.5%	22 100.0%
産業廃棄物の適正処理、リサイクル	17 77.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 18.2%	1 4.5%	22 100.0%

生活環境・自然環境の保全に関する取り組み(SA, n=22)

	実施 している	今後実施 したい	実施の 予定なし	わからない	該当しない	不明・無回答	計
排出ガス・排水等の適正管理	13 59.1%	0 0.0%	2 9.1%	0 0.0%	5 22.7%	2 9.1%	22 100.0%
騒音、振動、悪臭の防止・軽減措置	11 50.0%	2 9.1%	1 4.5%	1 4.5%	5 22.7%	2 9.1%	22 100.0%
自然環境への配慮、生活環境・景観の保全	11 50.0%	1 4.5%	3 13.6%	2 9.1%	3 13.6%	2 9.1%	22 100.0%

【環境に関する経営や管理手法に関わることについて】

問2 電気の調達の方法について(SA, n=22)

再生可能エネルギーを積極的に利用し、少しでも多くの電力を自給したい	再エネ比率の高い電力事業者であれば、多少高くても購入を検討したい	再エネに関係なく、価格の安い電力事業者からの購入を検討したい	電力事業者を自分で、自前の発電設備を持つことについて考えたことがない、関心がない	不明・無回答	計
5 22.7%	4 18.2%	7 31.8%	5 22.7%	1 4.5%	22 100.0%

問3 地域密着型の電力事業者からの購入について(SA, n=22)

これまでの契約先から変えるつもりはない	これまでより安く売ってもらえるなら購入してもよい	価格がこれまでと同程度なら、購入してもよい	これまでより多少高くても、購入したい	不明・無回答	計
8 36.4%	9 40.9%	2 9.1%	1 4.5%	2 9.1%	22 100.0%

問4 適応策の検討状況について(SA, n=22)

適応策を検討したことがない	適応策を実施中または検討中	不明・無回答	計
15 68.2%	5 22.7%	2 9.1%	22 100.0%

問7-1 環境ポリシー・環境マネジメントシステム・社内制度等について(SA, n=22)

	実施済	実施予定	実施予定 なし	未定	不明・無回答	計
SDGsへの貢献につながる企業活動	5 22.7%	2 9.1%	5 22.7%	9 40.9%	1 4.5%	22 100.0%
RE100またはRE Actionの認証取得	0 0.0%	0 0.0%	6 27.3%	14 63.6%	2 9.1%	22 100.0%
KESの認証取得	2 9.1%	0 0.0%	6 27.3%	12 54.5%	2 9.1%	22 100.0%
ISO14000シリーズの認証取得	9 40.9%	0 0.0%	7 31.8%	4 18.2%	2 9.1%	22 100.0%
その他外部認証による環境マネジメントシステムの導入	1 4.5%	0 0.0%	8 36.4%	12 54.5%	1 4.5%	22 100.0%
独自の環境規制基準の設定及び検査(独自環境マネジメントシステム)	1 4.5%	0 0.0%	7 31.8%	12 54.5%	2 9.1%	22 100.0%
ISO9000シリーズの認証取得	7 31.8%	0 0.0%	6 27.3%	8 36.4%	1 4.5%	22 100.0%
ISO26000に基づく企業運営	1 4.5%	0 0.0%	7 31.8%	13 59.1%	1 4.5%	22 100.0%
環境方針等、成文化した規定	11 50.0%	1 4.5%	4 18.2%	5 22.7%	1 4.5%	22 100.0%
環境問題に関する他企業との情報交換の場の設定	6 27.3%	1 4.5%	6 27.3%	8 36.4%	1 4.5%	22 100.0%
環境保全に関する独自の予算枠	5 22.7%	0 0.0%	5 22.7%	11 50.0%	1 4.5%	22 100.0%
環境報告書の作成	5 22.7%	0 0.0%	5 22.7%	11 50.0%	1 4.5%	22 100.0%
社内の環境教育・普及啓発	11 50.0%	1 4.5%	3 13.6%	6 27.3%	1 4.5%	22 100.0%

問7-2 環境ポリシー・環境マネジメントシステム・社内制度等に取り組む理由(MA, n=13)

環境負荷の監視・低減は事業者の社会的な責務と考えているため	環境に関する法令の遵守が徹底できるため	事業所周辺の住民と良好な関係を維持するため	省エネや省資源化等によりコストの削減につながるため	社のイメージアップ及び取引の拡大につながるため	業界や系列会社の独自基準があるため	ESG投資対策のため	その他	特に取り組みをしていない	回答者数
12	9	9	9	7	2	1	0	0	13
92.3%	69.2%	69.2%	69.2%	53.8%	15.4%	7.7%	0.0%	0.0%	

問10 国、府、市などの支援策として最も必要なこと(SA, n=22)

環境に関する 取り組みを市民 などに広報する 機会の提供	他企業との情報 交換や連携して 活動する機会 の提供	社員の環境教育 実施への支援	補助金などの資金 援助や公的融資の 拡充	環境保全活動に 関する技術開発 や技術援助	環境問題が企業 活動に及ぼす影響 に関する情報の 提供
2	1	1	8	2	2
9.1%	4.5%	4.5%	36.4%	9.1%	9.1%

地球規模や全国 環境保全に関する 法令等の情報の 提供	規模の環境問題等 の動向を知るため の講演会、シンポ ジウム等の開催	企業の環境保全 活動のチェック、 環境監査の実施	その他	不明・無回答	計
0	0	0	1	5	22
0.0%	0.0%	0.0%	4.5%	22.7%	100.0%

【高効率機器や社用車のEV化に関わることについて】

問11-1 高効率機器への買い替えや社用車のEV化に対する補助金制度の認知度(SA, n=22)

すでに 参加している	参加 していない	不明・無回答	計
12	9	1	22
54.5%	40.9%	4.5%	100.0%

問11-2 補助金等の情報入手方法について(SA, n=12)

官公庁・自治体の ホームページで 情報を探したり、 直接問い合わせ たりしている	チラシや通知など に掲載された情報 に目を通している	設備や機器の 展示会などに 行った際に情報 を入手している	その他	不明・無回答	計
3	4	1	1	3	12
25.0%	33.3%	8.3%	8.3%	25.0%	100.0%

問12-1 電気自動車の所有状況(SA, n=22)

所有している	電気自動車 以外の車を 所有している	自動車を 所有していない	不明・無回答	計
1	14	6	1	22
4.5%	63.6%	27.3%	4.5%	100.0%

【ごみ減量に関する取り組みについて】

問13 拠点回収場所での古紙回収について(MA, n=22)

地域の集団回収 を利用したい	市役所の拠点 回収場所を 利用したい	独自に リサイクル業者 を活用したい	可燃ごみ として処分する	未定である	回答者数
7	2	8	1	6	15
31.8%	9.1%	36.4%	4.5%	27.3%	

【長岡京市の環境政策や、地域と事業者との関わりについて】

問16 長岡京市の環境に関する計画や方針の認知度(SA, n=22)

	名前も内容も 知っている	名前だけ 知っている	知らない	不明・無回答	計
長岡京市生活環境の向上等 に関する基本条例	3 13.6%	5 22.7%	12 54.5%	2 9.1%	22 100.0%
長岡京市環境基本計画	3 13.6%	6 27.3%	11 50.0%	2 9.1%	22 100.0%
長岡京市地球温暖化対策実行 計画(区域施策編)	3 13.6%	3 13.6%	14 63.6%	2 9.1%	22 100.0%
“環境の都”長岡京市環境都市 宣言	4 18.2%	8 36.4%	8 36.4%	2 9.1%	22 100.0%
長岡京市“環境の都”賞	2 9.1%	4 18.2%	14 63.6%	2 9.1%	22 100.0%
長岡京市一般廃棄物処理 基本計画	4 18.2%	5 22.7%	11 50.0%	2 9.1%	22 100.0%
西山森林整備構想	4 18.2%	7 31.8%	9 40.9%	2 9.1%	22 100.0%
長岡京市緑の基本計画	3 13.6%	8 36.4%	9 40.9%	2 9.1%	22 100.0%
長岡京市景観条例・計画	4 18.2%	7 31.8%	9 40.9%	2 9.1%	22 100.0%
長岡京市COOL CHOICE宣言	2 9.1%	4 18.2%	14 63.6%	2 9.1%	22 100.0%

問20 ヒアリング調査についての連絡の可否(SA, n=22)

はい	いいえ	不明・無回答	計
9	11	2	22
40.9%	50.0%	9.1%	100.0%

【回答事業所について】

問21 回答事業所の区分(SA, n=22)

本社・本店	支社・支店 営業所等	不明・無回答	計
10	9	3	22
45.5%	40.9%	13.6%	100.0%

回答事業所の業種(SA, n=22)

建設業	製造業	情報・通信業	運輸業	卸売・小売業	金融・保険業		
1	8	1	1	2	0		
4.5%	36.4%	4.5%	4.5%	9.1%	0.0%		
不動産業	飲食・宿泊業	医療・福祉業	その他 サービス業	その他	不明・無回答	計	
0	1	1	4	2	1	22	
0.0%	4.5%	4.5%	18.2%	9.1%	4.5%	100.0%	

回答事業所の従業員数(SA, n=22)

1~9人	10~29人	30~49人	50~99人	100~299人	300~499人	500人~	不明・無回答	計
2	4	4	3	4	0	4	1	22
9.1%	18.2%	18.2%	13.6%	18.2%	0.0%	18.2%	4.5%	100.0%

回答事業所の操業(営業)年数(SA, n=22)

3年未満	4~5年	6~9年	10~19年	20~29年	30年以上	不明・無回答	計
2	1	1	3	1	14	0	22
9.1%	4.5%	4.5%	13.6%	4.5%	63.6%	0.0%	100.0%

長岡京市第三期環境基本計画策定のためのアンケート調査
結果報告書

発行日:令和2(2020)年12月

編集・発行:環境経済部環境政策室